

主要施策の成果

各部門における主要施策の成果

款 1 議会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 675,911,000 円 | 647,992,579 円 | 95.9% | 0 円 | 27,918,421 円 |

項 1 議会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 675,911,000 円 | 647,992,579 円 | 95.9% | 0 円 | 27,918,421 円 |

目 1 議会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 675,911,000 円 | 647,992,579 円 | 95.9% | 0 円 | 27,918,421 円 |

| | | |
|---------|------|---------------|
| 〔議員報酬等〕 | 34 人 | 435,397,977 円 |
| 〔一般職給〕 | 16 人 | 139,000,904 円 |
| 〔再任用職給〕 | 1 人 | 3,864,552 円 |

| 目的 | 市民への議会情報の提供・議会への市民参加の取り組み | | | | |
|----|---|----|----------|----|--------------------------|
| 指標 | 提供媒体 市民と情報を共有する方法 | 目標 | 14 の方法以上 | 実績 | 17 の方法 (27 年度 15 の方法) |
| 説明 | <p>「市民との情報共有」、「市民参加の推進」及び「議員間討議と政策提案」の三本柱を基本方針として制定された議会基本条例を踏まえ、開かれた議会となるよう取り組みを行いました。</p> <p>市民との情報共有については、議会報告会、シティ・ミーティング（意見交換会）を各定例会議会終了後に開催し、延べ 237 人の参加者と意見交換を行いました。また、平成 28 年度からは、各常任委員会で 1 年間に議論された内容を取りまとめた白書を作成し、市議会ホームページへ掲載することで市民との情報共有を進めました。</p> <p>市民参加の推進については、市民サービスに大きな変化をもたらすような議案については、委員会で審査される前にホームページで市民に情報を提供し、議案に対する意見募集を行うとともに、いただいた意見を全議員で共有して委員会での審査に活かしました。また、委員会における請願者からの意見聴取を請願者の希望により実施し、市民参加の推進を図りました。</p> <p>議会情報の発信については、ホームページ、本会議のテレビ放送、インターネットによる生中継及び録画中継、市議会だよりの発行や各定例会議会の議長定例記者会見を行い、議会情報の発信に努めました。また、平成 28 年度から新たにフェイスブックを開始したほか、議会運営委員会と特別委員会について、インターネットによる生中継及び録画中継を新たに開始しました。</p> <p>提供方法：議会報告会、シティ・ミーティング、市議会だよりの発行、市議会ホームページ、代表質問・一般質問テレビ放送（CTY）、委員会のインターネット中継及び録画中継、本会議・委員会等の手話通訳、本会議のインターネット中継及び録画中継、録画 DVD 貸出、議長定例記者会見、会議録、市議会モニター制度、各定例会議会における議案に対する意見募集、常任委員会の年間白書、議会開催案内ポスター、新聞（一般紙）、フェイスブック</p> | | | | |

| | |
|-----------------|--------------|
| 〔議会報等作製関係経費〕 | 9,149,460 円 |
| 〔市議会中継関係経費〕 | 10,756,379 円 |
| 〔インターネット配信関係経費〕 | 956,796 円 |

| | |
|---------------|------------------------------|
| 〔市議会モニター関係経費〕 | 233,298 円 |
| 〔議会広報広聴活動経費〕 | 5,510 円 |
| 〔会議録作製関係経費〕 | 5,467,446 円 |
| 〔会議出席費用弁償〕 | 1,307,595 円 |
| 〔政務活動費〕 | 22,415,381 円 |
| 〔議員パソコン関係経費〕 | 2,486,496 円 |
| 〔会議用システム関係経費〕 | 526,176 円 |
| 〔行政視察関係経費〕 | 4,393,456 円 (その他特財 17,572 円) |
| 〔調査・情報収集関係経費〕 | 1,196,252 円 |

その他経費

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 〔市議会議長会等負担金〕 | 2,124,908 円 |
| 〔議会諸交際費〕 | 1,561,720 円 |
| 〔事務局管理経費〕 | 1,234,142 円 (その他特財 214,565 円) |
| 〔臨時職員賃金〕 | 2,614,790 円 |

○ 本会議

| | 議会期間日数 | 開議日数 | 議決件数 | 代表質問 | 一般質問 |
|----------|--------|------|------|--------|---------|
| 5月開会議会 | 2日 | 2日 | 5件 | — | — |
| 6月定例会議会 | 27日 | 7日 | 12件 | — | 5日 21人 |
| 8月定例会議会 | 38日 | 7日 | 31件 | — | 5日 21人 |
| 11月定例会議会 | 23日 | 6日 | 26件 | — | 4日 21人 |
| 1月緊急議会 | 7日 | 3日 | 0件 | 2日 6人 | — |
| 2月定例会議会 | 43日 | 8日 | 62件 | 2日 6人 | 5日 22人 |
| 3月緊急議会 | 1日 | 1日 | 7件 | — | — |
| 計 | 141日 | 34日 | 143件 | 4日 12人 | 19日 85人 |

○ 常任委員会

| 区分 | 開議日数 | 協議会等日数 | 備考 |
|-------|------|--------|------------|
| 総務 | 14日 | 3日 | 本会議付託案件審査等 |
| 教育民生 | 24日 | 11日 | 〃 |
| 産業生活 | 15日 | 6日 | 〃 |
| 都市・環境 | 18日 | 6日 | 〃 |
| 予算 | 14日 | 1日 | 〃 |
| 決算 | 8日 | 0日 | 〃 |

※協議会等日数には管内視察・行政視察を含む。

○ 議会運営委員会

開議日数 23 日

○ 特別委員会

スポーツ振興条例調査特別委員会

開議日数 13 日

平成 23 年 5 月 1 日から施行された四日市市議会基本条例に基づき、平成 28 年度は 5 月 16 日から翌年 4 月 28 日までの 348 日間を会期とする通年議会が開催されました。常任委員会については、平成 28 年度から所管事務調査のテーマについて市民から提案を募り調査を実施するなど活発な活動が行われ、通年議会導入以来続く傾向が維持されました。

また、平成 28 年 2 月定例会議会から導入された議場大型スクリーン、電子採決システム等の積極的な活用により「議会の見える化」を進めたほか、2 月定例会議会からは会議用システムの運用が開始となり原則として全ての資料が電子化されたことに伴い、会議運営の効率化及び資料のペーパーレス化が進みました。

款 2 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|------------------|------------|---------------|---------------|
| 14,136,102,000 円 | 13,522,970,025 円 | 95.7% | 336,597,000 円 | 276,534,975 円 |

項 1 総務管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|------------------|------------|---------------|---------------|
| 12,453,661,000 円 | 11,926,981,379 円 | 95.8% | 307,500,000 円 | 219,179,621 円 |

目 1 一般管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 3,311,830,000 円 | 3,291,981,504 円 | 99.4% | 0 円 | 19,848,496 円 |

(危機管理室)

[熊本地震関係経費] 2,000,000 円
 ・熊本地震被災地への見舞金

(秘書課)

[交際費] 103,760 円
 ・諸交際費
 [負担金] 3,967,000 円
 ・全国市長会等負担金
 [一般経費] 3,217,832 円

(東京事務所)

| 目的 | シティプロモーションを推進する | | | | |
|----|---|----|--------|----|-------------------------|
| 指標 | 首都圏での魅力発信事業数 | 目標 | 16 件以上 | 実績 | 16 件 (27 年度 16 件) |
| | イベント実施時の目標達成率 | | 100% | | 90.3% (27 年度 108.1%) |
| 説明 | <p>首都圏での魅力の発信事業数に加え、各イベント毎に来場者数や売上金額について目標値を設定し、本市の物産・観光PRイベント等を実施しました。また、本市ゆかりの人や企業とのネットワークを活かして地域活性化や都市イメージの向上に資する取組を進めたほか、移住・交流促進に係る取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市イメージ向上イベント開催3回（三重テラス） ・物産観光イベント開催2回（都庁、日本橋） ・販路開拓イベント開催（ハッピーロード大山商店街） ・東海地域東京事務所連携イベント開催2回（JPタワー、東京タワー） ・移住・交流促進イベントに参加・出展3回（三重県移住相談会、JOIN主催） ・B-1 グランプリスペシャル in 東京・臨海副都心参加 ・三重県観光マッチング交流会参加 ・新宿西口イベント支援 ・メルマガ配信 ・企業社内報等活用 | | | | |

[シティプロモーション推進事業費]

3,399,670 円

[東京事務所経費]

16,282,958 円（その他特財 1,006,800 円）

[負担金]

56,000 円

・都市東京事務所長会負担金等

(広報広聴課)

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 効果的に市政情報を発信するための広報戦略の構築 | | | | |
| 指標 | 見直しに取り組んだ広報媒体数 | 目標 | 5 媒体以上 | 実績 | 5 媒体 (27 年度 5 媒体) |
| 説明 | <p>平成 29 年 4 月の市ホームページのリニューアルに向け、市政情報発信アドバイザーの提案や助言を踏まえ、誰もが利用しやすいホームページの構築に努めました。</p> <p>また、「広報よっかいち」の下旬号に、新たに「そらんぼ通信」や「図書館だより」のページを設け、目的別に検索できるように工夫しました。平成 29 年 2 月号からは、下旬号でお知らせしていた「市の情報発信源」を上旬号の裏面に掲載し、さまざまな市の広報媒体の周知を図りました。</p> <p>三重テレビ放送の市政情報や生活情報を紹介する「旬感☆みえ」のコーナーでは、四日市市紹介分として前年度まで不定期に年間 6 本放映していましたが、平成 28 年度から原則として毎月第 3 金曜日に固定して年間 12 本放映しました。併せて、新聞の番組欄に本市の内容である旨を掲載してもらうように働き掛け、認知度の向上に取り組みました。</p> <p>フェイスブックおよびツイッターといった SNS を活用した広報では、平日に加え休日にも投稿を行い、市からの情報を積極的に発信しました。</p> <p>平成 27 年 12 月の AR アプリ「junaio」のサービス提供終了に伴い、AR 機能を活用した「まるごと四日市」を休止していましたが、7 月から新アプリを導入して運用を再開しました。</p> | | | | |

〔市政情報発信アドバイザー事業費〕

140,000 円

(総務課)

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 職員の政策法務能力の向上を図る | | | | |
| 指標 | 研修実施回数 | 目標 | 17 回以上 | 実績 | 17 回 (27 年度 17 回) |
| 説明 | <p>職員の政策法務能力の向上を目指した研修について、民法、行政法、地方自治法の基本的な知識の習得を図る法律基礎研修や、大学教員による災害救助法制についての研修を実施するなど、年 17 回の研修を実施しました。また、法令改廃情報を提供し、法改正に伴う条例改正等の業務に活用しました。</p> | | | | |

〔市法律顧問報酬〕

1,064,400 円

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 文書を適正に管理する | | | | |
| 指標 | 機密公文書リサイクル事業実施回数 | 目標 | 33 回以上 | 実績 | 38 回 (27 年度 36 回) |
| 説明 | <p>保存年限を経過した機密公文書を適正に処理するため、本庁や出先機関において年 14 回収集し、環境への配慮からリサイクル処理しました。</p> <p>また、日常的に発生する機密公文書を速やかに処理するため、各フロアに設置したシュレッダーから発生するシュレッダー屑の収集、リサイクル処理を年 24 回行いました。</p> | | | | |

〔機密公文書リサイクル事業費〕

0 円

- ・機密公文書リサイクル処理 処理量 89,320kg
- ・シュレッダー屑収集・リサイクル処理 処理量 9,380kg

その他経費

〔委員報酬〕 720,000 円

- ・情報公開・個人情報保護審査会委員 6 人
- ・行政不服審査会委員 3 人

〔情報公開・個人情報保護制度関係経費〕 316,308 円

〔行政不服審査会関係経費〕 23,082 円

〔負担金〕 80,000 円

- ・三重県北勢防衛協会分担金

(人事課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 職員の効率的な任用を行う | | | | |
| 指標 | 人口当たりの職員規模(全国施行時特例市中の順位) | 目標 | 13位以内 | 実績 | 14位 (27年度13位) |
| 説明 | <p>普通会計職員数の人口1万人あたりの職員数は、平成28年4月1日現在58.3人となり、全国施行時特例市39市中少ない方から数えて14位となりました。(施行時特例市37市平均 60.8人)</p> <p>なお、本市の職員数は平成29年4月1日現在2,858人で、新設された公会計・行財政改革推進室等への配置や、三重とこわか国体等に関する準備体制の強化、さらには市立四日市病院における中期経営計画に基づく増員を行った結果、平成28年度の2,794人より増加しましたが、行財政改革大綱策定前の平成9年度と比較すると、601人17.4%の削減となっています。</p> <p>今後も、重要な政策課題や市民ニーズに対しては必要職員を確保する一方、引き続き業務の効率化・合理化などに積極的に取り組み、適正な職員配置に努めます。</p> | | | | |

| | | | | |
|----------|------|----------------|--------------------|--------------------|
| 〔特別職給〕 | 3人 | 55,570,960円 | | |
| 〔一般職給〕 | 254人 | 2,363,755,355円 | (県支出金 14,604,000円) | (その他特財 5,562,806円) |
| 〔再任用職給〕 | 24人 | 116,656,888円 | | |
| 〔嘱託職給〕 | 47人 | 170,574,864円 | (その他特財 7,928,566円) | |
| 〔臨時職員賃金〕 | 88人 | 204,848,817円 | | |
| 〔一般経費〕 | | 1,939,130円 | | |

職員数の状況

| 機 関 名 | H29. 4. 1 | | H28. 4. 1 | |
|-----------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | 定 数 | 現 員 | 定 数 | 現 員 |
| 市長の事務部局の職員 | 1,335人以内 | 1,281人 | 1,335人以内 | 1,247人 |
| 議会の事務部局の職員 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 選挙管理委員会の事務部局の職員 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 教育委員会の事務部局の職員 | 268 | 243 | 268 | 238 |
| 監査委員の事務部局の職員 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 農業委員会の事務部局の職員 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 消防部局の職員 | 361 | 336 | 361 | 332 |
| 上下水道局の職員 | 224 | 171 | 224 | 168 |
| 市立四日市病院の職員 | 874 | 794 | 779 | 776 |
| 合 計 | 3,095 | 2,858 | 3,000 | 2,794 |

職員の採用と退職の状況

| 区 分 | 平成28年度 | | | (参考)平成27年度 | | |
|--------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------|
| | 退職 (H28. 4. 1～ H29. 3. 31) | 採用 (H28. 4. 2～ H29. 4. 1) | 増減 (H28→ H29) | 退職 (H27. 4. 1～ H28. 3. 31) | 採用 (H27. 4. 2～ H28. 4. 1) | 増減 (H27→ H28) |
| 事務職員 技術職員 | 34 | 69 | 35 | 43 | 55 | 12 |
| 保育士 幼稚園教諭 | 21 | 28 | 7 | 21 | 23 | 2 |
| 技能労務職 | 6 | 2 | △4 | 5 | 3 | △2 |

| | | | | | | |
|--------------------------|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 医師、獣医師 看護師、医療 技術職員 | 63 | 84 | 21 | 86 | 92 | 6 |
| 消防吏員 | 12 | 15 | 3 | 4 | 21 | 17 |
| その他 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 136 | 200 | 64 | 159 | 195 | 36 |

(管財課)

| | | | | | |
|----|--|----|-----------------|----|------------------------------------|
| 目的 | 持続可能な行財政運営に寄与するために、保有資産の効率的な管理を行うとともに、有効活用を進める | | | | |
| 指標 | 一元管理公用車の稼働率 | 目標 | 年間平均 90.0%以上 | 実績 | 年間平均 89.1% (27年度 年間平均 90.8%) |
| 説明 | <p>管財課が管理する公用車は現在 61 台で、このうち 55 台は全ての所属が共同で使用する「一元管理公用車」として、配車管理システムにより空き車両を効率的に検索・予約することができます。</p> <p>また、公用車の管理に係る事務負担の軽減や車両の維持管理上のリスク低減を目的として、平成 14 年度以降、順次、メンテナンスサービス付きリース車両の導入を進めています。平成 28 年度末では、一元管理公用車 55 台のうち 51 台がリース車両となりました。なお、平成 29 年度には新たにリース車両 2 台を導入するため、55 台のうちリース車両は 53 台となる見込みです。</p> <p>平成 28 年度の一元管理公用車の稼働率は、年間平均 89.1%と目標を達成できませんでした。12 ヶ月中、11 ヶ月が前年同月の稼働率を下回り、特に平成 29 年 1 月は、対前年同月△6.4%と大きく下回りましたが、平成 29 年 1 月 14～15 日の大雪及びその残雪により道路状況が悪かったことが影響しています。</p> <p>今後も、引き続き一元管理公用車の適切な利用を推進し、効率的な配車管理により稼働率の向上に努めていきます。</p> | | | | |

〔民間車両借上経費〕

11,106,612 円

その他経費

〔負担金〕

2,023,451 円

- ・市民総合賠償補償保険料

市民に対する賠償の確実な履行のため、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵、市の業務遂行上の過失による損害賠償保険に加入しています。

〔一般経費〕

1,684,302 円

(調達契約課)

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|------------------------------------|
| 目的 | 公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立し、その執行を適正かつ効率的に行う。 | | | | |
| 指標 | 一般競争入札の適用率 | 目標 | 建設工事 95%以上 | 実績 | 建設工事 94.9% (27年度 建設工事 93.5%) |
| 説明 | <p>入札契約の公正性、透明性及び競争性の確保を図るため、建設工事は原則、一般競争入札を実施しましたが、法令等により施工者が特定される工事の随意契約があり目標を下回りました。</p> <p>公契約条例に基づき、対象となる契約についての労働条件の確認を行うとともに、公契約の適正化に向け、締結する契約等から排除する暴力団等について、下請負人、資材販売業者、廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者を加えるとともに、適正な契約条件を確保するために、中間前金払制度を導入しました。</p> <p>さらに、市内業者の入札参加機会を拡大するために入札制度の改善を行いました。</p> | | | | |

〔調達契約事務費〕

287,800 円

- ・入札監視委員会等

〔公契約審議会委員報酬〕

63,600 円

| | | | | | |
|----|---|----|------------|----|------------------------------------|
| 目的 | 公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立し、その執行を適正かつ効率的に行う。 | | | | |
| 指標 | 契約方法が競争入札及び 随意契約見積合わせによる率 | 目標 | 業務委託 60%以上 | 実績 | 業務委託 44.9% (27年度 業務委託 46.8%) |
| 説明 | <p>業務委託の契約について、1者随意契約を減少させ、競争性を高めるよう努めました。目標を下回りました。随意契約については「随意契約ガイドライン」により各所属に指導を行うとともに、行政経営委員会外部委託等適格審査部会において、随意契約理由や仕様書、積算内容の確認審査を行い、適正な契約方法による発注に努めました。</p> <p>その他、障害者優先調達推進法に基づき策定した「四日市市における障害者就労施設等からの物品等の調達方針」により、各所属における障害者就労施設からの物品等の優先調達を促進しましたが、平成28年度の実績は調達方針に掲げた目標を下回りました。</p> | | | | |

その他経費

〔調達契約事務費〕

4,950,418円

(検査室)

| | | | | | |
|----|--|----|------------------|----|-----------------------|
| 目的 | 市民へ良質な公共施設の提供を行う | | | | |
| 指標 | 全検査対象に対する検査 室の検査執行率 | 目標 | 工事検査の執行率 100% | 実績 | 95.5% (27年度 92.6%) |
| 説明 | <p>工事請負契約に基づき、公共工事が適正に履行され、完成しているか、適正かつ厳正な検査により確認し、市民に良質な公共施設の提供を実現することを検査業務の目的としています。</p> <p>検査には客観的で公平な判断が求められることから、全検査対象工事に対する検査室検査の執行率を指標に定めています。</p> <p>平成28年度においても、年度末に工事の完成が集中(約45%)しており、検査執行にあたっては、年度当初の工事担当課長会議での早期発注・工期の分散化要請、年度末には兼務検査員制度の効果的な活用と検査日程等の事前調整を行うなど計画的・効率的な検査執行に努めた結果、執行率は95.5%となりました。</p> | | | | |

〔検査室一般管理経費〕

1,833,969円

全検査対象数 573件 検査室検査件数 547件

(市民生活課)

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|-------------------------|
| 目的 | 市民の相続、離婚、金銭貸借などの困りごと相談を行う | | | | |
| 指標 | 市民相談受付件数 | 目標 | 4,000件以上 | 実績 | 3,758件 (27年度 4,006件) |
| 説明 | <p>市民相談員が行政・民事・家事等の日常の困り事の一般相談を電話や面談により受けるとともに、弁護士等の専門家の面談による特別相談を行っています。平成28年度は一般相談の減少により全体の相談件数は減っていますが、各種相談事業について広報よっかいち毎月下旬号に掲載し周知を行い、市民が安心して暮らせるよう努めました。</p> <p>また、多重債務問題の解決に向けては、全庁的な体制で取り組み、相談件数は平成22年度から減少傾向になっています。平成28年度は162件の相談(金銭貸借全般)があり、専門的な対応が必要な場合は弁護士、司法書士を紹介するなど、債務の軽減に向けた取り組みを進めました。(紹介件数:49件)</p> | | | | |

〔市民相談室運営費〕

2,097,967円

○利用状況

| 区分 | 弁護士相談 | 行政相談 | 公証相談 | 司法書士 相談 | 行政書士 相談 | 社会保険 労務士相談 | 一般相談 | 合計 |
|--------|-------|------|------|------------|------------|---------------|--------|--------|
| 平成27年度 | 360件 | 0件 | 7件 | 291件 | 48件 | 36件 | 3,264件 | 4,006件 |
| 平成28年度 | 356件 | 7件 | 9件 | 291件 | 42件 | 37件 | 3,016件 | 3,758件 |

その他経費

| | |
|----------------------|----------------------------------|
| 〔楠施設管理運営費〕 | 58,993,312 円 |
| ・楠交流会館管理運営費 | 19,307,361 円 (その他特財 597,770 円) |
| ・楠防災会館管理運営費 | 716,663 円 (その他特財 134,660 円) |
| ・楠避難会館管理運営費 | 565,660 円 (その他特財 168,900 円) |
| ・楠保健福祉センター管理運営費 | 9,216,628 円 (その他特財 9,216,628 円) |
| ・楠福祉会館管理運営費 | 11,778,000 円 (その他特財 259,625 円) |
| ・楠ふれあいセンター管理運営費 | 17,409,000 円 |
| 〔橋北交流会館整備事業(橋北交流施設)〕 | 218,174,017 円 (市債 181,300,000 円) |
| 〔橋北交流施設管理運営費〕 | 1,501,793 円 (その他特財 8,150 円) |

(市民協働安全課)

| | |
|---------------|-------------|
| 〔非核平和都市宣言啓発費〕 | 39,745 円 |
| 〔負担金〕 | 3,759,470 円 |
| ・日本非核宣言自治体協議会 | 60,000 円 |
| ・市民活動総合保険 | 3,699,470 円 |

目2 人事管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 951,413,000 円 | 944,431,197 円 | 99.3% | 0 円 | 6,981,803 円 |

(職員研修所)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|---------------------|
| 目的 | 市民の視点に立ち、自主・自立の精神で積極果敢に行動する市職員を育成する | | | | |
| 指標 | 研修受講者の理解度・満足度 | 目標 | 4.20 以上 | 実績 | 4.37 (27年度 4.27) |
| 説明 | <p>新規採用職員から新所属長までを対象にした階層別研修においては、各階層に求められる職員の意識・職務遂行能力の向上を図るため、簿記財務基礎研修、接遇研修、及び法令遵守・公務員倫理研修等を実施しました。</p> <p>専門性が求められる建設技術系職員を対象に、知識、技能等の向上を図るため、階層・年代に応じた研修及び、テーマ別の専門研修を行いました。</p> <p>特別研修においては、法務研修や政策形成基礎研修などを引き続き実施するとともに、説明力向上研修などを新たに実施し、職員の資質のさらなる向上を図りました。</p> <p>外部研修機関を活用した派遣研修については、職務の遂行に必要な知識の習得、専門能力の育成及び本市の重要課題等の解決を図るため、市町村アカデミーや三重県市町総合事務組合等が実施する研修に、積極的に職員を派遣しました。</p> <p>指標である研修受講者の理解度・満足度は目標値である4.20に対して4.37となりました。今後も随時、本市の行政課題に対応して研修内容の見直しを行い、充実を図って、職員のさらなる意識及び資質の向上、能力開発に努めます。</p> | | | | |

| | |
|---------------------|--------------------|
| 〔階層別研修費〕 | 7,023,159 円 |
| 13 講座 受講者 815 人 | 研修受講者の理解度・満足度 4.40 |
| 〔建設技術系職員研修費〕 | 1,156,297 円 |
| 8 講座 受講者 194 人 | 研修受講者の理解度・満足度 4.19 |
| 〔特別研修費〕 | 2,214,581 円 |
| 13 講座 受講者 761 人 | 研修受講者の理解度・満足度 4.32 |
| 〔派遣研修費〕 | 7,272,000 円 |
| 市町村アカデミー等 受講者 200 人 | 研修受講者の理解度・満足度 4.33 |

その他経費

| | |
|----------------|-----------|
| 〔公務人材開発協会等負担金〕 | 230,000 円 |
|----------------|-----------|

(公平委員会)

| | | | | | |
|----|--|----|------|----|-----------------|
| 目的 | 自治体人事の公正、公平な運営を保障する | | | | |
| 指標 | 委員の研修等参加回数 | 目標 | 8回以上 | 実績 | 8回 (27年度 8回) |
| 説明 | 人事の公正、公平な運営に資するため、全国公平委員会連合会本部研究会、東海支部事務研究会などに参加し、委員及び書記の能力向上を図りました。また、公平委員会において、職員団体の登録事項の変更等について審議、議決を行いました。 | | | | |

| | |
|----------------|-----------|
| 〔公平委員会委員報酬〕 | 164,000 円 |
| ・委員会 1 回開催 | |
| 〔公平委員会事務費〕 | 245,720 円 |
| 〔公平委員会連合会等負担金〕 | 137,500 円 |

(人事課)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 効果的な人材活用を図る | | | | |
| 指標 | 自己申告書による職務満足度 | 目標 | 75.0%以上 | 実績 | 72.3% (27年度 73.5%) |
| 説明 | <p>指標である自己申告書による職務満足度は、平成 28 年度は 72.3%であり、前年度比 1.2 ポイントの減となりました。</p> <p>平成 29 年 4 月 1 日の人事異動においては、新設された公会計・行財政改革推進室をはじめ、三重とわか国体等に関する準備体制の強化、中学校給食の導入などの課題にも配慮した配置を行うなど、適材適所の職員配置を行いました。</p> <p>また、女性の視点を各分野に取り入れるため、部長級に 2 名、次長級に 4 名の女性職員を登用するなど、継続して管理職への登用に努めました。女性管理職の全管理職における割合は 17.0%となっています。</p> <p>その他、職員採用試験において、技術職等の確保が難しい職種については、複数回試験を実施するなど、人材の確保に努めました。</p> <p>今後も、専門的な知識・経験を有する任期付職員の活用を含め、優れた人材の確保と養成に努めるとともに、職員の能力や適性を重視した適材適所の職員配置を行い、職員の意欲向上を図りながら有効な人材活用を行っていきます。</p> | | | | |

| | |
|------------------|----------------------------------|
| 〔委員報酬〕 | 126,400 円 |
| ・特別職報酬等審議会委員 9 人 | |
| 〔特別職退職手当〕 | 1 人 26,376,000 円 |
| 〔一般職退職手当〕 | 45 人 809,904,752 円 |
| ・定年退職 | 23 人 612,460,470 円 |
| ・勸奨退職 | 6 人 151,745,922 円 |
| ・普通退職等 | 16 人 45,698,360 円 |
| 〔退職一時金〕 | 11 人 3,898,492 円 |
| 〔人事給与システム運営費〕 | 3,132,624 円 (その他特財 3,132,624 円) |
| 〔一般経費〕 | 23,641,951 円 (その他特財 2,874,351 円) |

| | | | | | |
|----|--|----|------------------|----|---------------------------------|
| 目的 | 厚生事業を適正に実施する | | | | |
| 指標 | 特定保健指導対象者数を平成 29 年度までに平成 20 年度比で 25%以上削減 | 目標 | 平成 20 年度比 25%以上減 | 実績 | 平成 20 年度比 33.2%減 (27年度 36%減) |
| 説明 | 職員の健康管理を適切に行うため、定期健康診断の受診を徹底するとともに、必要に応じて特別健康診断を実施し、健康に対する意識の向上を図りました。また、メタボリックシンドローム対策にも取り組み、平成 28 年度の特定保健指導対象者数は 147 名(平成 20 | | | | |

年度 206 名) となり、平成 20 年度比で 33.2%削減しました。その他、長時間の時間外労働を行った職員に対しては、産業医による面接保健指導を行いました。
 職員のメンタルヘルス対策としては、臨床心理士による「こころの健康相談室」事業のほか、平成 28 年度からは新たに、メンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的として、ストレスチェックを実施しました。
 今後も健康に関する職員の意識向上と心身の健康の保持増進に努めます。

| | | | |
|-------------------------|----------|--------------|-------------------|
| 〔公務災害補償金〕 | | 83,435 円 | |
| ・臨時職員 | 4 人 | | |
| 〔職員健康管理費〕 | | 13,077,729 円 | (その他特財 183,000 円) |
| ・定期健康診断(一般職員等) | 414 人 | 1,749,384 円 | |
| ・定期健康診断(臨時職員) | 293 人 | 1,497,960 円 | |
| ・三共済巡回ドック | 285 人 | 2,006,400 円 | |
| ・社保生活習慣病予防健診 | 71 人 | 374,490 円 | |
| ・特別健康診断 | 延べ 978 人 | 5,607,522 円 | |
| ・ストレスチェック | 1,741 人 | 1,172,232 円 | |
| ・破傷風等予防接種 | 延べ 637 人 | 669,741 円 | |
| 〔職員安全衛生管理費〕 | | 1,775,363 円 | |
| ・産業医委託料 | | 453,600 円 | |
| ・こころの健康相談室利用者 | 延べ 79 人 | 1,070,000 円 | |
| ・こころの健康における職場復帰支援 | 10 人 | 26,868 円 | |
| ・第一種衛生管理者資格取得費用 | 1 人 | 47,956 円 | |
| ・救急薬品等安全衛生経費 | | 156,939 円 | |
| ・衛生週間記念講演会講師報償 | | 20,000 円 | |
| 〔市職員共済会補助金〕 | | 41,820,319 円 | |
| ・運営補助金(共済会会費と同額) | | 34,538,989 円 | |
| ・事業補助金(人間ドック助成 1,135 件) | | 7,281,330 円 | |
| 〔ライフプラン事業費〕 | | 44,964 円 | |
| ・退職準備セミナー(対象者 67 人) | | | |

目 3 恩給及び退職年金費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|---------|
| 3,161,000 円 | 3,158,800 円 | 99.9% | 0 円 | 2,200 円 |

| | |
|-------------|-------------|
| 〔退隠料、遺族扶助料〕 | 3,158,800 円 |
| ・退隠料 1 人 | 78,400 円 |
| ・遺族扶助料 3 人 | 3,080,400 円 |

目 4 文書広報費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 299,362,000 円 | 295,663,631 円 | 98.8% | 0 円 | 3,698,369 円 |

(広報広聴課)

| | | | | |
|----|-------------------------------|----|----------------|--|
| 目的 | 市政情報を分かりやすく、適時適切に市民に周知する | | | |
| 指標 | 広報紙を読んだことがある (最近 3 カ月間) | 目標 | 92.0%以上 | 実績 |
| | 市ホームページへのアクセス件数 (年間) | 目標 | 14,000,000 件以上 | 実績 |
| | 市のテレビ番組を見たことがある (最近 3 カ月間) | 目標 | 29.0%以上 | 実績 |
| | | | | 86.9% (27 年度 91.4%) 17,582,378 件 (27 年度 13,595,778 件) 28.9% (27 年度 28.8%) |

| | |
|----|--|
| 説明 | <p>広報よっかいち上旬号では、平成 28 年 4 月に施行された「障害者差別解消法」に併せ、誰もが暮らしやすいまちを目指すための取り組みや、同月に供用を開始した「四日市市クリーンセンター」の紹介および「3R」を推進するコーナーを新設し、旬の市政情報の提供に努めました。また、男女共同参画センターが誕生して 20 年を契機に、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの紹介や、平成 29 年 8 月に市制施行 120 周年を迎えるにあたり、市民が郷土への誇りや愛着を深めるとともに、活気あるまちづくりに向けた機運を醸成するよう周知を図りました。3 月には広報よっかいちの表紙を拡大したポスター展を開催し、実際の広報紙を手にとってみてもらうきっかけとしました。しかしながら、広報紙を読んだことがある人の割合は、目標および前年度実績のいずれも下回りました。</p> <p>市ホームページについては、平成 29 年度にリニューアルすることから大幅な変更はできなかったものの、トップページを四季が感じられるデザインにしたり、主要な話題を随時配置したりするなど、見やすさや使い勝手に意を配したことにより、アクセス件数は目標および前年度実績のいずれも上回りました。</p> <p>また、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」を見たことがある人の割合は、前年度実績をわずかに上回る結果となりましたが、目標を下回りました。</p> <p>今後も、魅力ある紙面・番組づくりに努めることはもとより、情報伝達効果をさらに高めるために、広報紙とテレビ番組との連動など複数の広報媒体のそれぞれの特性を活かしあう組み合わせ「メディアミックス」による効果的な情報発信を行い、広報紙の読者や番組の視聴者を増やすための取り組みを進めていきます。</p> |
|----|--|

| | |
|---|--|
| 〔広報刊行物発行費〕 | 71,671,207 円 (県支出金 115,000 円) (その他特財 2,916,000 円) |
| ・「広報よっかいち」印刷 | 61,911,787 円 |
| 毎月 5 日・20 日に発行 発行部数: 138,597 部 (3 月下旬号) | |
| ・「広報よっかいち」デザイン制作業務委託 | 5,540,400 円 |
| 特集 12 回・準特集 22 回 | |
| ・外国語広報作成業務委託 | 1,296,000 円 |
| 毎月 5 日に発行 (7・8 月号は合併号として 7 月 5 日に発行) | |
| 発行部数: 2,000 部 | |
| ・市内写真撮影業務委託 | 790,560 円 |
| ・臨時職員賃金 (広報原稿作成補助) | 784,080 円 |
| ・市勢要覧、市政パンフレット、デザイン名刺印刷等 | 1,348,380 円 |
| 〔情報発信事業費〕 | 24,056,960 円 (その他特財 1,892,160 円) |
| ・市政情報番組制作・放送業務委託 | 17,010,444 円 |
| CTY「ちゃんねるよっかいち」 年 36 本 | |
| ・三重テレビ番組制作・放送業務委託 | 4,320,000 円 |
| 「旬感☆みえ〜MY CITY MY TOWN〜」 年 12 本 | |
| ・コミュニティFM情報番組制作・放送業務委託 | 1,609,632 円 |
| ・ホームページ維持管理業務委託等 | 1,116,884 円 |
| 〔AR (拡張現実) 機能活用事業費〕 | 1,657,800 円 |
| ・AR コンテンツ制作業務委託等 | |
| 〔広報広聴活動費 (記者クラブ) 〕 | 317,853 円 (その他特財 15,820 円) |
| ・コピー、ファクス使用料等 | |
| 〔負担金〕 | 47,000 円 |
| ・日本広報協会会費等 | |
| 〔一般経費〕 | 2,253,336 円 |

(広報広聴課)

| | | | | | |
|----|-------------------------|----|-----------|----|----------------------------|
| 目的 | より多くの市民の市政への意見を聴取する | | | | |
| 指標 | 市政アンケートの回答者数 (5,000 人中) | 目標 | 2,000 人以上 | 実績 | 1,728 人 (27 年度 1,558 人) |
| | インターネットアンケートモニター数 | | 280 人以上 | | 284 人 (27 年度 272 人) |

| | |
|----|---|
| 説明 | <p>市政アンケートについては、平成 28 年度から対象年齢を 18 歳以上に引き下げ、より若い世代の意見を取り入れるようにしました。また、アンケートの回収方法について、従来の郵送に加え、より簡易に回答ができるインターネット回答システムを導入しました。その結果、前年度実績を上回る結果にはなりましたが、目標を下回りました。今後は回答者の手間を軽減できるよう、さらに回答しやすいレイアウトや設問に努めていきます。なお、アンケート結果や市民からの自由記述なども掲載した報告書について、業務の参考となるように庁内掲示板に掲載して周知を図りました。</p> <p>インターネットアンケート（市政ごいけんばん）は、平成 28 年度に新システムを構築してより利用しやすいものとししました。また、新規モニター登録者を確保するため、広報紙などでの PR に加え、成人式やイベントで募集チラシを配布して周知に努めました。モニター数は目標および前年度実績のいずれも上回りました。今後も設問を工夫するなど利用しやすいアンケートに努めるとともに、認知度向上のために、継続して広報紙、センターだより、ホームページや SNS などにより制度のさらなる周知に努めていきます。</p> <p>また、市のホームページからメールを介して市民の意見や要望、質問を聴取する「市政の提案箱」では、250 件の意見等を聴取し、その回答とともに庁内掲示板に掲載して全庁的に情報共有を図っています。</p> |
|----|---|

| | |
|------------------------|-------------|
| 〔広聴活動事業費〕 | 3,098,741 円 |
| ・市政アンケート印刷・分析委託等 | 1,685,463 円 |
| ・インターネットアンケートシステム構築委託等 | 1,413,278 円 |

(総務課)

| | |
|---------------|-----------|
| 〔マイクロフィルム事業費〕 | 174,571 円 |
|---------------|-----------|

(市民生活課)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 市政情報の迅速な提供 | | | | |
| 指標 | 自治会加入率 | 目標 | 90.0%以上 | 実績 | 85.4% (27年度 85.2%) |
| 説明 | <p>市政情報の周知のため、連絡員による広報等の全戸配布を行ったほか、連合自治会との委託契約により、自治会を通じて各種組回覧やポスター掲示による市民への市政情報の提供を実施しました。また、平成 26 年 7 月に締結した「四日市市における自治会への加入促進に関する協定書」に基づき、四日市市自治会連合会、公益社団法人三重県宅地建物取引業協会及び本市の三者で、転入・転居者の自治会加入促進の取り組みを進めるとともに、地区市民センター等における自治会加入や自治会活動を紹介したリーフレットの配布、自治会加入を呼びかけたポスターの掲示や地区広報での周知啓発など、自治会活動への参加や自治会への加入促進に努めました。今後も引き続き、迅速な市政情報の提供に努めるとともに、地域のまちづくりを支える重要な組織である自治会への加入を促進するための情報発信に努めます。</p> | | | | |

| | |
|------------|---------------|
| 〔自治会連絡事務費〕 | 62,572,356 円 |
| 〔連絡員経費〕 | 125,832,207 円 |

目 5 財政管理費

| | | | | |
|--------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 11,720,000 円 | 9,599,715 円 | 81.9% | 0 円 | 2,120,285 円 |

(財政経営課)

| | | | | | |
|----|---------------------------|----|-------|----|-----------------------|
| 目的 | 将来の財政負担を的確に把握し、健全な財政運営を図る | | | | |
| 指標 | 将来負担比率 | 目標 | 60%以下 | 実績 | 36.7% (27年度 37.5%) |

| | | | | | |
|----|---|--|-------------|--|--|
| 説明 | <p>平成 28 年度当初予算編成においては、四日市版地方創生総合戦略に位置付けた 4 つの基本目標を達成し、本市の新たな活路を切り拓くため、地方創生総合戦略に掲げる事業を第 2 次推進計画（平成 26～28 年度）に組み込み、同推進計画に掲げる事業に対して優先的・集中的に財源を配分しました。</p> <p>補正予算においても、臨時福祉給付金などの国の第 2 次補正予算に伴う経済対策分を計上したほか、本市のさらなる財政状況の改善に向けて、交付税措置のない市債や臨時財政対策債の発行を抑制するとともに、都市基盤・公共施設等整備基金に 15 億円を積み立てるなど、今後の大型投資を見据えて、将来に渡り持続可能な財政基盤の確立に努めました。</p> <p>また、予算執行においては、財政経営課への合議の機会等を捉えて、予算積算通り執行されているか等の聞き取り・指導を適宜行うとともに、市全体での経常経費の節減を徹底し、効果的かつ効率的な事業執行に努めました。</p> <p>その結果、平成 28 年度決算では、橋北交流会館や三浜文化会館の整備に伴い 12 億円の借入れを行ったものの、全会計の市債残高は前年度と比べて 77 億円減少し 1,794 億円となり、また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」における 4 つの健全化指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）の比率もいずれも早期健全化基準を下回るとともに、前年度より改善しました。</p> | | | | |
| | 〔財政管理経費〕 | | 8,662,835 円 | | |
| | 〔負担金〕 | | 254,000 円 | | |
| | ・ 地方債協会負担金等 | | | | |

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|------------------------|
| 目的 | 行財政改革プラン 2014 の実施により、効果的・効率的な行財政運営を図る | | | | |
| 指標 | 行財政改革プランの達成度 | 目標 | 80%以上 | 実績 | 87.9% (27 年度 80.0%) |
| 説明 | <p>「四日市市行財政改革プラン 2014（平成 26～28 年度）」は、行政の「質」の面にも配慮しながら、4 つの基本方針に基づく 33 項目の改革事項について進捗管理を行うとともに、事務事業等の改善・再編・統廃合等の実施や、サービスの提供主体のあり方や方法の創意工夫など、定性的な効果を上げる視点からの行財政改革を推進してきました。計画目標通りの取り組みとなった改革事項が 29 項目あったことから、プランの達成状況としては 87.9%となり、目標を達成しました。</p> <p>また、行財政改革推進会議においては、次期プランとして、改革の目的や 4 つの基本方針を継承しつつ、数値目標をさらに明確化するため、新たな取り組みの視点として「財政規律の確保」を加えた上で、32 項目の改革事項を取りまとめた「四日市市行財政改革プラン 2017（平成 29～32 年度）」を策定しました。</p> <p>事務改善提案制度については、「全員参加型カイゼン提案～良いとこ伸ばそう！よっかいち～」を引き続き実施しました。</p> <p>指定管理者制度については、更新時期にあたる自転車等駐車場について選定審査を行いました。また、導入施設が安定的・継続的にサービスの提供がなされているかについて「モニタリング・レポート」を作成し公表しました。</p> | | | | |

〔行財政改革推進費〕

682,880 円

目 6 会計管理費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|--------|----------|
| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 |
| 31,187,000 円 | 31,092,964 円 | 99.7% | 0 円 | 94,036 円 |

(会計管理室)

| | | | | | |
|----|---------------------------------|----|---------|----|------------------------|
| 目的 | 公正で、正確、効率的な会計事務及び安全な公金、財産の管理を行う | | | | |
| 指標 | 実地検査実施回数 | 目標 | 128 回以上 | 実績 | 128 回 (27 年度 121 回) |

| | |
|----|---|
| 説明 | <p>会計事務が法令・規則等に基づき、公正で、正確、効率的に執行されるよう各所属における事務処理状況の現地検査を実施し、具体的に指導・支援を行うことで実務能力の向上を図りました。監査事務局と連携して現金・物品の実査も引き続き実施しました。</p> <p>また、現地検査の結果を踏まえて全所属の出納員を対象に研修を行い、課題の共有化を図りました。年度当初には出納員及び会計事務担当者を対象に実務研修を実施し、会計事務の早期習得を図るなど、各種研修により会計事務処理能力の向上に努めました。</p> <p>公金の運用については、低金利の状況が続くなか、安全性を第一におきながら、年間の資金動向を的確に把握することにより、効率的な運用に努めました。</p> |
|----|---|

[会計管理経費]

31,092,964 円 (その他特財 136,270 円)

目 7 財産管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------------|--------------|
| 568,778,000 円 | 531,689,473 円 | 93.5% | 15,800,000 円 | 21,288,527 円 |

(管財課)

| | | | | | |
|----|--|----|--------------|----|--------------------------------|
| 目的 | 持続可能な行財政運営に寄与するために、保有資産の効率的な管理を行うとともに、有効活用を進める | | | | |
| 指標 | 財産売払収入、財産貸付収入、使用料収入の合計 | 目標 | 111,784 千円以上 | 実績 | 96,553 千円 (27 年度 76,648 千円) |
| 説明 | <p>・財産の有効活用について 普通財産のうち売払い可能な物件について、一般競争入札による売払いを実施しましたが、応札がありませんでした。普通財産において、関西電力(株)の特別高圧架空電線路の地役権設定に伴う補償料収入がありました。比較的整形で一定規模の物件のうち、早期に売却が困難な物件について賃貸可能物件として市ホームページで公開し、1 物件について、平成 28 年 9 月より貸し付けを行いました。</p> <p>【普通財産の貸付等の結果】 物件 1 : 「小山田大欠池 (2)」 (ため池 5,421 m²) 地役権設定面積 : 1990.84 m² 地役権設定補償料 : 10,949,620 円 物件 2 : 「旧小古曾駐在所」 (宅地 562.2 m²) 貸付面積 : 405.2 m² 貸付料 : 年額 431,089 円 (平成 28 年度は 233,506 円)</p> <p>・普通財産の適正管理について 境界立会いや不法占用の防止、除草・樹木剪定の実施など適正な管理に努めました。</p> <p>・公共施設アセットマネジメントについて アセットマネジメント基本方針を踏まえ、平成 27 年度に策定した「四日市市公共施設等総合管理計画」に基づき、総合会館の外壁改修工事等、施設の長寿命化に向けた予防保全工事を実施しました。</p> | | | | |

[市有財産管理費]

111,323,958 円

・市有林管理費

5,222,682 円 (その他特財 662,876 円)

・車両管理費

30,371,326 円 (その他特財 64,382 円)

<自動車損害保険>

| 附保内容 | 保険料 | 備考 |
|--------------------|-------------|------------------------|
| 自賠償保険 158 件 | 2,774,220 円 | 災害共済金収入 |
| 任意共済 377 件 (対人無制限) | 7,429,076 円 | 自動車事故 51 件 5,501,029 円 |

・公共施設 LED 化推進事業費

35,452,080 円

・普通財産管理費

2,969,140 円

・市庁舎等整備事業費 (アセットマネジメント)

37,180,020 円

総合会館外壁改修工事、総合会館ファンコイルユニット更新工事設計、

| | |
|----------------------|------------------------------------|
| 市庁舎天井崩落対策工事実施設計等 | |
| ・その他財産管理費 | 128,710 円 |
| [登記事務費] | 1,592,238 円 |
| [市庁舎等管理運営費] | 418,408,104 円 (その他特財 64,828,294 円) |
| ・市庁舎、北館、総合会館の | |
| 施設総合管理委託料 (設備、警備、清掃) | 129,240,000 円 |
| ・市庁舎、北館、総合会館の保守点検委託料 | 27,302,529 円 |
| ・市庁舎、北館、総合会館の維持修繕 | 23,346,122 円 |
| ・市庁舎、北館、総合会館の光熱水費 | 79,710,575 円 |
| ・市庁舎、北館、総合会館の電信電話料 | 24,935,360 円 |
| ・市庁舎電話設備借上料 | 7,567,344 円 |
| ・市庁舎案内業務委託料 | 4,376,160 円 |
| ・市庁舎電話交換業務委託料 | 8,532,000 円 |
| ・総合会館集会施設指定管理料 | 3,989,000 円 |
| ・本町プラザ等維持管理業務委託料 | 17,876,000 円 |
| ・本町プラザ清掃警備等業務委託料 | 27,476,497 円 |
| ・本町プラザ駐車施設指定管理料 | 1,276,364 円 |
| ・本町プラザ光熱水費 | 8,657,407 円 |
| ・建物損害共済保険料 | 13,178,445 円 |
| ・その他管理運営費 | 40,944,301 円 |

<建物損害保険>

| 附保内容 | 共済責任額 | 保険料 | 備考 |
|-------------|--------------|--------------|------------------------------|
| 建物損害共済 381件 | 10,193,658 円 | 13,178,445 円 | 災害共済金収入 建物事故 6件 926,100 円 |

<総合会館 8 階集会施設利用状況>

| 貸室名 | 第一会議室 | 第二会議室 | 第三会議室 | 第四会議室 | 第五会議室 | 和室 | 合計 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 利用件数(件) | 546 | 431 | 205 | 280 | 331 | 98 | 1,891 |
| 利用者数(人) | 4,706 | 6,602 | 4,871 | 11,428 | 5,550 | 1,557 | 34,714 |

その他経費

[一般経費] 365,173 円

目 8 企画費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 1,429,450,000 円 | 1,414,677,865 円 | 99.0% | 0 円 | 14,772,135 円 |

(政策推進課)

| 目的 | 総合的な政策を推進する | | | | |
|----|--|----|--|----|---|
| 指標 | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画第 2 次推進計画の推進 推進計画の進行管理、評価 | 目標 | <ul style="list-style-type: none"> 計画の推進 政策評価検証委員会 2 回以上開催 | 実績 | <ul style="list-style-type: none"> 推進 (進捗管理、評価検証の実施等) 政策評価検証委員会 2 回開催 (27 年度 4 回) |
| 説明 | <p>平成 26~28 年度の 3 年間の計画期間とする第 2 次推進計画について、スプリングレビュー・サマーレビューや政策会議を通じた庁内議論を進め進捗を図るとともに、平成 29 年度から平成 32 年度までを計画期間とする第 3 次推進計画を策定しました。</p> <p>また、推進計画の第三者評価検証委員会として、学識経験者・市民代表の方々に構成される政策評価検証委員会を平成 28 年度は 2 回開催し、外部の視点から平成 27 年度実施事業の評価・検</p> | | | | |

証を行い、概ね着実かつ効果的に実施されているとの評価を得ました。なお、前年度に引き続き、委員が推進計画事業の担当課職員から直接事業についての聴き取りを行う事業ヒアリングを2回にわたって行いました。これにより、各委員が事業についてより深く理解したうえで評価・検証を行うことができました。

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 市政全般にわたる政策課題の解決に向けた活動を行う | | | | |
| 指標 | 検討課題テーマ数 | 目標 | 11件以上 | 実績 | 13件 (27年度12件) |
| 説明 | <p>「市役所東側広場」において、中心市街地の活性化に資する、新図書館を含む新たな拠点施設の整備を行うための基本計画策定に向けて検討を進めました。計画策定にあたっては、専門的な知見を持つ有識者などから、多様な観点より意見聴取を行うことを目的として、「中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会」を設置し、3回開催するとともに、図書館に関する検討を行う部会として「図書館専門部会」を3回開催して、多様な観点から検討を行い、計画策定に取り組みました。</p> <p>また、「四日市市総合教育会議」を3回開催し、「四日市市教育大綱」の理念に示す姿を着実に実現するための行動計画として、特に優先して取り組むべき内容を具体的にまとめた「四日市市学力向上アクションプラン」を策定し、その進捗管理を行いました。そのほか、大矢知地区及び朝明中学校区の教育環境課題やアクションプランなどについて、教育委員会との協議を行いました。</p> <p>今年度も、職員による政策提案制度を実施し、職員からの政策提案を募集しました。応募のあった10件について審査を行い、採用となった4件の提案について、提案者を中心としたプロジェクトチームを編成し、調査研究を行いました。そのうち1件について平成29年度当初予算に計上しました。新たな観点からの施策構築に非常に有効な手法であると同時に、若手職員の政策形成能力の向上にも寄与しており、今後も取り組んでいきます。</p> <p>平成29年8月1日に市制施行120周年を迎えるにあたり、広く市民に周知するため、シンボルマークを制作して各種啓発に活用したり、市内に横断幕や懸垂幕、のぼり等を設置するとともに、缶バッジ等をイベントを通じて市民に配布したりするなど、啓発に取り組みました。</p> | | | | |

| | |
|--------------------|------------|
| 〔総合計画推進事業費〕 | 1,218,670円 |
| 〔中心市街地拠点施設整備事業費〕 | 3,818,468円 |
| 〔政策評価検証事業費〕 | 328,660円 |
| 〔市制施行120周年記念事業推進費〕 | 1,873,480円 |

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 広域的なネットワークの強化を図る | | | | |
| 指標 | ネットワークを図る団体数 | 目標 | 5団体以上 | 実績 | 5団体 (27年度5団体) |
| 説明 | <p>全国的なネットワークとして、全国施行時特例市市長会、中核市市長会に加入し、施行時特例市相互の情報交換、中核市に関する情報を収集しました。</p> <p>また、総務省より受託した「新たな広域連携促進事業」により、本市を含む北勢二市四町（四日市市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町、川越町）で形成される圏域において、各市町の連携可能性に関する基礎的な調査を行うとともに、ポテンシャルの掘り起こしや、広域連携に向けた方向性の検討を行いました。</p> <p>併せて、圏域市町の行政職員を中心に、広域連携促進に向けた考え方を共有するなど機運の醸成を図るため、広域連携促進シンポジウムを開催しました。</p> <p>さらに、東海地区内のネットワークとして、名古屋市、浜松市、岐阜市等の10市で構成する「東海都市連携協議会」に参画し、行政課題の調査研究や情報交換を行いました。</p> | | | | |

| | |
|-----------------|------------|
| 〔広域連携促進調査検討事業費〕 | 8,242,110円 |
| 〔負担金〕 | 311,000円 |

・四日市地区広域市町村圏協議会等負担金

| | | | | | |
|----|--|----|--------------------------|----|---|
| 目的 | 土地開発公社の経営健全化を図る | | | | |
| 指標 | 長期保有土地の処分面積 | 目標 | 15,448 m ² 以上 | 実績 | 15,183 m ² (27年度 1,840 m ²) |
| 説明 | <p>平成20年度から30年度までを計画期間とする第2次土地開発公社経営健全化計画に基づき、四日市市土地開発公社の健全経営を推進しました。</p> <p>平成28年度は、2件15,448 m²の処分を目標としていましたが、ハイテク工業用地（代替地）及び平成28年度処分計画以外の用地の計2件15,183 m²の処分にとどまりました。保有土地については、処分方法等について工夫を加えるなど、処分に努めます。</p> <p>一方、財産管理として保有土地の境界確定（1件79 m²）を行いました。</p> | | | | |

〔経営健全化対策弁済金〕 1,355,955,189円
 〔事務費等交付金〕 34,665,590円
 〔土地開発公社経営健全化基金積立金〕 1,931,348円（その他特財 1,931,348円）

| | | | | | |
|----|---|----|----------------------|----|--------------------|
| 目的 | 中核市移行に向けた環境整備を行う | | | | |
| 指標 | 中核市移行 | 目標 | 平成28年度中を目途に移行時期を確定する | 実績 | 平成28年度中には確定に至らなかった |
| 説明 | <p>中核市移行に際し懸案となっている産業廃棄物不適正処理事案（大矢知・平津事案、内山事案）については、「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」（産廃特措法）に基づき三重県が対策工事を実施しています。平成32年度にはこの対策工事を完了する予定であることから、本市総合計画の実施期間と併せて勘案し、平成32年度から33年度を現実的な移行時期の目途として、環境整備に取り組んでいくこととしました。</p> <p>また、オブザーバーとして参加している「中核市市長会」において、同格都市との情報交換、調査研究、地方分権の推進に向けた活動に参画するとともに、中核市移行に向け、情報収集を行いました。</p> | | | | |

〔中核市移行推進事業費〕 153,600円

その他経費

〔一般経費〕 6,179,750円（その他特財 38,782円）

目9 計算記録管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 767,007,000円 | 717,621,920円 | 93.6% | 0円 | 49,385,080円 |

●【明許繰越】

〔インターネット分離環境整備〕 123,444,432円（国庫支出金 27,200,000円）
 （市債 27,200,000円）

（IT推進課）

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 市民との接点システムの整備と安定稼動を維持する | | | | |
| 指標 | 障害等によるシステムサービス停止時間 | 目標 | 12時間以下 | 実績 | 11時間 (27年度 8.5時間) |
| 説明 | <p>施設予約システムについては、新たに三浜文化会館と橋北交流会館を追加しました。</p> <p>地理情報システム（GIS）では、システムのバージョンアップを行い、スマートフォンに対応させたほか、施設情報のメンテナンスを行い、利便性の向上を図りました。</p> <p>情報提供システム（CMS）については、システムのリニューアルを行い、ホームページのスマートフォン対応や、アクセシビリティの見直しを行い、高齢者や障害者の方々にも利用しやすいホームページを再構築しました。</p> | | | | |

今後も、市民との接点システムの十分な整備を行い、障害や保守作業によるシステムサービスの停止時間の短縮に努め、安定稼働を維持できるよう取り組みます。

| | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| [施設予約システムの運用] | 3,628,800円 |
| [地理情報システム（GIS）の安定運用] | 9,814,866円 |
| [情報提供システム（CMS）の安定運用] | 21,965,860円（その他特財 6,271,193円） |
| ・情報提供システムの運用経費 | 5,221,584円 |
| ・情報提供システムの再構築経費 | 16,744,276円 |
| [総合行政ネットワークシステム（L GWAN）接続の安定運用] | 531,360円 |
| ・総合行政ネットワークシステムの運用経費 | |
| [公的個人認証システムの安定運用] | 46,454円 |

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 窓口支援システムの安定運用の継続を図る | | | | |
| 指標 | 処理の不具合や設定誤りによる作業の中断、再処理の件数 | 目標 | 12件以下 | 実績 | 11件 (27年度12件) |
| 説明 | <p>住民情報関連システム、住民基本台帳ネットワークシステム等の窓口支援システムについて、適切な保守管理を行うとともに、マイナンバー制度の導入に伴い、平成29年7月から開始予定の自治体間の情報連携に向けたシステム整備を行い、市民の利便性の向上を図りました。</p> <p>今後も、情報連携の開始に向けて十分な事前確認と準備を行い、窓口支援システムの安定運用に努めます。</p> | | | | |

| | |
|--|-------------------------------|
| [住民情報関連システムの安定運用] | 154,641,276円（その他特財 609,829円） |
| ・基幹系システム保守・運用委託 | 90,206,551円 |
| ・オペレーション・資源管理委託 | 27,223,128円 |
| ・データ作成委託 | 37,211,597円 |
| [住民基本台帳ネットワークシステムの安定運用] | 12,542,415円 |
| ・北勢9市町（四日市市、鈴鹿市、桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町）共同による住民基本台帳ネットワークシステムの運用経費 | |
| [番号制度関連経費] | 10,590,840円（国庫支出金 7,537,000円） |
| ・マイナンバーシステム改修経費等 | 6,045,840円 |
| ・連携用中間サーバ負担金 | 4,545,000円 |
| [個別業務システムの安定運用] | 6,146,928円 |

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------------|
| 目的 | 行政内部情報システムの安定運用の継続を図る | | | | |
| 指標 | 文書の電子化率 | 目標 | 48%以上 | 実績 | 46.48% (27年度 47.72%) |
| 説明 | <p>行政内部システム（財務会計システム）でマイナンバーを利用するために、現行システムとは独立した財務会計システムを構築し、セキュリティの強化を図りました。</p> <p>文書の電子化については、IT推進員会議や文書取扱主任者会議等を通じて電子化の奨励を行ってきた結果、電子文書の取り扱いは微増しました。しかしながら、国が進めるセキュリティの強靱化対策の一環として、庁内ネットワークを基幹系と情報系に分離したため、情報系にある行政内部システムへ電子文書を取り込むことに制限が生じたため、紙媒体の取り扱いが増加し、前年度の47.72%をわずかに下回る46.48%となりました。</p> <p>今後においても、庁内ネットワークの分離の影響に対する代替案を積極的にPRするとともに、行政内部システムの安定運用の継続を図ることにより、文書の電子化を推進します。</p> | | | | |

| | |
|----------------------|----------------------------|
| [行政内部システムの安定運用と利用促進] | 39,990,996円（その他特財 67,968円） |
| ・行政内部システム運用保守経費 | 36,502,596円 |
| ・ミニ財務会計システム構築作業委託 | 3,488,400円 |
| [グループウェアの安定運用と利用促進] | 5,767,686円 |

| | |
|--------------------------|-------------|
| ・グループウェアシステム運用保守経費 | 864,000 円 |
| ・メール無害化サーバ構築作業等 | 2,435,940 円 |
| ・インターネット分離環境機器及びソフトウェア保守 | 2,402,946 円 |
| ・秘書課スケジュール管理システム保守経費 | 64,800 円 |

| | | | | | |
|----|---|----|------------|----|---------------------------|
| 目的 | 庁内情報基盤の整備・充実を図る | | | | |
| 指標 | パソコン1台当りの共有フォルダ使用容量 | 目標 | 3,200MB 以上 | 実績 | 3,246MB (27年度 3,120MB) |
| 説明 | <p>行政事務を迅速かつ効率的に遂行するための基盤となるシステム及びサービスの安定運用を維持するために、ネットワークやパソコン等の情報基盤の整備・保守、セキュリティ確保、庁内の情報共有化に取り組みました。</p> <p>共有フォルダは、行政事務文書を職員間、所属間で情報共有するための仕組みであり、共有フォルダの使用は、スムーズな情報共有、セキュリティの向上および文書の電子化推進など、様々な効果が期待されます。</p> <p>平成 28 年度においては、共有フォルダ使用容量の目標を達成しましたが、共有フォルダに不必要な重複ファイルや動画等の大容量ファイルなどのデータの増加を抑制する対策をあわせて行いました。</p> <p>今後も、データ整理に関する周知啓発を行い適切なデータ管理と共有フォルダの運用に努めるとともに、庁内情報基盤の整備と情報共有の推進に努め、セキュリティの強化を図ります。</p> | | | | |

| | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 〔全庁ネットワークの整備・保守運用〕 | 47,965,543 円 |
| 〔行政事務用パソコンの配備・保守運用〕 | 112,834,999 円 (その他特財 45,312 円) |
| ・行政事務用パソコン運用経費 (使用料、修繕費、消耗品費等) | 90,891,343 円 |
| ・サポートデスク作業委託 | 21,943,656 円 |
| 〔コンピュータ周辺機器・設備等の整備〕 | 15,039,844 円 (その他特財 8,859,568 円) |
| 〔基幹系業務システム関連運用〕 | 123,034,813 円 |
| 〔情報系業務システム関連運用〕 | 27,658,474 円 |
| 〔その他経費〕 | 1,616,334 円 |

その他経費

| | |
|--------------------|-----------|
| 〔負担金〕 | 360,000 円 |
| ・地方公共団体情報システム機構負担金 | |

目 10 地区市民センター費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 254,541,000 円 | 239,773,637 円 | 94.2% | 0 円 | 14,767,363 円 |

(市民生活課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------------|----|-------------------------------|
| 目的 | 地区市民センターの利便性を高める管理運営、整備 | | | | |
| 指標 | 利用者延べ人数 | 目標 | 460,000 人以上 | 実績 | 432,767 人 (27年度 420,168 人) |
| 説明 | <p>住民の自主的なまちづくり活動の拠点施設である地区市民センターについて、子どもや高齢者、障害のある人などさまざまな利用者の利便性を高めるため、1階和室の改修によりバリアフリー化を図ったほか、洋式トイレへの改修、老朽化した空調設備の更新など、地区住民が利用しやすい施設として環境整備、維持管理に努めました。</p> <p>また、地域の特色ある活動や取り組みに迅速に対応し、地域活動の活性化を促進するために、平成 27 年度に引き続き地区市民センターの館長の権限で執行できる予算を全 24 地区市民センターに配分し、里山等自然環境の維持保全活動、案内板やマップ作成等</p> | | | | |

による地域資源の情報発信、地域の伝統芸能の復興、世代を超えた地域交流、地域の人材育成や高齢者を支える体制づくりに向けた取り組みなど、地域課題に即応して効果的に対応する地域公益性に資するソフト事業に取り組みました。

地区市民センターの利用実績は、サークル活動での利用者の高齢化が進み、活動の継続が困難となって解散に至るケースが見受けられることなどから目標には及びませんでした。地区市民センターは、地縁団体など各種団体やサークルなどを中心に利用されており、今後も交流・情報交換の場の提供を行い、地域課題に応じた講座の充実を図るとともにセンターだより等で事業の周知に努めていきます。

| | |
|---|---------------------------------|
| 〔地区市民センター管理運営費〕 | 166,470,656円（その他特財 17,712,059円） |
| 〔公共施設アセットマネジメント事業費〕 | 19,045,908円 |
| ・空調機更新工事（塩浜、小山田地区市民センター）及び同設計（常磐、中部、楠地区市民センター） | |
| 〔地区市民センター整備事業費〕 | 24,439,320円 |
| ・川島、桜、県、河原田地区市民センター和室改修工事及び羽津、四郷地区市民センター2階トイレ洋式化工事等 | |
| 〔地域活動費〕 | 29,817,753円 |
| ・地区市民センター館長権限予算等 | |

目 11 国際化推進費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 48,892,000円 | 41,565,277円 | 85.0% | 0円 | 7,326,723円 |

（市民生活課）

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 外国人市民との共生の推進 | | | | |
| 指標 | 日本語教室・多文化共生推進事業参加者数 | 目標 | 15,000人以上 | 実績 | 13,781人 (27年度 15,292人) |
| 説明 | <p>外国人市民へのコミュニケーション支援として、行政窓口でのポルトガル語、スペイン語の通訳・翻訳対応や、行政情報等をポルトガル語で提供する生活オリエンテーションを市役所1階で行いました。また新規事業として、教育委員会と連携し、外国にルーツを持つ子どもたちが、早い時期から目標を持って学校生活を送れるよう、中学生を対象としたキャリアデザイン講座を開催しました。日本語教室・多文化共生推進事業の参加者数は、日本語教室1ヵ所が活動を休止したこともあり、目標には及びませんでした。今後、日本語教室の参加者を増やすよう、日本語学習の必要性について、外国人市民に対する一層の啓発に努めます。</p> <p>外国人市民が集住する笹川地区においては、住民により身近な場所で多文化共生推進施策を展開するため、多文化共生サロンを中心に、多文化共生教室や防災セミナー等を開催するとともに、新規事業として、若年層の外国人市民の地域づくりへの参画を促進するため、外国人中学生等を対象に地域づくりジュニアサポーター講座を開催しました。また、多文化共生モデル地区担当コーディネーターが、定期的に外国人世帯への戸別訪問を行い、外国人市民の生活実態やニーズの把握に努め、地域活動への参加や自治会への加入を促しました。</p> <p>外国人集住都市会議においては、国に対して外国人児童・生徒等への日本語教育の充実等について要望を行いました。</p> | | | | |

| | |
|-----------------------|------------------------------|
| 〔多文化共生サロン管理運営事業費〕 | 3,755,292円 |
| ・利用者数6,099人 | |
| 〔多文化共生推進事業費〕 | 7,946,520円（その他特財 7,946,520円） |
| ・外国人市民向け生活オリエンテーション事業 | 1,749,600円 |
| NPO法人ハートピア三重へ運営委託 | オリエンテーション参加者 827人 業務案内 995人 |
| ・日本語学習支援事業 | 1,791,883円 |
| ・その他共生推進事業 | 4,405,037円 |

| | |
|---------------------------|---------------------------------|
| [モデル地区共生推進事業費] | 5,704,547円 (その他特財 2,829,817円) |
| ・笹川子ども教室事業 | 2,910,430円 |
| ・地域社会の一員として豊かに暮らすための日本語教室 | 570,000円 |
| ・その他共生推進事業 | 2,224,117円 |
| [国際化事業補助金] | 14,000,000円 (その他特財 14,000,000円) |
| [外国人集住都市会議負担金] | 160,000円 |
| [国際化一般経費] | 193,952円 |
| [コミュニティ助成事業費補助金] | 1,200,000円 (その他特財 1,200,000円) |
| ・地域国際化推進助成事業 | |

(秘書課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 海外都市との交流の推進 | | | | |
| 指標 | 海外都市との交流・協力回数 | 目標 | 25回以上 | 実績 | 28回 (27年度25回) |
| 説明 | <p>天津市との交流では、環境部が主催する四日市・天津・ロングビーチの高校生による地球環境塾(8月)や環境研修生の受入れ(11月)に係る支援を行いました。また、四日市・天津経済交流センターが天津市内で開催した「四日市フェア(平成28年4月/平成29年3月)」において地場製品の展示販売等の事業が円滑に行われるよう、天津市人民政府との友好都市の窓口として連絡調整等を行いました。</p> <p>ロングビーチ市との交流では、交換学生・教師(通称:トリオ)の相互派遣事業を実施しており、平成28年度は本市からトリオを派遣し、親善大使として本市の紹介やロングビーチ市民と交流を行いました。</p> <p>また、市民文化局が本市の地域づくりに携わる人材育成の支援を目的に実施している事業の中で、ロングビーチ市で地域づくりリーダーの養成を担う職員を本市へ招き(11月)、市民を対象とした講演会の実施や本市の人材育成プログラムへの助言をしてもらう等の交流に協力しました。</p> <p>その他の交流として、政策推進課が進める戦略的姉妹都市提携の締結に向けた調整やジュニアサミットの受入れ、国体推進課が進める東京オリンピック事前キャンプ地誘致活動に対して、それぞれ支援を行いました。</p> <p>この他、市内にある企業の海外への事業展開の促進及びグローバル人材育成の支援を行うため、平成27年度に引き続き、実践的な英語教育講座を実施しました。</p> | | | | |

| | |
|----------------------|-------------------------------|
| [姉妹友好都市交流事業費] | 5,811,082円 |
| ・姉妹都市ロングビーチ市との交流事業 | 1,509,115円 |
| ・友好都市天津市との交流事業 | 2,852,581円 |
| ・その他の交流事業 | 1,449,386円 |
| [市内企業グローバル人材育成支援事業費] | 1,619,460円 (その他特財 1,619,460円) |
| [国際交流基金積立金] | 5,000円 (その他特財 5,000円) |

(政策推進課)

| | |
|---|------------|
| [国際経済交流等調査事業費] | 1,169,424円 |
| <p>中小企業が海外へ進出できる環境づくりを目的とした戦略的姉妹都市提携に向け、本市と経済交流を行う海外都市について、交流を行うメリット・デメリットを整理し、ベトナム・インドネシア・タイの候補国から経済成長著しいベトナムに絞り込みを行いました。中でも、本市と同じく港湾都市で、かつ直轄市と位置付けられているハイフォン市に着目し、協議、調整を行い、平成28年8月にハイフォン市を訪問して、経済交流を中心とした戦略的姉妹都市提携の覚書を締結しました。併せて、ハノイ市において、国の機関である計画投資省外国投資庁とも経済交流に関する覚書を締結しました。</p> | |

目 12 あさけプラザ費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|----------------|--------|-----------|
| 103,450,000 円 | 102,993,281 円 | 99.6% | 0 円 | 456,719 円 |

(あさけプラザ)

| 目的 | 利用しやすい施設運営と生涯学習の場づくり（自主事業）を充実する | | | | |
|----|---|----|-------------|----|-------------------------------|
| 指標 | 来館者数 | 目標 | 450,000 人以上 | 実績 | 494,006 人 (27年度 472,077 人) |
| | 施設利用者数 | 目標 | 320,000 人以上 | 実績 | 321,713 人 (27年度 313,360 人) |
| | 自主事業参加者数 | 目標 | 8,800 人以上 | 実績 | 7,124 人 (27年度 7,790 人) |
| 説明 | <p>あさけプラザは、生涯学習の場・機会を提供するため地域の文化団体等と協働し、自主事業の充実を図るとともに、安全・安心に利用できるよう施設や設備の適切な管理運営に取り組んでいます。</p> <p>平成 28 年度は、施設の老朽化対策として、給水管設備の更新を実施したほか、防火扉の修繕等を行い、非常時の安全対策及び長寿命化に取り組みました。また、2 階に第 2 小ホールを設置して、平成 29 年度からの供用開始に向け準備を進めたほか、ロビーへのカウンター設置・料理室の温水蛇口増設等や、計画的な修繕を行い、利便性の向上に努めました。</p> <p>自主事業では、10 分野 37 の自主事業を実施し、自主事業参加者数は昨年度より 666 人減で目標に及ばなかったものの、施設利用者の増加により、昨年度比で施設利用者数 8,353 人増、来館者 21,929 人増となり、目標を達成することができました。</p> | | | | |

| | |
|----------------------|----------------------------------|
| [あさけプラザ管理運営費（貸館事業）] | 68,043,866 円（その他特財 17,581,426 円） |
| [あさけプラザ管理運営費（図書館事業）] | 1,782,331 円 |
| [あさけプラザ整備事業費（貸館事業）] | 29,489,724 円 |
| ・給水管更新工事 | 25,617,600 円 |
| [あさけプラザ図書資料整備費] | 2,377,360 円 |
| [あさけプラザ運営協議会負担金] | 1,300,000 円 |

○有料施設利用状況（利用者数 146,099 人）

| 施設名 | 利用可能日数 (日) | 利用可能 コマ数 A | 利用コマ数 B | 利用率 B/A(%) | 利用件数 (件) |
|---------------|---------------|---------------|------------|---------------|-------------|
| ホール | 270 | 810 | 294 | 36.3 | 166 |
| 体育館 | 302 | 904 | 822 | 90.9 | 1,035 |
| 小ホール | 300 | 900 | 704 | 78.2 | 587 |
| 第 1 展示会議室 | 301 | 901 | 689 | 76.5 | 606 |
| 第 2 展示会議室 | 300 | 899 | 541 | 60.2 | 403 |
| 第 3 展示会議室 | 300 | 899 | 651 | 72.4 | 545 |
| 第 4 展示会議室 | 300 | 899 | 637 | 70.9 | 421 |
| 第 5 展示会議室 | 299 | 897 | 673 | 75.0 | 566 |
| 料理室 | 266 | 796 | 419 | 52.6 | 253 |
| 美術室 | 297 | 889 | 622 | 70.0 | 502 |
| 音楽室 | 299 | 897 | 663 | 73.9 | 615 |
| 陶芸室 | 292 | 876 | 352 | 40.2 | 166 |
| 茶室 | 299 | 897 | 333 | 37.1 | 257 |
| 学習室(夜間のみ) | 300 | 300 | 128 | 42.7 | 128 |
| 第 1 集会室(夜間のみ) | 301 | 301 | 63 | 20.9 | 63 |
| 第 2 集会室(夜間のみ) | 300 | 300 | 36 | 12.0 | 36 |

※学習室の午前午後は図書館学習室として無料開放
 ※集会室の午前午後は老人福祉施設として無料開放

○無料施設利用状況

・老人施設（開館日数 集会室 302 日、浴室 268 日）

| 区分 | 集会室 | 浴室 | 計 |
|---------|--------|--------|--------|
| 利用者数(人) | 15,790 | 22,746 | 38,536 |

・屋外ステージ

| 開催回数 | 利用者数(人) |
|------|---------|
| 11 | 792 |

・保健衛生施設

| 区分 | 機能回復訓練 | 成人健康相談 | その他 | 計 |
|---------|--------|--------|-------|--------|
| 開催回数 | 302 | 83 | 52 | 437 |
| 利用者数(人) | 14,132 | 3,295 | 2,811 | 20,238 |

・高齢者講座（健康体操）

| 開催回数 | 利用者数(人) |
|------|---------|
| 12 | 364 |

・学習室

| 開館日数 | 利用者数(人) |
|------|---------|
| 297 | 4,982 |

・運動広場

| 開催回数 | 利用者数(人) |
|------|---------|
| 53 | 2,311 |

・娯楽談話室

| 開催回数 | 利用者数(人) |
|------|---------|
| 8 | 179 |

・図書館（開館日数 295 日）

| 利用者数(人) | 登録者数(人) | 貸出者数(人) | 貸出冊数 | 相談件数 | 蔵書冊数 |
|---------|---------|---------|---------|------|--------|
| 108,212 | 782 | 43,840 | 166,750 | 843 | 60,083 |

目 13 計量消費経済費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 10,010,000 円 | 8,868,482 円 | 88.6% | 0 円 | 1,141,518 円 |

(市民生活課)

| 目的 | 市民が安心して、安全で豊かな消費生活を営むことができる | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 指標 | 消費生活相談対応充実度 | 目標 | 99.0%以上 | 実績 | 98.6% (27年度 97.1%) |
| 説明 | <p>消費生活に関する相談件数については、平成 27 年度に比べて 128 件 (7.8%) の減少となっています(平成 27 年度 1,649 件 28 年度 1,521 件)。</p> <p>平成 28 年度の商品・役務別相談件数については、1 位は 116 件でデジタルコンテンツの主に架空請求に関する相談で、2 位は 102 件でアダルト情報サイトに関する相談でした。</p> <p>充実度（助言・自主交渉＋その他情報提供＋あっせん解決＋他機関紹介／相談件数）は、平成 27 年度に比べ 1.5%増加し、積極的に助言や情報提供・あっせん等を行うとともに、弁護士相談につなげるなど、関係機関と連携を図って対応しました。今後も、市民が安全・安心に消費生活を営めるように、消費相談の充実に努めます。</p> <p>また、市民が自立した消費者となるように、消費者講座(5 回)・みんなの消費生活展の開催、市広報等を通じた情報提供のほか、悪質商法をテーマにした地域での出前講座・ワンポイント講座 (31 回) の開催などの啓発活動を行いました。</p> <p>適正な計量の確保のため、平成 28 年度は 2,009 台 (南部地区) の計量器の定期検査等を実施しました。</p> | | | | |

〔消費生活相談事業費〕

7,257,477 円 (県支出金 2,907,237 円)

〔計量啓発事業費〕

1,263,005 円 (その他特財 283,140 円)

〔消費者団体事業費補助金〕

320,000 円

〔負担金〕

28,000 円

・三重県計量協会負担金等

目 14 防災対策費

| | | | | |
|---------------|---------------|------------|---------------|-------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 678,494,000 円 | 382,397,560 円 | 56.4% | 291,700,000 円 | 4,396,440 円 |

| | | | | | |
|-----|--|-----|--------|-----|----------------------|
| 目 的 | 自助・共助・公助の連携により地域の防災力を高める | | | | |
| 指 標 | マニュアルに基づき、地区防災組織が実施する防災訓練の実施回数 | 目 標 | 58 回以上 | 実 績 | 58 回 (27 年度 58 回) |
| 説 明 | <p>自助・共助の取組促進として、土砂災害警戒区域が指定された桜地区を対象に土砂災害ハザードマップを作成し、桜地区住民に全戸配布しました。平成 28 年 2 月に作成・配布した男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の手引きを元に、地区防災組織(29 組織)が実施する訓練やマニュアル見直し等の支援を行ったほか、引き続き、防災大学やステップアップ講座、防災・減災女性セミナーやファミリー防災講座を開催し、人材の育成・発掘を図りました。新たな取り組みとして、防災大学等の修了生が防災士の資格を取得するための支援を行い 28 名が資格取得しました。なお、市民総ぐるみ防災訓練(9 月 11 日 河原田地区)は、緊急貯水槽の水を使用した炊き出し訓練、住民による支援物資受渡訓練など新たな要素を取り入れて実施しました。また、津波避難訓練(11 月 5 日)も今年度初めて実施、さらに、防災の取り組みの市民への浸透度を把握し、今後の参考とするため、各地区自治会組長を対象とした防災意識アンケート調査を実施しました。</p> <p>施設等の整備としては、各地区の指定避難所へ迅速に救援物資を配送するため、荷捌き機能を有する南部拠点防災倉庫を建設しました。また、備蓄強化のため、非常食調理用の水、応急給水拠点での給水に使用できる飲料水用ウォータータンクを購入し、市内 118 カ所の指定避難所に配備しました。防災井戸(1カ所)、マンホールトイレ(1カ所)も、引き続き整備しました。</p> <p>今後も、自助・共助・公助の連携による地域防災力の向上に努めていきます。</p> | | | | |

| | |
|---|------------------------------|
| [委員報酬] | 79,000 円 |
| ・ 防災会議委員 | 23,700 円 |
| ・ 国民保護協議会委員 | 55,300 円 |
| [防災対策事業費] | 8,888,896 円 |
| ・ 防災啓発事業費 | 6,995,696 円 (県支出金 312,000 円) |
| コミュニティFMによる防災啓発番組の制作・放送、防災マップ(風水害・土砂災害)印刷 | |
| ・ 防災訓練事業費 | 1,893,200 円 |
| 総合防災訓練の実施 | |
| [防災システム事業費] | 39,121,017 円 |
| ・ 防災機器維持管理経費 | 32,372,097 円 |
| 防災行政無線・モーターサイレン・テレメーター保守点検、総合防災システム保守点検 | |
| ・ 災害情報提供事業費 | 6,748,920 円 |
| 災害時緊急情報提供システム保守管理、防災気象情報提供 | |
| [地震対策事業費] | 13,305,111 円 |
| ・ 防災倉庫管理費 | |
| 防災倉庫の備品購入・維持管理 | |
| [地域防災力向上支援事業費] | 29,414,114 円 |
| ・ 自主防災組織活性化事業費 | 28,283,000 円 |
| 地区防災組織結成団体活動補助 29 団体 | |
| ・ 防災減災人材養成事業費 | 1,131,114 円 |
| 防災大学(修了 30 人)、ステップアップ講座(修了 5 人)、防災・減災女性セミナー(修了 8 人)、ファミリー防災講座(修了 16 組 36 人) | |
| [防災システム整備事業費] | 453,384 円 |
| ・ 防災システム整備事業費 | |
| 楠地区市民センター用簡易無線機購入 | |

| | | | |
|--------------------------------------|---------------|--------------------|---------------------|
| 〔防災施設等整備事業費〕 | 151,661,806 円 | | |
| ・ 防災倉庫整備事業費 | 145,517,532 円 | (県支出金 1,104,000 円) | (市 債 103,600,000 円) |
| 南部拠点防災倉庫の建設工事 | | | |
| ・ 避難施設等整備事業費 | 4,820,688 円 | (県支出金 1,100,000 円) | |
| 防災井戸の整備 1 箇所、マンホールトイレの整備 1 箇所 | | | |
| ・ 総合防災拠点整備事業費 | 1,323,586 円 | | |
| 総合防災拠点整備事業に伴う用地実測図作成業務委託、公共嘱託登記等業務委託 | | | |

| | | | | | |
|-----|--|-----|---------|-----|------------------------|
| 目 的 | 住宅及び建築物の耐震化を促進する | | | | |
| 指 標 | 一般住宅耐震化率 | 目 標 | 87.1%以上 | 実 績 | 87.1% (27 年度 85.1%) |
| 説 明 | 地震の際の住宅・建築物の倒壊等による被害の軽減を図るため、引き続き、昭和 56 年以前に建築された一般木造住宅にかかる耐震診断(431 件)、耐震補強計画策定(31 件)、除却(193 件)・補強工事(20 件)、耐震シェルター設置(2 件)、今年度より、避難路沿道建築物の耐震診断(2 件)に対し、補助を行いました。また、ひとり暮らし高齢者宅等の家具固定(20 件)を実施しました。今後も、住宅の耐震化や家具固定による減災活動の促進を図っていきます。 | | | | |

| | | |
|----------------------|---------------|---------------------|
| 〔住宅等耐震化促進事業費〕 | 131,151,920 円 | (県支出金 81,717,340 円) |
| ・ 耐震化促進事業費 | 128,021,920 円 | |
| ・ 耐震化促進事業費(緊急危険家屋対策) | 3,130,000 円 | |
| 危険家屋除却 7 戸 | | |

その他経費

| | |
|---------------------------------|-------------|
| 〔負担金〕 | 1,091,362 円 |
| ・ 防災対策負担金 | |
| 三重県防災行政無線運営協議会、防火防災訓練災害補償等共済掛金等 | |
| 〔一般経費〕 | 7,230,950 円 |
| ・ 危機管理一般経費 | |
| 衛星携帯電話使用料等 | |

目 15 人権推進費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 115,418,000 円 | 107,134,260 円 | 92.8% | 0 円 | 8,283,740 円 |

●【明許繰越】

| | |
|-----------------------|-------------|
| 〔人権活動拠点施設経費〕 | 5,269,320 円 |
| ・ 人権プラザ赤堀トイレバリアフリー化工事 | |

| | | | | | |
|----|--|-----|-----------|-----|----------------------------|
| 目的 | 市民への人権啓発を推進する | | | | |
| 指標 | 「じんけんフェスタ 2016」の入場者数 | 目 標 | 4,800 人以上 | 実 績 | 4,552 人 (27 年度 4,603 人) |
| 説明 | 人権に対する理解と意識の高揚を図るため、人権週間に併せ、12 月 4 日に「じんけんフェスタ 2016」を四日市市文化会館にて開催しました。 人権に関する市民団体に加え、市内企業との連携に努めながら事業を行うことで、参加者に対し、人権啓発を行うことができました。今後も広く市民に対し、人権について考える機会として「じんけんフェスタ」を行っていきます。 | | | | |

| | | | |
|------------------------------|-------------|--------|--------------|
| 〔人権・同和施策経費〕 | 3,303,055 円 | | |
| ・委員報酬（同和行政推進審議会） | 126,400 円 | | |
| ・人権・同和施策推進経費 | 259,490 円 | | |
| ・四日市人権擁護委員協議会補助金 | 468,000 円 | | |
| ・三重県人権同和行政連絡協議会等負担金 | 335,000 円 | | |
| ・一般経費 | 2,114,165 円 | | |
| 〔人権啓発経費〕 | 8,623,348 円 | （県支出金 | 1,118,500 円） |
| ・市民人権活動支援事業費補助金 | 964,466 円 | | |
| 全国規模の人権研修会等への参加経費補助等 | | | |
| ・人権教育・啓発推進プログラム事業費 | 680,592 円 | （県支出金 | 229,000 円） |
| 各人権課題別及び対象者別の学習教材の作成 | | | |
| ・人権フェスタ事業費 | 2,671,487 円 | （県支出金 | 567,000 円） |
| | | （その他特財 | 2,104,487 円） |
| ・人権相談体制強化事業費 | 190,000 円 | | |
| 相談員等の資質向上に向けた研修及び学習会等 | | | |
| ・人権啓発リーダー養成事業費 | 1,435,623 円 | （県支出金 | 322,500 円） |
| よっかいち人権大学あすてっふ及びステップアップ講座の開催 | | | |
| ・人権センター一般事業費 | 950,524 円 | | |
| ・人権センター一般経費 | 1,730,656 円 | | |

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|------------------------------|
| 目的 | 市内の各地域での人権教育・啓発の自主的活動の支援・充実を図る | | | | |
| 指標 | 地区人権・同和教育推進協議会の活動人員数 | 目標 | 18,000 人以上 | 実績 | 17,185 人 (27 年度 17,679 人) |
| 説明 | <p>地域の人権啓発活動を行う各地区人権・同和教育推進協議会等へ業務委託を行い、自主的な運営の促進を図るとともに、啓発事業に係る相談・情報提供等の支援を行いました。</p> <p>地区懇談会、研修・学習会、講座、イベント等、地域の実情に応じた活動が行われ、地域の人権啓発活動を支援出来ました。</p> | | | | |

〔人権・同和教育推進業務委託〕 8,838,000 円
各地区人権・同和教育推進協議会等（全 25 団体）及び各ブロックにおける活動を委託

| | | | | | |
|----|---|----|------------|----|------------------------------|
| 目的 | 隣保事業の推進を図る | | | | |
| 指標 | 隣保事業への参加者数 | 目標 | 24,500 人以上 | 実績 | 24,563 人 (27 年度 23,667 人) |
| 説明 | <p>隣保事業として人権プラザにおいて、相談、啓発・広報、地域福祉、教養・文化、地域交流等の事業に取り組みました。</p> <p>平成 28 年度は一部施設の改修を行い、施設の利便性向上に努めました。</p> <p>今後も人権が尊重される社会の実現に向け、隣保事業への参加者数の増加に努めます。</p> | | | | |

〔人権プラザ経費〕 31,123,398 円

- ・人権プラザ就業支援事業費 1,506,184 円
- ・人権プラザ一般事業費 11,356,866 円
- 人権のまちづくり事業費、各種教養講座等
- ・人権プラザ一般経費 18,260,348 円

〔人権活動拠点施設経費〕 49,977,139 円（県支出金 11,745,000 円）

- ・人権活動拠点整備事業費
- 寺方児童集会所改修工事、小牧西児童集会所改修工事等

目 16 男女共同参画費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 16,548,000 円 | 13,415,651 円 | 81.1% | 0 円 | 3,132,349 円 |

(男女共同参画課)

| | | | | | |
|----|---|----|---------|----|------------------------|
| 目的 | あらゆる分野での男女共同参画を積極的に推進する | | | | |
| 指標 | 女性人材リスト 登録者数 | 目標 | 150 人以上 | 実績 | 155 人 (27 年度 146 人) |
| 説明 | <p>「男女共同参画プランよっかいち 2015～2020」の平成 27 年度における評価等を行うため、男女共同参画審議会を 3 回開催しました。</p> <p>各種審議会等における女性委員の登用を促進するため、人材リストの更新を行い登録者数を増やすとともに、登録者及び登録グループを対象に「育児も仕事も後悔したくないから！」をテーマに研修会を開催し、登録者の意識向上を図りました。</p> <p>また、ワーク・ライフ・バランスについては、新たな試みとして、各企業が抱えているワーク・ライフ・バランスに関する情報や取り組む上での諸課題を共有し、専門家の助言を得ながら、各企業の取り組みの充実強化を促すことを目的に、企業と市との情報共有・交換の会議を 2 回開催しました。また、企業向けの出前講座を行い、ワーク・ライフ・バランス力の向上に取り組みました。</p> | | | | |

| | |
|---------------------|-------------|
| 〔男女共同参画審議会委員報酬〕 | 221,200 円 |
| 〔男女共同参画推進事業費〕 | 48,044 円 |
| 〔ワーク・ライフ・バランス推進事業費〕 | 1,515,179 円 |
| 〔男女共同参画課一般経費〕 | 1,060,120 円 |

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|------------------------|
| 目的 | 市民と協働し、市民の男女共同参画意識を醸成する | | | | |
| 指標 | 男女平等観を育てる 講座等への参加人数 | 目標 | 700 人以上 | 実績 | 521 人 (27 年度 529 人) |
| 説明 | <p>男女共同参画社会の実現に向けて、学習や啓発の機会を設ける目的で「さんかくカレッジ」を 12 企画 (28 講座) 開催し、このうち 5 企画 (18 講座) を市民グループによる企画・運営で実施しました。平成 28 年度は、平成 27 年度に比べ、市民企画講座を 1 企画増やしたり、昼間参加しづらい人向けに夜間開催の講座を設けるなどしたものの、目標には届きませんでした。</p> <p>また、四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」開設 20 周年を記念してシンポジウムを開催 (参加者 67 人) するとともに、市民と行政が協働して企画運営する「はもりあフェスタ」 (参加者 1,122 人) のエンディングにおいて、「はもりあ四日市のこれまでの 20 年とこれからの未来について」をテーマに、市民グループとディスカッションを開催するなど、参加された市民に本市における男女共同参画に関するこれまでの歩みと、これからも市民とともにどのように取り組んでいく必要があるかについて、周知啓発に取り組みました。</p> <p>男女共同参画の視点を取り入れた地域づくりについては、5 地区で開催された男女共同参画の視点を取り入れた防災とまちづくりの講座を支援し、164 人の参加を得ることができました。</p> <p>平成 19 年度から三重県男女共同参画センターとともに連携して実施している映画祭は、賛同する市町の 22 会場で開催されるなど、県内での連携を進めました。</p> | | | | |

| | | |
|-------------|-------------|---------------------------------------|
| 〔学習機会提供事業費〕 | 2,011,184 円 | 〔 県支出金 268,500 円 その他特財 192,300 円 〕 |
| 〔情報収集提供事業費〕 | 912,446 円 | |
| 〔センター管理運営費〕 | 1,930,646 円 | 〔その他特財 79,900 円〕 |

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 女性がその人らしく生きることを支援する | | | | |
| 指標 | 相談員のスーパービジョン回数 | 目標 | 72回以上 | 実績 | 72回 (27年度 60回) |
| 説明 | <p>平成 28 年度の女性相談は 3,752 件 (内DV相談件数 2,233 件) で、そのうち 13 件を一時保護し、1 件の保護命令申し立ての支援を行いました。また、相談員の資質向上及びメンタルケアのため 72 回のスーパービジョン研修を実施したほか、弁護士、臨床心理士とアドバイザー契約を締結して随時専門家との相談体制を整えるなど、法律、心理面に関する相談へのフォローを充実しました。</p> <p>男女平等 (デートDV予防) 教育出前講座については、DVの被害者や加害者にならないよう、若い世代から、お互いの気持ちを尊重し合える対等な関係を築くことの大切さを理解してもらうため、市教育委員会にも働きかけながら、人権擁護委員等と連携して、保育園・幼稚園 15 園、小学校 11 校、中学校 6 校、高校 2 校、大学 1 校、その他 6 カ所で出前講座を実施しました。</p> | | | | |

[女性相談事業費] 2,277,076 円 (国庫支出金 85,000 円)
 [配偶者暴力防止対策事業費] 3,439,756 円

目 17 コミュニティ活動費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 321,440,000 円 | 314,847,502 円 | 97.9% | 0 円 | 6,592,498 円 |

(市民生活課)

| | | | | | |
|----|--|----|------|----|-----------------|
| 目的 | 地域での活動経験や民間企業での就業経験等を生かした市民主体の地域社会づくりを推進する | | | | |
| 指標 | 地域マネージャー会議 (研修) の開催回数 | 目標 | 9回以上 | 実績 | 9回 (27年度 9回) |
| 説明 | <p>様々な地域活動の経験や民間企業等での就業経験を有する者を地域マネージャーとして任用し、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、地域団体の自主的、自立的な活動が行われるよう指導・助言等の運営支援や、地域課題の解決に向けて地域と連携し、各地区の地域社会づくりの推進を支援しました。</p> <p>また、地域マネージャー会議を開催し、地域社会づくりに関する研修や情報交換を実施するなど、地域課題に取り組むための技能向上に努めました。</p> | | | | |

[地区市民センター住民運営推進事業費] 67,291,662 円

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 市民主体の地域社会づくりの支援を行う | | | | |
| 指標 | 地域社会づくり総合事業費補助金による事業数 | 目標 | 312件以上 | 実績 | 334件 (27年度 338件) |
| 説明 | <p>地域社会づくり総合事業費補助金については、市民自らの手によるまちづくりを推進するため、各地区の地域社会づくりの推進母体となる団体事務局の運営費、及び地域が自主的に取り組むさまざまな事業に対し、平成 28 年度も引き続き支援を行いつつ、各地域に出向き、自主事業について、現状ニーズに合わせた見直しや地域の特色を活かした効果的な実施について地域と意見交換を行いました。</p> <p>自治会の集会所は、自治会活動等における拠点の施設であり、また、災害時には避難所としての役割を担うことから、平成 28 年度は、新築 2 件および外壁塗装など 23 件の修繕に対して補助金の交付を行いました。</p> | | | | |

[地域社会づくり総合事業費補助金] 81,106,340 円
 [集会所建設費補助金] 43,452,000 円
 [コミュニティ助成事業費補助金] 6,700,000 円 (その他特財 6,700,000 円)
 ・一般コミュニティ助成事業

(市民協働安全課)

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|----------------------------|
| 目的 | 地域の防犯・安全の充実を図る | | | | |
| 指標 | 防犯外灯一灯当たりの世帯数 | 目標 | 4.48 世帯以下 | 実績 | 4.48 世帯 (27 年度 4.48 世帯) |
| 説明 | <p>安全なまちづくりに向けた地域住民の取り組みへの支援として、自治会における防犯外灯の設置や管理にかかる費用に対して、(公財)四日市市文化まちづくり財団を通じて補助を行い、地域における防犯面、安全面の充実に努めました。</p> <p>特に、環境負荷の低減、地域住民が負担する維持管理に係る費用や手間の軽減を図るため、引き続き、補助対象をLED防犯外灯に限定し、LED化の促進に努めました。これらの取り組みの成果として、平成28年度は、4,196灯がLED灯へ更新されました。</p> | | | | |

| | |
|------------------------|---------------|
| [防犯外灯新設維持費補助金] | 112,897,500 円 |
| ・防犯外灯設置等補助 (4,209 灯分) | 55,037,700 円 |
| ・防犯外灯電灯料補助 (29,830 灯分) | 55,617,800 円 |
| ・管理事務費 | 2,242,000 円 |

(文化振興課)

| | |
|------------------|---------------------------------|
| [コミュニティ助成事業費補助金] | 3,400,000 円 (その他特財 3,400,000 円) |
| ・地域の芸術環境づくり助成事業 | |

目 18 市民活動費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 35,520,000 円 | 31,494,985 円 | 88.7% | 0 円 | 4,025,015 円 |

(市民協働安全課)

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|---------------------------|
| 目的 | 公益的な活動を行うNPO、市民活動団体への支援などにより、地域社会づくりの推進を図る | | | | |
| 指標 | 市民活動団体数 | 目標 | 193 団体以上 | 実績 | 192 団体 (27 年度 193 団体) |
| | なやプラザ利用人数 | | 55,000 人以上 | | 55,934 人 (27 年度 54,336 人) |
| 説明 | <p>平成28年度から32年度を計画期間とする市民協働促進計画に基づき、仕事で培った経験や専門的知識を持ち地域貢献したいと考える社会人と、運営の支援を受けたい市民活動団体等を仲介するプロボノ活動支援、市民協働コーディネーターの養成など担い手育成事業、市民協働ポータルサイトの開設、コミュニティビジネス創造塾などの事業を実施しました。また、平成27年度に引き続き、市民活動の活性化等に寄与するため、全市的な観点から、地域の魅力等の情報発信について市民活動団体からの提案を募り、映像制作、魅力案内、世代間交流、ホームページ活用の4つの内容について、市民活動団体と市との協働による事業を実施しました。</p> <p>また、まちづくり人材マッチング事業では、地域で暮らす多様な技能を持つ人材とまちづくりに向けた地域ニーズとのマッチングの促進を図るため、ララスクエア四日市4階に相談コーナーを設け、マッチング件数は90件、人数は566人となりました。</p> <p>さらに、米国ロングビーチ市のコミュニティリーダーシッププログラムの手法を取り入れた全市版「地域づくりマイスター養成講座」(平成28年7月~12月、9回連続講座)を平成27年度に引き続き、四日市市自治会連合会等と連携して開催するとともに、地域版「地域づくりマイスター養成講座」(2回連続講座)を5地区市民センターで開催し、地域活動を担う人材の発掘・育成に向けて取り組みました。また、平成28年11月には、ロングビーチ市職員のマーガレット・マデン氏を招き、公開講座として「まちを元気にする人づくり講演会」を実施し、101人の参加者がありました。</p> <p>市民活動団体の活動拠点である「なやプラザ」については、指定管理者による管理運営を引き続き行うとともに、空調更新工事に向けた設計を行いました。</p> | | | | |

| | |
|------------------------|-------------|
| 〔市民協働促進事業費〕 | 2,148,162 円 |
| ・プロボノ活動支援事業 | 844,124 円 |
| ・担い手育成・連携強化等に関する協働事業 | 613,600 円 |
| ・市民協働ポータルサイト制作業務委託 | 270,000 円 |
| ・コミュニティビジネス創造塾 | 202,098 円 |
| 〔地域の魅力等の情報発信に関する協働事業費〕 | 1,481,740 円 |
| 〔まちづくり人材育成支援事業費〕 | 2,300,177 円 |
| ・まちづくり人材マッチング事業 | 1,523,900 円 |
| ・地域づくりマイスター養成事業 | 776,277 円 |
| 〔市民活動センター運営費〕 | 7,418,401 円 |
| ・なやプラザ空調設備設計業務委託 | 491,400 円 |

| | | | | | |
|----|---|----|---------|----|------------------------|
| 目的 | 安全なまちづくりに向けた市民活動を支援する | | | | |
| 指標 | 四日市市地域防犯協議会参加団体数 | 目標 | 30 団体以上 | 実績 | 33 団体 (27 年度 30 団体) |
| 説明 | <p>安全なまちづくりに向けた住民による自主防犯活動を推進するため、31 団体に対して防犯活動に必要な防犯用具等の購入にかかる支援を行うとともに、自主防犯活動団体と 3 警察署及び市で構成する「四日市市地域防犯協議会」を隔月 1 回、年間 7 回継続的に開催し、防犯に関する関係機関との情報共有や団体間のネットワークづくりの促進に努めました。さらに、上記協議会へ全庁的な自主防犯活動の普及啓発を委託し、市内 2 地区において、これから防犯活動を始めようとする団体の調査等を実施するとともに、「自分たちのまちは自分たちで守る！」と題した講演会の開催や、消費生活、防災関連のイベントにおいて、自主防犯活動のブース出展を行うなど、広く市民向けに自主防犯意識の啓発に努めました。</p> <p>また、児童・生徒の安全確保のため、関連する部署（保育幼稚園課、道路管理課、青少年育成室、指導課）との連携が不可欠であることから、連絡会議を開催し、情報共有を図りました。加えて、犯罪被害者支援に向けた取り組みとして、犯罪被害者家族、支援に携わる専門家を招き、平成 29 年 3 月に講演会を開催しました。</p> <p>さらに、市民による自主防犯活動等を補完するため、自治会などの地域団体が、犯罪の防止または抑制を目的として公共の場所に向けて新規に設置する防犯カメラについて、21 団体から申請のあった 50 台に補助を行いました。また、市が設置する防犯カメラについては、犯罪発生の可能性の高い駅前広場等とし、近鉄塩浜駅西口に 1 台を設置し運用を開始しました。</p> <p>一方、西新地、諏訪栄町等の区域においては、平成 28 年 7 月に施行した「客引き行為等防止に関する条例」に基づき、警察 OB で構成された客引き行為等適正化指導員による巡視活動を実施し、いわゆるキャバクラやホストクラブの誘引や客待ち、異性による通常マッサージの客引きや客待ちに対する指導を実施しました。</p> <p>加えて、地域住民、四日市南警察署と定期的にパトロールするとともに、平成 29 年 1 月には名古屋入国管理局、四日市南警察署とともに合同で条例の啓発キャンペーンを行うなど、市民の生活の安全と地域の平穏の保持に努めました。</p> | | | | |

| | |
|-------------------|--------------|
| 〔地域防犯活動推進事業費〕 | 3,149,057 円 |
| ・補助 (31 団体) | 2,650,227 円 |
| ・啓発委託 | 498,830 円 |
| 〔防犯カメラ設置事業補助金〕 | 13,047,000 円 |
| 〔安全なまちづくり推進事業費〕 | 886,520 円 |
| ・近鉄塩浜駅西口防犯カメラ設置工事 | 828,360 円 |
| ・犯罪被害者支援講演会開催経費 | 28,000 円 |
| 〔繁華街等防犯対策活動推進事業費〕 | 817,050 円 |

目 19 文化振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 1,099,722,000 円 | 1,078,673,809 円 | 98.1% | 0 円 | 21,048,191 円 |

(文化振興課)

| 目的 | 芸術・文化活動の場を提供する | | | | |
|----|---|----|---------|----|------------------------|
| 指標 | 文化会館施設平均利用率 (1 日を 3 区分した場合の利用率) | 目標 | 70.0%以上 | 実績 | 60.7% (27 年度 62.8%) |
| 説明 | <p>本市の文化振興の拠点施設である文化会館と茶室については、(公財)四日市市文化まちづくり財団が指定管理者として管理運営を行いました。同財団がこれまでに蓄積した管理運営のノウハウや市との密接な連携関係を生かし、文化を担う人材の育成・支援を始めとした事業の充実を図りました。</p> <p>文化会館については、2 月から実施した消防・防災設備更新工事の影響により、施設平均利用率は前年度実績を下回ったものの、指定管理事業においては、市民との協働により「第 5 回四日市 JAZZ FESTIVAL」を開催し、プロ・アマ交えた 108 組の出演者が演奏を繰り広げるとともに、5 周年を記念した特別公演を行うなどまちを音楽で彩り、にぎわい創出に寄与することができました。さらに 3 年ぶりに 10 回目となる四日市市民オペラ「蝶々夫人」を開催し、ソリストを務める声楽家をはじめ、市民合唱団、四日市交響楽団らが一体となって上演しました。</p> <p>茶室泗翠庵については、四日市茶道教授連盟と連携して、文化の日茶会や無料呈茶等の茶道体験教室を開催したほか、広間を活用した特別事業として調理技能展を開催しました。立礼席では、8 月と 2 月には、現代萬古作家の作品で呈茶を行いました。</p> <p>また、施設の効率的な補修と長寿命化を目的とする公共施設アセットマネジメント事業として、文化会館の展示棟収蔵庫の空調設備更新工事を実施するとともに、平成 29 年度から予定している天井崩落対策等工事の実施設計等を行いました。さらに文化会館施設整備事業として、老朽化した第 1 ホールの音響調整卓等の更新や、自動火災報知設備の更新工事等を行いました。</p> <p>旧三浜小学校跡については、芸術・文化活動における練習・発表の場や、生涯学習の場及び地域の地域活動施設などを併せ持った施設として整備を行い、三浜文化会館として、平成 28 年 11 月に開館を記念した式典と行事を行いました。その後、12 月 1 日から供用を開始し、3 月には全館イベントとして「こどもとおとなのアートまつり」を開催し、創作体験教室や文化活動団体による公開練習や発表などを行い、施設の周知や利用促進を図りました。その結果、三浜文化会館の平成 28 年度の利用者数は 19,761 人、利用登録団体数は 169 団体となりました。</p> | | | | |

| | | | |
|----------------------------|---------------|--------|----------------|
| [施設管理運営費] | 279,461,232 円 | | |
| ・文化会館、茶室 | 263,133,000 円 | (その他特財 | 2,083,812 円) |
| 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団への指定管理料 | | | |
| ・一般経費 | 16,328,232 円 | | |
| [公共施設アセットマネジメント事業費] | 56,151,180 円 | | |
| ・文化会館天井崩落対策工事实施設計業務委託等 | 51,500,700 円 | | |
| ・文化会館展示棟空調設備更新工事 | 4,650,480 円 | | |
| [文化会館等施設整備事業費] | 36,277,200 円 | | |
| ・消防・防災設備更新工事等 | 20,053,440 円 | | |
| ・音響調整卓等機器更新 | 16,038,000 円 | | |
| ・泗翠庵修繕工事 | 185,760 円 | | |
| [三浜文化会館整備事業費] | 655,612,733 円 | | |
| ・三浜文化会館整備工事等 | 609,897,680 円 | (市 債 | 471,200,000 円) |
| ・工事監理業務委託 | 2,484,000 円 | | |
| ・備品購入費 | 33,702,753 円 | (県支出金 | 10,036,116 円) |
| ・誘導看板設置工事等 | 7,758,720 円 | | |
| ・大気汚染監視測定機器移設等 | 1,769,580 円 | | |
| [三浜文化会館管理運営費] | 24,301,614 円 | (その他特財 | 1,507,194 円) |

○文化会館施設利用状況

| 施設名 | 利用可能日数 (日) | 利用可能コマ数 A | 利用コマ数 B | 利用率 B/A (%) | 利用件数 (件) |
|----------|---------------|--------------|------------|----------------|-------------|
| 第1ホール | 283 | 849 | 558 | 65.7 | 167 |
| 第2ホール | 291 | 873 | 606 | 69.4 | 228 |
| 第3ホール | 316 | 948 | 585 | 61.7 | 361 |
| 第4ホール | 308 | 2,772 | 1,594 | 57.5 | 378 |
| 第1展示室 | 298 | 1,788 | 1,021 | 57.1 | 92 |
| 第3展示室 | 295 | 885 | 617 | 69.7 | 88 |
| 第4展示室 | 314 | 942 | 515 | 54.7 | 74 |
| 第1会議室 | 308 | 924 | 330 | 35.7 | 204 |
| 第2会議室 | 315 | 945 | 621 | 65.7 | 496 |
| 第3会議室 | 315 | 945 | 618 | 65.4 | 437 |
| 和室 | 316 | 1,896 | 722 | 38.1 | 350 |
| 第1リハーサル室 | 317 | 951 | 681 | 71.6 | 445 |
| 第2リハーサル室 | 315 | 945 | 775 | 82.0 | 580 |
| 第1練習室 | 311 | 933 | 536 | 57.4 | 328 |
| 第2練習室 | 314 | 942 | 715 | 75.9 | 522 |
| 第3練習室 | 314 | 942 | 731 | 77.6 | 531 |

○茶室「泗翠庵」施設利用状況

| 施設名 | 利用可能日数 (日) | 利用可能コマ数 A | 利用コマ数 B | 利用率 B/A (%) | 利用件数 (件) |
|---------|---------------|--------------|------------|----------------|-------------|
| 広間及び次の間 | 308 | 924 | 171 | 18.5 | 99 |
| 小間 | 308 | 924 | 52 | 5.6 | 42 |

| 貸館利用者数 | 立礼席利用者数 | 見学者数 | 計 |
|--------|---------|------|---------|
| 7,283人 | 7,585人 | 350人 | 15,218人 |

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 芸術・文化を育てる環境を整備し、鑑賞する機会を提供する | | | | |
| 指標 | 市主催の4文化事業の 総来場者数 | 目標 | 29,000人以上 | 実績 | 26,368人 (27年度 29,283人) |
| 説明 | <p>本市の文化力を全国に向けて発信する「第5回全国ファミリー音楽コンクールinよっかいち」については、市内に加えて、東京都、名古屋市、岡山市でシティプロモーションの一環として、プレイベントを開催するなどの取り組みを行った結果、全国から60組の応募がありました。さらに、第5回を記念して特別審査員の招聘や観光大使の特別演奏など本選の内容を充実したことにより、平成28年10月16日の本選大会では、1,510人の来場者がありました。</p> <p>また、まちなかで音楽に触れられる四日市JAZZ FESTIVALについては、第5回を記念して、集客力のあるゲストミュージシャンを招聘するなどの内容を充実することで、本市の文化力の創造と発信をさらに高められるよう、補助金による支援を行いました。</p> <p>第43回となる市美術展覧会については、市民の多彩な創作作品の展示により平成28年10月1日～9日の会期中に5,958人の観覧者がありました。</p> | | | | |

音楽活動をしている人や音楽を聴きたい人が求めている情報をインターネット上で一元的に収集して発信する「四日市市音楽情報ステーション」と、音楽をはじめとする文化行事や活動に関するチラシやポスターを集めた「文化情報スポット」については、平成27年度末の開設から1年を経て、音楽施設や文化団体への周知が進んだことにより、10,481件のサイトへのアクセスがあり、55件のポスター掲示と119件のチラシの配架を行うことができました。

各地区連合自治会から推薦を受けた芸能団体が文化会館に一堂に会して演じ合う「第6回郷土が誇る芸能大会」を四日市市自治会連合会の協力を得て平成29年1月14日に開催し、各地区から出演した12団体が多彩な芸能を披露しました。また、地域の伝統的な文化行事等を保存・継承するため、支援制度を継続して実施し、伝統的な文化行事等の担い手育成を目的とした事業や行事に欠かせない用具の更新に対し支援を行いました。

以上のように、多様な文化事業によって、市民の芸術・文化活動の発表と鑑賞の機会を提供しましたが、市主催の全国ファミリー音楽コンクール、市美術展覧会、市民芸術文化祭、郷土が誇る芸能大会の4事業の総来場者数は、市民芸術文化祭行事への参加団体が減少したことにより観客動員数も減少し、前年度実績を下回りました。

| | | |
|----------------------------|------------|--------------------|
| 〔文化振興審議会委員報酬〕（委員9人） | 102,700円 | |
| 〔文化振興審議会事業費〕 | 63,860円 | |
| 〔四日市音楽コンクール開催事業費〕 | 6,500,000円 | （その他特財 6,500,000円） |
| 〔四日市JAZZフェスティバル5周年記念支援事業費〕 | 1,000,000円 | （その他特財 1,000,000円） |
| 〔音楽等情報ステーション推進事業費〕 | 894,914円 | |
| 〔市美術展覧会開催費〕 | 4,119,357円 | （その他特財 4,119,357円） |
| 〔市民文化祭等開催費〕 | 6,106,784円 | （その他特財 6,106,784円） |
| 〔文化振興事業支援補助金〕 | 1,785,024円 | （その他特財 1,683,000円） |
| 〔文化功労者表彰経費〕 | 142,114円 | |
| 〔文化団体運営費補助金〕 | 1,498,000円 | |
| 〔地域の文化遺産の保存・継承支援事業費〕 | 605,460円 | （その他特財 304,000円） |
| 〔市民文化遺産保存検討費〕 | 634,000円 | |
| 〔文化振興一般経費〕 | 3,417,637円 | |

目20 生涯学習振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 16,992,000円 | 16,130,995円 | 94.9% | 0円 | 861,005円 |

（市民生活課）

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | ライフステージに応じた学習機会の提供（地区市民センターの利用） | | | | |
| 指標 | 年間利用回数 | 目標 | 30,000回以上 | 実績 | 28,760回 (27年度 28,121回) |
| 説明 | 24地区市民センターにおいて、地域マネージャーが積極的に関わるとともに、地域団体の協力を得て、それぞれの地域に応じた生涯学習事業を展開しました。多くの地区で、子育て支援事業や小学生を対象とした夏休み子ども教室を開催しました。また、男女共同参画事業に取り組み、男性の料理教室のほか、男女共同参画の視点からの防災についての講演会を開催するとともに、地域の高齢化に対応するため、認知症予防に一定の効果がある社交ダンス講座や、健康講座、世代間交流事業を実施しました。年間利用回数については目標を下回りましたが、昨年度から微増となりました。今後も地域団体の開催事業とのバランスを考慮しつつ、地域住民のニーズに即した事業の実施を検討し、利用促進に努めていきます。 | | | | |

〔地区市民センター生涯学習事業費〕 4,603,728円

○地区市民センター事業活動状況

・講座実施状況

| 学級・講座 | | 回 | 参加者数 |
|-------------|---------------|-----|-------|
| 対 象 別 | 青少年 | 123 | 3,607 |
| | 女性 | 18 | 376 |
| | 成人 | 140 | 2,777 |
| | 高齢者 | 42 | 1,776 |
| | 全住民 | 213 | 6,562 |
| 内 容 別 | 家庭教育・子育て | 138 | 4,009 |
| | 環境 | 90 | 2,041 |
| | 男女共同参画 | 35 | 754 |
| | 人権・同和 | 8 | 1,157 |
| | 福祉 | 68 | 2,944 |
| | IT情報 | 10 | 54 |
| | 趣味・生活技術 | 103 | 1,861 |
| | 文化活動 | 37 | 1,253 |
| | スポーツ・レクリエーション | 18 | 441 |
| | 交通 | 5 | 87 |
| | その他 | 24 | 497 |

・施設利用状況

| 利用種別 | 回数 | 延べ人数 |
|------------|--------|---------|
| サークル活動 | 17,095 | 179,020 |
| 社会教育関係団体活動 | 4,096 | 87,118 |
| その他団体活動 | 5,309 | 101,688 |
| センター事業 | 748 | 15,956 |
| 公用 | 1,512 | 44,195 |
| 合計 | 28,760 | 427,977 |

(市民協働安全課)

| | | | | | |
|----|--|----|----------|----|-------------------------|
| 目的 | ライフステージに応じた学習機会の提供（なや学習センターの利用） | | | | |
| 指標 | 年間利用件数 | 目標 | 4,600件以上 | 実績 | 4,649件 (27年度 4,522件) |
| 説明 | <p>なやプラザを市民活動センターとともに構成するなや学習センターは、自主学習グループや市民活動団体に対して活動の場を提供しています。平成28年度は、利用件数4,649件、年間利用人数51,993人の実績がありました。指標である利用件数について、昨年度を上回り、目標を達成することができました。今後も引き続き、「なやプラザニュース」などを活用し、施設の周知啓発に努め、さらなる利用促進を図ります。</p> <p>なやプラザでは、映像づくり市民講座や初心者向けパソコン講座など、指定管理者による市民向け講座を実施しました。また、平成28年11月に開催したなやプラザ市民協働まつりを通じて、地域の方との交流を図りました。</p> | | | | |

[なや学習センター管理運営費]

6,346,500円

- ・なやプラザ（市民活動センター・なや学習センター）
- 公益財団法人ささえあいのまち創造基金への指定管理料

(文化振興課)

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | ライフステージに応じた学習機会の提供（市民大学・熟年大学） | | | | |
| 指標 | 一般クラス受講者数 | 目標 | 460人以上 | 実績 | 554人 (27年度 406人) |
| 説明 | <p>市民の学習機会として、市民大学一般クラスでは、人生観、音楽、人権、環境、経済などをテーマに、市民団体の企画運営3コースと大学機関の企画運営2コース（計5コース）の講座を開設しました。受講者数は554人となり、定員（460人）に対する充足率は、120.4%となりました。</p> <p>また、高齢者が学びながら仲間づくりを行い、社会参加への意欲を高めることを目的に開催している熟年大学（教養課程・専攻課程の2年制）では、修了後には地域づくり活動への参画につながるよう、福祉施設等でのボランティア活動や市民活動に関する講座などを行いました。</p> <p>その他、市職員が出向く「いきいき出前講座」については、延べ547件の実績となりました。リクエストが多かったのは、防災、健康づくり、人権などに関する講座でした。</p> | | | | |

〔市民大学一般クラス経費〕
〔熟年大学経費〕

2,186,406 円（その他特財 1,557,500 円）
2,551,057 円（その他特財 1,116,000 円）

○市民大学（一般クラス）実施状況

| 企画運営 | 講座内容 | 回数 (回) | 受講者数 (人) |
|-----------------|---|-----------|-------------|
| 市民団体 | A「日々新たに」～これからが本番！！～ | 6 | 210 |
| | B「クラシック音楽の魅力と作品に秘められたドラマ…パートⅡ」～なぜ、100年以上前にできた音楽が、今、世界中で演奏されているのか～ | 6 | 192 |
| | C「共に生きる社会」～さまざまな障害の当事者と学ぶ～ | 5 | 47 |
| 四日市大学 | D「生活と環境」～四日市公害と環境未来館の開館にあわせ、私たちの生活と環境について深く考えましょう！～ | 6 | 33 |
| 三重大学 四日市フロント | E「21世紀ゼミナール」 ～格差なき経済再生をめざす～ | 5 | 72 |
| 合 計 | | 28 | 554 |

○熟年大学実施状況

| 課 程 | 講座内容 | 回数 (回) | 入学者数 (人) | 修了者数 (人) |
|-----|---|-----------|-------------|-------------|
| 教 養 | 郷土、健康、人権、文学、現代社会等に関する講義、クラブ活動、市内現地学習、文化祭等 | 23 | 68 | 62 |
| 専 攻 | 生き方、健康、人権、文学、現代社会、ボランティア・市民活動等に関する講義と実践、クラブ活動、市内現地学習、文化祭等 | 23 | 58 | 54 |
| 合 計 | | 46 | 126 | 116 |

| 目的 | 市民主体の学習情報の発信 | | | | |
|----|---|----|------------|----|------------------------------|
| 指標 | まなぼうやホームページアクセス数 | 目標 | 28,000 回以上 | 実績 | 22,354 回 (27 年度 27,054 回) |
| 説明 | <p>市民ボランティアのまなぼうや記者による企画・取材・編集による学習情報誌「まなぼうや通信」をカラー冊子版で年 3 回発行するとともに、「まなぼうやホームページ」では、最新号のまなぼうや通信やバックナンバー及び「いきいき出前講座」、各地区市民センター等で行われている各種サークル活動などの学習情報を提供しました。</p> <p>しかし、昨年度よりもホームページアクセス数が減少したことから、今後、ホームページのリニューアルや情報の更新を行い、さらなる学習情報の発信に努めます。</p> <p>また、まなぼうや記者の養成講座を開催したところ、新たに 2 名の登録があり、まなぼうや記者の登録は 13 人となっています。</p> | | | | |

〔生涯学習情報提供事業費〕

443,304 円

目 21 諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 2,378,726,000 円 | 2,349,768,871 円 | 98.8% | 0 円 | 28,957,129 円 |

〔総務課〕

〔自衛官募集事務費〕

68,000 円（国庫支出金 68,000 円）

(市民協働安全課)

| | |
|--------------------|-------------|
| 〔防犯協会補助金〕 | 3,751,000 円 |
| 〔暴力追放三四地区市町民会議補助金〕 | 522,000 円 |
| 〔負担金〕 | 769,415 円 |
| ・みえ犯罪被害者総合支援センター | |

(収納推進課)

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 〔償還金〕 | |
| ・市税過納返還金 | 484,750,666 円 (県支出金 36,074,376 円) |

(財政経営課)

| | | |
|----------------|-----------------|---|
| 〔積立金〕 | 1,504,719,883 円 | 〔県支出金 22,612,000 円 その他特財 10,624,883 円〕 |
| 財政調整基金 | 6,102,110 円 | (H28 末残高 10,268,949,536 円) |
| 都市基盤・公共施設等整備基金 | 1,474,341,057 円 | (H28 末残高 6,721,145,594 円) |
| 減債基金 | 22,771,673 円 | (H28 末残高 317,542,409 円) |
| まちづくり事業基金 | 1,505,043 円 | (H28 末残高 2,773,156,770 円) |

項 2 徴税费

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 922,283,000 円 | 902,073,947 円 | 97.8% | 0 円 | 20,209,053 円 |

目 1 税務総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 602,257,317 円 | 597,876,704 円 | 99.3% | 0 円 | 4,380,613 円 |

| | | | |
|---------|------|---------------|--|
| 〔一般職給〕 | 73 人 | 519,720,107 円 | 〔県支出金 349,249,226 円 その他特財 16,192,352 円〕 |
| 〔再任用職給〕 | 9 人 | 33,176,953 円 | |
| 〔嘱託職給〕 | 8 人 | 30,736,127 円 | |

その他経費

| | | |
|----------------------------|--|-------------------------------|
| 〔委員報酬〕 | | |
| ・固定資産評価審査委員会委員 3 人 | | 90,200 円 |
| 〔一般経費〕 | | |
| ・固定資産評価審査委員会経費 | | 65,500 円 |
| ・税務総務一般経費 | | 11,976,993 円 |
| 〔ふるさと応援寄附金関連経費 その他一般経費〕 | | 〔10,348,576 円 1,628,417 円〕 |
| 〔負担金〕 | | |
| ・軽自動車税等事務共同処理協議会負担金等 | | 2,110,824 円 |

目 2 賦課徴收费

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 320,025,683 円 | 304,197,243 円 | 95.1% | 0 円 | 15,828,440 円 |

(市民税課)

| | | | | | |
|----|--|----|---|----|---|
| 目的 | 適正な市民税等の課税を行い、税財源を確保する | | | | |
| 指標 | 課税誤り率 | 目標 | 個人市民税 0.009%以下 軽自動車税 0.004%以下 法人市民税 0% 事業所税 0% | 実績 | 個人市民税 0.008% 軽自動車税 0.004% 法人市民税 0% 事業所税 0% |
| 説明 | <p>個人市民税においては前年度の当初賦課時に誤りのあった項目について、課税資料の補筆や所得合算時の判断などで同じ誤りを起こさないよう事例の情報共有を行うとともに当初賦課時に重点的なチェックを行い、軽自動車税においては電算出力結果と検査情報システムデータとの突合を実施することにより、課税誤りのない正確な課税に努めました。</p> <p>また、賦課事務の大部分を電算化していることから、電算処理の結果と課税資料について複数職員による全件チェックを実施し、全ての税目について目標を達成することができました。</p> <p>このほか、個人市民税については、未申告者調査や給与支払報告書未提出事業者への提出指導、不実申告の内容調査による是正等に取り組みました。また、法人市民税、事業所税については、課税資料の調査や現地調査により、申告法人の指導、新規法人の把握に努めました。</p> <p>今後もさらにチェックを慎重に行い、公平かつ適正な課税に努めてまいります。</p> | | | | |

| | | | |
|--------------|--------------|--------|---------------|
| 〔市民税賦課経費〕 | 56,551,221 円 | (県支出金 | 46,007,998 円) |
| 〔申告・納税電子化経費〕 | 18,363,979 円 | (県支出金 | 18,363,979 円) |
| 〔税証明発行経費〕 | 3,280,548 円 | (その他特財 | 3,280,548 円) |
| 〔一般経費〕 | 6,482,546 円 | (県支出金 | 6,465,816 円) |
| | | (その他特財 | 16,730 円) |

(資産税課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------------------------|----|--|
| 目的 | 適正な固定資産税の課税を行い、税財源を確保する | | | | |
| 指標 | 土地家屋にかかる 税額更正件数 | 目標 | 土地 60 件以下 家屋 140 件以下 | 実績 | 土地 59 件 家屋 118 件 (27 年度 土地 59 件 家屋 135 件) |
| 説明 | <p>固定資産税の公平かつ適正な課税のため、土地・家屋の現地調査を行うとともに、航空写真、土地・家屋現況図を一体化した地図情報システムなどを活用することで、課税客体的確な把握に努めた結果、税額更正件数は、土地については前年度実績と同数、家屋については減少し、ともに目標を達成することができました。</p> <p>償却資産については、広報・啓発活動による申告の働きかけに努めるとともに、税務署等の協力を得て、未申告者等に対する現地調査を行い、適正申告の指導強化を行いました。</p> <p>土地については、平成 30 年度の評価替えに向け、標準宅地（市内 986 地点）の価格調査基準日（平成 29 年 1 月 1 日）時点での鑑定評価を行いました。</p> <p>今後も、課税客体的確な把握により、公平かつ適正な課税に努めてまいります。</p> | | | | |

| | |
|---------------|---------------|
| 〔固定資産税賦課経費〕 | 162,620,419 円 |
| ・土地評価関係経費 | 54,489,596 円 |
| ・地図情報システム事業費 | 24,133,648 円 |
| ・評価替土地関係経費 | 51,474,830 円 |
| ・その他固定資産税賦課経費 | 32,522,345 円 |

(収納推進課)

| | | | | | |
|----|------------|----|----------|----|--------------------------|
| 目的 | 自主納税の一層の推進 | | | | |
| 指標 | 納期内納付率 | 目標 | 87.52%以上 | 実績 | 87.73% (27 年度 87.52%) |

| | |
|----|---|
| 説明 | <p>自主納税の一層の推進に向け、口座振替による納付を推進していくため、ダイレクトメールや広報などで口座振替の利用の呼びかけを行うとともに、コンビニ納税により納税者の利便性の向上を図りました。</p> <p>納期内納付率につきましては、前年度より 0.21 ポイント向上し目標を達成することができました。</p> <p>今後も、さらなる自主納税の推進に向け、口座振替の新規利用の促進に努め、納期内納付率の向上を目指します。</p> |
|----|---|

〔自主納税推進経費〕

13,725,053 円（県支出金 13,725,053 円）

○ 口座振替及び納期内納付の状況

| | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 賦課件数（期別） | 751,093 件 | 740,609 件 | 739,660 件 |
| 口座振替件数（期別） | 344,593 件 | 341,606 件 | 341,506 件 |
| 口座振替利用率 | 45.88% | 46.13% | 46.17% |
| 納期内納付件数（期別） | 653,365 件 | 648,188 件 | 648,919 件 |
| 納期内納付率 | 86.99% | 87.52% | 87.73% |

| | | | | | |
|----|---|----|--------------------------------|----|--|
| 目的 | 市税収納率の向上 | | | | |
| 指標 | 市税収納率 | 目標 | 現年課税 99.21%以上 滞納繰越 34.11%以上 | 実績 | 現年課税 99.22% 滞納繰越 35.20% (27年度現年 99.21%) (27年度滞納 34.11%) |
| 説明 | <p>市税徴収事務につきましては、初期滞納者対策として継続的な電話交渉や文書催告を行う中で、納付困難な場合には早めの納付相談への案内を行い、新規滞納の抑制を図りました。また、累積滞納者対策としては、完納を目指した納付交渉を行う一方、納付交渉に応じない者に対しては、財産調査を行い、差押処分を実施するほか、高額累積滞納者で徴収困難な案件は、早期解決を目指して三重地方税管理回収機構へ移管しました。また、時差勤務体制による夜間相談窓口の開設、夜間催告や休日催告の実施、月1回の日曜相談窓口の開設など、滞納者の状況に応じた様々な対策により滞納整理を進めました。</p> <p>市税収納率につきましては、現年度課税分では目標を 0.01 ポイント上回り、滞納繰越分も目標を 1.09 ポイント上回りました。合計収納率は前年度より、0.37 ポイント上回る 97.61%となり、年度末収入未済額は、前年度と比べ1億9,779万円削減できました。</p> <p>税外収納事務につきましては、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料・保育料の担当課では徴収困難な事案を1,054件引き受け（前年比242件増）、市税徴収におけるノウハウを生かし、滞納整理を進めました。その結果、平成28年度分の収納率は26.72%で前年度より1.55ポイント下回りましたが、収納額は前年度と比べ1,865万円増加しました。</p> <p>今後も引き続き効果的かつ効率的な滞納整理により滞納額の削減に努めてまいります。</p> <p>また、昨年度は、市税滞納に対して一部不適切な対応があったことから、全職員がより一層厳格に法令遵守の意識を持つとともに、滞納整理の進捗状況を把握するため今まで以上に上位職によるチェックを強化することにより、適正な滞納整理を行ってまいります。</p> | | | | |

| | | |
|---------------|-------------------|---------------|
| 〔累積滞納者対策事業費〕 | 5,282,756 円（県支出金 | 5,282,756 円） |
| 〔税外債権滞納整理事業費〕 | 6,318,196 円 | |
| 〔滞納整理システム経費〕 | 763,290 円 | |
| 〔市税還付加算金〕 | 5,414,700 円（県支出金 | 156,922 円） |
| 〔負担金〕 | | |
| ・ 三重地方税管理回収機構 | 13,184,000 円（県支出金 | 13,184,000 円） |
| 〔一般経費〕 | 12,210,535 円（県支出金 | 12,210,535 円） |

○市税収納率の状況

| | | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 市 税 | 現年課税分 | 99.06% | 99.21% | 99.22% |
| | 滞納繰越分 | 29.82% | 34.11% | 35.20% |
| 収納率 | 合計収納率 | 96.77% | 97.24% | 97.61% |
| 年度末収入未済額 | | 1,923,924,723 円 | 1,643,174,811 円 | 1,445,384,003 円 |

○税外債権収納率の状況

| | 国民健康 保険料 | 後期高齢者 医療保険料 | 介護保険料 | 保育料 | 合計 |
|-------------|---------------|----------------|--------------|--------------|---------------|
| 移管件数 | 875 件 | 25 件 | 67 件 | 87 件 | 1,054 件 |
| 移管金額 | 517,610,261 円 | 7,622,703 円 | 11,462,450 円 | 11,631,907 円 | 548,327,321 円 |
| 収納額 | 135,232,408 円 | 3,163,921 円 | 4,185,963 円 | 3,906,221 円 | 146,488,513 円 |
| 税外債権 収納率 | 26.13% | 41.51% | 36.52% | 33.58% | 26.72% |

項 3 戸籍住民基本台帳費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|----------------|--------------|--------------|
| 457,644,000 円 | 397,989,585 円 | 87.0% | 29,097,000 円 | 30,557,415 円 |

目 1 戸籍住民基本台帳費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|----------------|--------------|--------------|
| 457,644,000 円 | 397,989,585 円 | 87.0% | 29,097,000 円 | 30,557,415 円 |

| | | | |
|---------|------|---------------|--|
| 〔一般職給〕 | 24 人 | 200,333,307 円 | 〔 国庫支出金 11,872,000 円〕 〔 その他特財 93,992,250 円〕 |
| 〔再任用職給〕 | 4 人 | 15,466,217 円 | |
| 〔嘱託職給〕 | 1 人 | 2,948,381 円 | |

●〔明許繰越〕

| | |
|-----------------------------|------------------------------------|
| 〔戸籍住民基本台帳事務費〕 | 48,336,800 円 (国庫支出金 47,126,000 円) |
| ・通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金 | |

(市民課)

| 目的 | 市民の個人情報 that 正確かつ安全に管理され、便利に使えるようになる | | | | |
|----|---|----|------|----|-------------------|
| 指標 | 証明書発行に要する時間 | 目標 | 9分以内 | 実績 | 11分 (27年度 10分) |
| 説明 | <p>証明書発行時間については、平成 28 年 1 月から個人番号カード（マイナンバーカード）の交付が始まり、個人番号や個人番号カードに関する窓口での問い合わせが増加したこと、また、年末からは年末調整や確定申告に関連してカード申請にかかる問い合わせが集中したこともあり、目標を下回る 11 分となりました。</p> <p>個人番号カードの交付については、カード申請者への手続き案内及び交付事務を確実にを行うとともに、引続き広報誌や地区市民センターだより、ホームページ、ちらしなどを通じて手続き等の周知を図るとともに、日曜窓口の実施によりカード普及に努めてまいります。</p> | | | | |

〔戸籍住民基本台帳事務費〕 97,478,696 円

〔市民窓口サービスセンター運営費〕 4,993,545 円

[戸籍情報システム運営費]
[番号制度関連経費]

19,856,340 円 (県支出金 310,157 円)
7,407,736 円 (国庫支出金 5,040,000 円)

項 4 選挙費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-----------|
| 171,995,000 円 | 171,322,532 円 | 99.6% | 0 円 | 672,468 円 |

目 1 選挙管理委員会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----------|
| 31,211,000 円 | 30,875,568 円 | 98.9% | 0 円 | 335,432 円 |

| 目的 | 選挙管理委員会で議案審査や審議を行う | | | | |
|----|--|-----|--------|-----|----------------------|
| 指標 | 会議開催数 | 目 標 | 12 回以上 | 実 績 | 15 回 (27 年度 12 回) |
| 説明 | <p>平成 28 年度は、任期満了による参議院議員通常選挙、三重海区漁業調整委員会委員選挙（無投票）及び四日市市長選挙の執行に係る議案の審査や選挙啓発の方法等について検討を行い、委員会の開催は、15 回となりました。</p> <p>また、全国市区選挙管理委員会連合会等の総会、研修等に参加し、選挙に関する情報を収集するとともに選挙管理委員及び事務局職員の知識を深めることに努めました。</p> | | | | |

[委員報酬] 4 人 1,395,200 円
 [選挙管理委員会運営費] 384,571 円
 [在外選挙登録費] 27,078 円 (県支出金 27,078 円)
 ・在外選挙人名簿登載者 平成 29 年 3 月 3 日現在 175 人

その他経費

[一般職給] 3 人 28,941,719 円
 [負担金] 127,000 円
 ・全国市区選挙管理委員会連合会等

目 2 選挙啓発費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 1,848,000 円 | 1,804,489 円 | 97.6% | 0 円 | 43,511 円 |

| 目的 | 選挙人に対して選挙に関して啓発を行う | | | | |
|----|--|-----|---------|-----|------------------------|
| 指標 | 常時啓発回数 (24 地区合計) | 目 標 | 144 回以上 | 実 績 | 147 回 (27 年度 105 回) |
| 説明 | <p>明るい選挙推進協議会との話し合いの中で、選挙権年齢の引き下げに伴い、若者に訴える啓発がしたいとの意見を受け、「選挙にイコウ 18 歳」という新しいタイトルロゴを表示した啓発物資を作成し、各地区のイベントにおいてこれを使用した啓発活動を行いました。</p> <p>また、市内の全高等学校の担当教員に「四日市市の選挙に関する資料」を提供したほか、要請のあった高校で、選挙の仕組みや意義についての啓発授業を行いました。</p> <p>平成 28 年度からの新たな取組みとして、初めて選挙人名簿に登録された 18 歳・19 歳の新有権者に対して、個別に啓発ハガキを送付しました。</p> | | | | |

[常時選挙啓発事業費] 1,804,489 円
 ・各地区での啓発 24 地区合計 147 回実施
 ・新有権者啓発ハガキの発送 8,182 件

目3 参議院議員選挙費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|---------|
| 69,479,000 円 | 69,473,409 円 | 100.0% | 0 円 | 5,591 円 |

[非常勤職員報酬] 4,556,100 円
 [参議院議員選挙事務費] 42,068,309 円 (県支出金 69,473,409 円)
その他経費
 [職員手当等] 22,849,000 円

目4 三重海区漁業調整委員会委員選挙費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|-----------|------------|--------|---------|
| 241,000 円 | 239,067 円 | 99.2% | 0 円 | 1,933 円 |

[非常勤職員報酬] 0 円
 [三重海区漁業調整委員会委員選挙事務費] 122,795 円 (県支出金 239,067 円)
その他経費
 [選挙手当等] 116,272 円

目5 市長選挙費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----------|
| 69,216,000 円 | 68,929,999 円 | 99.6% | 0 円 | 286,001 円 |

| | | | | | |
|----|---|----|---------|----|-------|
| 目的 | 選挙時啓発 (市政選挙時に行う啓発事業) | | | | |
| 指標 | 啓発事業数 | 目標 | 16 事業以上 | 実績 | 18 事業 |
| 説明 | 平成 28 年の市長選挙では、若者にも選挙を身近に感じてもらうように選挙啓発キャラクター「せんぴょん」が、投票所に向かって走るデザインのポスター等を通学・通勤で利用する路線バスや鉄道の駅等に掲示するなど、日常生活の中で見かける啓発事業となるように取り組みました。また、選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられて初めての市長選挙となったことから、市内の高校、大学にも啓発ポスターの掲示や選挙啓発の校内放送を依頼しました。 | | | | |

[非常勤職員報酬] 3,944,600 円
 [市長選挙事務費] 47,194,995 円

その他経費

[職員手当等] 17,790,404 円

項5 統計調査費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 36,346,000円 | 31,347,380円 | 86.2% | 0円 | 4,998,620円 |

目1 統計調査総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 22,693,000円 | 19,122,362円 | 84.3% | 0円 | 3,570,638円 |

〔一般職給〕 2人 13,560,107円
 〔再任用職給〕 1人 4,437,633円
 〔統計調査事務費〕 1,124,622円（県支出金 1,082,982円）

目2 基幹統計調査費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 13,653,000円 | 12,225,018円 | 89.5% | 0円 | 1,427,982円 |

総務省、経済産業省、文部科学省からの受託事務として、各年度において実施される基幹統計調査の円滑な遂行に努めました。

- ・学校基本調査 43,000円（県支出金 43,000円）
- ・経済センサス調査区設定 31,000円（県支出金 31,000円）
- ・経済センサス-活動調査 11,718,018円（県支出金 11,718,018円）
- ・人口統計調査 430,000円（県支出金 430,000円）
- ・工業統計調査 3,000円（県支出金 3,000円）

項6 監査委員費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 94,173,000円 | 93,255,202円 | 99.0% | 0円 | 917,798円 |

目1 監査委員費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 94,173,000円 | 93,255,202円 | 99.0% | 0円 | 917,798円 |

| | | | | | |
|----|--|----|------|----|---------------------|
| 目的 | 市の財務が公正かつ効率的に執行されているか、市行政の実績や成果が住民の福祉と行政水準の向上に寄与しているかに重点をおいて監査委員の事務補助を行う。 | | | | |
| 指標 | 定期監査等実施所属数 | 目標 | 82所属 | 実績 | 82所属 (27年度 88所属) |
| 説明 | 平成28年度に実施した監査について、監査結果報告を市議会及び市長等に提出し、公表しました。また、監査結果の指摘事項及び意見に基づき、措置を講じることを求めました。 定期監査において、是正を指摘した所属数は、監査対象74所属のうち65所属となり、対象所属に対する割合は87.8%でした。定期監査の結果は、部長会議での報告や庁内電子掲示板への掲示を行い、全庁的に課題の共有を図るとともに、監査対象以外の部局に対しても注意喚起を行いました。 | | | | |

・定期監査の結果 (件)

| 指摘事項 | 意見 | | |
|------|-----|-----|-----|
| | 改善 | 要望 | 計 |
| 193 | 524 | 139 | 663 |

定期監査以外のその他の監査では、行政監査として、許認可等の事務について監査を実施するなどしました。

決算審査等については、平成27年度一般会計、各特別会計、財産区及び各公営企業会計に係る決算審査、財政健全化及び経営健全化審査等を実施し、意見書を市長に提出しました。

なお、監査結果等の公表にあたっては、市公報への登載のほか、市ホームページへの掲載や市政情報センターへの配備などを行い、市民への周知を行いました。

〔監査委員報酬〕 3人 3,618,977円

〔特別職給〕 1人 11,401,639円

〔一般職給〕 7人 76,233,479円

〔全国都市監査委員会等負担金〕 109,400円

〔一般経費〕 1,891,707円

○監査委員による監査の実施状況

- ・定期監査 74 所属
- ・出資団体監査 1 団体 1 所属
- ・財政援助団体監査 2 団体 2 所属
- ・随時監査（工事監査） 2 工事 2 所属
- ・公の施設の指定管理者監査 2 団体 2 所属
- ・行政監査 1 テーマ
- ・例月現金出納検査 10 会計 1 財産区 3 公営企業会計
- ・決算審査 10 会計 1 財産区 3 公営企業会計
- ・基金運用状況審査 1 基金
- ・財政健全化審査、経営健全化審査 2 件
- ・住民監査請求 0 件

款 3 民生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|------------------|------------|---------------|---------------|
| 41,442,132,760 円 | 40,004,599,932 円 | 96.5% | 862,249,000 円 | 575,283,828 円 |

項 1 社会福祉費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|------------------|------------|---------------|---------------|
| 13,906,588,000 円 | 12,899,092,084 円 | 92.8% | 662,424,000 円 | 345,071,916 円 |

目 1 社会福祉総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|---------------|---------------|
| 7,914,536,000 円 | 7,019,224,364 円 | 88.7% | 662,424,000 円 | 232,887,636 円 |

| | | | | |
|---------|------|---------------|--|--|
| 〔一般職給〕 | 51 人 | 449,853,623 円 | (国庫支出金 49,635,577 円 県支出金 525,000 円 その他特財 20,720 円) | |
| 〔再任用職給〕 | 2 人 | 7,677,419 円 | | (国庫支出金 3,838,710 円) |
| 〔嘱託職給〕 | 6 人 | 23,588,521 円 | | (国庫支出金 10,427,146 円 県支出金 2,534,425 円) |

(健康福祉課)

| 目的 | 地域福祉の推進、関係団体への支援 | | | | |
|----|---|----|---------|----|------------------------|
| 指標 | 民生委員児童委員一人当たりの活動割合 (年間 365 日のうち一人あたり平均活動日数) | 目標 | 43.0%以上 | 実績 | 42.2% (27 年度 43.0%) |
| 説明 | <p>市社会福祉協議会、民生委員児童委員・主任児童委員等の活動を支援し、地域住民や関係者の積極的な参加や相互協力のもとに、地域福祉の推進を図りました。</p> <p>市社会福祉協議会に対しては、福祉に関する相談事業、成年後見事業、権利擁護事業、ボランティアのまちづくり事業等の推進を支援しました。</p> <p>民生委員児童委員・主任児童委員に対しては、民生委員児童委員協議会連合会を通じて、地域における活動、能力向上のための研修を支援しました。</p> <p>このほかにも、保護司会や四日市市遺族会など市内各種団体に対して事業推進のための支援などを行いました。</p> <p>今後も、各地域の福祉課題に応じ、市社会福祉協議会等と連携を図りながら、地域の福祉力向上に努めます。</p> <p>また、第3次四日市市地域福祉計画 (平成 26～30 年度) に基づき、地域で暮らし続けられる社会の実現に向けた市民への啓発のためのシンポジウムを開催するとともに、地域福祉計画検討委員会及びワーキンググループにおいて、地域での見守り・助け合いなど、市民による支え合いの仕組みづくりについて検討しました。</p> | | | | |

| | |
|---------------|---------------|
| 〔地域福祉計画推進事業費〕 | 249,959 円 |
| 〔社会福祉協議会補助金〕 | 153,436,033 円 |
| ・社会福祉協議会運営費 | 137,955,332 円 |
| ・市民啓発事業 | 1,518,000 円 |
| ・ふれあいのまちづくり事業 | 8,105,063 円 |

| | | | |
|--------------------------|--------------|--------|------------|
| ・ボランティアのまちづくり事業 | 777,000 円 | | |
| ・社会福祉団体補助金交付事業 | 5,080,638 円 | | |
| [成年後見サポート事業補助金] | 12,387,000 円 | | |
| [権利擁護事業費補助金] | 3,596,000 円 | | |
| [社会福祉事業振興基金交付金] | 239,362 円 | (その他特財 | 239,362 円) |
| [民生委員児童委員協議会連合会補助金] | 26,936,760 円 | | |
| 活動者数 591 人 | | | |
| [シルバー人材センター補助金] | 16,700,000 円 | | |
| [保護司会補助金] | 1,690,000 円 | | |
| 活動者数 106 人 | | | |
| [更生保護女性の会補助金] | 108,000 円 | | |
| 活動者数 997 人 | | | |
| [遺族対策費補助金] | 1,561,000 円 | | |
| 会員数 1,242 人 | | | |
| [三重県原爆被災者の会補助金] | 103,000 円 | | |
| 会員数 56 人 | | | |
| [介護・看護人材確保事業費] | 1,147,878 円 | | |
| 介護職向け研修 3 回 参加者 合計 57 人 | | | |
| 看護職向け研修 7 回 参加者 合計 171 人 | | | |

その他経費

| | | | |
|-------------------------------------|----------------|--------|--------------|
| [社会福祉一般事業費（健康福祉課）] | 9,940,513 円 | | |
| [保健福祉総合システム運営費（健康福祉課）] | 36,608,746 円 | (国庫支出金 | 9,292,000 円) |
| [社会福祉事業振興基金積立金] | 4,688,365 円 | (その他特財 | 4,688,365 円) |
| 民間社会福祉事業（昭和 51 年 4 月設置 平成 28 年度末現在高 | 461,336,090 円) | | |
| [一般経費（健康福祉課）] | 2,400,253 円 | (その他特財 | 235,872 円) |
| [高齢者能力活用センター整備事業費（アセットマネジメント）] | 10,578,600 円 | | |
| [特別弔慰金支給事業費] | 1,570,617 円 | (県支出金 | 16,880 円) |

(こども保健福祉課)

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|------------------------------|
| 目的 | 各種医療費の助成 | | | | |
| 指標 | 受給者数 | 目標 | 45,000 人以上 | 実績 | 46,169 人 (27 年度 46,647 人) |
| 説明 | 子ども医療費助成と一人親家庭等医療費助成を実施し、疾病の早期発見と早期療養を促進し、保護者の経済的負担を軽減しました。子ども医療費助成は、中学生の入院・通院分までが対象で、平成 27 年度の 40,249 人から平成 28 年度は 39,922 人と、327 人の減となりました。一人親家庭等医療費助成は、平成 27 年度の 5,994 人から平成 28 年度は 5,902 人と、92 人の減となりました。 | | | | |

(受給者数は年度末)

| | | | |
|-----------------|---------------|-------|----------------|
| [子ども医療費助成事業] | 833,760,470 円 | (県支出金 | 358,301,248 円) |
| 受給者数 39,922 人 | | | |
| [子ども医療費助成事業事務費] | 30,970,432 円 | | |
| [一人親家庭等医療費助成事業] | 124,314,977 円 | (県支出金 | 62,115,748 円) |
| 受給者数 5,902 人 | | | |
| [福祉医療証明書料経費] | 108,113,400 円 | (県支出金 | 47,451,300 円) |
| [不妊治療費助成事業] | 28,413,600 円 | (県支出金 | 3,421,250 円) |
| 受給者数 延べ 344 人 | | | |
| [不育症治療費助成事業] | 70,200 円 | (県支出金 | 35,100 円) |
| 受給者数 1 人 | | | |

(障害福祉課)

(受給者数は年度末)

| | | |
|---|-----------------------------|----------------------|
| [障害者医療費助成事業] 受給者数 8,296 人 | 759,956,740 円 | (県支出金 334,120,129 円) |
| [福祉医療証明書料経費] | 20,265,600 円 | (県支出金 7,481,500 円) |
| [特別障害者手当等の支給] ・特別障害者手当等運営対策経費 | 114,476,430 円 238,860 円 | |
| ・特別障害者手当等扶助費 受給者数 443 人 | 114,237,570 円 | (国庫支出金 85,678,177 円) |
| [重度障害手当の支給] ・重度障害手当 受給者数 2,991 人 | 72,070,000 円 | |
| [在日外国人福祉給付金の支給] ・在日外国人福祉給付金 受給者数 7 人 | 495,000 円 | |
| [社会福祉一般事業費 (障害福祉課)] | 16,326,747 円 | |
| [民間社会福祉施設等整備助成事業費] ・知的障害者授産施設建設費補助金 | 22,203,341 円 2,055,710 円 | |

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|----------------|-----------|---------------------|
| かすみヶ浦ブルーミングハウス | 984,500 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |
| わかたけ萩の里 | 1,071,210 | 〃 |

- ・知的障害者更生施設建設費補助金 3,725,947 円

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|-------|-----------|---------------------|
| サクラノ園 | 975,947 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |
| 清和苑 | 2,750,000 | 〃 |

- ・身体障害者療護施設建設費補助金 1,421,684 円

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|--------------|-----------|---------------------|
| エビノ園 (大規模改修) | 1,421,684 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |

- ・障害者グループホーム等建設費補助金 15,000,000 円 (県支出金 7,500,000 円)

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|-----------|------------|--------------|
| 第 2 クローバー | 15,000,000 | 平成 28 年度一括補助 |

| | | |
|---------------------------------------|-------------|-------------------------------------|
| [社会福祉協議会事業費補助金] ・視覚障害者福祉センター事業費補助金 | 2,000,000 円 | (国庫支出金 644,990 円 県支出金 322,495 円) |
| [成年後見制度利用支援事業] ・成年後見制度利用支援事業費 | 337,696 円 | (国庫支出金 108,905 円 県支出金 54,453 円) |

(介護・高齢福祉課)

| | |
|--|-------------------------------|
| [民間社会福祉施設等整備助成事業費] ・特別養護老人ホーム建設費補助金 | 127,120,271 円 20,200,000 円 |
|--|-------------------------------|

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|--------------------------------|-----------|---------------------|
| 特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑 | 4,825,000 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |
| 特別養護老人ホームヴィラ四日市 (増築) | 1,774,000 | 〃 |
| 特別養護老人ホーム南部陽光苑 | 5,293,000 | 〃 |
| 介護総合センターかんざき | 5,195,000 | 〃 |
| 小山田特別養護老人ホーム (大部屋解消・ショート増築) | 2,133,000 | 〃 |
| 特別養護老人ホームうねめの里 | 980,000 | 〃 |

- ・軽費老人ホーム建設費補助金 4,035,000 円

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|------------|-----------|---------------------|
| グリーンライフ英水苑 | 4,035,000 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |

- ・老人デイサービス施設建設費補助金 7,465,000 円

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|-----------------|-----------|---------------------|
| 四郷デイサービスセンター | 1,101,000 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |
| YMCA デイサービスセンター | 1,284,000 | 〃 |
| みなとデイサービスセンター | 1,148,000 | 〃 |
| 富田浜デイサービスセンター | 977,000 | 〃 |
| 川島デイサービスセンター | 951,000 | 〃 |
| くぬぎの木デイサービスセンター | 979,000 | 〃 |
| 聖十字保々デイサービスセンター | 1,025,000 | 〃 |

- ・老人保健施設建設費補助金 2,355,271 円

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|------------|-----------|---------------------|
| 老人保健施設ちゅうぶ | 1,315,798 | 債務負担行為限度額のうち 28 年度分 |
| 富田浜老人保健施設 | 1,039,473 | 〃 |

- ・施設開設準備経費補助金 21,478,000 円 (県支出金 21,478,000 円)

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|---------------------------|------------|--------------|
| グループホーム楽家生 広永 | 5,589,000 | 平成 28 年度一括補助 |
| ゴールドエイジ地域巡回センター 四日市営業所 | 10,300,000 | 〃 |
| ういるグループホーム泊 | 5,589,000 | 〃 |

- ・消防設備整備補助金 2,157,000 円 (県支出金 2,157,000 円)

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|--------------|-----------|--------------|
| 有料老人ホーム四日市にじ | 2,157,000 | 平成 28 年度一括補助 |

- ・認知症高齢者グループホーム建設費補助金 64,000,000 円 (県支出金 64,000,000 円)

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|---------------|------------|--------------|
| ういるグループホーム泊 | 32,000,000 | 平成 28 年度一括補助 |
| グループホーム楽家生 広永 | 32,000,000 | 〃 |

- ・介護ロボット等導入支援事業費補助金 5,430,000 円 (県支出金 5,430,000 円)

| 施設名 | 実施額 | 備考 |
|--------------------|---------|--------------|
| 聖十字四日市老人福祉施設 | 796,000 | 平成 28 年度一括補助 |
| L T S 通所介護サービスセンター | 927,000 | 〃 |
| 介護老人福祉施設 ヴィラ四日市 | 927,000 | 〃 |
| ショートステイしあわせ | 927,000 | 〃 |
| オーロラデイサービス | 927,000 | 〃 |
| ユートピア短期入所生活介護施設 | 926,000 | 〃 |

その他経費

・一般経費 101,735 円

(臨時福祉給付金室)

●【明許繰越】

[年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費（高齢者向け給付金）] 700,470,000 円 (国庫支出金 700,470,000 円)
[年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事務費] 27,375,357 円 (国庫支出金 27,375,357 円)

[年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費（障害・遺族年金受給者向け給付金）] 47,220,000 円 (国庫支出金 47,220,000 円)
[平成 28 年度臨時福祉給付金給付事業費] 112,770,000 円 (国庫支出金 112,770,000 円)
[平成 28 年度臨時福祉給付金給付事務費] 34,582,702 円 (国庫支出金 34,582,702 円)
[臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業費] 105,075,000 円 (国庫支出金 105,075,000 円)
[臨時福祉給付金（経済対策分）給付事務費] 6,993,264 円

(保護課)

[行旅病人同死亡人取扱扶助費] 7 件 325,946 円 (県支出金 325,946 円)
[国民生活基礎調査等事業費] 537,000 円 (県支出金 537,000 円)
[法外扶助費] 81 件 383,500 円
・中 1 夏服購入費 36 件 354,000 円
・行旅人措置費用 45 件 29,500 円
[自立相談支援事業費] 242,876 円 (国庫支出金 182,157 円)
[住居確保給付金事業費] 2,358,100 円 (国庫支出金 1,768,575 円)
[子ども学習支援事業費] 1,890,000 円 (国庫支出金 945,000 円)

(保険年金課)

[後期高齢者医療特別会計繰出金] 2,933,020,937 円 (県支出金 393,374,086 円)

(子ども保健福祉課)

[社会福祉一般事業費] 6,521,235 円
[保健福祉総合システム運営費] 3,775,000 円
[社会福祉振興費] 7,527,748 円
・ひとり親家庭福祉協力員活動助成費 269,345 円
・ひとり親家庭等日常生活支援事業費 1,757,193 円 (県支出金 1,304,000 円
その他特財 17,620 円)
・母子家庭等自立支援給付金事業費 5,501,210 円 (国庫支出金 4,125,000 円)

(保育幼稚園課)

[一般経費] 734,611 円
・一般経費（旅費等）

(子ども未来課)

[社会福祉事業振興基金（障害児福祉事業）積立金] 1,042,850 円 (その他特財 1,042,850 円)
(平成 6 年 10 月設置 平成 28 年度末現在高 7,219,487 円)

目2 障害福祉費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 5,215,083,000円 | 5,118,512,203円 | 98.1% | 0円 | 96,570,797円 |

(障害福祉課)

| 目的 | 雇用・就労の促進 | | | | |
|----|--|----|--|----|---|
| 指標 | 障害者就労支援 事業庁内実習人数 | 目標 | 12人以上 (延べ日数360日、 1人当たり実習期間 30日) | 実績 | 14人 (延べ日数484日、 1人当たり実習期間約34日) (27年度 10人 延べ日数493日、 1人当たり実習期間約49日) |
| 説明 | <p>障害者の就労意識の醸成と職業能力の開発を図り、企業等での障害者の就労訓練及び就労の促進のため、就労希望の障害者を対象に、四日市市役所において、就労に向けた職場訓練を行いました。</p> <p>当事業は社会福祉協議会に委託し、障害者就業・生活支援センターと連携しながら実施しています。なお、訓練者の障害程度の幅が広く、個別性も強いため、大勢の障害者を一緒の場所で同時に支援することが困難であり、訓練の効果を高めるためにも、1人1回あたりの訓練期間を30日と設定しました。実習人数は目標の12人/年を上回り、自信をつけた訓練者が複数回数訓練を利用しました。</p> <p>また、市職員の障害についての理解が広がり、障害者のための業務の抽出に協力的になってきたこと、訓練者が自信を持ち継続して訓練に通うことで、就労継続支援事業所等への通所へつながるなどの効果が出ています。</p> | | | | |

| | | |
|--|--------------|---|
| [あさけワークス管理運営費] | 49,370,000円 | (その他特財 21,057,938円) |
| 市社会福祉協議会へ指定管理者委託 定員 20人、通所者数 15人 | | |
| [共栄作業所管理運営費] | 66,899,000円 | (その他特財 48,372,346円) |
| 市社会福祉協議会へ指定管理者委託 定員 37人、通所者数 35人 | | |
| [就労移行支援事業費] | 106,731,170円 | (国庫支出金 53,365,585円 県支出金 26,682,793円) |
| 就労移行事業所 12カ所、利用者数 112人 | | |
| [就労継続支援事業費] | 913,971,592円 | (国庫支出金 456,985,796円 県支出金 228,492,898円) |
| 就労継続事業所 83カ所、利用者数 748人 | | |
| [障害福祉サービス事業所等通所費] | 13,066,085円 | |
| 通所費(公共交通機関等)利用者数 340人 | | |
| [福祉の店事業費補助金] | 3,449,000円 | (国庫支出金 1,112,284円 県支出金 556,142円) |
| 延べ開店日数 502日、売上点数 7,523点 売上金額 2,686,300円 | | |
| [はり・きゅう・マッサージ給付事業費] | 4,304,600円 | |
| 利用枚数 4,181枚 | | |
| [障害者就労支援事業費] | 10,334,560円 | |
| 実習者数 14人 | | |

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 社会参加の促進支援 | | | | |
| 指標 | 生活介護サービス利用者数 | 目標 | 665人以上 | 実績 | 687人 (27年度 693人) |
| 説明 | <p>生活介護事業所では、障害者の日中活動の場として、入浴、排せつ、食事の介護等の支援や創作的活動、生産活動の機会の提供を行いました。また、障害者が身近な施設でサービスが受けられるよう、介護保険指定事業所を障害者総合支援法の基準該当生活介護サービスの事業所として指定を行うなど、社会参加の場の整備充実に努めました。前年度に引き続き障害福祉サービスを利用する際の計画相談支援を展開し、利用者が増加し、目標の665人/年を上回りました。</p> <p>障害者福祉センターにおいては、重度障害者の社会参加を促進するために理学療法、言語療法の機能訓練や創作的活動をはじめ、障害理解のための出前講座や啓発事業を実施しました。</p> | | | | |

| | | |
|---|----------------|---|
| [たんばぼ管理運営費] | 109,614,000円 | (その他特財 90,724,284円) |
| 市社会福祉協議会へ指定管理者委託 定員 35人、通所者数 29人 | | |
| [生活介護事業費] | 1,724,782,643円 | (国庫支出金 857,007,429円 県支出金 428,503,715円) |
| 生活介護事業所 76カ所、利用者数 615人 基準該当生活介護事業所 26カ所、利用者数 72人 | | |
| [医療的ケア推進事業費] | 2,130,000円 | |
| 事業所 3カ所、利用者数 23人 | | |
| [障害者福祉センター管理運営費] | 40,806,000円 | (国庫支出金 6,232,296円 県支出金 3,116,148円 その他特財 174,600円) |
| 市社会福祉協議会へ指定管理者委託 デイサービス延べ利用回数 1,159回 | | |
| [身体障害者スポーツ振興事業費補助金] | 80,000円 | (国庫支出金 25,800円 県支出金 12,900円) |
| スポーツ・レクリエーション大会 参加 93人 | | |
| [障害者体育センター管理運営費] | 4,356,000円 | (その他特財 35,682円) |
| 四日市市障害者体育センター運営委員会へ指定管理者委託 開館日数 294日、延べ利用者数 7,721人 | | |
| [ふれあい農園運営費] | 1,318,053円 | (国庫支出金 425,066円 県支出金 212,534円) |
| 収穫祭 参加 143人 | | |
| [障害者福祉推進事業費] | 400,000円 | (国庫支出金 200,000円 県支出金 100,000円) |
| 障害者大会事業費補助 参加 400人 | | |
| [移動支援事業費] | 29,218,153円 | (国庫支出金 9,422,702円 県支出金 4,711,351円) |
| ・移動支援事業 利用者数 196人、延べ利用時間 11,727時間 | | |
| [手話通訳者派遣事業費] | 6,780,186円 | (国庫支出金 2,569,067円 県支出金 1,284,534円 その他特財 1,537,680円) |
| 依頼件数 1,236件 延べ派遣人数 997人 | | |
| [要約筆記者派遣事業費] | 3,408,856円 | (国庫支出金 1,163,226円 県支出金 581,615円) |
| 依頼件数 291件 延べ派遣人数 524人 | | |
| [失語症会話パートナー派遣事業費] | 2,176,154円 | (国庫支出金 1,088,077円 県支出金 544,039円) |
| 依頼件数 92件 延べ派遣人数 535人 | | |
| [自動車改造費給付費] | 1,104,000円 | |
| 1件当たり100,000円限度 12件分 | | |
| [自動車運転免許取得費給付費] | 400,000円 | |
| 1件当たり100,000円限度 4件分 | | |

| | |
|--------------------------|---------------|
| [タクシー料金助成事業扶助費] | 29,127,270 円 |
| 初乗り運賃相当額の乗車券を1人につき年72枚交付 | 利用枚数 45,369 枚 |
| [自動車燃料費用助成事業扶助費] | 20,478,316 円 |
| 助成件数 延べ9,585 件 | |

(障害福祉課)

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|--------------------|
| 目的 | 在宅福祉サービス等の充実 | | | | |
| 指標 | 居宅介護等在宅系サービスの利用人数 | 目標 | 350人以上 | 実績 | 370人 (27年度349人) |
| 説明 | <p>在宅で生活する障害者等を支援するため、ホームヘルパー等が訪問して行われる居宅介護、余暇活動を促進するための日中一時支援事業、保護者（介護者）のレスパイト支援等のための短期入所事業など、在宅福祉サービスの利用促進を行いました。また、補装具や日常生活用具の給付等各種施策を実施するとともに、障害者とその障害特性に応じて、地域で安心して自立した生活を営むことができるよう、情報提供や福祉サービスの利用援助を行う相談支援事業を実施しました。</p> <p>居宅介護等の給付支給人数は、目標の350人/年を上回りました。要因としては、指定特定計画相談支援事業所がサービス等利用計画を作成する過程で、保護者（介護者）の高齢化に配慮し、負担を軽減した居宅介護等の利用を提案していることが挙げられます。サービス等利用計画においては、サービスの利用状況を見直すモニタリングの制度が設けられていることから、障害者の障害特性や生活環境等に応じ、真に必要なサービスの種類や支給量が適正化されてきており、今後、サービス利用量は徐々に落ち着いていくと予想されます。</p> <p>在宅福祉サービスについては、保護者（介護者）亡き後の生活の場として希望の多いグループホームの量的拡大や、障害特性に応じた支援が適切に実施できるようサービス支援者への専門研修の実施など、内容の充実を図りました。</p> | | | | |

| | | |
|------------------------------|---------------|--|
| [居宅介護等事業費] | 315,878,408 円 | 〔国庫支出金 157,939,204 円 県支出金 78,969,602 円〕 |
| 延べ派遣時間数 76,227 時間、利用者数 370 人 | | |
| [短期入所事業費] | 75,706,590 円 | 〔国庫支出金 37,853,295 円 県支出金 18,926,647 円〕 |
| 延べ利用日数 8,274 日、利用者数 226 人 | | |
| [相談支援事業費] | 48,731,272 円 | 〔国庫支出金 14,026,312 円 県支出金 7,013,156 円〕 |
| 相談件数 延べ25,467 件 | | |
| [相談員委託事業費] | 557,260 円 | |
| 相談員 22 人 | | |
| [日中一時支援事業費] | 18,505,445 円 | 〔国庫支出金 5,967,909 円 県支出金 2,983,955 円〕 |
| 利用者数 209 人、延べ利用者数 1,436 人 | | |
| [訪問入浴サービス事業費] | 11,005,285 円 | 〔国庫支出金 3,549,147 円 県支出金 1,774,574 円〕 |
| 利用者数 12 人、延べ利用回数 866 回 | | |
| [補装具費] | 68,486,913 円 | 〔国庫支出金 34,243,456 円 県支出金 17,121,728 円〕 |
| 交付・修理件数 585 件 | | |
| 車いす、補聴器、義肢、装具等 | | |
| [日常生活用具等給付事業費] | 58,629,018 円 | 〔国庫支出金 18,907,550 円 県支出金 9,453,269 円〕 |
| 給付件数 3,171 件 | | |
| ストマ装具、紙オムツ、特殊寝台、電気式たん吸引器等 | | |
| [点字・声の広報発行事業費] | 699,200 円 | 〔国庫支出金 225,488 円 県支出金 112,744 円〕 |
| 点字版、録音版 月2回発行 | | |
| [訪問給食サービス事業費] | 160,735 円 | 〔国庫支出金 51,837 円 県支出金 25,919 円〕 |
| 利用者数 4 人、延べ1,037 食 | | |
| [福祉電話貸与事業費] | 131,168 円 | |
| 6 台 | | |
| [障害者等地域生活支援養成事業費] | 500,000 円 | |

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|--------------------|
| 目的 | 自立生活の支援 | | | | |
| 指標 | グループホーム利用者数 | 目標 | 195人以上 | 実績 | 209人 (27年度215人) |
| 説明 | グループホームは、「施設から地域へ」を実現するため、また介護者亡き後も、地域で自立し、安心して生活することができる場です。利用者数の実績は、目標の195人/年を上回りました。今後も、障害者の高齢化・重度化に対応し、介護が必要になっても本人の希望を尊重し、利用し続けることができるよう、事業所へ働きかけるとともに、必要なニーズを把握し、グループホームの整備に努めていきます。 | | | | |

| | | |
|--------------------------------|--------------|--|
| 〔共同生活援助事業費〕 | 383,422,246円 | 〔国庫支出金 191,711,123円 県支出金 95,855,561円〕 |
| グループホーム 40事業所、利用者数 209人 | | |
| 〔自立支援医療費〕 | 344,741,707円 | 〔国庫支出金 172,306,814円 県支出金 86,153,407円〕 |
| 利用者数 260人(心臓15人、腎臓184人、その他61人) | | |
| 〔自立訓練事業費〕 | 67,124,582円 | 〔国庫支出金 33,562,291円 県支出金 16,781,145円〕 |
| 機能訓練、生活訓練 利用者数 50人 | | |
| 〔施設入所支援事業費〕 | 387,309,194円 | 〔国庫支出金 193,654,597円 県支出金 96,827,299円〕 |

○施設の利用状況
(施設入所支援)

| 施設名 | 平成27年度 入所者数 (人) | 平成28年度 入所者数 (人) | 給付費(円) |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------|
| 三重県身体障害者総合福祉センター | 13 | 10 | 11,531,945 |
| 嬉野カトリックの家(旧:三雲カトリックの家) | 6 | 6 | 9,723,360 |
| れんげの里 | 3 | 3 | 7,573,130 |
| 城山れんげの里 | 2 | 2 | 4,612,450 |
| まもり苑 | 2 | 2 | 4,614,801 |
| 彦根学園 | 1 | 1 | 1,575,612 |
| 向陽園 | 1 | 1 | 1,548,320 |
| 八野生活介護センター | 3 | 3 | 4,950,182 |
| 三重県いなば園すぎのき寮 | 5 | 6 | 8,580,837 |
| 〃 かのき寮 | 4 | 4 | 8,053,275 |
| 〃 もみのき寮 | 5 | 5 | 10,364,865 |
| こいしろの里 | 1 | 1 | 1,666,240 |
| エビノ園 | 26 | 28 | 35,301,945 |
| ケアホーム熊南 | 1 | 0 | 0 |
| ルーベンハイム志摩 | 1 | 1 | 2,033,260 |
| 鈴鹿和順学園 | 6 | 6 | 12,220,015 |
| 和順寮 | 11 | 11 | 22,099,658 |
| 長谷山寮 | 9 | 9 | 15,069,196 |
| 吉野学園 | 1 | 1 | 1,722,380 |
| 風の丘 | 1 | 1 | 1,847,260 |
| 桃朋園 | 4 | 1 | 1,264,760 |
| 聖母の家 | 30 | 30 | 47,856,809 |
| 緑の丘 | 2 | 2 | 3,140,509 |

| | | | |
|--------------|-----|-----|-------------|
| 名張育成園成美 | 3 | 2 | 3,207,870 |
| 名張育成園成峯 | 5 | 5 | 7,989,266 |
| 菰野聖十字の家 | 13 | 11 | 16,733,480 |
| 春日苑 | 1 | 1 | 1,408,381 |
| 檜の里 | 10 | 10 | 19,630,510 |
| くわのみ | 3 | 3 | 7,741,564 |
| 津長谷山学園 | 3 | 3 | 3,753,313 |
| 三重済美学院 | 1 | 1 | 722,910 |
| しらさぎ園 | 4 | 4 | 8,780,254 |
| 垂坂山ブルーミングハウス | 14 | 14 | 29,290,018 |
| 小山田苑 | 19 | 19 | 19,081,600 |
| 清和苑 | 27 | 26 | 50,875,621 |
| 紀南ひかり園 | 0 | 1 | 192,170 |
| 聖母の家（障害児入所） | 1 | 1 | 551,428 |
| 計 | 242 | 235 | 387,309,194 |

| | | |
|--|-------------|---|
| 〔特定障害者特別給付費・特例特定障害者特別給付費〕 利用者数 444人 | 52,209,691円 | 〔国庫支出金 26,104,845円 県支出金 13,052,422円〕 |
| 〔療養介護事業費〕 利用者数 20人 | 55,306,320円 | 〔国庫支出金 27,653,160円 県支出金 13,826,580円〕 |
| 〔療養介護医療費・基準該当療養介護医療費〕 国立病院機構鈴鹿病院 利用者数 19人 | 14,656,126円 | 〔国庫支出金 7,323,487円 県支出金 3,661,743円〕 |

その他経費

| | | |
|------------------------------|-------------|--|
| 〔障害者介護給付審査会委員報酬〕 | 2,280,000円 | |
| 〔障害者介護給付審査会費〕 | 3,279,181円 | |
| 〔地域移行支援サービス事業費〕 利用者数 1人 | 98,098円 | 〔国庫支出金 49,049円 県支出金 24,524円〕 |
| 〔地域定着支援サービス事業費〕 利用者数 8人 | 2,148,195円 | 〔国庫支出金 1,074,097円 県支出金 537,049円〕 |
| 〔計画相談支援事業費〕 利用者数 995人 | 38,126,142円 | 〔国庫支出金 19,063,071円 県支出金 9,531,535円〕 |
| 〔給付費支払事務委託料〕 | 4,087,335円 | |
| 〔高額障害福祉サービス等給付費〕 利用者数 16人 | 69,377円 | 〔国庫支出金 34,688円 県支出金 17,344円〕 |
| 〔高額地域生活支援事業利用者負担扶助費〕 | 5,356円 | |
| 〔障害者福祉施設整備事業費〕 | 6,580,440円 | |
| 〔一般経費〕 | 13,090,881円 | 〔国庫支出金 1,253,494円 県支出金 626,747円 その他特財 32,400円〕 |
| 〔一般経費・システム運営経費〕 | 680,400円 | |

目3 老人福祉費

| | | | | |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 710,023,000 円 | 696,012,070 円 | 98.0% | 0 円 | 14,010,930 円 |

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|------------------------------|
| 目的 | 高齢者の地域での見守りや支援体制を充実する | | | | |
| 指標 | 在宅介護支援センター 相談支援件数 | 目標 | 50,800 件以上 | 実績 | 47,924 件 (27 年度 46,966 件) |
| 説明 | <p>高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるようになるためには、医療、介護、生活支援・介護予防、住まいなど各分野のサービス基盤を確保することや、必要な時に相談に応じ、適切なサービス提供につなげられる支援体制を確立することが重要となります。</p> <p>そのため、本市では、身近な地域で気軽に相談できるよう市内 26 カ所に在宅介護支援センターを設置しており、それらを 3 カ所の地域包括支援センターがバックアップする体制を構築しています。</p> <p>さらに、医療と介護の連携を強化するため、平成 28 年度には 17 カ所（平成 27 年度から 4 カ所増）の在宅介護支援センターに看護職員を配置し、医療的な相談にも対応できるよう体制の充実を図りました。</p> <p>これらの施策により、高齢者の相談にきめ細かな対応が可能となったほか、地域ケア会議の運営などを通じて、地域課題の把握も進めることができました。</p> | | | | |

| | | | |
|-----------------------------|---------------|--------|---------------|
| [老人福祉一般事業費] | 40,762,385 円 | | |
| ・老人ホーム入所判定委員会経費（3 回開催） | 118,500 円 | | |
| ・敬老行事費（地区敬老行事） | 38,245,190 円 | | |
| ・敬老訪問事業費（最高齢者・100 歳） | 153,675 円 | | |
| ・敬老金の支給（100 歳）44 人 | 2,200,000 円 | | |
| ・老人福祉一般経費 | 45,020 円 | | |
| [介護予防・生活支援体制づくり事業費] | 5,389,620 円 | | |
| [ねたきり等老人対策事業費] | 203,912,714 円 | | |
| ・日常生活用具給付等事業費 464 件 | 877,880 円 | | |
| ・在宅介護支援センター事業費 26 カ所 | 203,034,834 円 | | |
| [生きがい対策事業費] | 18,698,272 円 | | |
| ・老人クラブ補助金（201 クラブ 15,795 人） | 11,012,272 円 | (県支出金 | 4,028,000 円) |
| ・ふれあいいきいきサロン推進事業費 | 7,686,000 円 | | |
| [社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金] | 21,000 円 | (県支出金 | 15,000 円) |
| [高齢者虐待防止事業費] | 107,668 円 | | |
| [老人福祉センター事業費（施設修繕）] | 6,110,364 円 | | |
| [老人福祉施設事務費事業費] | 421,010,047 円 | (その他特財 | 88,492,543 円) |

○老人福祉施設への措置状況

| 施設名 | 前年度末 入所者数 (人) | 入所措置 (人) | 退所措置 (人) | 本年度末 入所者数 (人) | 措置費 (円) |
|-------|---------------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|
| 寿楽陽光苑 | 114 | 22 | 24 | 112 | 260,760,571 |
| みずほ寮 | 6 | 1 | 1 | 6 | 11,700,952 |
| 翠明院 | 43 | 6 | 5 | 44 | 102,524,615 |
| 梨の木園 | 7 | 0 | 0 | 7 | 21,029,839 |
| 南山 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1,907,829 |
| 小山田 | 3 | 0 | 0 | 3 | 2,427,679 |
| 桜英水苑 | 3 | 2 | 2 | 3 | 4,052,329 |

| | | | | | |
|-------|-----|----|----|-----|-------------|
| 陽光苑 | 7 | 5 | 5 | 7 | 5,594,031 |
| アリビオ | 1 | 0 | 0 | 1 | 2,197,387 |
| 風の路 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1,001,634 |
| 第二小山田 | 4 | 4 | 2 | 6 | 5,743,870 |
| 諧朋苑 | 0 | 1 | 1 | 0 | 490,507 |
| かすみの里 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1,386,433 |
| 計 | 190 | 43 | 40 | 193 | 420,817,676 |

目4 国民年金費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 4,790,000円 | 4,558,173円 | 95.2% | 0円 | 231,827円 |

第1号被保険者にかかる各種届出の受理等の法定受託事務を実施しました。また、国との協力・連携事務の一環として年金制度の啓発活動を実施しました。

〔国民年金事務費〕 4,558,173円（国庫支出金4,558,173円）

資格関係届出書受付 6,187件
 免除申請・学生納付特例受付 11,147件
 年金裁定請求等の受付 3,425件

○国民年金の加入状況（本市で事務を行わない第2号被保険者を除く）

| 区分 | 第1号被保険者 | 第3号被保険者 | 任意加入被保険者 | 合計 |
|----------------|---------|---------|----------|--------|
| 年度末現在の被保険者数（人） | 33,690 | 27,077 | 438 | 61,205 |

※「第1号被保険者」とは、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満で第2号又は第3号被保険者以外の人
 「第2号被保険者」とは、厚生年金保険の加入者
 「第3号被保険者」とは、第2号被保険者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人
 「任意加入被保険者」とは、国民年金の適用除外者のうち、本人の希望により加入した人

目5 老人福祉センター費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 62,156,000円 | 60,785,274円 | 97.8% | 0円 | 1,370,726円 |

〔老人福祉センター管理運営費〕 60,785,274円（その他特財 61,347円）

○老人福祉センターの利用状況

| 施設名 | 開館日数（日） | 利用者数（人） | 1日平均利用者数（人） |
|------------|---------|---------|-------------|
| 中央老人福祉センター | 297 | 37,122 | 125 |
| 西老人福祉センター | 289 | 34,445 | 119 |
| 計 | — | 71,567 | — |

項2 児童福祉費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------------|--------------|
| 16,360,044,760円 | 15,976,057,040円 | 97.7% | 199,825,000円 | 184,162,720円 |

目 1 児童福祉総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|------------------|------------|-------------|---------------|
| 11,479,483,760 円 | 11,373,975,570 円 | 99.1% | 5,295,000 円 | 100,213,190 円 |

| | | | |
|---------|-------|-----------------|---|
| [一般職給] | 318 人 | 2,234,723,832 円 | 国庫支出金 16,153,773 円 県支出金 3,541,000 円 その他特財 486,463,657 円 |
| [再任用職給] | 15 人 | 54,082,403 円 | 国庫支出金 10,113,000 円 県支出金 6,120,000 円 |
| [嘱託職給] | 39 人 | 154,920,559 円 | 国庫支出金 3,138,000 円 県支出金 3,138,000 円 その他特財 1,134,700 円 |

(保育幼稚園課)

●【明許繰越】

| | |
|------------------------|---------------------------------|
| [児童福祉一般事業費] | 3,695,760 円 (国庫支出金 1,495,000 円) |
| ・一般経費 (保育料軽減対応システム改修費) | |

(こども未来課)

| 目的 | 子育て家庭への支援サービスの提供 | | | | |
|----|---|----|---------------|----|----------------------------------|
| 指標 | 子育て支援センター利用者数 | 目標 | 延べ 99,700 人以上 | 実績 | 延べ 108,943 人 (27 年度 98,444 人) |
| 説明 | 育児の不安やストレスを抱える家庭が増加するなか、17 か所の子育て支援センター (単独型 2・保育園併設型 13・医療機関併設型 2) において、育児相談や子育てに関する情報提供を行い、また、子どもたちの遊びの場や保護者同士の交流の場を提供しました。 平成 22 年度より継続して実施している「父親の子育てマイスター養成講座」については、平成 28 年度講座修了者 18 名を「父親の子育てマイスター」に認定しました。また、その中から 11 名を、子育て支援センターにおいて実施している父親による子育て相談 (よかパパ相談) の相談員として新たに登録しました。 | | | | |

| | | |
|----------------------|--------------|--|
| [子育て支援センター管理運営費] | 7,428,075 円 | |
| ・子育て支援センター管理運営費 | 6,153,723 円 | (その他特財 6,600 円) |
| ・子育て支援センター事業費 | 1,274,352 円 | |
| [父親の子育てマイスター事業費] | 1,700,583 円 | |
| [子ども・子育て支援事業計画推進事業費] | 199,770 円 | |
| [ファミリー・サポート・センター事業費] | 11,736,593 円 | 国庫支出金 3,420,000 円 県支出金 3,420,000 円 その他特財 8,284 円 |
| [病児保育室管理運営費] | 18,906,730 円 | 国庫支出金 5,523,000 円 県支出金 5,523,000 円 その他特財 2,435,360 円 |
| 医療法人里仁会へ指定管理者委託 | | |

○年間実績

| 開設日数 | 延べ利用者数 | 1日あたり利用者数 |
|-------|---------|-----------|
| 275 日 | 1,406 人 | 5.1 人 |

| | | | | | |
|----|--|----|----------|----|-------------------------|
| 目的 | 留守家庭児童の保育活動の支援 | | | | |
| 指標 | 学童保育所利用児童数 (月平均) | 目標 | 1,680人以上 | 実績 | 1,785人 (27年度 1,639人) |
| 説明 | <p>保護者の就労等により放課後等に留守家庭となる児童の生活の場として運営委員会が設置・運営する学童保育所に対し、その経費の一部補助等の支援を行うとともに、学童保育所の常勤指導員確保支援補助や就学援助家庭等に対する利用支援補助を行いました。</p> <p>平成28年度においては、橋北小学校区に学童保育所が新規開設され、また、3か所の大規模学童保育所が分割されたことにより、市内の学童保育所は50か所となりました。さらに、労務管理の適正化を図るための支援として、希望する学童保育所に対し社会保険労務士による個別訪問を新たに実施しました。</p> | | | | |

| | | |
|--------------------------|--------------|---|
| 〔青少年健全育成事業費〕 ・学童保育事業費 | 376,759,973円 | 国庫支出金 93,889,000円 県支出金 96,499,000円 その他特財 1,670,704円 |
|--------------------------|--------------|---|

その他経費

| | | |
|------------------------------------|--------------|---------------------------------------|
| 〔児童福祉一般事業費〕 | 18,078,106円 | |
| ・一般経費 | 3,383,716円 | (その他特財 329,208円) |
| ・青少年問題協議会委員報酬 | 110,600円 | |
| ・臨時職員賃金 | 6,183,909円 | |
| ・臨時職員賃金 (子育て支援センター) | 8,399,881円 | (国庫支出金 2,131,000円 県支出金 2,131,000円) |
| 〔第2子以降子育てレスパイトケア事業費〕 | 420,148円 | |
| 〔利用者支援事業費〕 | 41,223円 | |
| 〔児童発達支援センターあけぼの学園移転整備事業費〕 | 184,302,360円 | (市 債 115,100,000円) |
| 〔四日市まちじゅうこども図書館事業費 (公立子育て支援センター) 〕 | 79,681円 | |

(保育幼稚園課)

| | | |
|-------------------|--------------|---|
| 〔児童福祉一般事業費〕 | 831,799,505円 | |
| ・臨時職員賃金 | 798,132,946円 | (国庫支出金 2,907,000円 県支出金 2,907,000円 その他特財 2,959,179円) |
| ・臨時職員賃金 (保育園事務支援) | 7,526,825円 | |
| ・一般経費 | 26,139,734円 | |
| 〔子育て支援推進事業費〕 | 1,080,000円 | |
| ・子育て支援事業補助金 | | |

(こども保健福祉課)

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 児童虐待の早期発見、早期対応、未然防止 | | | | |
| 指標 | 児童虐待として対応した実件数 | 目標 | 745件以上 | 実績 | 790件 (27年度 620件) |
| 説明 | <p>「四日市市子どもの虐待及び配偶者からの暴力防止ネットワーク会議」を中心に、保健・医療・福祉・教育・警察等の関係機関や関係団体、地域と連携して事業を展開し、児童虐待の早期発見・早期対応・未然防止を図りました。</p> <p>「子育て中の親支援プログラム講座」は、未就学児の保護者を対象とした子育て不安軽減を図るための講座に加え、未就学に限らず子どもの良い行動を伸ばすといった効果的な子どもへの対応を学ぶ講座を新たに実施し、より幅広い層を対象に虐待の未然防止を図りました。</p> <p>様々な原因で養育支援が必要な家庭に、育児・家事支援や保健師・助産師による専門相談・指導を行う「養育支援訪問事業」を実施し、養育力向上と虐待の未然防止・再発予防を図りました。</p> | | | | |

| | | | |
|--------------------|-------------|--------|-----------|
| [児童福祉一般事業費] | 3,112,637 円 | | |
| ・家庭児童相談経費 | 557,412 円 | | |
| ・児童虐待防止対策事業費 | 2,555,225 円 | (国庫支出金 | 67,000 円) |
| | | 県支出金 | 67,000 円) |
| [三重県母子寡婦福祉大会補助金] | 300,000 円 | | |
| ・三重県母子寡婦福祉大会補助金 | | | |
| [母子・父子福祉センター管理運営費] | 4,793,000 円 | | |
| 市社会福祉協議会へ指定管理者委託 | | | |
| ○年間実績 延べ利用者数 | 1,501 人 | 相談件数 | 470 件 |

(こども発達支援課【旧こども保健福祉課】)

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|--------------------------|
| 目的 | 発達支援の必要な児童の相談や指導 | | | | |
| 指標 | 相談件数 | 目標 | 1,100 件以上 | 実績 | 1,151 件 (27 年度 900 件) |
| 説明 | <p>ことばや行動、人との関わりなど、子どもの発達について、電話や来所相談、医師や臨床心理士、言語聴覚士による発達相談を行うとともに、保健師や保育園、幼稚園、小・中学校等関係機関との連携を図り、巡回相談やU-8 事業の推進に努めました。また、親子教室や5 歳児保護者アンケートを行い、発達に課題がある児童の早期発見に努めました。</p> <p>さらに、放課後等デイサービス事業所などの利用につなげ、障害児の通所支援を行いました。</p> | | | | |

| | | | |
|-------------------|---------------|--------|----------------|
| [児童福祉一般事業費] | 8,070,731 円 | | |
| ・児童発達相談経費 | 3,983,150 円 | | |
| ・プロジェクトU-8 事業費 | 2,252,331 円 | (その他特財 | 5,000 円) |
| ・園巡回発達相談事業費 | 1,835,250 円 | | |
| [おもちゃ図書館管理運営費] | 1,315,000 円 | (その他特財 | 39,140 円) |
| [心身障害児訓練事業費] | 204,000 円 | | |
| ・障害児機能強化事業費補助金 | | | |
| [高額障害児通所給付費] | 118,626 円 | (国庫支出金 | 59,313 円) |
| | | 県支出金 | 29,656 円) |
| [障害児通所事業費] | 603,572,711 円 | (国庫支出金 | 300,179,405 円) |
| | | 県支出金 | 150,089,702 円) |
| 放課後等デイサービス事業所 | 37 ヲ所 | 利用者数 | 417 人 |
| 基準該当放課後等デイサービス事業所 | 9 ヲ所 | 利用者数 | 28 人 |

(児童発達支援センターあけぼの学園)

| | | | | | |
|----|--|----|-------------|----|-------------------------------|
| 目的 | 障害児の発達支援等の充実 | | | | |
| 指標 | 障害児・保護者訓練指導事業実施者数 | 目標 | 延べ5,100 人以上 | 実績 | 延べ5,014 人 (27 年度延べ5,517 人) |
| 説明 | <p>あけぼの学園及び三重北勢健康増進センター（ヘルスプラザ）において、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、心理判定員が、18 歳までの障害のある児童に対して日常生活に必要な訓練指導等を行い、身体運動面、言語機能面などの発達を促すとともに、その保護者に対し、家庭における訓練技術を習得する機会を提供しました。</p> | | | | |

| | | | |
|----------------|-----------|--------|------------|
| [心身障害児訓練事業費] | 921,114 円 | (その他特財 | 921,114 円) |
| ・障害児・保護者訓練指導事業 | | | |
| ○登録者数 | 1,180 人 | | |

その他経費

| | |
|-------------|--------------|
| [児童福祉一般事業費] | 28,019,492 円 |
| ・臨時職員賃金 | |

(保育幼稚園課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------------------|----|--------------------------------|
| 目的 | 私立幼稚園の教育環境の維持向上 | | | | |
| 指標 | 公私立園保育料保護者負担格差 | 目標 | 公私立園保育料保護者負担格差の縮減 | 実績 | 109,717 円 (27 年度 104,755 円) |
| 説明 | 私立幼稚園（市内 14 幼稚園）の運営事業費等を補助し、教育環境の維持向上の支援に努めました。また、私立幼稚園に在園する園児の保護者負担の軽減を図るため、就園奨励費、第 3 子以降保育料補助等、私立幼稚園保育料補助を実施しました。 | | | | |

| | | |
|------------------------------------|---------------|---|
| [施設型給付費負担金事業費] | 104,915,130 円 | 〔 国庫支出金 23,855,760 円 県支出金 30,354,659 円 〕 |
| ・幼稚園事務費事業費 （海の星カトリック幼稚園、まきば幼稚園） | | |
| [私立幼稚園振興助成費] | 400,669,965 円 | |
| ・私立幼稚園運営費補助金 | 10,451,400 円 | |
| ・私立幼稚園教員研修費補助金 | 1,752,850 円 | |
| ・私立幼稚園保育料補助金 | 23,165,900 円 | |
| ・私立幼稚園一時預かり事業費 | 291,515 円 | 〔 国庫支出金 277,000 円 県支出金 277,000 円 〕 |
| ・私立幼稚園就園奨励費補助金 | 332,448,700 円 | |
| ・私立幼稚園第 3 子以降保育料補助金 | 32,559,600 円 | (国庫支出金 107,863,000 円) |

【幼稚園就園奨励費補助金の対象になる世帯と補助額】

補助対象者 2,557 人

| 平成28年度市町村民税 | 年間補助限度額 | 補助対象者 | 合計 |
|---------------------------|----------------|--------|--------|
| 生活保護世帯 | 第 1 子 308,000円 | 0人 | 0人 |
| | 第 2 子 308,000円 | 0人 | |
| | 第 3 子 308,000円 | 0人 | |
| 非課税世帯 | 第 1 子 272,200円 | 33人 | 93人 |
| | 第 2 子 290,000円 | 39人 | |
| | 第 3 子 308,000円 | 21人 | |
| 所得割非課税世帯 | 第 1 子 272,200円 | 17人 | 41人 |
| | 第 2 子 290,000円 | 19人 | |
| | 第 3 子 308,000円 | 5人 | |
| 所得割課税の額が 77,100円以下の世帯 | 第 1 子 115,200円 | 148人 | 239人 |
| | 第 2 子 211,000円 | 77人 | |
| | 第 3 子 308,000円 | 14人 | |
| 所得割課税の額が 211,200円以下の世帯 | 第 1 子 62,200円 | 1,050人 | 1,693人 |
| | 第 2 子 185,000円 | 590人 | |
| | 第 3 子 308,000円 | 53人 | |
| 上記以外の世帯 | 第 2 子 154,000円 | 470人 | 491人 |
| | 第 3 子 308,000円 | 21人 | |

・小学校 4～中学校 3 年生の兄・姉を持つ園児の世帯
第 3 子（年間補助限度額 308,000円） 補助対象者 206人

[四日市まちじゅうこども図書館事業費（私立幼稚園）] 480,000 円

(障害福祉課)

[重度障害児手当の支給] 8,444,000 円
受給者数 374 人（受給者数は年度末）

(こども保健福祉課)

(受給者数は年度末)

| | | |
|------------------------------|-----------------|---|
| 〔児童手当〕 | 5,292,685,000 円 | 〔国庫支出金 3,689,318,332 円〕 〔県支出金 799,068,332 円〕 |
| 受給者数 25,245 人 対象児童数 41,562 人 | | |
| 〔児童扶養手当〕 | 1,002,781,740 円 | (国庫支出金 331,594,730 円) |
| 受給者数 2,337 人 対象児童数 3,128 人 | | |
| 〔給付事務費〕 | 13,289,755 円 | (国庫支出金 20,000 円) |

その他経費

| | | |
|-------------------------|-----------|-------------------|
| 〔小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業費〕 | 327,368 円 | (国庫支出金 163,000 円) |
| 給付件数 3 件 痰吸引器、ネブライザー | | |

目2 保育所費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 841,491,000 円 | 826,392,426 円 | 98.2% | 0 円 | 15,098,574 円 |

(保育幼稚園課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|--------------------|
| 目的 | 市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供 | | | | |
| 指標 | 待機児童数（保育園入所待ちの解消） （各年10月1日現在） | 目標 | 50人以内 | 実績 | 142人 （27年度124人） |
| 説明 | <p>保護者の就労や病気などにより保育を希望する保護者が安心して子どもを保育施設に預けられるよう入所受入枠の拡大に努めました。しかしながら、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育施設への入所要件が大幅に緩和されたことにより、低年齢児を中心として保育ニーズが高まり、入所希望者数が大幅に増加したため、待機児童が発生しました。</p> <p>一方、公立保育園の整備については、アセットマネジメントによる改修や、園舎の整備及び維持管理を行い、保育環境の向上に努めました。</p> | | | | |

| | | |
|----------------------------|---------------|---|
| 〔非常勤職員報酬〕 | 13,798,270 円 | |
| ・嘱託医師 25 人 | 7,193,190 円 | |
| ・嘱託歯科医師 25 人 | 6,605,080 円 | |
| 〔保育所一般事業費〕 | 3,169,167 円 | (その他特財 1,383,000 円) |
| 〔保育所整備事業費〕 | 514,952,179 円 | |
| ・保育所整備事業費 | 9,576,566 円 | |
| ・保育所整備事業費（アセットマネジメント） | 72,223,272 円 | |
| ・橋北交流会館整備事業費（橋北こども園） | 428,261,168 円 | 〔県支出金 6,679,000 円〕 〔市 債 343,700,000 円〕 |
| ・保育所備品整備費 | 4,891,173 円 | |
| 〔保育所管理運営費〕 | 291,396,319 円 | |
| ・保育所管理運営費 | 289,117,815 円 | 〔国庫支出金 91,000 円〕 〔県支出金 148,000 円〕 〔その他特財 163,851,817 円〕 |
| ・保育所地域交流事業費 | 2,278,504 円 | |
| 〔負担金〕 | 1,334,422 円 | (その他特財 594,720 円) |
| ・日本スポーツ振興センター共済掛金等 | | |
| 〔四日市まちじゅうこども図書館事業費（公立保育園）〕 | 1,742,069 円 | |

○公立保育園入所状況 (単位：人)

| 保育園名 | 定員 | 延べ入所 児童数 | 延べ入所児童の年齢別内訳 | | | 月平均 入所 児童数 | 児童 入所率 (%) |
|-----------|-------|-------------|--------------|-------|--------|------------------|------------------|
| | | | 3歳児未満 | 3歳児 | 4歳児以上 | | |
| 橋北 | 120 | 1,413 | 401 | 429 | 583 | 117.8 | 98.13 |
| 富洲原 | 140 | 1,464 | 564 | 328 | 572 | 122.0 | 87.14 |
| 塩浜西 | 90 | 960 | 261 | 207 | 492 | 80.0 | 88.89 |
| 四郷 | 140 | 1,543 | 398 | 367 | 778 | 128.6 | 91.85 |
| 羽津 | 150 | 1,584 | 439 | 319 | 826 | 132.0 | 88.00 |
| あがた | 100 | 1,097 | 265 | 276 | 556 | 91.4 | 91.42 |
| 大矢知 | 130 | 1,378 | 451 | 299 | 628 | 114.8 | 88.33 |
| 中央 | 130 | 1,377 | 428 | 301 | 648 | 114.8 | 88.27 |
| ときわ | 200 | 2,191 | 590 | 502 | 1,099 | 182.6 | 91.29 |
| 富田 | 110 | 1,181 | 384 | 240 | 557 | 98.4 | 89.47 |
| 海蔵 | 140 | 1,567 | 491 | 332 | 744 | 130.6 | 93.27 |
| 下野 | 80 | 846 | 349 | 174 | 323 | 70.5 | 88.13 |
| 内部 | 150 | 1,826 | 401 | 432 | 993 | 152.2 | 101.44 |
| 磯津 | 50 | 629 | 188 | 153 | 288 | 52.4 | 104.83 |
| 坂部 | 90 | 969 | 386 | 210 | 373 | 80.8 | 89.72 |
| 保々 | 110 | 1,061 | 360 | 233 | 468 | 88.4 | 80.38 |
| 笹川 | 120 | 1,238 | 311 | 240 | 687 | 103.2 | 85.97 |
| 神前 | 100 | 1,100 | 337 | 235 | 528 | 91.7 | 91.67 |
| 日永中央 | 140 | 1,450 | 469 | 276 | 705 | 120.8 | 86.31 |
| 笹川西 | 100 | 1,096 | 339 | 207 | 550 | 91.3 | 91.33 |
| 桜台 | 100 | 1,005 | 330 | 200 | 475 | 83.8 | 83.75 |
| 下野中央 | 100 | 1,015 | 284 | 275 | 456 | 84.6 | 84.58 |
| 八郷西 | 80 | 821 | 324 | 209 | 288 | 68.4 | 85.52 |
| くす南 | 120 | 1,354 | 450 | 271 | 633 | 112.8 | 94.03 |
| くす北 | 60 | 432 | 288 | 144 | — | 36.0 | 60.00 |
| 市内 公立計 | 2,850 | 30,597 | 9,488 | 6,859 | 14,250 | 2,549.8 | 89.46 |
| 広域 | | 89 | 9 | 28 | 52 | 7.4 | — |
| 公立計 | — | 30,686 | 9,497 | 6,887 | 14,302 | 2,557.2 | — |

(参考) 公立・私立保育園、地域型保育事業所入所児童数合計 (単位：人)

| 年度 | 延べ入所 児童数 | 延べ入所児童の年齢別内訳 | | | 月平均 入所児童数 |
|------|-------------|--------------|--------|--------|--------------|
| | | 3歳児未満 | 3歳児 | 4歳児以上 | |
| 27年度 | 62,854 | 22,603 | 13,333 | 26,918 | 5,238 |
| 28年度 | 64,981 | 23,285 | 13,688 | 28,008 | 5,415 |

目3 民間児童福祉施設運営費

| | | | | |
|----------------|----------------|------------|--------------|-------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 3,754,231,000円 | 3,493,645,814円 | 93.1% | 194,530,000円 | 66,055,186円 |

(保育幼稚園課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供 | | | | |
| 指標 | 特別保育実施園数(延べ) | 目標 | 77園以上 | 実績 | 76園 (27年度 75園) |
| 説明 | 民間保育所において、適正な運営ができるよう指導及び助言を行うとともに、保育内容の充実のために、各種の補助施策を実施しました。平成28年度の特別保育実施園数としては、一時保育が1園増となりました。実施園数は目標園数を下回りましたが、延長保育、一時保育、休日保育、病児保育、の特別保育について各1園ずつ、平成29年度実施開始に向けた支援等を行いました。引き続き、民間保育所との連携をより一層図りながら、特別保育の実施を促進していきます。 | | | | |

| | | |
|------------------|----------------|---|
| [保育所事務費事業費] | 2,838,264,562円 | |
| ・児童一般分 | 2,676,060,430円 | (国庫支出金 734,910,905円 県支出金 367,451,329円 その他特財 580,738,386円) |
| ・民間施設加算 | 162,204,132円 | (県支出金 8,553,000円) |
| [地域型保育給付費負担金事業費] | 322,163,040円 | (国庫支出金 123,885,797円 県支出金 61,946,449円) |

○私立保育園入所状況

(単位：人)

| 保育園名 | 定員 | 延べ入所児童数 | 延べ入所児童の年齢別内訳 | | | 月平均入所児童数 | 児童入所率(%) |
|-------|-----|---------|--------------|-----|-------|----------|----------|
| | | | 3歳児未満 | 3歳児 | 4歳児以上 | | |
| 日永 | 100 | 1,297 | 355 | 294 | 648 | 108.1 | 108.08 |
| にじのはな | 90 | 994 | 385 | 217 | 392 | 82.8 | 92.04 |
| 浜田 | 90 | 873 | 250 | 176 | 447 | 72.8 | 80.83 |
| ローズ | 130 | 1,573 | 518 | 346 | 709 | 131.1 | 100.83 |
| 海山道 | 120 | 1,370 | 501 | 293 | 576 | 114.2 | 95.14 |
| 愛華 | 100 | 1,301 | 521 | 264 | 516 | 108.4 | 108.42 |
| 三重愛育 | 160 | 1,976 | 574 | 463 | 939 | 164.7 | 102.92 |
| みのり | 100 | 1,263 | 515 | 249 | 499 | 105.3 | 105.25 |
| かわしま | 110 | 1,329 | 412 | 257 | 660 | 110.8 | 100.68 |
| 大谷台 | 110 | 1,272 | 419 | 272 | 581 | 106.0 | 96.36 |
| フジ | 110 | 1,304 | 475 | 297 | 532 | 108.7 | 98.79 |
| いずみ | 110 | 1,386 | 510 | 282 | 594 | 115.5 | 105.00 |
| あがたが丘 | 90 | 990 | 353 | 211 | 426 | 82.5 | 91.67 |
| ひよこ | 100 | 1,242 | 525 | 249 | 468 | 103.5 | 103.50 |
| 陽光台 | 80 | 965 | 276 | 221 | 468 | 80.4 | 100.52 |
| たいすい | 130 | 1,684 | 650 | 338 | 696 | 140.3 | 107.95 |
| こっこ | 100 | 1,252 | 500 | 236 | 516 | 104.3 | 104.33 |

| | | | | | | | |
|--------|-------|--------|--------|-------|--------|---------|--------|
| 西浦 | 60 | 678 | 678 | — | — | 56.5 | 94.17 |
| 河原田 | 100 | 1,344 | 456 | 297 | 591 | 112.0 | 112.00 |
| 水沢 | 70 | 860 | 221 | 195 | 444 | 71.7 | 102.38 |
| たいすい中央 | 90 | 1,167 | 493 | 268 | 406 | 97.3 | 108.06 |
| 高花平 | 70 | 918 | 278 | 184 | 456 | 76.5 | 109.29 |
| 三重 | 70 | 925 | 396 | 181 | 348 | 77.1 | 110.12 |
| 日の本 | 100 | 1,254 | 496 | 252 | 506 | 104.5 | 104.50 |
| どんぐり | 110 | 1,395 | 560 | 288 | 547 | 116.3 | 105.68 |
| 市内民間計 | 2,500 | 30,612 | 11,317 | 6,330 | 12,965 | 2,551.0 | 102.04 |
| くまだ | — | 449 | 176 | 106 | 167 | 37.4 | — |
| 岸田 | — | 884 | 315 | 208 | 361 | 73.7 | — |
| 広域 | — | 571 | 201 | 157 | 213 | 47.6 | — |
| 市外民間計 | — | 1,904 | 692 | 471 | 741 | 158.7 | — |
| 民間計 | — | 32,516 | 12,009 | 6,801 | 13,706 | 2,709.7 | — |

○地域型保育事業所入所状況

(単位：人)

| 施設名 | 定員 | 延べ入所 児童数 | 月平均 入所児童数 | 児童入所率 (%) |
|-----------------------|-----|-------------|--------------|--------------|
| きっずはうすココロン | 12 | 144 | 12.0 | 100.00 |
| ちびっこハウスあかほり園 | 12 | 139 | 11.6 | 96.52 |
| Kindergarten イオン四日市北店 | 19 | 246 | 20.5 | 107.89 |
| キッズ・ティアラ | 12 | 156 | 13.0 | 108.33 |
| たいすいきッズステーション | 12 | 82 | 6.8 | 56.94 |
| もりのくに国際幼保園 | 12 | 154 | 12.8 | 106.94 |
| 小規模保育所まちなかフジ保育園 | 12 | 124 | 10.3 | 86.11 |
| つぼみ保育園 | 12 | 122 | 10.2 | 84.72 |
| にじいろランド四日市園 | 12 | 115 | 9.6 | 79.86 |
| 山口堂保育園 | 15 | 129 | 10.8 | 71.67 |
| かすみ園 | 12 | 135 | 11.3 | 93.75 |
| スマイルキッズルーム | 12 | 149 | 12.4 | 103.47 |
| よっかいち ひばり保育園 | 12 | 84 | 7.0 | 58.33 |
| 計 | 166 | 1,779 | 148.3 | 89.31 |

[民間保育所振興費]

171,878,130円

- ・民間保育所運営費補助金 44,790,200円
- ・民間保育所園児健康診断料等補助金 13,278,360円
- ・障害児保育事業費補助金 2,738,400円
- ・民間保育所乳児保育促進事業費補助金 14,288,000円
- ・延長保育事業費補助金 39,682,161円

| | |
|-------|------------|
| 国庫支出金 | 6,872,000円 |
| 県支出金 | 6,872,000円 |
- ・一時保育事業費補助金 23,103,854円

| | |
|-------|------------|
| 国庫支出金 | 7,642,000円 |
| 県支出金 | 7,642,000円 |
- ・休日保育事業費補助金 6,000,000円

| | |
|----------|----|
| 私立保育園実施園 | 2園 |
|----------|----|
- ・家庭支援推進保育事業費補助金 2,442,000円 (県支出金 1,335,000円)

| | | | |
|----------------------------|-------------|--------|--------------|
| ・民間保育所地域活動事業費補助金 | 4,135,047円 | | |
| ・認可外保育所受入支援事業費補助金 | 5,198,848円 | | |
| ・認可外保育施設職員健康診断料補助金 | 221,260円 | (県支出金 | 147,000円) |
| ・業務効率化推進事業費補助金 | 16,000,000円 | (国庫支出金 | 12,000,000円) |
| [民間保育所整備事業費] | 13,367,000円 | (国庫支出金 | 11,881,000円) |
| ・民間保育所(補助)増改築1園 | | | |
| [四日市まちじゅうこども図書館事業費(私立保育所)] | 1,521,592円 | | |

(こども未来課)

| | | | |
|----------------------------------|-------------|--------|--------------|
| [四日市まちじゅうこども図書館事業費(民間子育て支援センター)] | 80,000円 | | |
| [地域子育て支援拠点事業費補助金] | 50,422,000円 | (国庫支出金 | 16,807,000円) |
| | | (県支出金 | 16,807,000円) |

(こども保健福祉課)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|----------------------|
| 目的 | 経済的安定と自立を図るための支援 | | | | |
| 指標 | 母子生活支援施設入所世帯数 | 目標 | 130世帯以下 | 実績 | 179世帯 (27年度129世帯) |
| 説明 | 配偶者等の暴力からの保護及び生活上の支援が必要な母子に対し、母子生活支援施設入所による保護を行い、母子の自立に向けて支援に努めました。 また、子育て支援ショートステイ事業により、ひとり親家庭等が安定した生活を確保できるよう努めました。 | | | | |

| | | | |
|--------------------------------|-------------|--------|--------------|
| [母子生活支援施設事務費事業費] | 62,567,720円 | (国庫支出金 | 31,058,368円) |
| ・菜の花苑他17施設 延べ179世帯利用 | | (県支出金 | 15,538,814円) |
| | | (その他特財 | 25,660円) |
| [第二種助産施設事務費事業費] | 4,888,760円 | (国庫支出金 | 2,565,000円) |
| ・県立総合医療センター12人 | | (県支出金 | 1,282,500円) |
| [民間児童養護施設等支援事業費] | 15,678,310円 | (その他特財 | 3,300円) |
| ・エスペランス四日市(定員児童養護施設50人、乳児院25人) | | | |
| ・運営協議会開催回数2回 | | | |
| [民間児童養護施設等整備事業費] | 8,719,000円 | | |
| ・乳児院(一時保護施設)1件 | | | |
| ・児童家庭支援センター1件 | | | |
| [子育て支援ショートステイ事業費] | 4,095,700円 | (国庫支出金 | 1,141,000円) |
| ・エスペランス四日市69人 | | (県支出金 | 1,141,000円) |
| ・菜の花苑16人 | | (その他特財 | 164,850円) |
| ・津市たるみ児童福祉会館4人 | | | |

目4 児童館費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 251,162,000円 | 250,135,497円 | 99.6% | 0円 | 1,026,503円 |

(こども未来課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------------|----|----------------------------|
| 目的 | あそびを通じた児童の健全育成 | | | | |
| 指標 | 児童館利用者数 | 目標 | 延べ59,600人以上 | 実績 | 延べ63,269人 (27年度59,521人) |
| 説明 | 子どもたちの自主性や社会性、創造性などを「あそび」を通して育成するため、季節の行事や創作活動などの体験的事業、子どもクラブの指導などを実施するとともに、児童館のない地域の子どもたちに「あそび」を出前する移動児童館を実施しました。 また、平成29年度に児童館機能を移転する、橋北交流会館の改修工事を行いました。 | | | | |

| | | | |
|----------------------------|---------------|--------|---------------|
| [施設管理運営費] | 248,216,717 円 | | |
| ・児童館管理運営費 | 10,358,269 円 | (その他特財 | 1,500 円) |
| ・橋北交流会館整備事業費 (こども子育て交流プラザ) | 237,858,448 円 | 県支出金 | 3,479,000 円) |
| | | 市 債 | 175,800,000 円 |
| | | その他特財 | 6,380 円) |
| [四日市まちじゅうこども図書館事業費 (児童館)] | 279,593 円 | | |
| [自主事業費] | 1,639,187 円 | (その他特財 | 178,100 円) |

○児童館の利用状況

| 施設名 | 開館日数 (日) | 利用者数 (人) | 1日平均利用者数 (人) |
|-------|----------|----------|--------------|
| 北部児童館 | 249 | 24,352 | 98 |
| 橋北児童館 | 249 | 11,560 | 46 |
| 塩浜児童館 | 249 | 7,858 | 32 |
| こどもの家 | 249 | 19,499 | 78 |
| 計 | — | 63,269 | — |

○移動児童館事業

| 実施回数 (回) | 実施地区数 (箇所) | 参加者数 (人) | 1回平均参加者数 (人) |
|----------|------------|----------|--------------|
| 40 | 15 | 7,133 | 178 |

目5 児童発達支援費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 26,021,000 円 | 24,727,903 円 | 95.0% | 0 円 | 1,293,097 円 |

(児童発達支援センターあけぼの学園)

| 目的 | 発達に遅れのある乳幼児の発達支援 | | | | |
|----|---|----|------|----|--------------------|
| 指標 | 1年間で伸びた平均発達月数 | 目標 | 7月以上 | 実績 | 8.6月 (27年度5.8月) |
| 説明 | 就学前の発達に遅れのある児童や障害のある児童に対して、発達支援を行いました。基本的な生活習慣を身に付けたり、社会性を育てることなどをねらいとして、年齢に応じた自立が出来るような取組や、保護者に対して相談・助言などの支援に努めました。平均発達月数は、運動力をみる「姿勢・運動」や注意力・理解力をみる「認知・適応」、言語力やコミュニケーション力を見る「言語・社会」の各領域での発達を評価しますが、発達検査での評価において、通園グループ児の平均発達月数が8.6月と目標を上回りました。 | | | | |

| | | | |
|-------------------|--------------|--------|---------------|
| [非常勤職員報酬] | 648,000 円 | | |
| ・嘱託医師 | 3人 | | |
| [児童発達支援センター管理運営費] | 24,079,903 円 | (その他特財 | 24,079,903 円) |

○入園状況 (週5日通園) (単位:人)

| 平成28年度 末在園児数 | 年 齢 別 内 訳 | | | | |
|-----------------|-----------|-----|-----|-----|-----|
| | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
| 46 | 0 | 16 | 30 | 0 | 0 |

目6 児童地域支援費

| | | | | |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 7,656,000円 | 7,179,830円 | 93.8% | 0円 | 476,170円 |

(児童発達支援センターあけぼの学園)

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|------------------------|
| 目的 | 発達の遅れが心配な乳幼児等への相談及び発達支援 | | | | |
| 指標 | 児童発達支援事業 延べ利用者数(人数) | 目標 | 3,100人以上 | 実績 | 3,192人 (27年度3,083人) |
| 説明 | <p>ことば・身体運動面・生活面など、発達の遅れが心配な乳幼児を対象とした発達支援を行いました。週1回の親子通園により、基本的な生活習慣を身に付けたり、社会性を育てるとともに、保護者に対しては、子どもの発達への認識を深め、子どものかかわり方を学んでもらうなど、相談・援助に努めました。また、発達支援を必要とする生徒が放課後を自由に楽しく過ごすことが出来るための放課後等デイサービス事業や、児童が保育所等における集団生活に適応することができるよう支援を行う保育所等訪問支援事業を実施するとともに、障害児相談支援事業所において、障害児通所支援を希望する児童の利用計画書の作成、継続のモニタリングを実施しました。</p> | | | | |

[非常勤職員報酬]

216,000円

・嘱託医師 1人

[児童地域支援事業管理運営費]

6,963,830円 (その他特財 6,963,830円)

○入園状況(週1日通園)

(単位:人)

| 平成28年度 未在園児数 | 年齢別内訳 | | | | | |
|-----------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
| 129 | 5 | 22 | 47 | 50 | 3 | 2 |

○放課後等デイサービス事業

(単位:人)

| 平成28年度末 登録人数 | 学年別内訳 | | | | | | | | | | | |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 小学 1年 | 小学 2年 | 小学 3年 | 小学 4年 | 小学 5年 | 小学 6年 | 中学 1年 | 中学 2年 | 中学 3年 | 高校 1年 | 高校 2年 | 高校 3年 |
| 23 | 0 | 1 | 1 | 4 | 4 | 5 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 2 |

○保育所等訪問支援事業

(単位:人)

| 平成28年度 支援実施人数 | 支援内容別内訳 | | | | |
|------------------|---------|----|----|----|----|
| | 作業 | 理学 | 言語 | 心理 | 保育 |
| 83 | 28 | 8 | 15 | 22 | 10 |

○障害児相談支援事業 (単位:人)

| 平成28年度 利用計画 | モニタリング |
|----------------|--------|
| 250 | 延べ676 |

項3 生活保護費

| | | | | |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 6,395,041,000円 | 6,349,840,019円 | 99.3% | 0円 | 45,200,981円 |

目1 生活保護総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 259,041,000 円 | 257,043,865 円 | 99.2% | 0 円 | 1,997,135 円 |

| | | | | |
|---------------------------|------|--|---------------|---------------------|
| [一般職給] | 35 人 | | 220,743,403 円 | |
| [非常勤職員報酬] | | | 1,665,600 円 | |
| ・嘱託医師 | 1 人 | | | |
| [生活保護適正化等事業] | | | 7,626,069 円 | (国庫支出金 5,747,000 円) |
| ・うち臨時職員 | 2 人 | | 3,739,533 円 | |
| [被保護者就労支援事業] | | | 3,446,764 円 | (国庫支出金 2,585,073 円) |
| ・臨時職員 | 2 人 | | | |
| [その他経費] | | | 23,562,029 円 | (その他特財 103,269 円) |
| ・うち診療報酬・介護報酬等事務手数料 | | | 4,342,695 円 | |
| ・うち生活保護費返還金債権管理システム構築業務委託 | | | 11,934,000 円 | |

目2 扶助費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 6,136,000,000 円 | 6,092,796,154 円 | 99.3% | 0 円 | 43,203,846 円 |

| 目的 | 適正な保護を実施できる | | | | |
|----|--|----|------------------|----|--------------------------------|
| 指標 | 就労支援者 就労決定者 | 目標 | 220人以上 125人以上 | 実績 | 252人(27年度216人) 144人(" 97人) |
| | 訪問率 (訪問数÷訪問計画数) | | 100% | | 124.0%(" 95.0%) |
| | 不登校者(小・中学生) | | 30人以下 | | 27人(27年度44人) |
| 説明 | <p>生活に困窮する市民に対し、健康で文化的な生活を保障するため、平成28年度は生活に問題を抱える市民から1,248件の相談を受け、418世帯の生活保護を開始しました。平成28年度末現在で、保護受給者は3,696人(平成27年度3,864人)、保護率11.8‰(平成27年度12.4‰)となっており、保護率は減少傾向を示しました。</p> <p>このような状況の中、適正な保護の実施に向けて、訪問調査等により生活状況の的確な把握を行うとともに、必要な保護受給者に対しては就労支援を行い、早期の自立を促しました。また、貧困の連鎖を断ち切るために、学校等と連携を密に取りながら、教育に何らかの問題を抱える児童・生徒に対する状況改善に努めました。</p> | | | | |

[扶助費] 延べ116,952人 6,092,796,154円 (国庫支出金4,520,521,946円 県支出金168,539,560円)

○生活保護費支給内訳

| 区分 | 延べ人数(人) | 1ヵ月平均(人) | 支出額(円) | 割合(%) |
|------|---------|----------|---------------|-------|
| 生活扶助 | 37,774 | 3,148 | 1,861,243,891 | 30.55 |
| 住宅扶助 | 36,987 | 3,082 | 838,149,566 | 13.76 |
| 教育扶助 | 2,845 | 237 | 32,596,303 | 0.54 |
| 介護扶助 | 6,483 | 540 | 147,632,862 | 2.42 |
| 医療扶助 | 31,115 | 2,593 | 3,068,591,783 | 50.36 |

| | | | | |
|---------|---------|----|---------------|--------|
| 出産扶助 | 9 | — | 738,824 | 0.01 |
| 生業扶助 | 896 | 75 | 16,310,663 | 0.27 |
| 葬祭扶助 | 14 | — | 5,354,167 | 0.09 |
| 施設事務費 | 793 | 66 | 120,282,075 | 1.97 |
| 就労自立給付金 | 36 | — | 1,896,020 | 0.03 |
| 合 計 | 116,952 | — | 6,092,796,154 | 100.00 |

項4 災害救助費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-----------|
| 2,066,000 円 | 1,219,962 円 | 59.0% | 0 円 | 846,038 円 |

目1 災害救助費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-----------|
| 1,980,000 円 | 1,219,962 円 | 61.6% | 0 円 | 760,038 円 |

[災害への支援]

- ・災害見舞金等 全焼火災被害9件、半焼1件 床上浸水2件
うち死亡3件(3名) 1,130,000 円 (その他特財 1,130,000 円)
- ・災害救助基金積立金 89,962 円 (その他特財 89,962 円)
(昭和39年4月設置 平成28年度末現在高 105,330,610 円)

目2 災害救助基金積立準備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 86,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 86,000 円 |

項5 国民健康保険費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|---------|
| 1,856,969,000 円 | 1,856,966,827 円 | 100.0% | 0 円 | 2,173 円 |

目1 国民健康保険費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|---------|
| 1,856,969,000 円 | 1,856,966,827 円 | 100.0% | 0 円 | 2,173 円 |

国民健康保険特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金等について1,856,966,827 円の繰出しを行いました。

- ・保険基盤安定繰出金 1,394,454,659 円 (国庫支出金 246,202,651 円
県支出金 799,638,342 円)
- ・職員給与費等繰出金 246,255,340 円
- ・出産育児一時金等繰出金 68,982,571 円
- ・財政安定化支援事業繰出金 71,354,000 円
- ・その他一般会計繰出金 75,920,257 円

項6 介護保険費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-----|
| 2,921,424,000円 | 2,921,424,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目1 介護保険費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-----|
| 2,921,424,000円 | 2,921,424,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

介護保険特別会計に対し介護保険給付費及び事務費について2,921,424,000円の繰出しを行いました。

| | | |
|---------------|----------------|--|
| ・介護保険給付費繰出金 | 2,334,699,000円 | |
| ・地域支援事業繰出金 | 78,930,000円 | |
| ・低所得者保険料軽減繰出金 | 39,617,000円 | 〔国庫支出金 19,817,508円 県支出金 9,908,754円〕 |
| ・その他一般会計繰出金 | 468,178,000円 | |

款 4 衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|---------------|
| 9,271,441,000 円 | 8,904,094,359 円 | 96.0% | 0 円 | 367,346,641 円 |

項 1 保健衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|---------------|
| 4,008,318,000 円 | 3,839,439,390 円 | 95.8% | 0 円 | 168,878,610 円 |

目 1 保健衛生総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 648,564,000 円 | 635,818,571 円 | 98.0% | 0 円 | 12,745,429 円 |

| | | | | | | | | | |
|---------|-------------|---------------|---|-------|-------------|------|-------------|-------|-----------|
| 〔一般職給〕 | 59 人 | 468,483,747 円 | <table border="0"> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>9,509,000 円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>2,812,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>667,236 円</td> </tr> </table> | 国庫支出金 | 9,509,000 円 | 県支出金 | 2,812,000 円 | その他特財 | 667,236 円 |
| 国庫支出金 | 9,509,000 円 | | | | | | | | |
| 県支出金 | 2,812,000 円 | | | | | | | | |
| その他特財 | 667,236 円 | | | | | | | | |
| 〔再任用職給〕 | 6 人 | 22,645,748 円 | | | | | | | |
| 〔嘱託職給〕 | 6 人 | 22,763,760 円 | | | | | | | |

(健康福祉課)

| | |
|--|--------------|
| 〔地域医療推進事業費〕 | 784,000 円 |
| ・在宅医療支援病床確保事業 (協力医療機関において 6 件 (56 日間) の受け入れ) | |
| 〔初期救急医療体制事業運営費〕 | 1,439,208 円 |
| 〔地域医療対策事業費〕 | 16,688,400 円 |
| ・四日市医師会連携推進事業費 | 11,569,040 円 |
| ・四日市歯科医師会連携推進事業費 | 4,382,280 円 |
| ・四日市薬剤師会連携推進事業費 | 737,080 円 |

〔応急診療所管理運営費〕 34,380,489 円 (その他特財 33,268,901 円)

| 区分 | 事業内容 | 実施額 |
|--------|-------------|--------------|
| 診療業務費等 | 医師、看護師等報償金等 | 21,808,546 円 |
| 医薬材料費 | 薬品、注射器等 | 5,107,694 円 |
| その他経費 | 光熱水費、通信費等 | 7,464,249 円 |
| 合 計 | | 34,380,489 円 |

○受診状況

| 年度 | 内科 | 小児科 | 耳鼻科 | 計 | 一日平均の受診者数 (人) () は診療日数 |
|----------|-------|-------|-----|-------|----------------------------|
| 平成 28 年度 | 1,442 | 1,936 | 379 | 3,757 | 53.67 (70 日) |
| 平成 27 年度 | 1,332 | 1,997 | 451 | 3,780 | 54.00 (70 日) |

| | | |
|------------------|--------------|-------------------|
| 〔歯科医療センター管理運営費〕 | 30,706,480 円 | (その他特財 155,200 円) |
| ・歯科医療センター指定管理委託料 | 30,700,000 円 | |
| ・その他経費 | 6,480 円 | |

○受診状況

| 年度 | 休日診療 | | | 障害者診療 | | | | ※障害者診療日に 応急患者の 受入人数（日数） |
|------|------------------|-------------|-------------|------------------|---------|----------|-----------------|-------------------------------|
| | 診療 実日数 （日） | 受診者数 （人） | 1日平均 （人） | 診療 実日数 （日） | 受診者数（人） | | 一日 平均 （人） | |
| | | | | | 延数 | 新患 再掲 | | |
| 28年度 | 4 | 55 | 13.8 | 90 | 1,341 | 673 | 14.9 | 4（4） |
| 27年度 | 4 | 49 | 12.3 | 90 | 1,192 | 588 | 13.2 | 2（2） |

※障害者診療日（日曜日等）に応急処置希望者の受診があった場合、対応可能な範囲で診療を実施しました。

| | |
|----------------------|----------|
| 〔委員報酬〕 | 215,600円 |
| ・ 応急診療所運営委員会委員 9人 | 138,400円 |
| ・ 歯科医療センター運営委員会委員 5人 | 77,200円 |

その他経費

（健康福祉課）

| | |
|--------|------------|
| 〔一般経費〕 | 1,623,366円 |
|--------|------------|

（生活環境課）

| | |
|--------------|----------|
| 〔公衆浴場助成費補助金〕 | 792,000円 |
|--------------|----------|

（こども保健福祉課）

| | | |
|-----------------------|-------------|---|
| 〔養育医療給付事業費〕 | 19,400,548円 | 〔国庫支出金 5,365,790円 県支出金 2,682,895円 その他特財 3,443,520円〕 |
| 平成28年度未熟児養育医療申請件数 68件 | | |
| 〔自立支援医療費（育成医療）〕 | 15,811,700円 | 〔国庫支出金 4,909,346円 県支出金 2,454,673円〕 |
| 平成28年度育成医療申請件数 108件 | | |

その他経費

| | |
|--------|---------|
| 〔一般経費〕 | 83,525円 |
|--------|---------|

目2 保健対策費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|-------------|
| 867,843,000円 | 856,640,681円 | 98.7% | 0円 | 11,202,319円 |

（こども保健福祉課）

| | | | | | |
|----|--|----|-----------------------|----|------------------------------|
| 目的 | 母子の健康・育児支援に努める | | | | |
| 指標 | 1歳6か月児健康診査受診率 （対象者2,651人） | 目標 | 97.5%以上 （2,585人以上） | 実績 | 97.1%（2,574人） （27年度97.3%） |
| 説明 | 1歳6か月児健康診査では、幼児の発育、発達や育児状況の確認を行い、心身の問題の早期発見に努めました。未受診者に対しては、受診勧奨の案内を送るとともに、電話相談や家庭訪問等を行うことで、状況の把握に努めました。また、受診の結果、継続した支援が必要な場合については、関係機関とも連携し、途切れのない支援に努めました。 | | | | |

| | | |
|-----------------|--------------|------------------------------------|
| 〔妊産婦乳幼児健康診査事業費〕 | 315,049,312円 | 〔国庫支出金 156,000円 その他特財 169,381円〕 |
| | | |

| 事業区分 | | 28年度 | | | 27年度 | | |
|--|---------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|
| | | 受診者数 (人) | 対象者数 (人) | 受診率 (%) | 受診者数 (人) | 対象者数 (人) | 受診率 (%) |
| 妊婦一般健康診査 (医療機関委託) | 1～5回目 | 12,204 | 2,558 | 95.4 | 12,923 | 2,715 | 95.2 |
| | 6～14回 | 16,695 | 2,558 | 72.5 | 17,262 | 2,715 | 70.6 |
| 乳児一般健康診査 (医療機関委託) | 4か月 | 2,546 | 2,601 | 97.9 | 2,586 | 2,685 | 96.3 |
| | 10か月 | 2,411 | 2,678 | 90.0 | 2,355 | 2,574 | 91.5 |
| 1歳6か月児健康診査(集団) 実施回数 47回 | | 2,574 | 2,651 | 97.1 | 2,569 | 2,639 | 97.3 |
| 3歳児健康診査(集団) 実施回数 36回 | | 2,530 | 2,672 | 94.7 | 2,634 | 2,760 | 95.4 |
| 事後継続指導(親子教室「ラッコ」、「イルカ」) 実施回数 計 24回(※) | | 228 | | | 215 | | |
| 心理発達相談 | 相談者数(人) | 421 | | | 382 | | |
| 合計(人) | | 39,609 | | | 40,926 | | |

※事後継続指導：健康診査等で発達や保護者の育児不安等により経過観察が必要な親子を対象に実施

[妊産婦乳幼児保健指導事業費] 2,838,962 円 (国庫支出金 943,000 円
その他特財 180,900 円)

○母子健康手帳の交付

交付件数 2,727 件 (平成 27 年度 2,873 件)

○健康教育

| 育児学級の実施回数と参加人数 | | | | |
|----------------|------------|-----|---------|---------|
| 事業名 | 対象者 | 回数 | 28年度(人) | 27年度(人) |
| 育児学級「パパママ教室」 | 妊娠中の人 | 18回 | 601 | 596 |
| 乳幼児食教室(離乳食教室) | 生後5か月～12か月 | 30回 | 845 | 820 |
| 乳幼児事故予防教室 | 乳幼児の保護者 | 1回 | 30 | 28 |
| 計 | | | 1,476 | 1,444 |

○健康相談

| 育児相談の実施回数と相談人数 | | 28年度(人) | 27年度(人) |
|----------------------|-------|---------|---------|
| 育児相談 | 12回 | 1,071 | 1,490 |
| 子育て支援事業での相談 | 113回 | 616 | 567 |
| 電話相談 | | 12,353 | 13,699 |
| | うち乳幼児 | 10,698 | 8,889 |
| 来所相談(すくすくルームでの相談を含む) | | 3,102 | 925 |
| 合計 | | 17,142 | 16,681 |

○歯磨き指導

| 歯磨き教室の実施回数と参加人数 | | 28年度(人) | 27年度(人) |
|------------------------|-----|---------|---------|
| 妊婦歯科教室(デンタルマタニティースクール) | 12回 | 89 | 90 |
| 幼児歯磨き教室(歯ハハの教室) | 48回 | 1,469 | 1,621 |
| 合計 | | 1,558 | 1,711 |

○訪問指導

| 訪問件数 (件) | | 合計 | 妊婦 | 産婦 | 新生児 (未熟児 除く) | 未熟児 | 乳児 (未熟児 除く) | 幼児 | その他 |
|-------------|------|-------|-----|-------|--------------------|-----|-------------------|-----|-----|
| | 28年度 | 5,921 | 79 | 1,200 | 196 | 433 | 3,600 | 408 | 5 |
| | 27年度 | 5,670 | 119 | 1,284 | 186 | 240 | 3,371 | 462 | 8 |

○産前・産後サポート事業

| | 産前 | | | 産後 | | |
|------|-----|----|-----|----|----|-----|
| | 電話 | 訪問 | その他 | 電話 | 訪問 | その他 |
| 28年度 | 347 | 1 | 71 | 9 | 79 | 2 |
| 27年度 | 420 | 1 | 78 | 17 | 36 | 1 |

○親子支援教室「パンダひろば」

参加者 516組（平成27年度 389組）

〔こんにちは赤ちゃん訪問事業費〕 9,106,504円

| | |
|-------|------------|
| 国庫支出金 | 3,035,000円 |
| 県支出金 | 3,035,000円 |

（訪問件数は再掲）

| | 訪問実件数 (件) | 訪問員内訳 (件) | |
|------|--------------|-----------------|-----------------|
| | | 保健師・助産師など専門職の訪問 | こんにちは赤ちゃん訪問員の訪問 |
| 28年度 | 2,613 | 692 | 1,921 |
| 27年度 | 2,749 | 733 | 2,016 |

〔新生児聴覚スクリーニング検査助成事業費〕 73,560円

| | 交付申請 (件) | 交付実績 (件) |
|------|----------|----------|
| 28年度 | 11 | 2 |

その他経費

〔母子保健一般経費〕 1,939,645円

| | |
|-------|---------|
| 国庫支出金 | 16,000円 |
| 県支出金 | 16,000円 |

(健康づくり課)

| 目的 | 疾病の予防、早期発見のための検（健）診を受診しやすい環境を整える | | | | |
|----|---|----|--------------------------------|----|--|
| 指標 | 肺癌検診受診率 【対象者】 肺癌（40～69歳） 128,039人 | 目標 | 肺癌検診 （40～69歳受診率） 40.0%以上 | 実績 | 肺癌検診 （40～69歳受診率） 5.1% （27年度 4.9%） |
| 説明 | 検診の習慣化に向け、がん検診への理解や必要性を盛り込んだメールマガジンや健康だよりを作成し、情報発信を行うなどの受診勧奨強化と、がん検診の精度を高める取り組みを実施しました。 | | | | |

〔健康手帳交付事業費〕 185,016円（県支出金 92,000円）

〔検診事業費〕 514,080,616円

| | |
|-------|--------------|
| 国庫支出金 | 4,423,000円 |
| 県支出金 | 5,735,250円 |
| その他特財 | 113,825,500円 |

(カッコ内は内数)

| 区 分 | 受診者数(人) | | | | 対象者数 | 受診率 (%) 【40～69 歳 受診率 (子宮頸がん 20～69 歳 H28 年度～ 胃がん 50～69 歳)】 | |
|-----------------------------------|----------|-------|--------------------------------------|--------|---------|--|-----|
| | 実施 年度 | 地区巡回 | 医療機関 | 合 計 | | | |
| 健康増進法 健康診査 (40 歳以上) | 28 年度 | — | 581 | 581 | 2,524 | 23.0 | |
| | 27 年度 | — | 565 | 565 | 2,566 | 22.0 | |
| 胃がん検診 (40 歳以上) | 28 年度 | 2,966 | 13,820 (バリウム 2,871 カメラ 10,949) | 16,786 | 79,071 | ☆11.1 | |
| | 27 年度 | 3,184 | 13,861 (バリウム 3,403 カメラ 10,458) | 17,045 | 122,533 | 8.3 | |
| 子宮頸がん 検診 (20 歳以上) | 28 年度 | 3,474 | 11,594 | 15,068 | 97,478 | ☆20.1 | |
| | 27 年度 | 3,446 | 11,894 | 15,340 | 99,393 | ☆22.1 | |
| 肺がん 検診 (40 歳 以上) | X線 | 28 年度 | 6,253 | 6,172 | 12,425 | 128,039 | 5.1 |
| | | 27 年度 | 6,530 | 4,649 | 11,179 | 122,533 | 4.9 |
| 乳がん検診 (マンモグラフィ) (40 歳以上) | 28 年度 | 5,930 | 1,777 | 7,707 | 63,430 | ☆14.0 | |
| | 27 年度 | 6,100 | 1,439 | 7,539 | 61,453 | ☆17.3 | |
| 大腸がん検診 (40 歳以上) | 28 年度 | 4,302 | 14,472 | 18,774 | 128,039 | 8.3 | |
| | 27 年度 | 4,708 | 15,478 | 20,186 | 122,533 | 10.3 | |
| 肝炎ウイルス 検査 | 28 年度 | — | 244 | 244 | | | |
| | 27 年度 | — | 266 | 266 | | | |
| 歯周病検診 (40 歳、50 歳、60 歳、70 歳) | 28 年度 | — | 1,065 | 1,065 | 14,584 | 7.3 | |
| | 27 年度 | — | 1,090 | 1,090 | 15,821 | 6.9 | |

☆胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の受診率算定方法

＝（「前年度受診者数」＋「当該年度受診者数」－「2 年連続受診者数」）÷「当該年度対象者数」×100

〔負担金〕

・三重県市町保健師協議会

43,052 円

〔一般経費〕

1,127,976 円

| | | | | | |
|----|---|----|------------|----|------------------------------|
| 目的 | 市民が自主的な健康づくりに取り組める環境を整備する | | | | |
| 指標 | 健康ボランティア活動数 | 目標 | 63,000 人以上 | 実績 | 63,592 人 (27 年度 60,113 人) |
| 説明 | 健康ボランティアによる健康づくりや介護予防活動の増加に伴い、地域の自主活動グループや自治会等との連携が図られ、参加者数が増加しました。 | | | | |

〔食育推進会議委員報酬〕

126,800 円

〔健康づくり市民協働事業費〕

5,990,581 円

〔 県支出金 47,000 円
その他特財 135,000 円 〕

〔働く世代の健康づくり支援事業費〕

756,920 円

〔健康づくり啓発事業費〕

4,940,489円

〔県支出金 99,000円
その他特財 222,000円〕

〔食育推進事業費〕

381,248円

○生活習慣病予防講座等の実施回数と参加人数

(回・人)

| | 28年度 | | 27年度 | |
|----------------------|------|--------|------|--------|
| | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 |
| 出前講座等、地区からの依頼による健康教育 | 193 | 5,150 | 220 | 5,643 |
| 乳がん予防健康教育(乳がん検診時) | 99 | 7,058 | 101 | 7,171 |
| 本気でシェイプアップ講座 | 4 | 177 | 4 | 159 |
| いきいき栄養教室 | 8 | 57 | 6 | 49 |
| カラダスッキリ塾 | 8 | 298 | 8 | 369 |
| 食育推進事業 | 11 | 1,688 | 10 | 1,587 |
| ヘルスプラザでの健康づくり教室 | 134 | 891 | 142 | 1,152 |
| 保健事業指導者支援事業 | 2 | 111 | 2 | 93 |
| 合計 | 459 | 15,430 | 493 | 16,223 |

○健康ボランティア養成講座の実施回数と参加人数

(回・人)

| | 28年度 | | 27年度 | |
|----------------|------|-----|------|-----|
| | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 |
| ステキ健康サポーター養成講座 | 5 | 125 | 5 | 144 |
| 食生活改善推進員養成事業 | 5 | 166 | 5 | 210 |
| ヘルスリーダー養成講座 | 5 | 161 | 5 | 194 |
| 合計 | 15 | 452 | 15 | 548 |

○健康ボランティア活動実績

(人)

| ボランティア団体名 | 登録者数 | | 市民参加者数 | |
|------------|------|------|--------|--------|
| | 28年度 | 27年度 | 28年度 | 27年度 |
| ステキ健康サポーター | 128 | 133 | 39,162 | 38,110 |
| 食生活改善推進員 | 287 | 284 | 9,928 | 9,313 |
| ヘルスリーダー | 198 | 172 | 14,502 | 12,690 |
| 合計 | 613 | 589 | 63,592 | 60,113 |

○一般高齢者の介護予防教室の実施回数と参加人数

(回・人)

| | 28年度 | | 27年度 | |
|----------------|------|-------|------|-------|
| | 回数 | 人数 | 回数 | 人数 |
| 食と運動の輪☆すこやか倶楽部 | 24 | 478 | 24 | 577 |
| よっかいち・はつらつ健康塾! | 232 | 4,301 | 221 | 4,133 |
| 地域でお達者クラブ | 49 | 880 | 118 | 2,450 |
| 合計 | 305 | 5,659 | 363 | 7,160 |

目3 健康増進センター費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 170,368,000円 | 163,258,413円 | 95.8% | 0円 | 7,109,587円 |

| | | | | | |
|----|---|----|------------|----|-----------------------------|
| 目的 | 市民が自主的な健康づくりに取り組める環境を整備する | | | | |
| 指標 | 健康増進センター利用者数 | 目標 | 121,000人以上 | 実績 | 119,191人 (27年度 120,532人) |
| 説明 | 市民が健康づくりに安全かつ快適に取り組めるように施設の維持管理を行いました。また、虚弱高齢者や障害者などを対象とした健康づくり教室を開催しました。 | | | | |

| | | |
|-----------------------|-------------|---------------------|
| 〔健康増進事業費〕 | 39,437,658円 | (その他特財 31,951,150円) |
| 〔施設管理運営費〕 | 95,754,255円 | (その他特財 3,986,687円) |
| 〔施設整備事業費(アセットマネジメント)〕 | 28,066,500円 | |

○主な施設利用状況

| 区分(個人使用) | 利用者数(人) |
|-----------------------|---------|
| プール | 46,315 |
| トレーニングジム | 31,260 |
| 軽運動室及びランニングトラック内フィールド | 9,034 |
| グラウンドゴルフ場 | 4,542 |
| 計 | 91,151 |

| 区分(専用使用) | 利用者数(人) |
|-----------|---------|
| 第2プール | 5,338 |
| グラウンドゴルフ場 | 1,809 |
| 軽運動室 | 9,164 |
| 計 | 16,311 |

目4 予防費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 958,393,000円 | 927,693,542円 | 96.8% | 0円 | 30,699,458円 |

(こども保健福祉課)

| | | | | | |
|----|---|----|---------------------|----|--------------------------------|
| 目的 | 疾病の予防・早期発見に努める | | | | |
| 指標 | 麻疹・風しん混合予防接種・接種率(2期) (対象者 2,792人) | 目標 | 95%以上 (2,652人以上) | 実績 | 95.0% (2,652人) (27年度 94.5%) |
| 説明 | 麻疹・風しん混合予防接種(2期)は、満1歳で接種する麻疹・風しん混合予防接種(1期)の追加免疫として重要な予防接種で、年長児(就学前年度)が対象となります。平成28年度の接種率は、目標値と同じ95%となりました。流行を阻止するため、今後も未接種者への年間4回の個人通知をはじめ、保育園、幼稚園等とも連携し、接種率の向上に努めます。 | | | | |

| | | |
|-----------|--------------|---------------------|
| 〔予防接種事業費〕 | 685,889,373円 | (その他特財 21,451,000円) |
|-----------|--------------|---------------------|

(定期予防接種実施状況)

| | | 平成28年度 | | | 平成27年度 | | |
|---------------------|--------|-----------|---------|--------|-----------|---------|--------|
| | | 新規対象者数(人) | 接種者数(人) | 接種率(%) | 新規対象者数(人) | 接種者数(人) | 接種率(%) |
| 三種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風) | 1期 1回目 | — | 0 | — | — | 2 | — |
| | 1期 2回目 | — | 0 | — | — | 0 | — |
| | 1期 3回目 | — | 0 | — | — | 1 | — |
| | 1期 追加 | — | 2 | — | — | 17 | — |
| 二種混合(ジフテリア、破傷風)学童 | | 2,881 | 2,272 | 78.9 | 2,948 | 2,079 | 70.5 |
| 不活化 | 1回目 | — | 8 | — | — | 38 | — |

| | | | | | | | |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ポリオ | 2回目 | — | 28 | — | — | 61 | — |
| | 3回目 | — | 40 | — | — | 67 | — |
| | 追加 | — | 120 | — | — | 183 | — |
| 四種混合 (H24.10～) | 1回目 | 2,606 | 2,601 | 99.8 | 2,552 | 2,696 | 105.6 |
| | 2回目 | 2,606 | 2,615 | 100.3 | 2,552 | 2,675 | 104.8 |
| | 3回目 | 2,606 | 2,630 | 100.9 | 2,552 | 2,637 | 103.3 |
| | 追加 | 2,552 | 2,740 | 107.4 | 2,688 | 2,508 | 93.3 |
| BCG | | 2,578 | 2,598 | 100.8 | 2,533 | 2,634 | 104.0 |
| 麻しん・ 風しん混合 (MR) | 1期 | 2,630 | 2,632 | 100.1 | 2,498 | 2,525 | 101.1 |
| | 2期 | 2,792 | 2,652 | 95.0 | 2,714 | 2,566 | 94.5 |
| 水ぼうそう | 1回目 | 2,630 | 2,676 | 86.2 | 2,498 | 2,611 | 104.5 |
| | 2回目 | 2,630 | 2,267 | 101.7 | 2,498 | 3,050 | 122.1 |
| 日本脳炎 | 1期1回目 | 2,748 | 2,796 | 101.7 | 2,702 | 2,877 | 106.5 |
| | 1期2回目 | 2,748 | 2,815 | 102.4 | 2,702 | 2,808 | 103.9 |
| | 1期追加 | 2,688 | 2,697 | 100.3 | 2,782 | 2,548 | 91.6 |
| | 2期 | 2,950 | 3,152 | 106.8 | 2,717 | 3,133 | 115.3 |
| 子宮頸がん 予防 | 1回目 | 1,426 | 1 | 0.1 | 1,429 | 5 | 0.3 |
| | 2回目 | 1,426 | 1 | 0.1 | 1,429 | 3 | 0.2 |
| | 3回目 | 1,437 | 1 | 0.1 | 1,558 | 4 | 0.3 |
| ヒブ | 1回目 | 2,606 | 2,538 | 97.4 | 2,552 | 2,688 | 105.3 |
| | 2回目 | 2,606 | 2,562 | 98.3 | 2,552 | 2,689 | 105.4 |
| | 3回目 | 2,606 | 2,608 | 100.1 | 2,552 | 2,659 | 104.2 |
| | 4回目 | 2,552 | 2,631 | 103.1 | 2,688 | 2,561 | 95.3 |
| 小児用 肺炎球菌 | 1回目 | 2,606 | 2,539 | 97.4 | 2,552 | 2,697 | 105.7 |
| | 2回目 | 2,606 | 2,569 | 98.6 | 2,552 | 2,695 | 105.6 |
| | 3回目 | 2,606 | 2,611 | 100.2 | 2,552 | 2,674 | 104.8 |
| | 4回目 | 2,552 | 2,658 | 104.2 | 2,688 | 2,550 | 94.9 |
| B型肝炎 (H28.10～) | 1回目 | 2,515 | 1,998 | 79.4 | | | |
| | 2回目 | 2,515 | 1,741 | 69.2 | | | |
| | 3回目 | 2,515 | 373 | 14.8 | | | |

* 定期予防接種の対象者…標準的な接種月齢に基づき算出。

* 平成24年8月31日で生ポリオワクチン接種終了。平成24年9月1日より不活化ポリオワクチンが定期接種化、同年10月1日より四種混合ワクチンが定期接種化。

* 平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの者は、特例対象者として、20歳未満までの間、定期予防接種として日本脳炎1期、2期の接種が可能。

* 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日付で積極的勧奨中止。

* B型肝炎ワクチンは、平成28年10月から1歳未満を対象に定期接種化。

〔任意予防接種助成事業費〕

8,464,519 円

(任意予防接種助成件数)

| | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|--------|----------|----------|
| おたふくかぜ | 2,732 | 2,534 |

*平成 26 年 4 月 1 日より、水ぼうそうワクチン、おたふくかぜワクチン接種費用の一部助成を開始。
(水ぼうそうワクチンについては、平成 26 年 10 月から定期接種化されたため助成制度廃止)

(健康づくり課)

| | | |
|------------------------|---------------|----------------------|
| 〔インフルエンザ事業費〕 | 172,320,793 円 | (その他特財 46,557,600 円) |
| 〔高齢者肺炎球菌ワクチン事業費〕 | 57,425,121 円 | (その他特財 15,732,500 円) |
| 〔高齢者肺炎球菌ワクチン接種公費助成事業費〕 | 1,637,208 円 | |
| 〔成人風しん予防事業費〕 | 1,956,528 円 | (国庫支出金 971,000 円) |

○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種

| | 28 年度 | | 27 年度 | |
|-----------------------|---------|--------|---------|--------|
| | 60～64 歳 | 65 歳以上 | 60～64 歳 | 65 歳以上 |
| 定期接種 接種者数(人) | 8 | 6,402 | 9 | 5,780 |
| 任意接種(公費助成) 接種者数(人) | | 499 | | 686 |

○高齢者インフルエンザ予防接種

| | 60～64 歳 | | 65 歳以上 | | 合計 | |
|---------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 28 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 27 年度 |
| 接種者数(人) | 87 | 80 | 39,765 | 38,736 | 39,852 | 38,816 |
| 対象者数(人) | 154 | 125 | 77,908 | 76,520 | 78,062 | 76,645 |
| 接種率 (%) | 56.5 | 64.0 | 51.0 | 50.6 | 51.1 | 50.6 |

○成人風しん抗体検査

| | 28 年度 | 27 年度 |
|-------------------------|-------|-------|
| 妊娠を予定又は希望している女性 受診者数(人) | 160 | 107 |
| 同居者 受診者数(人) | 114 | 93 |
| 風しん抗体価が低い妊婦の同居者 受診者数(人) | 21 | 10 |
| 合計 | 295 | 210 |

目 5 環境衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|-----------|----------------|--------|-----------|
| 940,000 円 | 572,111 円 | 60.9% | 0 円 | 367,889 円 |

〔感染症予防対策事業費〕

572,111 円

目 6 環境保全費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|----------------|--------|--------------|
| 491,198,000 円 | 432,793,176 円 | 88.1% | 0 円 | 58,404,824 円 |

(環境保全課)

| | | | | | |
|----|---|----|---|----|--|
| 目的 | 低炭素社会の実現 | | | | |
| 指標 | 新エネルギー等及び中小企業向け補助金等による温室効果ガス削減量 | 目標 | 8,549t-CO ₂ (23-28年度累積)以上 | 実績 | 7,876t-CO ₂ (23-27年度累積 6,835t-CO ₂) |
| 説明 | 温室効果ガス排出量の削減を図るため、家庭等における太陽光発電設備および燃料電池設備の導入324件に対し奨励金を交付しました(1件あたり3万円)。また、市内の中小企業が行う省エネルギー設備の導入および更新19件に対し補助金を交付しました(3分の1以内。1件あたり上限300万円)。その結果、年間で1,041t、平成23年度からの累積で7,876tの二酸化炭素を削減しましたが、目標の8,549tには至りませんでした。 | | | | |

- [地球温暖化対策事業費] 34,405,000円
- ・新エネルギー等導入奨励金 9,720,000円
 - ・中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金 24,685,000円

| 年度 | 補助件数 | CO ₂ 削減量 (t/年) | 累積 (CO ₂ 削減量: 23年度~) (t/年) |
|------|-----------------------|---------------------------|--|
| 25年度 | 家庭用 371件 中小企業 34件 | 家庭用 1,007 中小企業 463 | 3,584 |
| 26年度 | 家庭用 353件 中小企業 24件 | 家庭用 1,132 中小企業 684 | 5,400 |
| 27年度 | 家庭用等 311件 中小企業 25件 | 家庭用等 849 中小企業 586 | 6,835 |
| 28年度 | 家庭用等 324件 中小企業 19件 | 家庭用等 893 中小企業 148 | 7,876 |

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 自然共生社会の実現 | | | | |
| 指標 | 特定外来生物防除実施計画に基づく処分頭数 | 目標 | 130頭以上 | 実績 | 140頭 (27年度 113頭) |
| 説明 | 特定外来生物であるアライグマおよびヌートリアについて、日本在来の動植物の生態系の保全や農畜産物の食害、生活環境への被害防止の観点から捕獲・駆除を実施しました。市民からの依頼に応じ、「四日市市アライグマ・ヌートリア防除実施計画」(平成27年度策定)に基づく防除を行った結果、目標頭数を駆除し、増加を抑制することができました。 | | | | |

- [自然環境保全推進事業費] 1,140,256円
- ・特定外来生物捕獲処分業務委託

| | | | | | |
|----|---|----|------|----|-----------------------|
| 目的 | 健康で安全な生活環境の確保 | | | | |
| 指標 | 基準地点における環境基準達成率(大気・水質) | 目標 | 100% | 実績 | 95.0% (27年度 95.0%) |
| 説明 | 環境監視については、大気常時監視測定局を市内11カ所に設置し、二酸化硫黄、二酸化窒素などの測定を行うとともに、有害大気汚染物質を市内3ヶ所、ダイオキシン類を市内2カ所で測定しました。水質測定については、環境基準が設定されている市内3河川並びに中小河川12河川でBODなどの水質調査を行いました。その結果、大気については、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質について、全ての測定局で環境基準を達成しました。また、河川のBODを測定した結果、全ての地点で環境基準を達成し、海域のCOD測定については、4測定地点中3地点で環境基準を達成しました。 | | | | |

- [大気汚染対策事業費] 49,706,107円
- ・大気汚染監視測定事業費 39,132,907円
 - ・大気汚染監視機器整備費 10,573,200円 (県支出金 7,000,000円)

| | |
|--------------|-------------|
| 〔騒音、振動対策事業費〕 | 1,712,148 円 |
| 〔水質汚濁対策事業費〕 | 3,599,916 円 |
| ・水質汚濁監視測定事業費 | 3,095,556 円 |
| ・悪臭監視測定事業費 | 504,360 円 |

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 環境共創社会の実現 | | | | |
| 指標 | 市民協働の推進および国際環境協力を資する講座等の参加者数 | 目標 | 2,000 人以上 | 実績 | 2,790 人 27 年度(1,848 人) |
| 説明 | <p>特定外来生物の分布調査や吉崎海岸の除草・清掃作業、グリーンカーテンの促進、さらにエコパートナーの提案による自然環境観察体験会や環境学習のための講座等を開催し、市民協働型の環境学習、環境施策の推進を図りました。</p> <p>また、次世代を担う高校生を対象とした「地球環境塾」（平成 28 年 8 月 2 日～8 月 7 日 ロングビーチ市、天津市、本市の高校生それぞれ 4 名参加）を開催し、国際的な視野に立った環境学習を推進するとともに、天津環境交流事業として、現地研修（平成 28 年 8 月 18 日・19 日 59 名参加）および国内受入研修（平成 28 年 11 月 1 日～11 日 4 名参加）を実施し、国際環境協力の推進を図りました。</p> | | | | |

| | |
|------------------------|--------------------------------|
| 〔エコパートナーシップ推進事業費〕 | 3,871,803 円 |
| ・吉崎海岸除草・清掃等業務委託 | 974,970 円（県支出金 618,000 円） |
| ・外来生物分布調査業務委託 | 998,071 円 |
| 〔次世代環境人材育成事業費〕 | 3,481,999 円（その他特財 1,399,000 円） |
| ・地球環境塾 | |
| 〔国際環境協力推進事業費〕 | 8,380,000 円 |
| ・天津環境交流事業（現地研修・国内受入研修） | |

その他経費

| | |
|-----------------|-------------|
| 〔委員報酬〕 | 849,400 円 |
| ・環境保全審議会委員 13 人 | |
| 〔環境保全関係一般経費〕 | 3,607,516 円 |

〔四日市公害と環境未来館〕

| | | | | | |
|----|--|----|---------------------------------|----|--|
| 目的 | 四日市公害の歴史と教訓を次世代に伝える | | | | |
| 指標 | 四日市公害と環境未来館来館者数 市外・国外からの視察の受付数 | 目標 | 55,000 人以上 12 団体以上 | 実績 | 56,454 人 市外 75 団体 国外 24 団体 〔 27 年度 71,143 人 40 団体 〕 |
| | 公害学習に来館する小・中学校数 環境学習講座参加者数 エコパートナー登録件数 | | 60 校以上 5,000 人以上 100 団体以上 | | 〔 95 校 7,440 人 60 団体 27 年度 81 校 9,274 人 51 団体 〕 |
| 説明 | <p>四日市公害と環境未来館では、公害の歴史と教訓を次世代に伝えるため、公害が発生した社会的背景や、市民、企業、行政が一体となって取り組んだ環境改善などを映像やパネルなどで伝え、未来により良い環境を引継ぐための学びの場、情報発信の場としての大きな役割を担っています。平成 28 年度は、職員による政策提案制度により映像コンテンツ「環境改善のあゆみ」を、子どもにも分かりやすいようにアニメーションとプロジェクションマッピング手法を活用し制作しました。</p> | | | | |

来館者数については、市内の小学校5年生、中学校3年生をはじめ、市外、県外、遠くは中国やアセアン諸国からも多くの方々にご来館いただき、平成28年度は56,454人となりました。週末や夏休み期間には環境や公害に関する講座を開催し、開館2周年の企画では語り部の講話とともに国立環境研究所から講師を招き、地球環境問題を自分のこととして捉えていただけるように講演会を開催しました。また、環境活動団体等との協働を進めるためエコパートナーの登録制度により、その裾野を広げるとともに、環境学習、環境活動の充実を図りました。

| | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 〔一般管理費〕 | 27,377,069円 |
| ・清掃警備業務委託料 | 3,420,553円 |
| 〔展示管理運営費〕 | 28,396,464円（その他特財 773,060円） |
| 「まちづくりの変遷」コーナー映像制作業務委託 | 9,612,000円 |
| 四日市公害と環境未来館展示更新計画業務委託 | 2,430,000円 |
| 特別展「ナショナルジオグラフィック展」への入館者数 | 3,072人 |
| ・特別展「ナショナルジオグラフィック展開催負担金(造作含む)」 | 9,423,788円 |
| 〔環境学習推進事業費〕 | 32,564,822円 |
| ・環境学習事業等運營業務委託 | 31,000,000円 |
| 〔エコパートナーシップ推進事業費〕 | 3,475,975円 |
| エコパートナーへの登録団体数 | 60団体 |
| ・エコパートナーへの事業委託(18事業) | 760,885円 |
| ・平成28年度環境フェア企画運營業務委託 | 497,300円 |
| ・平成28年度環境フェア会場設営等業務委託 | 972,000円 |

〔上下水道局〕

公共用水域の保全及び生活環境の向上のため、合併浄化槽の普及促進並びに水質浄化促進、コミュニティ・プラント施設の適切な維持管理に努めました。

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|--------------------|
| 目的 | 合併浄化槽の普及促進 | | | | |
| 指標 | 合併浄化槽 設置補助基数 | 目標 | 215基以上 | 実績 | 210基 (27年度233基) |
| 説明 | 生活排水対策として合併浄化槽の普及促進を図るため、設置者に対して、210基分の補助金を交付しました。 | | | | |

〔合併浄化槽設置費補助金〕 60,720,000円 〔国庫支出金 23,400,000円〕
〔県支出金 7,020,000円〕

○補助基数内訳

| 補助区域区分 | 事業内容 | 補助基数 | 実施額 |
|---------------------|------|------|-------------|
| 下水道計画区域外 および7年区域 | 新築補助 | 174基 | 38,760,000円 |
| | 転換補助 | 36基 | 21,960,000円 |
| 計 | | 210基 | 60,720,000円 |

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|------------------------|
| 目的 | 合併浄化槽の適正管理による水質浄化促進 | | | | |
| 指標 | 合併浄化槽維持 管理費補助基数 | 目標 | 4,565基以上 | 実績 | 4,057基 (27年度3,855基) |
| 説明 | 合併浄化槽を維持管理する際の指標である法定検査の受検率を向上させるため、法定検査に合格した合併浄化槽を管理する個人を対象に、平成28年度は目標件数4,565基に対して4,057基に補助金を交付しました。 | | | | |

| | | |
|--------------------|-------------|---------------------|
| 〔合併浄化槽水質浄化促進事業費〕 | 52,517,000円 | |
| 〔既存集落環境整備事業費〕 | 13,177,580円 | |
| 〔コミュニティ・プラント管理運営費〕 | 53,290,227円 | (その他特財 51,382,445円) |

その他経費

| | | |
|------------------|-------------|------------------|
| 〔三重県浄化槽推進協議会負担金〕 | 30,000円 | |
| 〔生活排水対策一般経費〕 | 15,562,169円 | (その他特財 624,000円) |
| 〔生活排水対策事業負担金〕 | 34,837,991円 | |

目7 公害健康被害補償費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 625,012,000円 | 590,190,664円 | 94.4% | 0円 | 34,821,336円 |

(環境保全課)

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 公害健康被害対策の推進 | | | | |
| 指標 | 公害保健福祉事業等への参加者数 | 目標 | 570人以上 | 実績 | 564人 (27年度 555人) |
| 説明 | <p>公害健康被害者（被認定者）に対しては、「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき、障害補償費、遺族補償費、療養の給付等の事業を行いました。</p> <p>また、被認定者の健康の回復、増進を図るために、転地療養事業、日帰りリハビリテーション事業、家庭療養指導事業などの公害保健福祉事業を実施しました。</p> | | | | |

| | | |
|--------|------------|--------------------------------------|
| 〔委員報酬〕 | 3,017,400円 | 〔国庫支出金 1,391,000円 その他特財 235,400円〕 |
|--------|------------|--------------------------------------|

- ・ 公害健康被害認定審査会委員 14人（うち2人は市立四日市病院医師）

【公害健康被害補償給付】

| | | |
|-----------------|--------------|--|
| 〔公害健康被害補償等事業費〕 | 576,851,577円 | |
| ・ 公害健康被害補償給付事業費 | 528,707,174円 | (その他特財 528,707,174円) |
| ・ 特別救済補償給付事業費 | 32,435,550円 | (その他特財 32,435,550円) |
| ・ 弔慰金 | 270,000円 | |
| ・ 一般経費 | 15,438,853円 | 〔国庫支出金 7,028,000円 その他特財 1,024,523円〕 |

○公害健康被害者の認定状況

| 区分 | 該当者 |
|-----------------|-----|
| 27年度末被認定者数 | 377 |
| 28年度中の転入者数 | 0 |
| 28年度中に認定消滅した患者数 | 9 |
| 28年度末被認定者数 | 368 |

○年齢別被認定者数

| 0～14歳 | 15～29歳 | 30～44歳 | 45～59歳 | 60～64歳 | 65歳～ |
|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 0 | 0 | 49 | 130 | 10 | 179 |

○障害の程度別被認定者数

| 特級 | 1級 | 2級 | 3級 | 等級外 |
|----|----|----|-----|-----|
| 0 | 0 | 21 | 316 | 31 |

【公害保健福祉事業】

〔公害保健福祉事業費〕

1,864,946 円 (その他特財 1,398,000 円)

○公害保健福祉事業等の実施状況

| 事業区分 | 転地療養 | 日帰りリハビリ | 療養指導 (うち家庭訪問) | 指定施設利用 健康回復(水泳) |
|-------------|----------------|------------------|----------------------|--------------------|
| 参加者数 | 6 人 | 19 人 | 延べ278 人 (延べ214 人) | 79 人 |
| 実施場所 回数等 | 湯の山希望荘 3泊4日 | 鈴鹿青少年センター等 4回 | 認定患者宅等 延べ51日 | 三重北勢健康増進センター 通年 |

【環境保健予防事業】

| 目的 | 環境保健予防対策の推進 | | | | |
|----|--|----|---------|----|------------------------|
| 指標 | 予防事業等への参加者数 | 目標 | 210 人以上 | 実績 | 198 人 (27 年度 210 人) |
| 説明 | 幼児を対象としたアレルギー健診や地域住民を対象としたぜん息予防に関する講演会、ぜん息の症状がある児童とその保護者を対象としたチャレンジ・デイキャンプなどの環境保健予防事業を行いました。 | | | | |

〔環境保健予防事業費〕 1,969,012 円 (その他特財 3,419,000 円)
 〔環境保健健康診査事業費〕 1,452,585 円
 〔環境保健調査事業費〕 1,720,369 円 (国庫支出金 1,720,369 円)

○環境保健予防事業の実施状況

| 事業区分 | 講演会 | 健康診査・相談 | チャレンジ・デイキャンプ |
|-------------|--------------------|------------|------------------------|
| 参加者数 | 59 人 肺機能検査 35 人 | 36 人 | 延べ68 人 |
| 実施場所 回数等 | 四日市公害と 環境未来館 | 総合会館 6回 | 三重北勢健康増進センター 少年自然の家 |

【その他経費】

〔旧みたき保養所管理費〕 300,391 円 (その他特財 82 円)
 〔四日市医師会公害対策事業費〕 2,991,600 円
 〔負担金〕 22,784 円 (国庫支出金 9,000 円)
 ・大気汚染公害認定研究会 18,000 円
 ・三重県市町保健師協議会 4,784 円

目8 火葬場墓地費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|----------------|--------|--------------|
| 246,000,000 円 | 232,472,232 円 | 94.5% | 0 円 | 13,527,768 円 |

(生活環境課)

| 目的 | 斎場・墓地の適正運営 | | | | |
|----|--|----|-------|----|--------------------|
| 指標 | 北大谷斎場利用者アンケート 満足度 | 目標 | 65%以上 | 実績 | 74% (27 年度 61%) |
| 説明 | 利用者アンケートでは、経年劣化した施設の改修や設備の充実を求める意見があったものの、係員の対応への評価が高く、総合的評価において目標を達成することができました。施設や設備の改修・充実を求める意見については、施設の増改築を必要とする難しい内容もありましたが、可能なものについては対応しました。今後もアンケート結果を反映 | | | | |

させ、人生終焉の場に相応しい施設となるよう、より良い管理運営及び施設の維持管理・整備に努めます。

| | | | |
|--------------|---------------|--------|---------------|
| 〔北大谷斎場管理運営費〕 | 161,060,755 円 | (その他特財 | 71,597,932 円) |
| 〔斎場管理運営費〕 | 144,990 円 | | |
| 〔墓地管理運営費〕 | 19,594,967 円 | (その他特財 | 16,617,866 円) |
| 〔北大谷斎場整備事業費〕 | 51,671,520 円 | | |

北大谷斎場の利用状況 (単位：件)

| 区 分 | 火葬 (うち市外) | 葬祭場利用 |
|----------|-------------|-------|
| 平成 27 年度 | 3,299 (203) | 707 |
| 平成 28 年度 | 3,190 (174) | 658 |

項 2 清掃費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|---------------|
| 3,532,404,000 円 | 3,431,719,929 円 | 97.1% | 0 円 | 100,684,071 円 |

目 1 清掃総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 1,174,874,000 円 | 1,149,765,792 円 | 97.9% | 0 円 | 25,108,208 円 |

| | | | | |
|---------|------|---------------|--------|---------------|
| 〔一般職給〕 | 82 人 | 750,298,099 円 | (その他特財 | 11,771,790 円) |
| 〔再任用職給〕 | 11 人 | 44,391,994 円 | (その他特財 | 3,838,106 円) |
| 〔嘱託職給〕 | 2 人 | 6,286,548 円 | | |

その他経費

| | | | |
|--------------------|---------------|--------|------------|
| 〔委員報酬〕 | 180,400 円 | | |
| ・ごみ減量等推進審議会委員 11 人 | | | |
| 〔廃棄物処理施設整備基金積立金〕 | 134,273 円 | (その他特財 | 134,273 円) |
| 〔負担金〕 | 255,883,000 円 | | |
| ・朝明広域衛生組合 | 255,688,000 円 | | |
| ・全国都市清掃会議 | 190,000 円 | | |
| ・三重県市町村清掃協議会 | 5,000 円 | | |
| 〔一般経費〕 | 92,591,478 円 | | |

目 2 塵芥処理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 897,042,000 円 | 877,670,371 円 | 97.8% | 0 円 | 19,371,629 円 |

| | | | | | |
|----|---|----|-------------|----|-------------------------------|
| 目的 | ごみ排出量を削減する | | | | |
| 指標 | 総ごみ処理量 | 目標 | 95,500 t 未満 | 実績 | 101,009 t (27 年度 95,848 t) |
| 説明 | ゆるやかな景気回復基調が続いていることに加え、四日市市クリーンセンターの稼働に伴い、ごみの分別方法を変更し、分かりやすく、出しやすくなったことなどから、総ごみ処理量は家庭系、事業系共に前年度に比べ増加し、目標の達成には至りませんでした。 今後は、ごみの減量、分別の必要性を啓発するため、スマートフォン向けのアプリケー | | | | |

シヨンの開発や、食品ロスの削減の啓発などにも取り組むとともに、従来の出前講座等での説明会、四日市市クリーンセンターにおける見学会等、様々な機会を捉え、3R（排出抑制、再使用、再生利用）の中でも、特に『排出抑制』を重点に継続的な啓発を行います。また、事業者に対しては、四日市市クリーンセンターにおいて搬入物の展開検査の実施回数を増やすなど、適正な廃棄物処理の一層の周知、啓発を行っていきます。

なお、資源物持ち去りについては、平成28年度よりパトロール体制を増強し、関係機関とも連携しながら対応しているところですが、持ち去り行為が続いていることから、連携をさらに強化し取り組んでいきます。

| | | |
|---|---------------|--------------------|
| 〔ごみ処理施設管理運営費〕 | 106,666,011円 | (その他特財 3,760,675円) |
| 南北清掃事業所及び委託により収集 | 可燃ごみ 61,395 t | 破砕ごみ 4,430 t |
| 〔ごみ処理一般管理経費〕 | 199,030,300円 | |
| 〔ごみ収集車両管理費〕 | 20,298,078円 | |
| 〔ごみ収集車両整備費〕 | 41,947,260円 | |
| 〔粗大ごみ戸別収集事業費〕 | 18,931,923円 | (その他特財 8,964,000円) |
| 家具等の大型粗大ごみの戸別有料収集 | 8,402個 | (1個当たりの経費 2,253円) |
| 粗大ごみ戸別有料収集の個数については、昨年度に比べて395個の減となりました。 | | |
| 〔生ごみ処理機購入費補助金〕 | 413,500円 | |
| 生ごみ処理機を購入した市民に対しての補助 | 29基分 | |

ごみ処理実績

(単位：t)

| 区 分 | 焼却、破砕処理 | | 最終処分 | | | 計 | ごみ処理量 (除く市外分) |
|--------|---------|-------|------|-------|-------|---------|------------------|
| | うち市外分 | うち市内分 | 処理不適 | 直接埋立 | 民間処理 | | |
| 平成27年度 | 85,882 | 3,057 | - | 8,380 | 4,643 | 98,905 | 95,848 |
| 平成28年度 | 103,854 | 4,153 | 97 | 1,211 | - | 105,162 | 101,009 |

粗大ごみ戸別有料収集実績

| 区 分 | 利用戸数 (戸) | 収集個数 (個) |
|--------|----------|----------|
| 平成27年度 | 4,770 | 8,797 |
| 平成28年度 | 4,583 | 8,402 |

生ごみ処理機購入費補助

| 区 分 | 補助基数 (基) | 補助金額 (円) |
|--------|----------|----------|
| 平成27年度 | 52 | 749,100 |
| 平成28年度 | 29 | 413,500 |

| | | |
|--------------------------------------|--------------|----------------------|
| 〔資源物処理事業費〕 | 426,597,235円 | (その他特財 31,621,844円) |
| 資源物の定期収集 | 5,947 t | (1 t当たりの経費 65,838円) |
| ペットボトルの定期収集 | 422 t | (1 t当たりの経費 101,559円) |
| 〔使用済み乾電池等処理委託事業費〕 | 17,202,839円 | |
| ・乾電池・水銀体温計・蛍光管の収集 (隔週) | 151t | (1 t当たりの経費 113,926円) |
| 〔使用済み乾電池等広域回収処理連絡会負担金〕 | 309,826円 | |
| 〔集団回収活動奨励費〕 | 9,758,284円 | |
| ・住民団体が自主的に実施する古紙類・布類の資源集団回収活動に対しての助成 | | |
| 活動実績 | 延べ 1,109回 | 回収量 2,440 t |
| 〔エコステーション設置促進事業費〕 | 1,400,708円 | |
| ・市内小売店舗の施設2カ所で資源物の拠点回収 | 資源化 351 t | |

資源化実績

(単位：t)

| 区分 | 飲料缶 | 金属類 | びん | 紙類 | 布類 | 計 |
|----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成 27 年度 | 149 | 1, 187 | 1, 711 | 2, 220 | 922 | 6, 189 |
| 平成 28 年度 | 107 | 1, 185 | 1, 562 | 1, 882 | 1, 211 | 5, 947 |

その他資源化実績

(単位：t)

| 区分 | 乾電池・ 水銀体温計・ 蛍光管 | ペット ボトル | 小型家電 | 焼却灰等 (スラグ等含 む) | 廃プラス チック | 計 |
|----------|-----------------------|------------|------|----------------------|-------------|---------|
| 平成 27 年度 | 87 | 413 | - | 10, 381 | 4, 643 | 15, 524 |
| 平成 28 年度 | 151 | 422 | 125 | 13, 434 | - | 14, 132 |

集団回収活動奨励費

| 区分 | 回収量 (t) | | | 助成金額 (円) |
|----------|---------|----|--------|--------------|
| | 紙類 | 布類 | 計 | |
| 平成 27 年度 | 3, 462 | 72 | 3, 534 | 14, 138, 016 |
| 平成 28 年度 | 2, 383 | 57 | 2, 440 | 9, 758, 284 |

エコステーション設置促進事業費

| 区分 | 回収量 (t) | | | | | 助成金額 (円) |
|----------|---------|----|----|-----|-----|-------------|
| | 紙類 | 布類 | びん | 飲料缶 | 計 | |
| 平成 27 年度 | 332 | 19 | 21 | 6 | 378 | 1, 510, 736 |
| 平成 28 年度 | 300 | 19 | 22 | 10 | 351 | 1, 400, 708 |

| 目的 | 法令に基づく指導の徹底 | | | | |
|----|---|----|-----------------------|----|--|
| 指標 | 不法投棄発見数 不法投棄ごみ量 | 目標 | 1, 600 件以下 50 t 以下 | 実績 | 1, 766 件 (27 年度 2, 059 件) 38 t (27 年度 42 t) |
| 説明 | 不法投棄対策については、不法投棄多発地点を中心に巡回パトロールを行うとともに監視カメラ 24 台で監視しました。 市民通報やパトロールによって発見した不法投棄は、前年度に比べ 293 件減少し 1, 766 件となったものの、目標は達成できませんでした。一方で回収量は 4 t 減少し 38 t となり、大量投棄は減少しました。今後も、不法投棄については、投棄者の特定調査を行い、投棄者への指導を行うとともに、悪質なものについては警察と連携して対応します。 | | | | |

〔都市美化事業費〕 10, 764, 793 円

平成 28 年 7 月 5 日に「四日市市路上喫煙の禁止に関する条例」を公布し、同年 12 月 1 日から施行しました。なお、平成 28 年度には、195 回のパトロールを実施し、156 件の指導や喫煙所への誘導を行いました。

〔廃棄物対策事業費〕 24, 349, 614 円 (その他特財 97, 000 円)

目 3 尿尿処理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|----------------|--------|----------------|
| 311, 288, 000 円 | 301, 162, 850 円 | 96. 7% | 0 円 | 10, 125, 150 円 |

〔し尿処理施設管理運営費〕 27, 317, 068 円 (その他特財 8, 498, 305 円)

〔し尿収集運搬事業費〕 273, 845, 782 円 (その他特財 81, 457, 671 円)

(単位：kl)

| 区分 | 朝明衛生センター | | | 日永浄化センター | 計 |
|--------|----------|--------|---------------|----------|--------|
| | し尿 | 浄化槽汚泥 | コミュニティ・プラント汚泥 | し尿 | |
| 平成27年度 | 5,250 | 55,400 | 300 | 9,142 | 70,092 |
| 平成28年度 | 13,689 | 54,526 | 300 | - | 68,515 |

*平成28年3月末日永浄化センターでの受け入れは終了となりました。

目4 清掃工場費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 974,260,000円 | 940,258,635円 | 96.5% | 0円 | 34,001,365円 |

| 目的 | 安全で適正な工場の運営を図る | | | | |
|----|---|----|-------------|----|------------------------------|
| 指標 | 処理コストの削減 | 目標 | 15,000円/t以下 | 実績 | 8,763円/t (27年度 10,250円/t) |
| 説明 | <p>平成28年4月より四日市市クリーンセンターが稼働しました。平成28年度はクリーンセンターで103,951tのごみを受け入れ、処理を行いました。廃プラスチック等従来のもやさないごみも可燃ごみとして処理が可能となったことなどから、ごみ処理量が昨年度に比べ18,069tの増加となりました。</p> <p>一方、売電による収入(熱エネルギーを有効活用した発電(余剰分を売電))や、ごみ処理に伴う溶融物(スラグ、メタル)、破砕物(鉄、アルミ)を資源化処理した結果、コストは昨年度までの北部清掃工場に比べ1,487円の減額となりました。</p> <p>また、周辺環境への負荷軽減のため、有害物質の排出抑制や排水の循環利用を行うとともに、大気汚染防止法等に基づく排出規制値よりも厳しい自主規制値による運転管理を行いました。</p> <p>なお、北部清掃工場については、平成27年度末にて操業を停止し、平成28年度に休止に必要な措置を行いました。</p> | | | | |

[清掃工場管理運営費] 929,697,535円 (その他特財 929,697,535円)

クリーンセンターの年間発電量は58,399,304kWhとなり、このうち余剰分35,284,020kWhを売電し、533,318,987円の収入がありました。

[汚染負荷量賦課金] 2,698,700円 (その他特財 2,698,700円)

[ごみ処理施設環境整備事業費] 7,862,400円 (その他特財 518,000円)

目5 南部埋立処分場費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 174,940,000円 | 162,862,281円 | 93.1% | 0円 | 12,077,719円 |

| 目的 | 最終処分量の削減・処分場の延命化を図る | | | | |
|----|--|----|-----------------------|----|---|
| 指標 | 最終埋立処分量 | 目標 | 596 m ³ 以下 | 実績 | 3,260 m ³ (27年度 15,380 m ³) |
| 説明 | <p>四日市市クリーンセンターの稼働に伴い、これまで埋立処理していた廃プラスチック等の焼却処理が可能となったため、埋立処理量は大幅に減少しました。一方、クリーンセンターでの処理不適物や火災等により生じた廃棄物を埋立処理したため、目標の達成には至りませんでした。</p> | | | | |

| | | |
|----------------|--------------|----------------------|
| 〔埋立処分場管理運営費〕 | 98,997,515 円 | (その他特財 98,997,515 円) |
| 〔埋立処分場環境整備事業費〕 | 63,864,766 円 | (県支出金 29,979,000 円) |
| ・埋立処分場環境整備事業費 | | |

項3 保健所費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 533,836,000 円 | 517,609,110 円 | 97.0% | 0 円 | 16,226,890 円 |

目1 保健所総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 441,760,000 円 | 435,415,710 円 | 98.6% | 0 円 | 6,344,290 円 |

| | | | |
|---------|------|---------------|---|
| 〔一般職給〕 | 50 人 | 390,519,867 円 | 国庫支出金 40,455 円 県支出金 13,511,000 円 その他特財 34,018,606 円 |
| 〔再任用職給〕 | 1 人 | 4,303,552 円 | |

(保健予防課)

| | | |
|-----------------|--------------|---------------------|
| 〔負担金〕 | 22,177,698 円 | |
| ・病院群輪番制病院運営費補助金 | 18,340,000 円 | (その他特財 5,333,271 円) |
| ・救急医療情報システム運営費 | 3,837,698 円 | |
| 〔保健所管理運営費〕 | 1,017,869 円 | |
| 〔衛生統計費〕 | 1,147,802 円 | (県支出金 1,147,802 円) |
| ・国民生活基礎調査等 | | |

| 目的 | 医療施設の適正な管理運営の維持を支援する | | | | |
|----|--|----|-------------------------|----|---|
| 指標 | 医療施設に対する 定期立入検査の年間実施件数 | 目標 | 病院 13 件以上 診療所 82 件以上 | 実績 | 病院 13 件 診療所 82 件 (27 年度 病院 13 件、 診療所 80 件) |
| 説明 | 指標は医療機関において適正な管理運営状況を確認する定期立入検査件数としました。 医療法に基づく医療施設の適切な管理運営を現地確認し、直接指導や助言を行う立入検査の 必要性は高く、平成 28 年度は 82 件を目標とし、目標どおり実施しました。今後も医療の適正 化向上のため、継続的に指導、助言を行っていきます。 | | | | |

| | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| 〔医療法等施行事務費〕 | 504,969 円 | (その他特財 504,969 円) |
|-------------|-----------|-------------------|

【医療施設に対する立入検査の実施状況】

○立入実施施設数

| 病院 | | 医科・歯科診療所 | |
|---------|---------|----------|---------|
| 施設数 (件) | 実施数 (件) | 施設数 (件) | 実施数 (件) |
| 13 | 13 | 410 | 82 |

※診療所は休止施設を除く施設について 5 年で一巡するように定期実施しています。

○医療施設立入実施結果（指示・指摘内容）

| 指示・指摘内容 | 不備件数（件） | |
|-------------|---------|-----|
| | 病院 | 診療所 |
| 医療安全管理体制の不備 | 0 | 0 |
| 健康診断の未実施 | 0 | 0 |
| 医療従事者の不足 | 1 | 0 |
| 施設構造設備の不備 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |

※不備のあった事項については、改善指導を行いました。

【医療施設の開設・内容変更・廃止等及び構造設備の適正管理等の確認検査】

○市内医務施設数（件）

| | 病 院 | 医科診療所 | 歯科診療所 | 歯科技工所 | 助 産 所 | 施 術 所 | 合 計 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 28年度 | 13 | 271 | 150 | 42 | 3 | 269 | 748 |
| 27年度 | 13 | 274 | 149 | 40 | 3 | 263 | 742 |

○確認検査と開設・廃止状況（件）

| | 確 認 検 査 | 開 設 許 可 | 開 設 届 | 廃 止 | 使 用 許 可 |
|-------|---------|---------|-------|-----|---------|
| 病 院 | 5 | 2 | 1 | 1 | 23 |
| 医科診療所 | 10 | 3 | 9 | 12 | 0 |
| 歯科診療所 | 8 | 0 | 9 | 8 | 0 |
| 歯科技工所 | 3 | | 2 | 0 | |
| 助 産 所 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施 術 所 | 15 | | 20 | 14 | |
| 衛生検査所 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総 数 | 41 | 5 | 41 | 35 | 23 |

| 目的 | 献血の推進 | | | | |
|----|--|----|------|----|-----------------|
| 指標 | 啓発活動回数 | 目標 | 3回以上 | 実績 | 3回 (27年度 3回) |
| 説明 | 指標は広く市民に周知することが普及につながるため、街頭での啓発活動としました。市内の協力団体、協力事業所、協力学校（高校生ボランティア）等の協力を得て、近鉄四日市駅周辺にて啓発活動を行うなど献血及び骨髄ドナー登録を推進しました。 | | | | |

○啓発活動の実施状況

| 行事名（日時、場所） | 献血実施者数 | 啓発活動協力者数 |
|----------------------------------|--------|----------|
| 四日市市献血推進の日（28年7月22日近鉄四日市駅周辺） | 49 | 51 |
| 四日市市献血推進の日（29年1月27日近鉄四日市駅周辺） | 48 | 56 |
| クリスマス献血キャンペーン（28年12月23日近鉄四日市駅周辺） | 49 | 12 |

〔骨髄等提供支援事業費〕

129,634円

その他経費

(保健予防課)

| | | | |
|-------------------|-------------|---------|-----------|
| 〔委員報酬〕 | 952,200 円 | | |
| ・ 感染症診査協議会委員 4 人 | 881,100 円 | | |
| ・ 地域保健運営協議会委員 9 人 | 71,100 円 | | |
| 〔一般経費〕 | 4,465,866 円 | (その他特財) | 6,128 円) |
| 〔救急医療対策協議会事務局〕 | 125,916 円 | (その他特財) | 27,566 円) |

(衛生指導課)

| | | | |
|---------------------------|-------------|---------|-----------|
| 〔一般経費〕 | 2,265,483 円 | (その他特財) | 20,500 円) |
| (うち三重県四日市庁舎使用料 390,299 円) | | | |

| 区分 | 使用場所 | 面積 | 使用料 |
|----|----------|---------------------------|-----------|
| 建物 | 三重県四日市庁舎 | 28.45 m ² (北館) | 390,299 円 |
| | | 48.42 m ² (犬舎) | |

(食品衛生検査所)

| | |
|--------|-------------|
| 〔一般経費〕 | 6,100,959 円 |
|--------|-------------|

(健康づくり課)

| | | | |
|------------|-----------|---------|-----------|
| 〔食環境整備事業費〕 | 551,445 円 | (その他特財) | 56,000 円) |
|------------|-----------|---------|-----------|

○給食施設巡回指導

| | 対象施設数 (件) | 指導実施数 (件) |
|----------|-----------|-----------|
| 平成 28 年度 | 185 | 62 |
| 平成 27 年度 | 184 | 61 |

○給食施設研修会

| | 開催回数 (回) | 参加者数 (人) |
|----------|----------|----------|
| 平成 28 年度 | 2 | 31 |
| 平成 27 年度 | 2 | 51 |

○栄養成分表示等に関する相談件数 (件)

| | 件数 |
|----------|----|
| 平成 28 年度 | 37 |
| 平成 27 年度 | 44 |

| | | |
|--------------|-------------|---------------------|
| 〔国民健康・栄養調査費〕 | 1,100,000 円 | (国庫支出金 1,100,000 円) |
|--------------|-------------|---------------------|

(こども保健福祉課)

| | | |
|-------------|----------|------------------|
| 〔歯科疾患実態調査費〕 | 52,450 円 | (その他特財 52,450 円) |
|-------------|----------|------------------|

目 2 予防衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 17,529,000 円 | 11,798,395 円 | 67.3% | 0 円 | 5,730,605 円 |

(保健予防課)

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|--------------------------------|
| 目的 | 感染症の予防と患者支援 | | | | |
| 指標 | 感染症予防研修・健康教育参加者数 | 目標 | 1,650人以上 | 実績 | 1,644人/41回 (27年度2,630人/52回) |
| 説明 | <p>指標は、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行うことで、感染症の予防に対する意識が高まり、感染症の予防行動ができるようになることから、感染症予防研修・健康教育参加者数としました。</p> <p>感染症対策では、感染症発生動向調査の情報をもとに、流行に季節性のある腸管出血性大腸菌感染症、感染性胃腸炎、インフルエンザの流行期前に健康講座に出向き予防啓発を行いました。また、集団発生のリスクが高く重症化しやすい高齢者施設の職員等の関係者を対象に、介護・高齢福祉課及び衛生指導課と共同で、研修会の開催や会議等を利用した予防対策のミニ講座を行う等、重点的に研修会を行いました。</p> <p>エイズ対策では、HIV検査普及週間・世界エイズデーにおいて、通常検査に加え夜間検査を実施するとともに、世界エイズデーでは看護学生との協働にて街頭での啓発活動を行い、検査等の呼びかけを行いました。</p> <p>患者支援については、結核患者医療費の公費負担のほか、治療完了をめざした患者支援（直接服薬確認療法（DOTS））や接触者健診を適切に実施に進め、早期発見及び感染拡大の防止を図りました。</p> | | | | |

| | | | |
|-----------|------------|--------|-------------|
| [結核対策事業費] | 5,299,708円 | | |
| ・結核医療費 | 3,694,226円 | (国庫支出金 | 2,522,618円) |
| ・結核対策事業費 | 1,605,482円 | (国庫支出金 | 518,109円) |

○結核登録者数 (人)

| | 平成28年 | 平成27年 |
|----------|-------|-------|
| 年末現在登録者数 | 86 | 116 |
| うち新規登録者 | 46 | 41 |

○結核患者に対する保健師による指導・相談 (件)

| 区分 | 平成28年度 | 平成27年度 |
|------|--------|--------|
| 訪問相談 | 211 | 154 |
| 電話相談 | 491 | 437 |
| 来所相談 | 68 | 60 |

| | | | |
|------------------|------------|--------|-----------|
| [新型インフルエンザ対策事業費] | 898,375円 | | |
| [感染症対策事業費] | 1,368,068円 | | |
| ・防疫対策事業費 | 975,299円 | (国庫支出金 | 217,496円) |
| ・エイズ等対策事業費 | 392,769円 | (国庫支出金 | 26,000円) |

○一類・二類・三類感染症発生状況 (二類：結核以外) (件)

| 区分 | 病名 | 平成28年度 | 平成27年度 |
|-------|-------------|--------|--------|
| 三類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 7 | 4 |

※一類・二類（結核以外）感染症の発生なし

○感染症予防研修会・健康教育等実施状況

| | 平成28年度 | 平成27年度 |
|--------|--------|--------|
| 回数(回) | 41 | 52 |
| 延人員(人) | 1,644 | 2,630 |

○エイズ等血液検査の実施数 (件)

| | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|---------|----------|----------|
| エイズ検査 | 346 | 404 |
| B 型肝炎検査 | 340 | 394 |
| C 型肝炎検査 | 342 | 396 |
| 梅毒検査 | 337 | 393 |

〔感染症発生動向調査事業費〕

1, 373, 726 円 (国庫支出金 808, 128 円)

○四類・五類感染症発生状況

(件)

| | 病 名 | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|-------|--------------------|----------|----------|
| 四類感染症 | E 型肝炎 | — | 1 |
| | つつが虫病 | 1 | — |
| | デング熱 | — | 2 |
| | レジオネラ症 | 6 | 5 |
| 五類感染症 | アメーバー赤痢 | 5 | 2 |
| | ウイルス性肝炎 | 1 | — |
| | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 2 | 7 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1 | 1 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 1 | 1 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 1 | 2 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 12 | 9 |
| | 梅毒 | 8 | 7 |
| | 麻しん | 4 | — |
| | 播種性クリプトコックス症 | 1 | — |

○感染症発生動向調査病原体検査実施状況 (検体)

| 診 断 名 | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|---------|----------|----------|
| 麻しん | 19 | — |
| 無菌性髄膜炎 | 10 | 10 |
| 感染性胃腸炎 | 7 | 16 |
| デング熱 | 7 | 10 |
| 急性脳炎 | 6 | 10 |
| つつが虫病 | 3 | — |
| 風しん | 2 | — |
| インフルエンザ | 1 | 3 |
| 手足口病 | 1 | — |
| 細菌性赤痢 | 1 | — |
| コレラ | — | 1 |
| 百日咳 | — | 2 |

〔難病対策事業費〕

64, 119 円 (国庫支出金 8, 000 円)

○難病対策事業

| 区分 | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|----------|----------------|----------------|
| 訪問相談 (件) | 12 | 18 |
| 来所相談 (件) | 37 | 39 |
| 電話相談 (件) | 30 | 36 |
| ケア会議 | 12 回開催中 12 回参加 | 12 回開催中 12 回参加 |
| 難病研修会 | 1 回開催 140 人参加 | 2 回開催 80 人参加 |
| 災害時訓練 | 1 回開催 51 人参加 | 1 回開催 32 人参加 |

(食品衛生検査所)

| 目的 | 感染症予防のための試験検査の推進 | | | | |
|----|--|----|----------|----|------------------------------|
| 指標 | 検査精度管理の実施 | 目標 | 内部精度管理実施 | 実績 | 内部精度管理実施(100%) (27 年度 実施) |
| 説明 | 感染の疑いのある人や感染者の家族・接触者等の微生物保有検査を実施し、感染症発生の予防及び蔓延防止に努めました。また、感染をより早く発見することにより、早期治療や二次感染防止につながるよう迅速な検査の実施に努めました。 これら原因微生物の究明にあたり、迅速かつ正確な検査を実施するには検査精度の管理が必要であり、精度管理の実施に努めました。 | | | | |

| | | | |
|-------------|-------------|--------|------------|
| [感染症対策事業費] | 2,794,399 円 | | |
| ・ 防疫対策事業費 | 645,277 円 | (国庫支出金 | 94,616 円) |
| ・ エイズ等対策事業費 | 2,149,122 円 | (国庫支出金 | 699,000 円) |

○感染症発生時及び検疫通報時の防疫検査 (件)

| | ノロウイルス | 腸管出血性大腸菌 | 細菌性赤痢 |
|-----|--------|----------|-------|
| 便 | 6 | 35 | 1 |
| 菌 株 | | 1 | |

○感染症血清学的検査 (件)

| 検体数 | 内 訳 | | | | |
|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
| | HIV | HBsAg | HCV | STS | TP |
| 350 | 346 | 340 | 342 | 337 | 337 |

HIV: ヒト免疫不全ウイルス抗原・抗体検査 HBsAg : B 型肝炎ウイルス抗原検査
 HCV : C 型肝炎ウイルス抗体検査 STS: 梅毒抗体検査 (脂質を抗原とする)
 TP: 梅毒抗体検査 (菌体を抗原とする)

目 3 精神衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-----------|
| 3,308,000 円 | 2,995,729 円 | 90.6% | 0 円 | 312,271 円 |

(保健予防課)

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|----------------------------|
| 目的 | 精神障害者及び家族の支援 | | | | |
| 指標 | こころの相談件数 | 目標 | 2,000 件以上 | 実績 | 2,249 件 (27 年度 2,243 件) |
| 説明 | <p>指標は、こころの病や精神障害のある人に対する早期相談、継続相談等により、医療機関受診につながったり、安定した療養生活を送れるようになることから、こころの相談件数としました。実績は2,249 件となり、目標2,000 件を上回りました。</p> <p>医師、保健師、精神保健福祉士等の相談のほか、アルコール依存症専門の精神科医師による相談を引き続き実施し、広報やチラシ配布等、相談事業の周知に努めました。また、こころの病気に対する偏見等の解消のため、こころの健康講座の開催や、広報、パンフレットの配布等によりこころの病気や精神障害に関する正しい知識の普及啓発を行いました。</p> <p>自殺予防対策や若年者への早期支援として、普及啓発、相談体制の確立と関係機関との連携強化を図りました。</p> <p>今後、更に、こころの相談件数の増加に対応できるよう医師、保健師、精神保健福祉士等による相談体制の充実を図っていきます。</p> | | | | |

| | | | |
|-----------------|-------------|-------|------------|
| [精神保健対策事業費] | 2,995,729 円 | | |
| ・こころの健康づくり支援事業費 | 2,876,941 円 | (県支出金 | 530,000 円) |
| ・精神保健措置事業費 | 118,788 円 | | |

○精神保健福祉相談 (件)

| 区 分 | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 | |
|----------------------|---------------|----------|-------|
| 精神科医師による相談 (来所) | 63 | 65 | |
| 精神保健福祉士による相談 (来所) | 47 | 69 | |
| 保健師等による相談 (来所・電話) | 面接 | 395 | 404 |
| | 電話 | 1,470 | 1,400 |
| 家庭訪問相談 | 医師と保健師同行 | 1 | 4 |
| | 精神保健福祉士と保健師同行 | 17 | 16 |
| | 保健師等 | 256 | 285 |
| 計 | 2,249 | 2,243 | |

○普及啓発

| 講 座 名 | 開催回数 | 参加者数(延べ人数) |
|---------------|------|------------|
| こころの健康づくり講演会 | 1 | 288 |
| こころの健康講座／継続研修 | 1 | 127 |
| 地区出前講座・健康教育 | 21 | 1,164 |

○自殺予防対策

自殺対策連絡会議・研修 (各種相談機関窓口が参加) 参加者 61 人
 メンタルパートナー養成研修 14 回 参加者 843 人
 相談窓口一覧のパンフレット配布
 自殺予防週間・自殺対策強化月間に啓発

○組織の育成・支援

精神保健福祉ボランティア支援
 地域家族会支援
 若年者早期支援事業 生徒への出前授業 市内中学校 4 校

○精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神通院医療）進達業務

・精神障害者保健福祉手帳状況 (件)

| 1級 | 2級 | 3級 | 合計 |
|-----|-------|-----|-------|
| 204 | 1,354 | 577 | 2,135 |

・自立支援医療（精神通院医療）受給者証状況 5,636件

○精神障害者保護状況

(件)

| | 申請・通報件数 | | | | | | 通報等による調査結果 | | 指定医診察結果 | | 措置非該当後の結果 | |
|--------|---------|------|------|--------|--------|---------|------------|------|---------|-------|-----------|-----|
| | 計 | 法22条 | 法23条 | 法26条の2 | 法26条の3 | 法27条第2項 | 診察必要 | 診察不要 | 措置該当 | 措置非該当 | 医療保護入院 | その他 |
| 平成28年度 | 47 | | 47 | | | | 47 | 0 | 27 | 20 | 6 | 14 |
| 平成27年度 | 42 | | 42 | | | | 42 | 0 | 24 | 18 | 5 | 13 |

○四日市市保健所精神措置等連携会議（医療機関、警察署）1回開催 4人参加

目4 食品衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 30,938,000円 | 28,952,682円 | 93.6% | 0円 | 1,985,318円 |

(衛生指導課)

| | | | | | |
|----|---|----|------|----|---------------------|
| 目的 | 食品衛生についてモラルが向上し、ルールが守られている | | | | |
| 指標 | 食品検査における適合率 | 目標 | 100% | 実績 | 100% (27年度 100%) |
| 説明 | <p>食の安全と安心を確保するために、計画に基づき、食品関係事業者に対して監視指導を行い、事業者の衛生管理向上に努めました。また、市内において生産、製造、加工及び販売される食品等の抜き取り検査（収去検査）を行い、食品衛生法、食品表示法に定める規格基準等に基づき指導を行うことで不良・違反食品を排除し、食中毒、食品事故の未然防止を行うとともに、営業者の自主衛生管理の強化を図りました。</p> <p>収去検査数は309検体で、うち表示違反2検体、四日市市食品の衛生管理指標不適合が9検体あったため、製造業者等に改善指導等を実施しました。</p> | | | | |

| | | | |
|---------------|------------|---------|------------|
| 〔食の安全安心対策事業費〕 | 8,901,243円 | | |
| ・食品衛生監視指導事業費 | 4,132,193円 | (その他特財) | 4,132,193円 |
| ・食品検査事業費 | 4,769,050円 | (その他特財) | 4,769,050円 |

○食品衛生監視実績

| 項目 ランク | 監視頻度 | 施設数 (件) (x) | 監視数 (件) (y) | 平成28年度監視頻度達成率 (%) ※ (z) | 平成27年度監視頻度達成率 (%) |
|-----------|---------|----------------|----------------|-------------------------|-------------------|
| A | 2回以上/1年 | 127 | 277 | 109.1 | 106.4 |
| B | 1回以上/1年 | 160 | 180 | 112.5 | 132.5 |
| C | 1回以上/3年 | 4,554 | 1,409 | 92.8 | 93.5 |
| D | - | 1,722 | 1,204 | - | - |

食中毒の発生リスクと提供食数に応じA～Dランクに分類

(例 Aランク 1回300食以上、1日750食以上を提供する飲食店営業施設等)

※監視頻度達成率の積算根拠は次の通りである。

A : $z = y / 2x \times 100$

B : $z = y / x \times 100$

C : $z = 3 y / x \times 100$

○食品の収去検査成績

| | 検査目標件数 | 検体検査件数 | 収去達成率 (%) |
|-------------------------|--------|--------|-----------|
| 微生物検査 (食品衛生検査所) | 250 | 248 | 99.2 |
| 理化学検査 (三重県保健環境研究所委託) | 61 | 61 | 100.0 |
| 拭取り検査 (簡易キット) | — | 200 | — |

○食品等の苦情相談・調査件数

(件)

| | 有症苦情・食中毒 (疑いを含む) 相談・調査 | 食品苦情 相談・調査 | 表示 相談・調査 | 合計 |
|-----------|------------------------------|---------------|-------------|-----|
| 市内での対応 | 28 | 83 | 16 | 127 |
| 市外からの調査依頼 | 2 | 4 | 0 | 6 |
| 市外への調査依頼 | 2 | 5 | 1 | 8 |
| 合計 | 32 | 92 | 17 | 141 |

○平成 28 年度食中毒発生状況

| 発生年月 | 原因施設 | 患者数 (人) | 原因食品 | 原因物質 |
|--------------|------|---------|-------------|----------------|
| 平成 28 年 10 月 | 飲食店 | 27 | 18 日の朝食又は昼食 | サルモネラ・エンテリテイイス |

(食品衛生検査所)

| 目的 | 食の安全と暮らしの衛生の確保のための試験検査の推進 | | | | |
|----|--|----|--|----|--|
| 指標 | 検査の精度管理の実施 | 目標 | 外部精度管理 5 回以上実施 内部精度管理 2 回以上実施 | 実績 | 外部精度管理 5 回実施 (27 年度 5 回実施) 内部精度管理 2 回実施 (27 年度 2 回実施) |
| 説明 | <p>食の安全と暮らしの衛生確保のために、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき、市内で流通している食品の抜き取り検査 (収去検査) を行い、微生物の保有状況を調べることにより食の安全を確認し、市民が安全で安心な食生活を送れるよう努めました。</p> <p>食中毒等の苦情発生時には、原因究明のための迅速かつ正確な検査を実施し、拡大防止に努めました。</p> <p>全国規模で結果を集計する外部組織を利用した外部精度管理を実施することで検査精度を確認すると共に、食品衛生検査所において指標となる検体を測定し理論どおりの結果がでるかを調べ、検査精度の向上に努めました。</p> | | | | |

[食の安全安心対策事業費]

8,665,135 円

・食品検査事業費

(うち三重県四日市庁舎使用料 1,145,108 円)

| 区分 | 使用場所 | 面積 | 使用料 |
|----|----------|----------------------------|-------------|
| 建物 | 三重県四日市庁舎 | 146.75 m ² (北館) | 1,145,108 円 |

○食品衛生関連検査 (件)

| | 検体種別 | 検体数 | 検査項目数※ |
|--------------|--------|-----|--------|
| 規格基準 検査 | 生食用魚介類 | 8 | 24 |
| | 魚肉練り製品 | 10 | 10 |
| | 食肉製品 | 10 | 23 |
| 衛生管理 指標検査 | 豆腐 | 5 | 10 |
| | 生洋菓子 | 20 | 80 |
| | 生和菓子 | 10 | 30 |
| | 調理ご飯 | 30 | 120 |
| | 調理パン | 20 | 80 |
| | 漬物 | 10 | 20 |
| | 生めん | 5 | 15 |
| | ゆでめん | 15 | 45 |
| | 惣菜 | 57 | 228 |
| | 学校給食 | 48 | 192 |
| | 計 | 248 | 877 |

※一般細菌数、大腸菌群、大腸菌(E. coli)、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、ビブリオ、芽胞菌等

○食中毒及び有症苦情の微生物検査 (件)

| | 便 | 食品 | 拭取り |
|----------|------|-----|-----|
| 検体数 | 70 | 10 | 18 |
| 検査実施項目数※ | 1046 | 169 | 281 |

※サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、病原大腸菌、カンピロバクター属菌、セレウス菌、ウエルシュ菌、ノロウイルス等

| 目的 | 畜産物（食肉、食鳥肉）の安全を確保する | | | | |
|----|--|----|----------------------|----|--------------------------|
| 指標 | 適正な食肉、食鳥肉 検査の実施 | 目標 | 所内研修会の実施 年 14 回以上 | 実績 | 21 回実施 (27 年度 15 回実施) |
| 説明 | <p>と畜場法第 14 条に基づき四日市市食肉センターに搬入された牛、豚の全頭検査を行いました。詳しい検査が必要なときは保留とし、病理・微生物・理化学等の精密検査を実施し合否判定を行いました。</p> <p>牛海綿状脳症(BSE)検査については、検査対象月齢である生後 48 か月超の牛について検査を実施しました。</p> <p>検査員の知識と技術の向上を目的とした所内研修会は、年 14 回以上の実施を目標としており、平成 28 年度は 21 回実施し、目標を達成しました。</p> <p>と畜検査結果については、と畜検査情報システムにより個体別疾病情報を記録・管理し、生産者のニーズにあった情報をフィードバックしました。的確なと畜検査を実施することにより、安全な食肉の供給に努めました。また、衛生担当者会議や四日市畜産公社職員、関係者への衛生講習会等を定期的に開催することにより、より良い衛生対策に基づき枝肉の汚染を防止し、衛生的な食肉の供給に努めました。</p> | | | | |

〔食の安全安心対策事業費〕

11,386,304 円

・食肉衛生検査事業費

〔国庫支出金 1,356,000 円
その他特財 10,030,304 円〕

○と畜検査頭数

搬入獣畜全頭数の検査を実施。(頭)

| | |
|---|-------------------|
| 牛 | 4,571 (※とく 9 頭含む) |
| 豚 | 90,286 |

※とく・・・1 歳未満の牛のこと

○牛海綿状脳症(BSE)検査数

生後 48 か月超の牛について検査を実施。(頭)

| 検査対象 | 検査数 | 陰性数 |
|------|-------|-------|
| 牛 | 1,376 | 1,376 |

○食鳥検査(立入検査)

食鳥肉の安全・衛生を確保するため、施設の監視指導及び食鳥肉の検査を実施。

| | |
|------------|---|
| 認定小規模処理施設数 | 4 |
| 監視件数 | 6 |
| 収去検査件数 | 2 |

○食肉安全対策

食肉の安全・衛生を確保するため、枝肉の拭き取り検査、施設の拭き取り検査を実施。

| 検査項目 | 検査件数 |
|----------------|------|
| 腸管出血性大腸菌(0157) | 107 |
| サルモネラ | 183 |
| カンピロバクター | 6 |
| 一般生菌数 | 307 |
| 大腸菌群数 | 307 |
| 合計 | 910 |

○畜水産食品残留有害物質検査

食肉の安全を確保するため、食肉中の動物医薬品等の残留検査を実施。

| 検査項目 | 検査件数 |
|-----------|------|
| 抗生物質 | 451 |
| 合成抗菌剤 | 27 |
| テトラサイクリン類 | 27 |
| 内部寄生虫薬 | 26 |
| 合計 | 531 |

目5 生活衛生費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 40,301,000円 | 38,446,594円 | 95.4% | 0円 | 1,854,406円 |

(衛生指導課)

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|------------------------|
| 目的 | 薬や違法性薬物等による健康被害を未然に防止する | | | | |
| 指標 | 関係団体や市民と協働する薬物乱用防止講習会及び教室等の受講者数 | 目標 | 1,900人以上 | 実績 | 1,580人 (27年度1,863人) |
| 説明 | <p>「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」や「毒物及び劇物取締法」等の関係法令に基づき、医薬品や毒物及び劇物を取り扱う事業者に対し、監視指導を行い、医薬品の安全性、適正な流通の確保を図るとともに、平成28年5月に開催されたサミットに係るテロ防止対策のため毒物及び劇物の取扱いの徹底による健康被害や事故の発生防止に努めました。</p> <p>また、近年、危険ドラッグの乱用が大きな社会問題となっていることから、薬物乱用防止に向けた広報やイベント等を通じ、知識の普及啓発を行い、市民一人ひとりに薬物に対する知識を深めていただくことで、違法性のある薬物の乱用を許さないまちづくりを目指し、薬</p> | | | | |

物乱用防止対策協議会や地域の自治会等と協働したキャンペーン等を通じて、広く市民に啓発を行いました。

薬物乱用防止普及啓発に関しては、ライオンズクラブ、学校薬剤師、警察、保健所等の各講師が市内小中高校及び大学に対し薬物乱用防止教室を実施し、また地域社会に対して出前講座を開講しました。前年度に比べ、今年度は、学校が視点の違う講習内容を希望したことから、保健所への依頼が減少し、目標達成に至りませんでした。

また、学校に保管されている毒物及び劇物の管理について教育委員会と協議し、順次監視指導を行いました。

| | | | |
|----------------|-------------|--------|--------------|
| 〔薬事関係対策事業費〕 | 1,935,376 円 | | |
| ・薬物乱用防止運動推進事業費 | 363,074 円 | | |
| ・薬事審査指導事業費 | 1,413,882 円 | (その他特財 | 1,413,882 円) |
| ・医薬品等安全対策事業費 | 132,756 円 | | |
| ・毒物劇物指導監視事業費 | 25,664 円 | (その他特財 | 25,664 円) |

【薬事関連施設数及び監視数】

| 業種 | 事項 | 許可・届出数 | 監視数 | 監視率 (%) | |
|-------|--------------|-----------|-------|---------|------|
| 医薬品 | 薬局 | 146 | 98 | 67.1 | |
| | 製造業 | 11 | 5 | 45.5 | |
| | 製造販売業 | 11 | 5 | 45.5 | |
| | 店舗販売業 | 53 | 39 | 73.6 | |
| | 業務上取り扱う施設 | — | 23 | — | |
| 医薬部外品 | 販売業 | — | 144 | — | |
| | 業務上取り扱う施設 | — | 23 | — | |
| 化粧品 | 販売業 | — | 114 | — | |
| | 業務上取り扱う施設 | — | 10 | — | |
| 医療機器 | 販売業 | 高度管理医療機器等 | 128 | 59 | 46.1 |
| | | 管理医療機器 | 788 | 169 | — |
| | | 一般医療機器 | — | 166 | — |
| | 賃貸業 | 高度管理医療機器等 | 76 | 37 | 48.7 |
| | | 管理医療機器 | 49 | 60 | — |
| | | 一般医療機器 | — | 63 | — |
| | 業務上取り扱う施設 | — | 23 | — | |
| 毒物劇物 | 一般販売業 | 200 | 83 | 41.5 | |
| | 農薬用品目販売業 | 37 | 13 | 35.1 | |
| | 特定品目販売業 | 4 | 2 | 50.0 | |
| | 業務上取扱者 | 電気メッキ | 2 | 1 | 50.0 |
| | | 運送業 | 14 | 11 | 78.6 |
| | | 非届出業務上取扱者 | — | 59 | — |
| 麻薬 | 小売業 | — | 80 | — | |
| | 病院 | — | 17 | — | |
| | 一般診療所 | — | 2 | — | |
| | 家畜診療所 | — | 0 | — | |
| 覚醒剤原料 | 薬局 | — | 98 | — | |
| | 病院／診療所／家畜診療所 | — | 19 | — | |
| 総 数 | | 1,519 | 1,423 | | |

* 毒物劇物非届出業務取扱者における漏洩事例（緊急出動件数）0 件

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|--------------------|
| 目的 | 飼い主のモラル向上による、引取数・殺処分数の減少を図る | | | | |
| 指標 | 動物愛護啓発活動の参加者数 | 目標 | 850人以上 | 実績 | 635人 (27年度847人) |
| 説明 | <p>動物愛護啓発活動として、犬の接し方教室等を14回開催したほか、市民や関係団体との協働による啓発活動を行いました。</p> <p>犬の接し方教室については、身近な犬のを知ってもらい、動物の命の大切さを考えるために啓発犬等を活用し、主に保育園、学童保育所で実施しましたが、申込件数が減少し、その他の教室として出前講座の開催がなかったことから、受講者数が目標を下回る結果となりました。今後、教室等の内容の充実や、周知方法の検討を行い、参加人数を増やしていくよう努めます。</p> <p>市民や関係団体との協働による動物愛護啓発活動については、第二種動物取扱業者である四日市市ふれあい牧場において、春と秋の2回「ふれあい牧場まつり」に保健所として出展し、適正飼養、ペットの防災対策、譲渡制度などの周知を行いました。その他、市政情報番組「ちゃんねるよっかいち」では、ボランティア団体と協力し、飼い主のいない猫を減らすための取組「TNR活動」について紹介しました。</p> <p>今後も人と動物の共生できる社会の実現や飼い主のモラル向上のため、効果的な取組みを進めていきます。</p> | | | | |

| | | | |
|-----------------|-------------|--------|-------------|
| 〔狂犬病予防費〕 | 3,190,688円 | (その他特財 | 3,130,396円) |
| 〔動物愛護管理費〕 | 86,862円 | | |
| 〔小動物管理費〕 | 29,387,152円 | (その他特財 | 612,100円) |
| 〔犬猫避妊等手術費助成補助金〕 | 3,687,000円 | (その他特財 | 3,687,000円) |

【犬猫の抑留・収容数等】

| 項目 | | | 平成28年度 | 平成27年度 | |
|------------|--------|-------|--------|--------|-----|
| 犬 | 抑留・収容数 | | 83 | 91 | |
| | 内訳 | 捕獲・抑留 | | 44 | 58 |
| | | 引取り | 飼い犬 | 6 | 6 |
| | | | 飼い主不明 | 30 | 27 |
| | | 負傷等収容 | | 3 | 0 |
| | 返還数 | | 51 | 58 | |
| | 譲渡数 | | 25 | 26 | |
| | 処分数 | | 7 | 7 | |
| 猫 | 抑留・収容数 | | 118 | 239 | |
| | 内訳 | 引取り | 飼い猫 | 4 | 14 |
| | | | 飼い主不明 | 96 | 194 |
| | | 負傷等収容 | | 18 | 31 |
| | 返還数 | | 5 | 1 | |
| | 譲渡数 | | 36 | 34 | |
| 処分数 | | 77 | 204 | | |
| 相談等 受付数 | モラル相談 | | 230 | 220 | |
| | 苦情相談 | | 230 | 368 | |
| | その他 | | 3,058 | 2,751 | |

| | | | | | |
|----|---|----|---------|----|------------------------|
| 目的 | 生活衛生についてのモラルの向上とルールの徹底を図る | | | | |
| 指標 | 生活衛生関係施設監視数 | 目標 | 218 件以上 | 実績 | 199 件 (27 年度 209 件) |
| 説明 | 市民が安心して施設を利用できるよう、専門的な観点から理容所、美容所、公衆浴場などの生活衛生関係施設の監視を行い、自主衛生管理を促進しました。また、平成 28 年 5 月に開催されたサミットに係るテロ防止対策のために旅館業に対して重点的に監視を実施しました。その他、理・美容営業者 6 組合に対して衛生消毒講習会を実施し、衛生管理に関する知識の向上を推進しました。 | | | | |

〔環境衛生対策事業費〕

159,516 円 (その他特財 159,516 円)

○生活衛生施設監視状況

(件)

| 業種 | 施設数 | 監視件数 | 監視率 (%) | 監視目標 (%) |
|---------|------------------|-------|----------------|--------------|
| 理容所 | 273 | 67 | 24.5 | 20 |
| 美容所 | 591 | 71 | 12.0 | 20 |
| クリーニング所 | 工場 55 取次店 282 | 工場 15 | 27.3 (工場対象) | 20 (工場対象) |
| 興行場 | 8 | 4 | 50.0 | 20 |
| 旅館業 | 73 | 24 | 32.9 | 20 |
| 公衆浴場 | 36 | 18 | 50.0 | 50 |
| 合計 | 1,318 | 199 | | |

項 4 病院費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 1,196,883,000 円 | 1,115,325,930 円 | 93.2% | 0 円 | 81,557,070 円 |

目 1 病院整備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 1,196,883,000 円 | 1,115,325,930 円 | 93.2% | 0 円 | 81,557,070 円 |

病院建設事業債に係る償還金等、基礎年金拠出金公的負担分について公営企業市立四日市病院事業会計へ支出するとともに、市立四日市病院整備基金に運用益の積立を行いました。

| | | | |
|------------------|---------------|--------|----------|
| 〔負担金 (収益的)〕 | 427,721,020 円 | | |
| ・企業債利息 | 66,592,898 円 | | |
| ・長期追加費用 | 63,982,326 円 | | |
| ・救急医療経費 | 110,000,000 円 | | |
| ・小児医療経費 | 22,000,000 円 | | |
| ・院内保育所運営経費 | 75,019,919 円 | | |
| ・医師等研究研修経費 | 30,125,877 円 | | |
| ・周産期医療に要する経費 | 60,000,000 円 | | |
| 〔補助金〕 | 215,674,296 円 | | |
| ・基礎年金拠出金公的負担分 | | | |
| 〔負担金 (資本的)〕 | 471,922,246 円 | | |
| ・企業債償還金 | | | |
| 〔市立四日市病院整備基金積立金〕 | 8,368 円 | (その他特財 | 8,368 円) |
| (平成 28 年度末現在高) | 15,973,572 円) | | |

款5 労働費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 53,081,000 円 | 51,003,560 円 | 96.1% | 0 円 | 2,077,440 円 |

項1 労働諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 53,081,000 円 | 51,003,560 円 | 96.1% | 0 円 | 2,077,440 円 |

目1 労働諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 53,081,000 円 | 51,003,560 円 | 96.1% | 0 円 | 2,077,440 円 |

| | | |
|---|--------------|-------------------|
| [委員報酬] | 31,600 円 | |
| ・四日市市勤労者・市民交流センター運営委員会委員報酬 | | |
| [施設管理運営費] | 47,894,000 円 | |
| ・四日市市勤労者・市民交流センター指定管理委託料 | 42,378,000 円 | (その他特財 319,822 円) |
| ・四日市市勤労者・市民交流センター北館排煙設備工事 | 5,097,600 円 | |
| ・四日市市勤労者・市民交流センター備品購入費等 | 418,400 円 | |
| [就労対策事業費] | 1,776,960 円 | |
| ・障害者就労支援事業業務委託 | 91,800 円 | |
| ・四日市市求職者資格取得助成金 フォークリフト 25 件、介護職員初任者研修修了課程 3 件 | 443,225 円 | |
| ・四日市市若年者就労支援事業費補助金 | 1,200,000 円 | |
| ・就労コーディネーター事業費 | 41,935 円 | |
| [労政振興費補助金] | 1,301,000 円 | |
| ・連合三重三泗地域協議会 | 671,000 円 | |
| ・三泗地区労働者福祉協議会 | 630,000 円 | |

勤労者・市民交流センターの利用状況

【平成28年度】

| 本館 | | 東館 | | 北館 | |
|--------|----------|--------|----------|--------|----------|
| 件数 (件) | 利用者数 (人) | 件数 (件) | 利用者数 (人) | 件数 (件) | 利用者数 (人) |
| 2,190 | 46,289 | 2,023 | 39,854 | 2,350 | 9,929 |

【平成27年度】

| 本館 | | 東館 | | 北館 | |
|--------|----------|--------|----------|--------|----------|
| 件数 (件) | 利用者数 (人) | 件数 (件) | 利用者数 (人) | 件数 (件) | 利用者数 (人) |
| 2,207 | 45,866 | 1,941 | 37,018 | 2,456 | 11,220 |

款6 農林水産業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|-------------|-------------|
| 1,611,657,000円 | 1,524,585,993円 | 94.6% | 56,857,800円 | 30,213,207円 |

項1 農業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 496,766,000円 | 474,029,224円 | 95.4% | 0円 | 22,736,776円 |

目1 農業委員会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 23,750,000円 | 23,535,268円 | 99.1% | 0円 | 214,732円 |

| 目的 | 多様な担い手を育成し、農地の保全・有効活用を図る | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 指標 | 耕作されている農地面積 (農用地区域内) | 目標 | 3,418ha以上 | 実績 | 3,412ha (27年度 3,416ha) |
| 説明 | 耕作されている農地面積は、農地転用などにより減少しましたが、認定農業者等への農地集積を進めた結果、利用権設定延べ面積は820ha(対前年53ha増)となりました。 引き続き、担い手農家への農地の集積・集約化を推進するとともに、優良農地復元化事業や農地中間管理事業、農地バンク制度なども活用しながら、耕作放棄地の未然防止・解消に努めていきます。 | | | | |

〔農用地利用権設定等促進事業費〕 1,177,000円(その他特財 20,000円)
 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定など農地の利用調整とあわせんを実施しました。
 〔機構集積支援等事業費〕 1,792,000円(県支出金 1,792,000円)
 遊休農地の発生防止・解消を図るため、農地所有者への利用意向調査を行うとともに、農地に関する情報の公表に向けて、農地基本台帳の再整備を行いました。また、農業委員の資質向上を図るため、先導事例の視察研修などを実施しました。

その他経費

〔農業委員会委員報酬〕 38人 12,994,933円
 〔農業者年金関係事業費〕 541,000円(その他特財 541,000円)
 農業者年金制度に係る各種申請等事務や制度の普及推進を行いました。
 〔負担金〕 891,000円
 ・三重県農業会議
 〔荒廃農地状況調査事業費〕 3,205,000円(その他特財 85,320円)
 荒廃農地について現地調査を実施し、現状の把握及びデータ整理を行いました。
 〔一般経費〕 2,934,335円(その他特財 75,500円)

目2 農業総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|----------|
| 226,615,000円 | 226,492,362円 | 99.9% | 0円 | 122,638円 |

〔一般職給〕 23人 202,460,257円
 〔再任用職給〕 4人 18,187,118円
 〔嘱託職給〕 1人 2,565,723円
 (県支出金 6,777,000円
 その他特財 52,383,751円)

その他経費

〔生産調整対策事業費〕 1,341,560円
 〔負担金〕 90,000円
 ・三重県森林協会 40,000円
 ・全国都市農業振興協議会 40,000円
 ・四日市市農業再生協議会 10,000円
 〔一般経費〕 1,847,704円(その他特財 57,335円)

目3 農業振興費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 219,926,000円 | 197,612,922円 | 89.9% | 0円 | 22,313,078円 |

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|-------------------------|
| 目的 | 農業生産の担い手農家を育成する | | | | |
| 指標 | 認定農業者数 | 目標 | 220経営体以上 | 実績 | 219経営体 (27年度 214経営体) |
| 説明 | <p>認定農業者数については、後継者不在等の理由により7経営体が未更新となりましたが、新規認定が12件あったため、5経営体増加し、219経営体となりました。一方で、法人経営体は昨年度から4件増加して合計30経営体となり、経営の法人化が徐々に進んでいます。</p> <p>28年度の新規就農者は9人で、内訳は新たに農業を始める2人と農業法人等への雇用就業者7人でした。新たに農業を始めた2人は、経営の早期安定化を図るため、就農後、最大5年まで給付される青年就農給付金を受給しています。</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|-------------|--|--------|--------------|--|
| [新しい農の担い手づくり事業費] | 2,781,000円 | | | | |
| 新規就農者2人と農業参入企業1社の機械・施設整備に要する初期投資費用に対して助成しました。 | | | | | |
| ・新規就農者支援事業費 | 781,000円 | | | | |
| ・企業等農業参入促進事業費 | 2,000,000円 | | | | |
| [新規就農技術支援事業費] | 540,087円 | | （その他特財 | 407,500円) | |
| [経営体育成支援事業費] | 711,000円 | | （県支出金 | 711,000円) | |
| [担い手確保・経営強化支援事業費] | 15,720,000円 | | （県支出金 | 15,720,000円) | |
| 農地中間管理事業を活用して農地集積を行っている地区の人・農地プランに位置づけられた担い手農家2経営体が行った施設・機械整備に対して助成しました。 | | | | | |
| [青年就農給付金事業費] | 15,750,000円 | | （県支出金 | 15,750,000円) | |
| [農業経営近代化資金利子補給金] | 2,392,592円 | | | | |
| 農協等金融機関を通じ、前期117件、後期116件の資金融通に対して利子補給を実施しました。 | | | | | |
| [農業経営基盤強化資金利子補給金] | 498,388円 | | （県支出金 | 238,292円) | |
| 三重県信用農業協同組合連合会等を通じ、19件の資金融通に対して利子補給を実施しました。 | | | | | |
| [農業後継者対策事業費] | 59,000円 | | | | |
| ・農業研修費補助金 | | | | | |

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 経営所得安定対策の円滑な運用 | | | | |
| 指標 | 経営所得安定対策への加入割合 | 目標 | 55%以上 | 実績 | 52% (27年度 53%) |
| 説明 | <p>経営所得安定対策は、米の生産調整に加え、食料自給率・自給力の向上を図るため、麦・大豆・飼料作物等の戦略作物の作付けを促し、水田農業の所得向上により、農業経営の安定に資することを目的としています。制度の周知と戦略作物の作付けを奨励し、加入者の確保に努めました。</p> | | | | |

| | | | |
|-------------|------------|--------|-------------|
| [直接支払推進事業費] | 4,426,000円 | （県支出金 | 4,426,000円) |
| [生産調整推進事業費] | 6,317,703円 | （その他特財 | 66,009円) |

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 農産物の安定的な生産、品質向上を図る | | | | |
| 指標 | 水稻・麦・大豆 作付面積 | 目標 | 2,400ha以上 | 実績 | 2,275ha (27年度 2,322ha) |
| 説明 | <p>転作作物として麦・大豆の本格生産を促すため、生産性向上に資する集団転作を支援することにより、認定農業者、集落営農組織へ麦・大豆生産の集約を図っていますが、大豆の播種時期の天候不順により作付面積が減少しました。</p> | | | | |

| | | | |
|--|------------|-------|-------------|
| [集団転作推進事業費] | 7,998,900円 | | |
| 集団転作に取り組む23営農組織に対して助成しました。（実施面積：346ha） | | | |
| [環境保全型農業直接支払事業費] | 1,440,800円 | （県支出金 | 1,080,600円) |
| 環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者で組織する団体に対し助成しました。 | | | |

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 農作物の生産振興を図る | | | | |
| 指標 | 全国・関西・伊勢 茶品評会入賞数 | 目標 | 12点以上 | 実績 | 7点 (27年度 12点) |
| 説明 | 全国茶品評会が鈴鹿市で開催されたことで、伊勢茶品評会が開催されなかった影響もあり、入賞点数は減少しました。 | | | | |

- 〔農産物の生産及び流通対策事業費〕 331,860円
近鉄四日市駅西茶展示ほの管理について、若手茶生産農家で組織する輝緑会へ委託等を実施しました。
- 〔茶業振興対策事業費〕 220,000円
四日市茶業連合会が実施する、生産者の栽培技術の向上や、消費者との交流等を通じた販路開拓や消費PR活動の事業等へ助成しました。
- 〔伊勢茶出品対策事業費〕 485,000円
茶産地としての名声を高めるため、四日市茶業連合会が実施する各種茶品評会へ出品する優良茶の生産及び加工技術の向上に対する取り組みへ助成しました。
- 〔茶業振興センター移転整備事業費〕 58,634,560円 (その他特財 58,632,160円)
平成30年4月開所に向けて、建築実施設計及び造成工事等を行いました。
- 〔農産物価格安定対策事業資金貸付金〕 5,370,000円 (その他特財 5,370,000円)
- 〔施設園芸作物振興対策事業費〕 90,000円
- 〔全国お茶まつり開催事業費〕 321,000円

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 有害鳥獣被害を軽減し、農産物の安定生産を図る | | | | |
| 指標 | 有害鳥獣駆除頭数 (サル・シカ・イノシシ) | 目標 | 550頭以上 | 実績 | 410頭 (27年度 403頭) |
| 説明 | サル、イノシシ、カラス等の有害鳥獣による農作物等の被害を防止するため、28年度から有害鳥獣対策専門員2人(臨時職員)を配置し、猟友会、地元農業者等との連携強化を図り、捕獲や追い払い活動を実施しました。また、農家組合等が設置する電気柵等の資材購入を支援しました。 | | | | |

- 〔鳥獣被害防止対策事業費〕 25,799,392円
サル等の追い払いや捕獲の実施、電気柵等の侵入防止施設の資材購入(16件)に対し助成したほか、発信機を取り付けたサルの行動を監視し、その位置情報と追い払い活動の連携を図りました。
(捕獲実績：サル84頭、イノシシ277頭、シカ49頭ほか)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 地産地消を推進し、農家と市民の交流を進める | | | | |
| 指標 | 学校給食における 地元食材利用割合 | 目標 | 48.9%以上 | 実績 | 51.1% (27年度 42.2%) |
| 説明 | 「給食等地産地消コーディネーター(JAみえきた職員)」を委嘱して、給食の献立と生産者の生産・出荷計画の調整を図ったことで、28年度の学校給食における地元食材利用割合は、食材数ベースで51.1%(給食食材主要農産物23/45品目)となり、前年度に比べ4品目、8.9ポイントの大幅増となりました(45品目以外の農産物で2品目の出荷実績あり)。また、小学校での生産者と児童の交流会を2回、生産現場での給食調理員、栄養士向けの研修会を4回開催しました。 他に、地産地消バスツアーや「四日市農業まつり」の開催、農業体験・食育活動に対する助成などにより、農家と市民の交流を図るとともに、農産物のブランド化や6次産業化など、自家農産物の高付加価値化に取り組む農家に対して助成しました。 | | | | |

- 〔学校給食等地産地消推進事業費〕 443,224円
学校給食への地元食材の利用を進めるため、食材の生産農家に対して出荷奨励金を交付しました。
- 〔地産地消ふるさとの食推進事業費〕 1,154,700円 (その他特財 469,000円)
産地を巡るバスツアーや「四日市農業まつり」の開催、農家や住民が実施する農業・食育体験の経費に対して助成しました。
- 〔アグリビジネス推進事業費〕 1,302,468円
農産物のブランド化や6次産業化に取り組む農家を育成するとともに、パッケージ・ラベル作成や直販・加工等に係る小規模機械の購入など、自家農産物の高付加価値化の取り組みに対して助成しました。
- 〔かぶせ茶PR推進事業費〕 1,621,378円 (その他特財 8,000円)
首都圏等で開催されるシティプロモーションイベントなどで、茶農家とともに「かぶせ茶」の試飲や一煎パックの配布を行ったほか、27年度に作成した「四日市かぶせ茶レシピ」を使った「かぶせ茶のおいしい入れ方&料理教室」を開催し、本市の特産品「かぶせ茶」のPRを図りました。

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 農地の保全・有効活用を図る | | | | |
| 指標 | 利用権設定延べ面積 | 目標 | 710ha以上 | 実績 | 820ha (27年度 767ha) |
| 説明 | <p>「農地中間管理事業」を活用した担い手農家への農地集積も徐々に進んでおり、農地の利用権設定延べ面積は、820ha（対前年53ha増）となりました。引き続き、農業委員会やJAと連携しながら、担い手農家への農地集積を進めるとともに、農地の保全及び有効活用を図っていきます。</p> <p>また、優良農地復元化事業を活用して、29,899㎡の遊休農地が優良農地へ復元されたほか、前年度に復元した農地を2年目に土壌改良した面積も3,902㎡ありました。</p> | | | | |

〔農地の守り手づくり事業費〕 1,586,000円

・優良農地復元化事業費

事業を活用して、29,899㎡の遊休農地が優良農地として復元されました。

〔農地集積支援事業費〕 2,702,374円

| | |
|---------|------------|
| 〔県支出金〕 | 2,663,500円 |
| 〔その他特財〕 | 38,874円 |

〔四日市農業振興地域整備計画策定事業費〕 275,714円

| | |
|---------|---------|
| 〔その他特財〕 | 14,400円 |
|---------|---------|

その他経費

〔市民菜園管理運営費〕 1,363,412円（その他特財 1,363,412円）

市が開設する市民菜園14園（482区画）の運営を、各園入園者で組織する協議会へ委託実施しました。

〔北勢地方卸売市場関係事業費〕 589,370円（その他特財 589,370円）

〔負担金〕 36,687,000円

・三河鈴鹿農業共済事務組合

目4 農業研究施設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|---------|
| 26,475,000円 | 26,388,672円 | 99.7% | 0円 | 86,328円 |

| | | | | | |
|----|---|----|------|----|-----------------|
| 目的 | 新しい農業の担い手を育成する | | | | |
| 指標 | 新規農業者数 | 目標 | 5人以上 | 実績 | 9人 (27年度 6人) |
| 説明 | 新規就農者の内訳は、新たに農業を始める2人と、農業法人等への雇用就業者7人でした。 | | | | |

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|-------------------------|
| 目的 | 市民への園芸情報の提供 | | | | |
| 指標 | 園芸教室受講者数、 園芸相談件数、 市民菜園利用数 | 目標 | 1,300件以上 | 実績 | 1,109件 (27年度 1,183件) |
| 説明 | 市民菜園利用数は、市民菜園1園が閉園したことで昨年より減少したものの、市民園芸教室は、実習を伴う教室の充実を図ったことにより、定員を上回る応募がありました。引き続き、市民の要望が多い体験型の教室を企画していきます。 | | | | |

○情報提供件数の内訳

| 区分 | 市民園芸教室 | 園芸相談 | 菜園利用数 | 合計 |
|------------------|-------------------|----------------|----------------|--------------------|
| 平成28年度 (27年度) | 受講者426人 (367人) | 239件 (300件) | 444件 (516件) | 1,109件 (1,183件) |

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 種苗の育成と農家への提供 | | | | |
| 指標 | 提供種苗数 | 目標 | 38,000株以上 | 実績 | 38,987株 (27年度 37,033株) |
| 説明 | 農家からの希望数量を取りまとめ、種苗供給をしていますが、目標を上回る種苗供給を行うことができました。また、産地としての評価も高く、提供した培養苗が昨年5月に仙台市で開催されたG7財務大臣・中央銀行総裁会議の装飾に使用されました。 | | | | |

〔バイオテクノロジー活用促進事業費〕 2,109,940円（その他特財 2,109,940円）

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 農畜産業を知り、ふれあう場の提供 | | | | |
| 指標 | 施設来場者数 | 目標 | 70,000人以上 | 実績 | 65,013人 (27年度 72,280人) |
| 説明 | ふれあい牧場の来場者数は天候不順の影響で減少しましたが、農家の情報交換・収集の場として、また、園芸や畜産と直にふれあうことにより市民に農畜産業への理解を深めていただくため、引き続き施設を開放していきます。 | | | | |

| | | | |
|------------------|-------------|---------|------------|
| [農業センター管理運営経費] | 12,771,732円 | (その他特財) | 1,592,731円 |
| [茶業振興センター管理運営経費] | 5,022,000円 | (その他特財) | 4,916円 |
| [ふれあい牧場管理運営費] | 6,465,000円 | (その他特財) | 96,373円 |

その他経費

| | |
|-------|---------|
| [負担金] | 20,000円 |
|-------|---------|

・全国市立農場協議会

項2 畜産業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|-------------|----------|
| 486,892,000円 | 475,572,748円 | 97.7% | 10,563,000円 | 756,252円 |

目1 畜産総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------|
| 17,499,000円 | 17,498,600円 | 100.0% | 0円 | 400円 |

[一般職給] 2人 17,498,600円

目2 畜産振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|-------------|----------|
| 73,714,000円 | 62,395,148円 | 84.6% | 10,563,000円 | 755,852円 |

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|-------------------------|
| 目的 | 畜産業振興を図る | | | | |
| 指標 | 牛・豚飼養頭数 | 目標 | 10,000頭以上 | 実績 | 9,349頭 (27年度 9,632頭) |
| 説明 | 市域で生産される畜産物の宣伝普及を図るため、市民が参加するイベントへの出展助成等を行いました。また、乳牛育成事業として支援することで、優良な乳牛を育成し、酪農経営の合理化に寄与しました。 畜舎の環境対策や防疫対策に取り組み、畜産環境の改善を図りました。 | | | | |

| | | | | |
|-----------------|-------------|---|---------|--|
| [銘柄豚普及活性化事業費] | 960,000円 | 銘柄豚である「三重クリーンポーク」及び「さくらポーク」の普及・消費拡大事業へ助成しました。 | | |
| [乳牛育成事業費] | 1,000,000円 | | | |
| [畜産防疫環境保全対策事業費] | 413,940円 | (その他特財) | 32,792円 | |
| [肉牛肥育預託事業費] | 60,000,000円 | | | |

その他経費

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| [一般経費] | 21,208円 | (その他特財) | 21,208円 |
|--------|---------|---------|---------|

目3 食肉センター食肉市場費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 395,679,000円 | 395,679,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

[食肉センター食肉市場特別会計繰出金] 395,679,000円

項3 農地費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 537,394,000円 | 534,205,877円 | 99.4% | 0円 | 3,188,123円 |

目1 農地総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|---------|
| 258,406,000円 | 258,348,988円 | 100.0% | 0円 | 57,012円 |

〔一般職給〕 5人 40,550,829円
 〔再任用職給〕 1人 4,163,259円
 〔農業集落排水事業特別会計繰出金〕 212,188,000円

その他経費

〔一般経費〕 1,446,900円（その他特財 35,400円）

目2 土地改良費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 261,477,000円 | 260,301,623円 | 99.6% | 0円 | 1,175,377円 |

| 目的 | 農業生産基盤となる農地・農業施設の整備を進める | | | | |
|----|---|----|---------|----|-----------------------|
| 指標 | 農道の舗装率 | 目標 | 57.6%以上 | 実績 | 56.8% (27年度 57.6%) |
| 説明 | 生産性の向上を目指し、また効率的な土地利用を推進し農業経営の担い手を確保するため、井堰や取水ポンプ等の取水施設の整備を行いました。 農道は、台帳作成により総延長が15,018m増加しましたが、増加分の舗装率が53.6%（舗装延長8,055m）であったため、全体の舗装率も56.8%に下がりました。 | | | | |

〔土地改良施設維持管理適正化事業費〕 9,396,000円（その他特財 5,400,000円）

〔市単土地改良事業費〕 56,898,698円（その他特財 3,213,864円）

取水堰・ポンプ施設等の修繕を42カ所で行いました。

〔農村公園維持管理事業費〕 1,260,576円

専門業者による農村公園の遊具等の点検を行ったほか、西山町農村公園など3カ所で修繕工事等を行いました。

〔農道等維持修繕費〕 580,521円（その他特財 580,521円）

地元で施工する修繕等の材料を7カ所に支給しました。

〔多面的機能支払交付金事業費〕 61,628,792円（県支出金 45,918,849円）

農道・農業用水等の資源保全・環境保全等に取り組む53地域団体を支援しました。

〔農業基盤整備促進事業費〕 12,855,240円（県支出金 1,000,000円）
 （その他特財 1,285,524円）

〔土地改良事業元利補給金〕 56,283,676円

〔三重用水関連事業〕 58,861,130円（その他特財 227,968円）

・三重用水事業償還金 9,778,130円（その他特財 227,968円）

・三重用水土地改良区負担金 49,083,000円

〔事業費負担金〕 1,560,000円

・土地改良施設維持管理適正化事業

〔団体負担金〕 157,000円

・三重県土地改良事業団体連合会 114,000円

・三重県農道管理協議会 43,000円

その他経費

〔その他事務費・一般経費〕 819,990円

目3 農地防災費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 17,511,000円 | 15,555,266円 | 88.8% | 0円 | 1,955,734円 |

| | | |
|--------------------|-------------|-----------------|
| 〔井堰、樋門維持管理費〕 | 378,200円 | |
| 〔南・北排水機場運転管理委託事業費〕 | 4,978,800円 | |
| 〔南・北排水機場維持管理事業費〕 | 10,198,266円 | (その他特財 45,900円) |

項4 水産業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|-------------|------------|
| 90,605,000円 | 40,778,144円 | 45.0% | 46,294,800円 | 3,532,056円 |

目1 水産業総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|--------|
| 13,478,000円 | 13,476,687円 | 100.0% | 0円 | 1,313円 |

〔一般職給〕 2人 13,476,687円

目2 水産業振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|---------|
| 1,348,000円 | 1,330,046円 | 98.7% | 0円 | 17,954円 |

| 目的 | 魚介類が豊かな水産環境づくりを進める | | | | |
|----|---|----|------------|----|---------------------------|
| 指標 | 漁獲量(海面漁業) | 目標 | 4,000 t 以上 | 実績 | 2,347 t (27年度 2,991 t) |
| | 生産額 | | 300百万円以上 | | 183百万円 (27年度 242百万円) |
| 説明 | 伊勢湾内での貧酸素水塊の拡大に伴う生息環境の悪化等により、漁獲量、生産額が減少しています。こうした中、ヨシエビ、ガザミ等の種苗放流事業を実施し、漁場環境の改善及び水産資源の保護、育成に取り組みました。今後も継続して水産資源の育成、漁獲量の安定化に向けた取り組みを行っていきます。 | | | | |

〔沿岸漁業振興事業費〕 1,200,000円
 四日市市漁業協同組合が実施する種苗放流事業へ助成しました。
 〔漁業経営近代化資金利子補給金〕 21,066円
 〔負担金〕 80,000円
 ・水産物消費拡大促進協議会

その他経費

〔一般経費〕 28,980円

目3 漁港管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|-------------|------------|
| 74,745,000円 | 25,138,943円 | 33.6% | 46,294,800円 | 3,311,257円 |

〔漁港施設管理費〕 1,506,600円
 〔漁港一般管理費〕 4,055,043円
 〔漁港施設保全整備事業費〕 5,751,000円
 〔水産物供給基盤機能保全事業費〕 13,705,200円 (県支出金 6,852,000円)
 磯津漁港施設の長寿命化と更新コストの平準化・低減化を図るために策定した機能保全計画に基づき、補修・改修する漁港施設の測量・設計を実施しました。
 〔負担金〕 121,100円
 ・三重県漁港漁場協会

目4 漁港建設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|----------|------------|--------|----------|
| 1,034,000円 | 832,468円 | 80.5% | 0円 | 201,532円 |

〔その他事務費〕 832,468円 (その他特財 12,744円)

款 7 商工費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 3,096,206,000 円 | 3,040,958,310 円 | 98.2% | 0 円 | 55,247,690 円 |

項 1 商工費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 3,096,206,000 円 | 3,040,958,310 円 | 98.2% | 0 円 | 55,247,690 円 |

目 1 商工総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 266,057,000 円 | 262,686,893 円 | 98.7% | 0 円 | 3,370,107 円 |

〔一般職給〕 29 人 260,986,358 円

その他経費

〔中部 20 都市産業振興協議会事業費〕 15,520 円
 〔一般経費〕 1,685,015 円

目 2 商工業振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 2,610,887,000 円 | 2,565,078,295 円 | 98.2% | 0 円 | 45,808,705 円 |

| 目的 | 企業の設備投資を促進する | | | | |
|----|---|----|--------------|----|----------------------------------|
| 指標 | 企業立地奨励金指定事業の 投下固定資産総額 | 目標 | 21,616 百万円以上 | 実績 | 11,375 百万円 (27 年度 43,813 百万円) |
| 説明 | 競争力の高い企業の誘致・創出と産業の多様化を図るため、平成 27 年度に「企業立地奨励金制度」の制度改正を行い、今年度は、新たに設けた重点分野として高シェア製品を製造する事業を 1 件、またその他の設備投資 5 件を奨励措置対象事業として指定しました。しかしながら、指標としている投下固定資産総額については、当初見込んでいた半導体製造工場の大規模投資事業にかかる工期が次年度にずれ込んだため、平成 28 年度目標額を下回りました。 なお、継続的な企業誘致の結果として、内陸部においては、次世代半導体である三次元構造の半導体メモリの生産拡大に向けた新たな製造棟の建設に加え、アジアでの需要拡大に伴い、紙おむつに用いる高機能不織布の増産に向けた設備増設工事が開始されました。一方、臨海部においては、マザー工場として特殊界面活性剤製造設備の建設が開始されました。 | | | | |

〔工業振興事業費〕 465,329,186 円
 ・企業立地奨励金交付事業費 42 件 457,976,000 円
 ・産業高度化推進調査費 1,630,755 円
 ・企業誘致活動事業費 678,610 円
 ・鈴鹿山麓研究学園都市等管理運営事業費 5,043,821 円

〔負担金〕 2,600,000 円
 ・日本貿易振興機構 2,000,000 円
 ・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会 100,000 円
 ・四日市港振興会 300,000 円
 ・四日市港客船誘致協議会 200,000 円

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|--------------------|
| 目的 | 研究開発機能の集積を図る | | | | |
| 指標 | 民間研究所立地奨励金 (研究施設) 交付件数 | 目標 | 2 件以上 | 実績 | 3 件 (27 年度 0 件) |
| 説明 | 事業継続力の高い国内拠点化等を促進するため、平成 27 年度に「民間研究所立地奨励金制度」を改正し、対象事業の見直しや、マザー機能の集積を図る事業への拡充分の創設などを行いました。今年度は、マザー機能の集積を図る事業 1 件を含め、3 件の研究施設に対し奨励金を交付しました。今後も、マザー機能の集積を中心に研究開発機能の集積による新規事業分野への展開等の推進を図ります。 | | | | |

| | |
|-------------------|--------------|
| 〔工業振興事業費〕 | 78,956,000 円 |
| ・民間研究所立地奨励金等交付事業費 | 75,656,000 円 |
| ・産学連携事業推進費 | 3,300,000 円 |

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|--------------------|
| 目的 | 中小企業の振興を図る | | | | |
| 指標 | 中小企業新規産業 創出事業費補助件数 | 目標 | 6 件以上 | 実績 | 8 件 (27 年度 6 件) |
| 説明 | <p>中小製造業者が行う新商品・新技術の研究開発事業を支援する「新規産業創出事業補助金」について、平成 28 年度から航空宇宙、ヘルスケア、I o T 産業などを新たに成長分野に位置づけ支援を拡充したところ、8 件のうち、2 件が成長分野への参入事業となりました。</p> <p>また、中小製造業者の人材確保を目的とした留学生や工業高校生等による企業訪問を支援しました。</p> <p>さらに、中小企業の海外展開を支援するため、平成 28 年 8 月にベトナム外国投資庁及びハイフォン市との経済交流に関する覚書締結を記念したベトナム進出セミナーを開催したところ、83 名の参加があり、ベトナムの経済事情やビジネス環境の情報提供を行うことができました。</p> | | | | |

| | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 〔工業振興事業費〕 | 35,598,951 円 |
| ・中小企業新規産業創出事業費 | 8,001,200 円 |
| 新規産業創出事業費補助金 8 件 | 7,902,000 円 |
| 新規産業創出研究会運営費 | 99,200 円 |
| ・中小企業ものづくり活力創造事業費 | 4,328,093 円 (その他特財 420,544 円) |
| 企業訪問支援事業補助金 | 84,290 円 |
| 研究開発マッチングセミナー支援補助金 | 74,078 円 |
| ビジネスインキュベータ運営費補助金 | 3,622,065 円 |
| 留学生企業訪問事業 | 121,476 円 |
| 海外展開支援事業 | 426,184 円 |
| ・産業展出演促進事業費 | 3,102,872 円 (その他特財 1,187,500 円) |
| リーディング産業展出演補助金 | 1,537,500 円 |
| 中小業製造見本市出展補助金 | 594,200 円 |
| 地場産業見本市出展補助金 | 971,172 円 |
| ・地域産業支援事業費 | 20,146,786 円 (市 債 15,600,000 円) |
| ・工業振興一般経費 (やきもの産地・連携推進協議会) | 20,000 円 |

| | |
|-------------------------|-------------|
| 〔中小企業振興事業費〕 | 8,791,000 円 |
| ・四日市市中小企業等振興事業費補助金 | 3,600,000 円 |
| ・四日市市経営改善普及啓発事業費補助金 | 3,400,000 円 |
| ・中小企業海外販路開拓支援事業補助金 | 1,085,000 円 |
| ・中小企業等販売力強化支援事業費補助金 | 583,000 円 |
| ・中小企業総合通販サイト登録等支援事業費補助金 | 98,000 円 |
| ・中小企業海外人材確保支援事業費補助金 | 25,000 円 |

| | |
|----------------------|--------------|
| 〔地場産業振興事業費〕 | 98,550,255 円 |
| ・三重北勢地域地場産業振興センター補助金 | 66,992,336 円 |
| 運営費補助金 | 37,000,000 円 |
| 大規模修繕補助金 | 29,992,336 円 |
| ・萬古焼の里推進事業費 | 25,785,000 円 |
| ばんこの里会館普及啓発事業費補助金 | 457,000 円 |
| ばんこの里会館リニューアル事業費補助金 | 1,028,000 円 |

| | |
|----------------------|--------------|
| ばんこの里会館大規模修繕事業費補助金 | 24,300,000 円 |
| ・ 萬古焼振興事業費 | 2,631,739 円 |
| 四日市萬古陶磁器コンペ事業費補助金 | 612,000 円 |
| 陶器の日事業費補助金 | 187,700 円 |
| 四日市萬古まつり等支援事業費補助金 | 1,800,000 円 |
| 一般経費 | 32,039 円 |
| ・ 地場産業普及啓発事業費 | 3,141,180 円 |
| 地場産品広報活動事業 | 1,143,180 円 |
| 伝統産業普及啓発事業 | 1,998,000 円 |
| 〔負担金〕 | 174,000 円 |
| ・ やきもの産地交流・連携推進協議会 | 100,000 円 |
| ・ 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 | 50,000 円 |
| ・ 公益財団法人三重県産業支援センター | 24,000 円 |

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 臨海部コンビナートの競争力を強化する | | | | |
| 指標 | 競争力強化施策に関する 意見交換の項目数 | 目標 | 3 項目以上 | 実績 | 3 項目 (27 年度 3 項目) |
| 説明 | <p>臨海部における産業の集積や活性化を図るため、三重県、四日市市、四日市港管理組合、四日市商工会議所にて構成される四日市臨海部産業活性化促進協議会において、企業立地促進法にかかる基本計画として平成 29 年度以降の新たな 5 か年計画を作成しました。</p> <p>また、臨海部コンビナートには水素関連の装置と技術を有する事業所が立地していることから、学識関係者やコンビナート事業所に加え、国や県も参画のもと、本市の産業基盤の強みを活かした水素活用の可能性について調査検討を行いました。その結果として集約された将来的な課題と可能性について、平成 29 年度も継続して検討していくこととなりました。</p> | | | | |

〔工業振興事業費〕 6,005,806 円
 ・ 水素社会の構築に向けた公民連携促進事業費

〔負担金〕 300,000 円
 ・ 四日市臨海部産業活性化促進協議会

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|--------------------------|
| 目的 | 企業活動を支える人材を育成する | | | | |
| 指標 | 地場産業体験学習事業 受講者数 | 目標 | 1,330 人以上 | 実績 | 1,485 人 (27 年度 360 人) |
| 説明 | <p>市内の小学生に本市の代表的な地場産業である萬古焼を知ってもらい、ものづくりの楽しさを体感してもらうため、新たに平成 28 年度から市内小学校 18 校で陶芸体験の出前講座を開催した結果、目標人数を上回る多くの子どもたちに萬古焼の魅力を伝えることができました。</p> <p>さらに、萬古焼の担い手を育てる「やきものたまご創生事業」等への支援を行い、地場産業を支える人材育成を図りました。</p> <p>また、(公財)三重県産業支援センター高度部材イノベーションセンターと連携し、航空宇宙産業や医工連携事業のセミナー開催等を通して、中小企業の成長分野への参入支援を行いました。さらに、業務に必要な基礎知識の習得を目的として、研究開発、プラント運転、設備保守等に携わる若手の技能者を対象に、産官連携による技能者育成事業にも取り組みました。</p> | | | | |

〔工業振興事業費〕 9,994,953 円
 ・ ものづくりエキスパート育成事業費

〔地場産業振興事業費〕 8,160,400 円
 ・ 萬古焼振興事業費 1,377,400 円
 　やきものたまご創生事業費補助金 400,000 円
 　子供陶芸コンクール事業費 977,400 円
 ・ 地場産業普及啓発事業費 600,000 円
 　伝統産業技術後継者育成事業費補助金
 ・ 地場産業体験学習事業費 6,183,000 円

〔負担金〕 250,000 円
 ・ 三重県ジュニアロボコン実行委員会

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|-----------------------|
| 目的 | 商店街への出店促進 | | | | |
| 指標 | 中心市街地の 空き店舗率 | 目標 | 11%以下 | 実績 | 11.3% (27年度 11.6%) |
| 説明 | <p>商店街及び郊外住宅団地における空き店舗等の対策として、チラシ配布などにより新規出店を対象とした補助制度の周知に努めるとともに、四日市商工会議所等と連携して、創業に関するアドバイスなどを行う「四日市志創業応援隊」を活用した創業支援を行いました。さらに、創業者にとって活用しやすい四日市市独立開業資金を本市の融資制度として提供し、利用者の増加に努めました。</p> <p>また、新たな来街者を呼び込むために実施された、各商店と商店街エリアでの各種ミニイベントや、地場産品を活用した「大酒蔵市」のほか、実業系高校と商店街のコラボレーションイベントに支援するなど、商店街等のさらなる活性化に向けた様々なイベントの拡充を図り、商店街の新たな魅力やにぎわいの創出に努めました。</p> | | | | |

〔商業振興事業費〕

| | | |
|-----------------|------|----------------------------------|
| ・ 買い物拠点再生事業費 | | 11,801,000 円 (その他特財 1,644,909 円) |
| 空き店舗等活用支援事業補助金 | 14 件 | 5,981,000 円 |
| 商店街活性化イベント事業補助金 | 4 件 | 4,390,000 円 |
| 商店街魅力アップ事業補助金 | 7 件 | 1,430,000 円 |

| | | | | | |
|----|--|----|--------------------------------|----|--|
| 目的 | 中心市街地における交流人口の増加 | | | | |
| 指標 | 歩行者流量調査 | 目標 | 平日 59,000 人以上 休日 60,000 人以上 | 実績 | 平日 53,353 人 (27年度 53,536 人) 休日 54,263 人 (27年度 55,172 人) |
| 説明 | <p>中心市街地における交流人口の増加を図るため、歩行者天国事業を実施したほか、冬期のイルミネーション事業では、ライトアップの範囲を拡張するとともに、点灯式では地元中学校吹奏楽部による演奏を行うなど、より魅力的なものとなるような工夫に努めました。</p> <p>また、中心市街地活性化の拠点施設である「すわ公園交流館」においては、職業体験等を行う「こどもによるこどものためのまちづくり」(こども四日市)のほか、新たに、短編映画の上映等を行う「第0回 やろに！四日市☆映画祭」を商店街等の協力のもとで実施するなど、街のにぎわい創出につながる様々なイベントを実施しました。</p> <p>このようなソフト事業を中心とした取り組みの結果として、近鉄四日市駅周辺の歩行者流量は、前年より若干減少したものの、駅西の大型商業施設が撤退し、歩行者が大幅に減少した平成15年度(約39,000人)以降増加傾向にあります。</p> | | | | |

〔商業振興事業費〕

| | | |
|-----------------|-----|----------------------------------|
| | | 80,573,459 円 |
| ・ 商業動向調査費 | | 2,376,000 円 |
| ・ 近鉄四日市駅西開発整備事業 | | 42,538,000 円 |
| ・ 中心市街地活性化促進事業費 | | 13,207,459 円 (その他特財 7,730,400 円) |
| ・ すわ公園交流館管理運営費 | | 16,632,000 円 |
| ・ 買い物拠点再生事業費 | | 5,820,000 円 [再掲] |
| 商店街活性化イベント事業補助金 | 4 件 | 4,390,000 円 [再掲] |
| 商店街魅力アップ事業補助金 | 7 件 | 1,430,000 円 [再掲] |

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 勤労者就労環境の改善 | | | | |
| 指標 | 雇用関連施策等の周知、啓発を行った事業所数 | 目標 | 2,000 社以上 | 実績 | 2,007 社 (27年度 2,002 社) |
| 説明 | <p>就労コーディネーターを中心とした企業訪問（379 件）に加え、公共職業安定所や商工会議所と連携して実施した各種就職セミナーに参加した事業所や、四日市人権啓発企業連絡会の会員企業（93 社）などに対して、様々な機会を捉えて文書、訪問による市や関係機関の施策等の周知、啓発を精力的に実施し、勤労者就労環境の改善に取り組みました。</p> <p>このように啓発を強化したこともあり、四日市公共職業安定所管内（四日市市、菰野町、川越町）の障害者雇用率については、法定雇用率を達成した平成 27 年の 2.0%から平成 28 年は 2.05%となりました。このうち四日市市内の企業の障害者雇用率は 2.08%となり、引き続き改善傾向にあります。</p> <p>また、障害者の雇用促進や職場定着の契機となるよう、企業の担当者などを対象として、障害者の就労訓練の様子や一般企業での就労状況の視察、就労支援機関等との交流会などの障害者定着支援事業を実施し、35 社 54 名が参加しました。</p> | | | | |

| | |
|-------------|-------------|
| 〔雇用対策事業費〕 | 3,778,706 円 |
| ・雇用実態調査事業費 | 717,796 円 |
| ・雇用促進事業費 | 240,000 円 |
| 雇用促進交付金 | 16 件 |
| ・障害者雇用促進事業費 | 45,800 円 |
| ・障害者雇用奨励補助金 | 1,020,000 円 |
| 障害者トライアル奨励金 | 13 件 |
| ・職業訓練事業費補助金 | 1,438,546 円 |
| ・雇用対策一般経費 | 316,564 円 |

その他経費

| | |
|-----------------------|--|
| 〔工業振興事業費〕 | 1,482,146 円（その他特財 49,140 円） |
| ・工業振興一般経費 | |
| 〔商業振興事業費〕 | 7,348,351 円 |
| ・定期市活性化促進事業費 | 4,193,264 円 |
| ・商業団体振興事業費補助金 | 130,000 円 |
| ・商店街街路灯電灯料補助金 | 2,696,087 円 |
| ・まちゼミ開催事業費補助金 | 329,000 円 |
| 〔中小企業振興事業費〕 | 4,003,713 円 |
| ・産業功労者表彰経費 | 97,876 円 |
| ・商工振興一般経費 | 1,635,137 円 |
| ・中小企業人材スキルアップ支援事業費補助金 | 676,000 円 |
| ・創業支援事業費補助金 | 300,000 円 |
| ・女性起業家育成支援事業費 | 1,294,700 円 |
| 〔中小企業関係資金融資預託金〕 | 1,723,400,000 円（その他特財 1,723,400,000 円） |
| ・環境改善設備資金融資預託金 | 1,900,000 円 |
| ・中小企業振興資金融資預託金 | 1,703,000,000 円 |
| ・独立開業資金融資預託金 | 18,500,000 円 |
| 〔中小企業関係資金利子補給金〕 | 74,648 円 |
| ・環境改善設備資金利子補給金 | |
| 〔中小企業関係資金保証料補給金〕 | 22,124,583 円 |
| ・中小企業振興資金保証料補給金 | 21,781,953 円 |
| ・独立開業資金保証料補給金 | 342,630 円 |
| 〔中小企業関係資金損失補償金〕 | 1,601,138 円 |

目3 観光費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 219,262,000 円 | 213,193,122 円 | 97.2% | 0 円 | 6,068,878 円 |

| 目的 | 観光資源を活用して集客を図る | | | | |
|----|---|----|-------------|----|--------------------------------|
| 指標 | 観光集客数 | 目標 | 750,000 人以上 | 実績 | 787,020 人 (27 年度 744,683 人) |
| 説明 | <p>平成 28 年の観光集客数は、前年比 42,337 人 (5.7%) 増の 787,020 人となりました。内訳については、大四日市まつりにおける観光大使の活用などの来場者促進策が功を奏したことなどから、イベント等による集客が前年比 16,000 人 (4.5%) 増の 370,000 人。イベント以外の集客については、開館時間や入場料の見直しにより四日市港ポートビル展望展示室「うみてらす14」の入場者数が増加したこと、平成 27 年 3 月にリニューアルオープンした「そらんぼ四日市」がリニューアル工事のため平成 27 年は 2 ヶ月間休館していたことなどから、前年比 26,337 人 (6.7%) 増の 417,020 人となりました。</p> <p>また、平成 28 年度は、四日市スポーツランドセンターハウス外壁改修工事や水沢もみじ谷の景観整備に取り組みました。今後も、観光・シティプロモーション戦略 (平成 28 年 3 月策定) に基づき、本市の観光資源を活用し、観光客の増加につながる施策について、四日市観光協会、四日市商工会議所など観光関連団体をはじめ、その他の関係機関とも連携し、観光・シティプロモーションの視点をもって様々な取り組みを効果的に実施してまいります。</p> | | | | |

| | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 〔観光対策事業費〕 | 147,734,739 円 |
| ・宮妻峡周辺環境整備事業費 | 1,727,029 円 |
| | 〔 県支出金 134,120 円 その他特財 140,000 円 〕 |
| ・大四日市まつり事業費補助金 | 23,100,000 円 (その他特財 23,100,000 円) |
| ・四日市花火大会事業費補助金 | 24,600,000 円 (その他特財 24,600,000 円) |
| ・四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル事業費 | 18,215,569 円 (その他特財 16,500,000 円) |
| ・なんでも四日の市事業費 | 800,000 円 |
| ・レジャー施設事業費 | 56,896,803 円 |
| レジャー施設運営事業費補助金 | 41,300,000 円 |
| 伊坂・山村ダム周辺緑地管理等委託料 | 14,661,083 円 (その他特財 5,607,490 円) |
| サイクルパーク休憩施設樋設置工事 | 410,400 円 |
| 一般経費 | 525,320 円 |
| ・四日市観光協会事業費 | 18,283,590 円 (その他特財 2,052,927 円) |
| ・さくらまつり等事業費補助金 8 件 | 2,340,000 円 |
| ・観光対策一般経費 | 1,771,748 円 |
| 〔宮妻峡ヒュッテ管理運営費〕 | 8,178,548 円 |
| ・指定管理委託料 | 3,978,000 円 |
| ・耐震補強工事ほか | 3,178,872 円 |
| ・一般経費 | 1,021,676 円 (その他特財 40,000 円) |
| 〔観光施設整備事業費〕 | 19,348,300 円 |
| ・スポーツランドセンターハウス外壁改修工事ほか | 8,456,400 円 |
| ・伊坂ダム周辺整備構想策定事業費 | 7,289,020 円 |
| ・水沢もみじ谷散策路等整備工事ほか | 3,602,880 円 |
| 〔負担金〕 | 3,367,000 円 |
| ・三重県観光連盟 | 1,778,000 円 |
| ・東海自然歩道連絡協議会 | 10,000 円 |
| ・鈴鹿国定公園協会 | 29,000 円 |
| ・北伊勢広域観光推進協議会 | 350,000 円 |
| ・三重の観光営業拠点運営協議会 | 1,200,000 円 |

観光集客数（平成28年1月～12月）

（単位：人）

| 事業名 | 来場者数 | 事業名 | 来場者数 |
|-------------|---------|------------|---------|
| 大四日市まつり | 232,000 | 四日市花火大会 | 43,000 |
| 宮妻峡ヒュッテ | 969 | 四日市スポーツランド | 96,407 |
| 四日市港 | 43,899 | 萬古まつり | 95,000 |
| 伊坂ダムサイクルパーク | 58,738 | 楠歴史民俗資料館 | 9,124 |
| そらんぼ四日市 | 148,597 | | |
| ふれあい牧場 | 59,286 | 計 | 787,020 |

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 新しい発想で本市の観光資源を活用し魅力を発信する | | | | |
| 指標 | 観光・シティプロモーション課の事業に関連した事項でメディアに取り上げられた件数 | 目標 | 65件以上 | 実績 | 70件 (27年度 63件) |
| 説明 | <p>本市の魅力を広く市内外へ向け積極的に発信し、都市イメージの向上を図るため、大都市圏（東京、名古屋、神戸）においてシティプロモーションイベント「四日市STYLE」を開催したほか、ゆるキャラグランプリなどのイベントに参加し、本市のPRに取り組みました。また、メディアの活用として、本市の魅力や情報を発信するラジオ番組を制作したほか、新聞広告の出稿やPR映像の映画館での上映などによる魅力の発信を行いました。</p> <p>伊勢志摩サミットの開催にあたっては、国際メディアセンターで世界各国から訪日した報道陣に配布されるサミットバッグの内容物として萬古焼のぐい飲みを選定いただき、本市の地場産業をPRすることが出来ました。</p> <p>東海道の魅力を高める事業としては、JRのウォーキングイベントやユネスコ無形文化遺産に登録申請していた富田の鳥出神社の鯨船行事などと連携し、市内北部の東海道沿線の名所・旧跡を巡るスタンプラリーイベントを実施しました。また、現代の宿場町として、来街者の利便性を確保するため、中心市街地において無料で利用出来る公衆無線LAN（Wi-Fi）サービスを提供しました。</p> <p>観光・シティプロモーションを効果的かつ効率的に推進するため、既存の「四日市観光コンベンション協議会」を改組して「四日市観光・シティプロモーション協議会」を設立し、観光情報発信、コンベンション誘致に加え、フィルムコミッション事業や教育旅行誘致活動などに取り組みました。</p> | | | | |

| | |
|-------------------------|---------------------------|
| 〔観光・シティプロモーション事業費〕 | 26,503,186円 |
| ・シティプロモーションイベント事業費 | 4,610,676円 |
| ・地場産品PR事業費 | 1,578,210円 |
| ・メディア活用事業費 | 10,882,140円 |
| ・東海道魅力アップ事業費 | 1,533,600円（県支出金 475,000円） |
| ・四日市観光・シティプロモーション協議会負担金 | 7,200,000円 |
| ・商工会議所観光関連事業費補助金 | 300,000円 |
| ・その他シティプロモーション事業費 | 398,560円 |

| | |
|----------------------|------------|
| 〔観光対策事業費〕 | 2,898,453円 |
| ・観光対策推進事業費 | 2,590,893円 |
| 四日市観光大使関係費 | 1,847,783円 |
| 一般経費 | 743,110円 |
| ・産業観光事業費（全国工場夜景サミット） | 307,560円 |

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 余暇以外の観光客の集客 | | | | |
| 指標 | コンベンション開催件数 (補助分) | 目標 | 20 件以上 | 実績 | 16 件 (27 年度 14 件) |
| 説明 | <p>各種の全国大会や学会などのコンベンションを本市に誘致するための開催助成制度について、平成 28 年度の利用は 16 件で、平成 27 年度より 2 件増えました。</p> <p>また、「四日市観光コンベンション協議会」を「四日市観光・シティプロモーション協議会」へ改組し、四日市観光協会や四日市商工会議所などと連携を図りながら、コンベンション開催についての情報収集に努めました。</p> <p>今後も、観光・シティプロモーション戦略に基づき、四日市観光協会、四日市商工会議所をはじめとする様々な団体と連携し、他の観光・シティプロモーション施策とも関連付けながら、助成制度のより一層の周知に努めるなど、引き続き本市のコンベンション機能の向上に努めます。</p> | | | | |

[コンベンション機能推進事業費]

5,162,896 円

- ・コンベンション機能推進事業費補助金 16 件

款 8 土木費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------------|------------------|------------|-----------------|---------------|
| 17,938,957,598 円 | 16,004,286,673 円 | 89.2% | 1,799,507,471 円 | 135,163,454 円 |

項 1 土木管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------------|-------------|
| 896,977,000 円 | 879,445,454 円 | 98.0% | 11,800,000 円 | 5,731,546 円 |

目 1 土木総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------------|-------------|
| 896,977,000 円 | 879,445,454 円 | 98.0% | 11,800,000 円 | 5,731,546 円 |

| | | | | |
|---------|------|---------------|--------------------|---------------------|
| 〔一般職給〕 | 85 人 | 677,868,847 円 | (県支出金 1,546,500 円) | (その他特財 5,213,006 円) |
| 〔再任用職給〕 | 3 人 | 11,909,923 円 | | |
| 〔嘱託職給〕 | 1 人 | 3,104,887 円 | | |

(都市計画課)

| | |
|---------------|-------------|
| 〔負担金〕 | 2,945,000 円 |
| ・三重県社会基盤整備協会等 | |

(建築指導課)

| 目的 | 建築物の安全を確保し良好な住環境とする | | | | |
|----|---|----|------|----|----------------------------|
| 指標 | 完了検査合格率 (検査済証発行件数/完了検査申請件数) | 目標 | 100% | 実績 | 99.9% (1,506 件/1,507 件) |
| 説明 | <p>市に完了検査申請のあった 66 件のうち、適合しなかった 12 件に対し是正指導を行い、11 件是正に至りました。完了検査未受検物件については、工事監理者等へ連絡を行い、完了検査申請を促しました。</p> <p>また、指定確認検査機関にも同様の取り組みを行うよう協力要請を行い、完了検査申請率、合格率の向上に努めました。</p> | | | | |

〔建築指導事務費（建築行政共用データベースシステム）〕 1,476,144 円(その他特財 1,476,144 円)

〔建築審査会・旅館建築審査会委員報酬〕 110,600 円(その他特財 110,600 円)

- ・建築審査会委員 7 人
- ・旅館建築審査会委員 5 人

完了検査合格率の推移

| 区 分 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 |
|-----|-------|-------|-------|
| 合格率 | 99.8% | 99.9% | 99.9% |

その他経費

| | |
|---------------|---------------------------------|
| [建築指導事務費] | 6,631,104 円 (その他特財 6,631,104 円) |
| [指定道路台帳整備事業費] | 1,598,400 円 (その他特財 1,598,400 円) |
| [負担金] | 168,000 円 (その他特財 168,000 円) |
| ・全国建築審査会協議会等 | |

(道路整備課)

| | |
|---------------|-------------|
| [土木積算システム業務費] | 1,202,776 円 |
|---------------|-------------|

(市街地整備・公園課)

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 住環境整備の推進 | | | | |
| 指標 | 狭あい道路 累計整備延長 | 目標 | 74.0 km以上 | 実績 | 74.0 km (27年度 72.0 km) |
| 説明 | 建物の更新等にあわせて道路拡幅用地の寄附等を受け、狭あい道路対策を進めています。 平成 28 年度の整備延長は 2.01 km で、事業開始時 (平成 5 年度) からの累計整備延長は 74.0 km になりました。 | | | | |

[狭あい道路対策費] 141,864,047 円 (国庫支出金 35,055,000 円)

- ・後退用地整備工事 (一部平成 28 年度明許繰越)
- ・後退用地等に係る報償金、助成金

狭あい道路後退用地整備事業実績

| 区 分 | 寄 附 | | 舗装等の整備 | | 助成金の交付 | 件 数 | |
|--------|---------|---------|---------|---------|------------------|----------------|----------------|
| | 27 年度 | 28 年度 | 27 年度 | 28 年度 | | 27 年度 | 28 年度 |
| 件数 (件) | 199 件 | 209 件 | 98 件 | 104 件 | 測量分筆登記 支障物件除去 | 191 件 100 件 | 241 件 114 件 |
| 延長 (m) | 4,050 m | 4,094 m | 1,972 m | 2,014 m | | | |
| 面積 (㎡) | 3,089 ㎡ | 2,973 ㎡ | 1,444 ㎡ | 2,247 ㎡ | | | |

(用地課)

| | |
|----------------|--------------|
| [未登記道路調査事業費] | 16,835,866 円 |
| [法定外公共物等特定事業費] | 558,078 円 |

(営繕工務課)

| | | | | | |
|----|---|----|-----|----|--------------------------------|
| 目的 | 市民に安全で使いよい公共建築物等を提供する | | | | |
| 指標 | 工事完成後、概ね 1 年間に おける不具合発生件数 | 目標 | 0 件 | 実績 | 0 件/110 件 (27 年度 0 件/129 件) |
| 説明 | 各部署から依頼された工事の設計、監督を行うにあたり、安全で使いよい施設を提供するため、ユニバーサルデザインに配慮した設計や、コスト縮減、環境負荷の低減に努めました。また、四日市市建築施設保全ガイドブックにより、各施設管理者に施設の保全に対する意識向上を図った結果、平成 27 年度に完成した工事で施設運営に支障をきたす不具合発生件数は 0 件でした。 | | | | |

[営繕事務費] 13,171,782 円

○営繕受託業務の状況

| 区 分 | 主 な 工 事・委 託 | 計 |
|------------|---|-------------------------|
| 危機管理室関係施設 | (仮称)南部拠点防災倉庫建設工事(建築工事) (仮称)南部拠点防災倉庫建設工事監理業務委託 | 4件 |
| 総務部関係施設 | 寺方児童集会所外装改修ほか工事 小牧西児童館ほか改修工事 | 5件 |
| 財政経営部関係施設 | 総合会館外壁改修工事 市庁舎照明LED化ほか工事 市庁舎防犯カメラ設備工事 | 6件 |
| 市民文化部関係施設 | 旧三浜小学校整備工事 文化会館自火報設備更新工事 あさけプラザ給水管更新工事 | 18件 |
| 健康福祉部関係施設 | 三重北勢健康増進センター屋上防水改修工事 高齢者能力活用センター外壁改修ほか工事 | 5件 |
| こども未来部関係施設 | 旧東橋北小学校整備工事 泊山幼稚園内装改修ほか工事 海蔵幼稚園内装改修ほか工事 神前保育園内装改修工事 | 17件 |
| 商工農水部関係施設 | 四日市競輪場メインスタンド耐震補強ほか工事 四日市競輪場メインスタンド空調設備更新工事 食肉センター・食肉市場6号庫及び保留庫冷蔵庫設備更新工事 四日市スポーツランドセンターハウス外壁改修ほか工事 | 15件 |
| 環境部関係施設 | 北大谷斎場ロビー吊天井崩落対策工事 南部埋立処分場浸出水処理施設補修整備工事 | 5件 |
| 都市整備部関係施設 | 四日市あすなろう鉄道線日永変電所新設及び撤去工事 坂部が丘市営住宅外壁改修ほか工事 三重市営住宅住戸改善及び改修工事 小牧町市営住宅外壁改修ほか工事 | 20件 |
| 教育委員会関係施設 | 富洲原小学校大規模改修工事 保々中学校大規模改修工事 大池中学校大規模改修工事 笹川東小学校給食室改修ほか工事 笹川中学校改築工事(建築工事) 久留倍官衙遺跡正殿建設工事 | 47件 |
| 消防関係施設 | (仮称)南部消防分署整備事業工事(建築工事) 日永分団車庫改築工事 中消防署中央分署吊天井崩落対策工事 (仮称)北部消防分署整備事業設計業務委託 | 14件 |
| 合 計 | | 156件 (うち業務委託 43件) |

項2 道路橋梁費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2,939,096,110円 | 2,318,684,802円 | 78.9% | 613,779,099円 | 6,632,209円 |

目1 道路橋梁総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 212,321,000円 | 208,826,952円 | 98.4% | 0円 | 3,494,048円 |

| | | |
|---------|-----|--------------|
| 〔一般職給〕 | 19人 | 145,825,675円 |
| 〔再任用職給〕 | 1人 | 3,894,970円 |
| 〔嘱託職給〕 | 1人 | 3,070,427円 |

(都市計画課)

| 目的 | 広域幹線道路の整備促進 | | | | |
|----|--|----|------|----|---|
| 指標 | 事業進捗状況 | 目標 | 早期整備 | 実績 | 〔新名神高速道路〕 ○四日市 JCT～亀山西 JCT 工事の継続 〔東海環状自動車道〕 ○新四日市 JCT～東員 IC 開通(H28.8.11) 〔北勢バイパス〕 ○山之一色町～国道477号バイパス 工事の継続 |
| 説明 | 新名神高速道路・東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパスなどの広域幹線道路の整備促進に向け、事業主体と共に地元との事業調整を図るとともに、各期成同盟会等による要望活動を行いました。また、要望の効果向上を目指し、平成28年度は、北勢バイパス及び中勢バイパスの期成同盟会による、合同の要望活動を初めて行いました。 | | | | |

その他経費

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 〔負担金〕 | 714,000円 |
| ・広域幹線道路関連同盟会 | |
| 〔広域基幹道路整備基金積立金〕 | 523,287円(その他特財 523,287円) |

(道路管理課)

| | |
|--------------|-------------|
| 〔道路台帳整備事業費〕 | 13,098,240円 |
| ・道路台帳整備 | |
| ・認定路線網図データ修正 | |

(用地課)

| 目的 | 道路・河川・水路・公園の官民境界査定 | | | | |
|----|---|----|-------|----|-----------------------|
| 指標 | 処理日数(平均) | 目標 | 34日以内 | 実績 | 33.5日 (27年度 33.7日) |
| 説明 | 特に申請が集中する下半期(9、10月)に、当市が実施する公共事業(源の堀川、内部駅前広場)に加えて、大規模な境界立会いが重なりましたが、業務分担の見直し等により人材の流動的な活用を図り、処理日数を昨年の33.7日から33.5日に削減することが出来ました。 | | | | |

[境界査定業務費]

12,377,648 円

その他経費

[代替地等売却事業費]

1,174,154 円

[負担金]

157,971 円

・公共工事設計積算システム等

目2 道路維持費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|----------|
| 575,603,000 円 | 575,571,011 円 | 100.0% | 0 円 | 31,989 円 |

[一般職給] 14 人

114,576,600 円

[嘱託職給] 3 人

9,114,082 円

(道路整備課)

| 目的 | 道路の維持 | | | | |
|----|--|----|--------|----|---------------------|
| 指標 | 道路損傷箇所での事故件数 | 目標 | 12 件以下 | 実績 | 8 件 (27 年度 16 件) |
| 説明 | <p>安全で円滑な交通を確保し、道路瑕疵による交通事故を抑制するため、道路パトロールを実施し、道路損傷箇所の早期発見、修復に努めるとともに道路除草や雪氷対策を行い、事故件数の目標（3ヶ年平均値以下）を達成できました。</p> <p>(緊急対応箇所実績 26 年度 ; 2,730 件、27 年度 ; 2,950 件、28 年度 ; 2,953 件)</p> | | | | |

[道路雪氷対策費]

25,327,080 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|----------------|---------------------------------------|------------|--------|--|
| ・市内一円 | 委託料 雪氷対策業務 1 式 需用費 融雪材購入 1 式 | 25,327,080 | | |

[道路維持修繕費]

340,426,544 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------|--|-------------|--------|-----------|
| ・西新地久保田線 (西浦一丁目地内) | 工事費 L=290 m W=10.3 m 舗装工 A=2,160 m ² | 158,423,220 | その他特財 | 4,690,656 |
| ・外 2 7 7 線 (市内一円) | 工事費 舗装工 A=4,638 m ² 側溝工 L= 23.7 m その他修繕工 5 件 委託料 除草業務 A=180,200 m ² | | | |

| | | | | |
|----------------------|---|-------------|--|--|
| | 路面清掃業務 L= 38.6km 調査業務 11 路線 測量業務 1 路線 設計業務 2 路線 公共嘱託登記業務 3 路線 その他修繕等業務 16 路線 原材料費 補修用材料 1 式 負担金 除草業務に伴う 三重県への負担金 1 件 賠償費 道路事故賠償金 8 件 | | | |
| ・その他（単価契約） （市内一円） | 工事費 道路施設修繕工 394 件 舗装修繕工 94 件 委託料 側溝清掃業務 17 件 | 182,003,324 | | |

| | |
|----------------|--------------|
| 〔一般経費〕 | 86,126,705 円 |
| ・電気料金 | 59,239,771 円 |
| ・臨時職員賃金 | 9,884,056 円 |
| ・自動車使用料 | 4,349,352 円 |
| ・その他（燃料費・消耗品等） | 12,653,526 円 |

目3 道路新設改良費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|----------------|---------------|-------------|
| 1,580,557,673 円 | 1,263,337,475 円 | 79.9% | 314,879,489 円 | 2,340,709 円 |

〔一般職給〕 4 人 25,634,600 円

（都市計画課）

| | | |
|------------------------------------|-----------------|------------|
| ●【明許繰越】 | 486,483 円 | |
| 〔広域幹線道路関連公共施設等整備事業費〕 | 486,483 円（その他特財 | 486,483 円） |
| 用地取得 52 m ² 不動産鑑定料等 1 式 | | |

（道路整備課）

| | |
|----------------------|---------------|
| ●【明許繰越】 | 111,501,154 円 |
| 〔社会資本整備総合交付金事業費（道路）〕 | 64,618,200 円 |

| 事業区分 （施工箇所） | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-------------------|--|------------|-------------|--------------------------|
| ・下野保々線 （萱生町地内） | 工事費 L=298.0 m 橋梁下部工 1 基 擁壁工 L= 98.0 m 集水柵工 2 基 | 43,355,900 | 国庫支出金 市債 | 35,540,010 26,200,000 |

| | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|------------|--|--|
| ・小杉新町2号線 (山之一色町地内) | 用地費 A=313 m ² | 4,633,600 | | |
| ・中央緑地西日野線 西日野駅前広場 (西日野町地内) | 用地費 A=809 m ² | 16,628,700 | | |

[道路改良単独事業費]

46,882,954 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|----------------------|--|------------|--------|--|
| ・垂坂1号線 (垂坂町地内) | 委託料 用地幅杭設置業務 1式 用地費 A=2,235 m ² 補償費 3件 | 42,746,968 | | |
| ・諏訪新道線 (本町及び蔵町地内) | 工事費 カラー舗装工 A=61 m ² 委託料 工事管理業務 1式 | 4,135,986 | | |
| ・外3線 (市内一円) | 工事費 橋梁下部工 1基 用地費 A=1,122 m ² 補償費 1式 | | | |

(道路整備課)

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 幹線道路の整備 | | | | |
| 指標 | 幹線道路の整備延長 (平成21年度からの累計) | 目標 | 5,636 m以上 | 実績 | 5,420 m (27年度 5,261 m) |
| 説明 | <p>曾井尾平線等の道路整備を実施し、小杉新町2号線、泊小古曾線の用地買収及び補償を行いました。国庫交付金決定額が要望額を下回ったため、目標の達成に至りませんでした。</p> <p>また、あさけが丘中央通り線や阿倉川西富田線等の再舗装工を実施しました。</p> <p>公共交通の利用環境整備として、JR四日市駅周辺において案内板の設置を行いました。また、四日市あすなろう鉄道の利用促進を図るため、西日野駅前広場の用地買収を行いました。</p> | | | | |

[社会資本整備総合交付金事業費 (道路)]

9,223,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------|---|-----------|-------------|------------------------|
| ・小杉新町2号線 (山之一色町地内) | 用地費 A=470 m ² (一部平成28年度 明許繰越) | 7,000,000 | 国庫支出金 市債 | 5,072,650 3,700,000 |
| ・泊小古曾線 (大字泊村地内) | 補償費 3件 (一部平成28年度 明許繰越) | 2,223,000 | | |

[防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路）] 21,000,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------|--|------------|-------------|-------------------------|
| ・ 曾井尾平線 (曾井町地内) | 工事費 L=159.3 m W= 6.8 m 舗装工 A= 973 m ² 側溝工 L= 174 m | 19,822,800 | 国庫支出金 市債 | 11,550,000 8,600,000 |
| ・ 富田富田一色線 (富田一色町地内) | 委託料 設計業務 1 式 | 1,177,200 | | |

[防災・安全社会資本整備交付金事業費（道路ストック関連）] 38,548,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--|---|------------|--------|------------|
| ・ あさけが丘中央通り線 (あさけが丘二丁目 及びあさけが丘三 丁目地内) | 工事費 L=170 m W=7.5 m 舗装工 A=1,150 m ² | 12,117,600 | 国庫支出金 | 21,201,000 |
| ・ 阿倉川西富田線 (大字茂福地内) | 工事費 L=262 m W=16.0 m 舗装工 A=1,010 m ² | 13,043,800 | | |
| ・ 午起末永線 外 9 線 (東新町 ほか、1 2 町地内) | 工事費 道路照明灯整備工 15 基 委託料 設計業務 1 式 | 13,386,600 | | |

[社会資本整備総合交付金事業費（港湾関連）] 2,000,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|---------------------------------|------------------|-----------|--------|-----------|
| ・ J R 四日市駅周辺 公共サイン (中町地内) | 工事費 案内板設置 1 基 | 2,000,000 | 国庫支出金 | 1,000,000 |

[石油交付金事業費] 9,000,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--------------------------|---|-----------|--------|-----------|
| ・ 午起末永線 (新浜町ほか、3 町地内) | 工事費 L=254 m W=22.0 m 舗装工 A=2,606 m ² | 9,000,000 | 県支出金 | 9,000,000 |

[道路改良単独事業費（幹線道路整備）] 20,000,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|---------------------------------|--|------------|--------|------------|
| ・ 楠河原田線 (楠町北五味塚及び楠町 吉崎地内) | 工事費 L=608.4 m W=9.3 m 舗装工 A=4,725 m ² | 20,000,000 | 市債 | 18,000,000 |

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|------------------------------|
| 目的 | 市民生活や産業活動を支える道路空間整備 | | | | |
| 指標 | 整備延長 (平成 21 年度からの累計) | 目標 | 22,532 m以上 | 実績 | 22,138 m (27 年度 19,161 m) |
| 説明 | <p>生活に身近な道路整備事業においては、市と地域が協働しながら道路環境の良化を実感できる道づくりに取り組んでおり、水沢本町 20 号線や北楠駅前石原南五味塚線等で側溝整備や路肩の整備、道路再舗装を実施しました。</p> <p>産業支援・生活拠点道路再生事業においては、山之色 51 号線や三重団地 1 号線等、幹線道路の再舗装を実施しました。加えて、道路改良事業や人に優しい道路整備事業においては、西坂部 66 号線の道路拡幅や富田金場線（羽津地区）のカラー舗装などを実施しました。</p> | | | | |

〔生活に身近な道路整備事業費〕

617,648,207 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--|---|-------------|--------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 水沢本町 20 号線 外 96 線 (市内一円) | 工事費 側溝工 L=3,784.1 m 擁壁工 L= 273.5 m 防護柵工 L= 720.3 m 函渠工 L= 16.9 m | 310,422,888 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 北楠駅前石原 南五味塚線 外 48 線 (市内一円) | 工事費 舗装工 L=4,254.7 m A= 17,070 m ² | 117,807,264 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 外 14 線 (市内一円) | 委託料 測量業務 1 路線 公共嘱託登記業務 12 路線 補償費 1 式 (一部平成 28 年度 明許繰越) | 19,152,030 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> その他(単価契約) (市内一円) | 工事費 道路施設工 143 件 舗装工 64 件 安全施設工 129 件 委託料 路面表示等 48 件 照明灯設置 2 件 側溝清掃業務 1 件 (一部平成 28 年度 明許繰越) | 170,266,025 | | |

〔産業支援・生活拠点道路再生事業費〕

165,259,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--------------------------------|---|-------------|--------|--|
| ・ 山之色 5 1 号線 (山之色町地内) | 工事費 L=710.0 m W= 12.0 m 舗装工 A= 5,075 m ² | 62,314,920 | | |
| ・ 三重団地 1 号線 外 5 線 (市内一円) | 工事費 L= 1,123.6 m W= 4.5~19.9 m 舗装工 A= 7,180 m ² 排水工 L= 118.4 m | 102,944,080 | | |

〔道路改良単独事業費〕

196,163,464 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------------|--|-------------|--------------|--------------------------|
| ・ 西坂部 6 6 号線 (東坂部町地内) | 工事費 L=114.2 m W=5.0 m 舗装工 A= 445 m ² 側溝工 L=115.1 m | 196,163,464 | 市 債 その他特財 | 60,400,000 21,593,704 |
| ・ 楠地区 北楠駅周辺 (楠町北五味塚地内) | 委託料 測量業務 1 式 調査業務 1 式 設計業務 1 式 | | | |
| ・ 神前地区 高角駅周辺 (高角町地内) | 委託料 測量業務 1 式 調査業務 1 式 設計業務 1 式 | | | |
| ・ 外 2 6 線 (市内一円) | 工事費 道路改良工 6 路線 舗装工 5 路線 側溝工 3 路線 その他 2 路線 委託料 測量業務 4 路線 設計業務 5 路線 調査業務 9 路線 公共嘱託登記業務 7 路線 用地費 A=2,344 m ² 補償費 1 式 (一部平成 28 年度 明許繰越) | | | |

〔人に優しい道路整備事業費〕

37,946,840 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------|---|------------|--------|--|
| ・ 富田金場線 (羽津町ほか2町地内) | 工事費 L=829.2 m W=4.6~6.3 m カラー舗装工 A= 1,680 m ² | 37,946,840 | | |
| ・ 外2線 (市内一円) | 工事費 L=636.9 m W=4.4~4.6 m 舗装工 A=500 m ² カラー舗装工 A=382 m ² 擁壁工 L=136 m 排水工 L=100 m (一部平成28年度 明許繰越) | | | |

(市街地整備・公園課)

〔地区計画道路整備事業費〕

486,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------|-------------------|---------|--------|--|
| ・ 地区計画道路整備事業 (小林町) | 委託料 測量・設計業務 1式 | 486,000 | | |

(道路管理課)

〔私道整備補助金〕

1 件

687,960 円

目4 橋梁維持費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|-----------|
| 14,400,000 円 | 14,208,480 円 | 98.7% | 0 円 | 191,520 円 |

(道路整備課)

〔橋梁修繕工事費〕

14,208,480 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|---------------------------------|--|------------|--------|--|
| ・ 伊坂平津線 (里橋側 道橋) (千代田町地内) | 工事費 橋梁再塗装工 A=330 m ² | 14,208,480 | | |
| ・ 外4線 (市内一円) | 工事費 橋梁再塗装工 A=185 m ² 橋梁修繕工 1式 委託料 測量業務 1路線 | | | |

目5 橋梁新設改良費

| | | | | |
|---------------|---------------|------------|---------------|-----------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 528,824,437 円 | 256,740,884 円 | 48.5% | 271,509,610 円 | 573,943 円 |

(道路整備課)

●【明許繰越】

139,277,520 円

[防災・安全社会資本整備交付金事業費(橋梁長寿命化関係)] 95,780,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|----------------------------|---|------------|-------------|------------|
| ・小生跨線橋 (小生町及び尾平町 地内) | 工事費 薬液注入工 149 本 委託料 橋脚補強及び 落橋防止工 1 箇所 | 90,667,440 | 国庫支出金 市債 | 52,679,000 |
| | 38,800,000 | | | |
| ・慈善橋 (八幡町ほか2町地内) | 工事費 断面補修工 39 m ² | 5,112,560 | | |

[地方道更新防災等対策補助事業費(大規模修繕・橋梁)] 19,680,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------------------|---------------------------------|------------|-------------|-------------------------|
| ・塩浜跨線橋 (塩浜本町一丁目及び 塩浜本町三丁目地内) | 工事費 橋脚補強工 3 箇所 落橋防止工 2 箇所 | 19,680,000 | 国庫支出金 市債 | 10,823,500 8,000,000 |

[橋梁整備単独事業費]

23,817,520 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------------------|--|------------|--------|--|
| ・塩浜跨線橋 (塩浜本町一丁目及び 塩浜本町三丁目地内) | 工事費 橋脚補強工 3 箇所 落橋防止工 2 箇所 委託料 設計業務 1 式 | 23,817,520 | | |
| | ・外2橋 (市内一円) | | | |

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|----------------------|
| 目的 | 橋梁の整備 | | | | |
| 指標 | 落橋防止・耐震化整備済橋梁数 (累計) | 目標 | 41 橋以上 | 実績 | 41 橋 (27 年度 41 橋) |
| 説明 | 大規模地震時の落橋や橋脚の崩壊に備え、緊急輸送道路や鉄道を跨ぐ橋梁の耐震化を順次実施しています。 平成 28 年度は、塩浜跨線橋、小生跨線橋、新大正橋の橋脚補強及び落橋防止による耐震化を進めました。また、生桑橋の耐震、修繕設計や 369 橋の橋梁点検を実施するとともに、慈善橋の修繕工事を進め、橋梁の長寿命化対策を図りました。 | | | | |

[防災・安全社会資本整備交付金事業費（橋梁長寿命化関係）] 78,954,920 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------------|---|------------|-------------|--------------------------|
| ・新大正橋 (楠町本郷及び 楠町南川地内) | 工事費 橋脚補強工 1箇所 落橋防止工 3箇所 〔一部平成28年度 明許繰越〕 | 38,240,000 | 国庫支出金 市債 | 43,424,906 31,900,000 |
| ・橋梁定期点検 (市内一円) | 委託料 橋梁点検 369橋 〔一部平成28年度 明許繰越〕 | 40,714,920 | | |

[地方道更新防災等対策補助事業費（大規模修繕・橋梁）] 17,852,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|---------------------------|----------------|------------|-------------|------------------------|
| ・生桑橋 (西伊倉町及び尾平町 地内) | 委託料 設計業務 1式 | 17,852,000 | 国庫支出金 市債 | 9,818,600 7,200,000 |

[橋梁整備単独事業費] 20,529,470 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------------|---|------------|--------|------------|
| ・新大正橋 (楠町本郷及び 楠町南川地内) | 工事費 橋脚補強工 1箇所 落橋防止工 3箇所 〔一部平成28年度 明許繰越〕 | 20,529,470 | その他特財 | 11,333,520 |
| ・橋梁定期点検 (市内一円) | 委託料 軌道防護等 1式 〔一部平成28年度 明許繰越〕 | | | |
| ・外2橋 (市内一円) | 委託料 調査業務 2橋 | | | |

目6 高速道路関連事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|------|----------------|--------------|-----|
| 27,390,000 円 | 0 円 | 0.0% | 27,390,000 円 | 0 円 |

項3 交通安全対策費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|-------------|------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 392,832,000円 | 332,036,422円 | 84.5% | 57,757,190円 | 3,038,388円 |

目1 交通安全対策総務費

| | | | | |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 94,273,000円 | 91,304,866円 | 96.9% | 0円 | 2,968,134円 |

〔一般職給〕 4人 39,498,306円
 〔嘱託職給〕 3人 8,252,494円

(道路管理課)

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|--------------------|
| 目的 | 交通安全に関する啓発事業を実施する | | | | |
| 指標 | 交通安全に関する講座・啓発活動等の実施回数 | 目標 | 275回以上 | 実績 | 326回 (27年度306回) |
| 説明 | 市と各警察署、各交通安全協会、自治会、PTA、老人会などで組織する四日市市交通安全協議会において、交通安全教室や講座、街頭啓発活動等を実施しました。特に、交通安全教育指導員による交通安全教室と中学生を対象とした自転車の交通安全講座に重点をおき、市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、老人会等において、202回(18,283人)の教室を実施しました。教室では、腹話術やパネルを用いた楽しくわかりやすい講義や自転車シミュレーターを用いた実践的な乗り方の指導、幼児視界体験メガネ(チャイルドビジョン)を用いて保護者等への指導などを行いました。また、早朝街頭指導や各種イベントへの参加等の啓発活動を行いました。 | | | | |

〔交通安全啓発推進費〕 498,763円

<参考> 交通安全に関する講座・啓発活動等の実施回数

| 区分 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 回数 ()は、うち交通安全教室の回数 | 311回 (231回) | 306回 (190回) | 326回 (202回) |

その他経費

〔放置自転車対策事業費〕 36,492,491円 (その他特財 2,014,439円)
 撤去台数2,047台
 〔交通安全教育事業費〕 3,443,788円
 〔交通安全啓発事業費〕 3,109,024円
 〔負担金〕 10,000円
 ・三四地区交通安全対策協議会

<交通災害共済事業残余金>

| | 平成27年度までの 支出済額 | 平成28年度 支出済額 | 平成29年度以降の 支出予定額 |
|---------------------------------------|-------------------|----------------|--------------------|
| 四日市市 108,710,532円 旧楠町分 17,479,000円 | 82,300,000円 | 9,303,643円 | 34,585,889円 |
| 合計 126,189,532円 | 82,300,000円 | 9,303,643円 | 34,585,889円 |

目2 交通安全施設整備費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|-------------|---------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 298,559,000円 | 240,731,556円 | 80.6% | 57,757,190円 | 70,254円 |

〔一般職給〕 1人

9,010,100円

(道路整備課)

●【明許繰越】

15,081,000円

〔防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）〕

15,081,000円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------|--|------------|-------------|------------------------|
| ・金場新正線 (北町及び八幡町地内) | 工事費 L=95.2m W=3.5m 歩道舗装工 A=623㎡ 照明灯設置工 6基 | 15,081,000 | 国庫支出金 市債 | 8,294,550 6,100,000 |

(道路整備課)

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|--------------------------|
| 目的 | 自転車や公共交通機関と連携した誰もが移動しやすい道路空間整備 | | | | |
| 指標 | 誰もが移動しやすい走行空間の延長 (平成21年度からの累計) | 目標 | 15,129m以上 | 実績 | 14,668m (27年度13,168m) |
| 説明 | <p>四日市あすなろう鉄道の利用促進を図るため、西日野駅前広場の用地買収を行うとともに、内部駅前広場の用地測量を実施しました。</p> <p>また、金場新正線の歩道改修を行い、高齢者や障害者に配慮した道路空間の整備に努めました。</p> <p>通学路交通安全対策については、東阿倉川13号線外4路線において、側溝の蓋かけや路肩整備を行い、通学路の拡幅を行うとともに、カラー舗装整備により、歩行者や自転車が安心して通行できる道路空間の整備を図りました。</p> <p>市内全域において、防護柵やカーブミラーなどの修繕を142件、区画線の修復を33件、照明灯の修繕を195件実施しました。</p> | | | | |

〔防災・安全社会資本整備交付金事業費（交安）〕

72,334,960円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|----------------------------------|---|------------|-------------|--------------------------|
| ・金場新正線 (北町及び中部地内) | 工事費 L=258.7m 歩道舗装工 A=1,356㎡ 視覚障害者誘導表示工 L=172m | 33,858,000 | 国庫支出金 市債 | 39,784,228 29,200,000 |
| ・中央緑地西日野線 西日野駅前広場 (西日野町地内) | 用地費 A=108㎡ 補償費 1件 (一部平成28年度 明許繰越) | 31,660,000 | | |

| | | | | |
|--|---|-----------|--|--|
| ・ 采女51号線 内部駅前広場 (小古曾三丁目及び 小古曾町地内) | 委託料 測量業務 1式 設計業務 1式 (一部平成28年度 明許繰越) | 6,816,960 | | |
|--|---|-----------|--|--|

〔防災・安全社会資本整備交付金事業費（通学路交通安全対策）〕

26,000,000円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-------------------------------------|--|------------|-------------|--------------------------|
| ・ 東阿倉川13号線 (大字東阿倉川地内) | 工事費 L=235.2m W=6.9m 舗装工 A=191㎡ カラー舗装工 A=136㎡ 排水工 L=66.5m | 10,253,600 | 国庫支出金 市債 | 14,300,000 10,500,000 |
| ・ 富田金場線 (茂福町地内) | 工事費 L=100.3m W=5.7m 舗装工 A=458㎡ 側溝工 L=162.5m | 7,852,680 | | |
| ・ 山分広永線 (山分町及び 広永町地内) | 工事費 L=409.8m W=3.8~4.1m 舗装工 A=247㎡ カラー舗装工 A=123㎡ | 2,117,880 | | |
| ・ 赤堀日永線外1線 (日永一丁目及び 日永西一丁目地内) | 工事費 L=230.3m W=6.1~8.0m カラー舗装工 A=488㎡ | 5,775,840 | | |

〔交通安全施設整備単独事業費〕

117,586,149円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|---|---|------------|--------|-----------|
| ・ 路面表示 (ゾーン30) (羽津中二丁目ほか6 町地内) | 工事費 路面表示工 1式 | 3,596,400 | その他特財 | 1,260,468 |
| ・ 外13線 (市内一円) | 工事費 カラー舗装工 A=111㎡ 歩道舗装工 A=623㎡ 区画線工 L=4,000m 照明灯設置工 6基 委託料 測量業務 3路線 設計業務 2路線 調査業務 1路線 鉄道立会業務 2路線 補償費 移転補償 1式 損失補償 1式 (一部平成28年度 明許繰越) | 33,290,338 | | |

| | | | | |
|----------------------|---|------------|--|--|
| ・その他（単価契約） （市内一円） | 工事費 カーブミラー 64 件 防護柵ほか安全施設 78 件 委託料 照明灯修繕 195 件 区画線修繕 33 件 | 80,699,411 | | |
|----------------------|---|------------|--|--|

項4 河川費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|---------------|------------|---------------|-------------|
| 1,037,048,818 円 | 826,340,093 円 | 79.7% | 204,737,286 円 | 5,971,439 円 |

目1 河川総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|-------------|-------------|
| 261,292,000 円 | 250,064,222 円 | 95.7% | 6,288,000 円 | 4,939,778 円 |

〔一般職給〕 12 人 96,556,260 円（県支出金 11,380 円）

（河川排水課）

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|------------------------|
| 目的 | 河川・排水路等の適正な維持管理 | | | | |
| 指標 | 河川維持補修実施率 （河川維持管理実施延長/河川全延長） | 目標 | 32.9%以上 | 実績 | 35.0% （27 年度 34.1%） |
| 説明 | <p>古城川・鹿化川における除草や修繕工事、十四川の浚渫など、河川・排水路の機能維持に努めました。</p> <p>また、平古池、南地神池ほかにおいて、修繕工事や測量・設計などを行い、ため池・調整池の維持管理に努めました。</p> | | | | |

〔樋門等管理費〕 10,325,298 円（国庫支出金 482,915 円）
（県支出金 718,680 円）

国、県より受託した樋門等 9 箇所、市管理樋門等 4 箇所の管理業務

〔調整池管理費〕 16,687,080 円

市内 74 箇所の雨水調整池の維持管理の実施

〔溜池維持修繕費〕 18,798,253 円

農業用ため池の維持修繕（一部平成 28 年度明許繰越）

〔ため池災害対策事業費〕 486,000 円（国庫支出金 486,000 円）

農業用ため池の調査

〔河川等維持修繕費〕 99,616,352 円

河川及び市街化調整区域内の水路の維持修繕

市管理河川

| 区分 | 河川数 | 管理総延長 |
|--------|-----|-----------|
| 市管理河川 | 91 | 118,953 m |
| うち準用河川 | 23 | 50,893 m |

| | |
|-----------------|-------------|
| [雨水流出抑制施設設置補助金] | 2,233,800 円 |
| 補助件数：68 件 | |
| [負担金] | 280,000 円 |
| ・ 県営事業負担金 | 150,000 円 |
| ・ 鈴鹿川改修促進期成同盟会 | 130,000 円 |

目 2 河川改良費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|---------------|-------------|
| 775,756,818 円 | 576,275,871 円 | 74.3% | 198,449,286 円 | 1,031,661 円 |

[一般職給] 2 人 17,234,500 円

- [明許繰越] 148,624,818 円
- [準用河川改修事業費] 107,282,160 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------------|------------------------|------------|--------|------------|
| ・ 米洗川中流 (大字羽津ほか2町 地内) | 工事費 護岸工 L=287.3m | 94,223,640 | 国庫支出金 | 35,760,720 |
| | | | 市債 | 64,400,000 |
| ・ 朝明新川 (大鐘町) | 工事費 ブロックマット工 L=117m | 13,058,520 | | |

[平津川河川改良事業費] 10,946,930 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------|---------------------------|------------|--------|--|
| ・ 平津川 (平津町地内) | 工事費 ボックスカルバート工 L=13.2m | 10,946,930 | | |

[河川単独事業費] 30,395,728 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------|--|------------|--------|--|
| ・ 河川改良事業 (西日野町ほか4町) | 工事費 護岸工 L=287.3m ボックスカルバート工 L=13.2m ブロック積 L=15.0m | 30,395,728 | | |

(河川排水課)

| | | | | | |
|----|---|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 治水事業の推進 | | | | |
| 指標 | 河川整備率 (準用河川の整備率) | 目標 | 58.7%以上 | 実績 | 59.0% (27年度 58.6%) |
| 説明 | <p>準用河川では、米洗川の河川改修事業を継続するとともに、源の堀川において護岸整備に向けた用地測量を行いました。</p> <p>また、三鈴川をはじめ、市内各所において河川等の改良工事を行い、治水安全度の向上に努めました。</p> | | | | |

〔準用河川改修事業費〕

186,851,754 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|----------------------------|---|-------------|-------------|---------------------------|
| ・米洗川中流 (大字羽津ほか2町 地内) | 工事費 護岸工 L=287.3m (一部平成28年度明許繰越) 補償費 支障物件移転補償 6件 | 182,141,754 | 国庫支出金 市債 | 62,283,918 118,300,000 |
| | ・源の堀川 (小杉町地内) | | | |

〔普通河川三鈴川河川改良事業費〕

52,600,245 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--------------------|--|------------|--------|------------|
| ・三鈴川 (楠町南五味塚地内) | 工事費 護岸工 L=24.0m 委託料 測量・調査業務 1式 補償費 支障物件移転補償他 4件 | 52,600,245 | 市債 | 45,900,000 |

〔河川単独事業費〕

167,087,604 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--------------------|--|-------------|--------|-------------|
| ・河川改良事業 (市内一円) | 工事費 鹿化川河川改良工事 外6件 (一部平成28年度明許繰越) 委託料 測量・設計業務外 1式 補償費 支障物件移転補償 5件 (一部平成28年度明許繰越) 土地使用料 16件 | 110,819,328 | 市債 | 149,400,000 |
| ・排水路改良事業 (市内一円) | 工事費 和無田町排水路改良工事 外10件 委託料 測量・設計業務 1式 補償費 支障物件移転補償 1件 | 56,268,276 | | |

項5 港湾費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|----------------|--------|-----------|
| 1,397,982,000 円 | 1,397,123,999 円 | 99.9% | 0 円 | 858,001 円 |

目 1 港湾総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|-----------|
| 1,397,982,000 円 | 1,397,123,999 円 | 99.9% | 0 円 | 858,001 円 |

(政策推進課)

| 目的 | 四日市港が背後圏産業の発展を支えるとともに、市民に親しまれる港になる | | | | |
|----|---|----|--------------|----|---------------------------------|
| 指標 | 四日市港における総取扱貨物量 (1~12 月) | 目標 | 63,000 千トン以上 | 実績 | 61,363 千トン (27 年 62,963 千トン) |
| | 四日市港で行われる諸活動への参加者数 | | 98,000 人以上 | | 110,998 人 (27 年度 97,155 人) |
| 説明 | <p>エネルギー、バルク、コンテナのすべてを総合的に扱う総合港湾として、物流機能の強化のほか、地震・津波等の災害への対応力強化などの安全安心な港湾整備に取り組みました。</p> <p>また、背後圏産業の発展を支えるため、臨港道路霞 4 号幹線や新名神高速道路、東海環状自動車道、国道 1 号北勢バイパスの整備促進などについて、国に対し要望活動を行いました。</p> <p>さらに、四日市港の利用促進を図るため、四日市港管理組合や港湾関係企業等と連携し、四日市港利用促進協議会での集荷促進及びコンテナ定期航路の維持・拡充に向けた活動のほか、四日市港を PR するためのセミナー・説明会の開催に取り組みました。</p> <p>施設面についても、コンテナ船が安全に係留・荷役できる状態を維持し、コンテナ物流需要に対応するため、引き続き霞ヶ浦地区 27 号岸壁の改良工事を進めました。</p> <p>こうした官民一体となったポートセールスの取り組み等の成果により、平成 28 年の四日市港の総取扱貨物量は目標を約 1,600 トン下回る結果となったものの、外貿コンテナ貨物量は前年比 4.7%増で、3 年ぶりの増加となりました。</p> <p>市民に親しまれる港づくりについては、四日市地区では、四日市港の歴史的景観や文化遺産等を生かした取り組みを推進するため、多様な主体と連携し「四日市旧港まちあるきイベント 2016」「四日市港周辺まちあるきスタンプラリー」を開催しました。また、課題とされている港へのアプローチの改善を図るため、四日市港管理組合と役割分担を行いながら、JR 四日市駅から四日市港千歳運河に至る観光案内看板や散策路標識の計画的な設置を行いました。</p> <p>また、霞ヶ浦地区では、四日市港管理組合など関係者が連携し、豪華客船の歓迎イベント・船内見学会、「四日市港まつり」など、市民が四日市港とふれあう機会の拡大を図る取り組みを進めるにあたり、市も広報等の協力・支援を行いました。また、近年の工場夜景人気の高まりを受け、ポートビル展望展示室の夜間開館日を拡充したほか、小中学生の入場料を無料としたことにより、四日市港で行われる諸活動への参加者数について目標を約 13,000 人上回る事ができました。</p> | | | | |

| | | |
|---------------|-----|-----------------|
| 〔一般職給〕 | 1 人 | 5,974,719 円 |
| 〔港湾事務費〕 | | 181,280 円 |
| 〔四日市港管理組合負担金〕 | | 1,390,850,000 円 |
| 〔港湾都市協議会負担金〕 | | 118,000 円 |

項 6 都市計画費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|---------------|---------------|
| 3,635,456,670 円 | 2,645,895,886 円 | 72.8% | 886,433,896 円 | 103,126,888 円 |

目 1 都市計画総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|---------------|--------------|
| 2,141,518,000 円 | 1,240,322,142 円 | 57.9% | 838,408,000 円 | 62,787,858 円 |

| | | | | |
|--------|------|---------------|--------------------|--|
| [一般職給] | 19 人 | 193,526,250 円 | 県支出金 340 円 | |
| | | | その他特財 10,414,570 円 | |
| [嘱託職給] | 1 人 | 3,324,205 円 | | |

(都市計画課)

| | | | | |
|--------------------------|---------------|---------------------|--|--|
| ●【明許繰越】 | 373,163,760 円 | | | |
| [内部・八王子線運行事業費] | 373,163,760 円 | 国庫支出金 123,985,085 円 | | |
| ・四日市あすなろう鉄道の車両やA T Sの更新等 | | 県支出金 61,992,542 円 | | |
| | | その他特財 58,481,000 円 | | |

(都市計画課)

| 目的 | 計画的な土地利用を進める | | | | |
|----|--|----|--------------------------|----|--------------------------------|
| 指標 | まちづくり 3 条例による適正な土地利用の誘導を行う | 目標 | 将来に向けた土地利用の調査及び検討、並びに手続き | 実績 | 土地利用の調査及び検討、並びに手続き |
| | 市街化区域内人口 | | 272,300 人以上 | | 272,346 人 (27 年度 272,354 人) |
| 説明 | <p>持続可能なコンパクトなまちづくりを進める制度である、立地適正化計画の基本方針に係る医療・福祉・商業などの配置状況等について調査を行いました。</p> <p>地区から提案された地区まちづくり構想を基に、地域の土地利用や整備の計画である都市計画マスタープラン地域・地区別構想の作成を進めました。</p> | | | | |

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------|-------------|--|
| [都市計画マスタープラン策定事業費] | 992,520 円 | | | |
| ・地域・地区別構想案策定業務委託 他 | | | | |
| [都市計画策定費] | 7,547,040 円 | 国庫支出金 | 1,121,000 円 | |
| ・立地適正化計画基本方針検討業務委託 他 | | | | |
| [都市計画情報提供事業費] | 1,304,640 円 | | | |
| ・生産緑地地区データ修正業務委託 他 | | | | |
| [委員報酬] | 110,600 円 | | | |
| ・都市計画審議会委員 15 人 | | | | |
| [負担金] | 245,000 円 | | | |
| ・都市計画協会等 | | | | |

| 目的 | 円滑に移動できる交通体系にする | | | | |
|----|---|----|-------------------------|----|--------------------------------|
| 指標 | 自家用車依存から公共交通利用への転換 | 目標 | 都市総合交通戦略で示す数値目標に向けた進行管理 | 実績 | 都市総合交通戦略で示す事業の推進を図った。 |
| | バス・鉄道利用者数 | | 前年度以上 | | 31,810 千人 (27 年度 30,624 千人) |
| 説明 | <p>本市の交通環境の維持・強化に向け、平成 23 年 10 月に策定の「四日市市都市総合交通戦略」に基づき、関係者連携のもとで施策の推進を図りました。</p> <p>四日市あすなろう鉄道では、「鉄道事業再構築実施計画」に基づき、車両の更新や検査、A T S の更新等、老朽化した施設の更新を行い、安全な運行の確保に努めました。</p> <p>三岐鉄道三岐線では、その施設更新等に対し、国の補助制度に基づき、国・県・沿線市町と</p> | | | | |

ともに協調補助を行い、安全性強化を図りました。
 地域の交通手段を確保するため、自主運行バス3路線の運行を継続して実施しました。
 市民自主運行バスについては、運行経費の1/2を補助し（月額補助限度額50万円）、支援を継続しました。
 近鉄阿倉川駅のバリアフリー化については、近畿日本鉄道㈱が行う設計に対し、国、県とともに協調補助を行いました。
 また、近鉄四日市駅前西口広場等整備事業では、学識者や関係事業者、利用者等で構成する「近鉄四日市駅周辺等整備基本構想検討委員会」を設置し、同委員会を開催し現状の課題と視点を整理しました。

| | | | | |
|---------------------------------------|--------------|--|--|--|
| 〔総合交通戦略推進事業費〕 | 694,470円 | | | |
| ・近鉄四日市駅周辺等整備基本構想検討委員会の開催 | | | | |
| 〔バス利用環境改善整備事業費〕 | 46,494,000円 | | | |
| ・自主運行バス運行委託 | | | | |
| 磯津高花平線、神前高角線、山城富洲原線（年間利用者数 延べ64,951人） | | | | |
| 〔コミュニティバス支援事業費〕 | 5,130,000円 | | | |
| ・生活バスよっかいちへの補助金（年間利用者数 延べ16,047人） | | | | |
| 〔負担金〕 | 185,300円 | | | |
| ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 | 44,300円 | | | |
| ・三重県鉄道網整備促進期成同盟会等 | 141,000円 | | | |
| 〔都市鉄道維持・活性化事業費〕 | 16,228,066円 | | | |
| ・四日市市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 | | | | |
| 〔内部・八王子線運行事業費〕 | 376,191,183円 | | | 〔国庫支出金 95,910,674円 県支出金 47,955,337円 その他特財 47,727,500円〕 |
| ・四日市あすなろう鉄道の変電所新設やホーム改修、ATSの更新等 | | | | |
| 〔内部・八王子線関連事業費〕 | 4,571,189円 | | | |
| ・利用促進に資するイベントの実施やグッズの作成等 | | | | |
| 〔内部・八王子線基金積立金〕 | 109,151,604円 | | | （その他特財 109,151,604円） |
| 〔伊勢鉄道支援事業費〕 | 20,605,000円 | | | |
| 〔鉄道駅バリアフリー化事業費〕 | 4,973,000円 | | | |
| ・四日市市交通施設バリアフリー化設備整備補助金 | | | | |
| 〔近鉄四日市駅前西口広場等整備事業〕 | 14,709,600円 | | | |
| ・近鉄四日市駅周辺整備の基本構想検討及び基本構想検討委員会の開催 | | | | |

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 市民主体のまちづくりが進むよう啓発・支援を行う | | | | |
| 指標 | 地区まちづくり構想の策定地区数（累計） | 目標 | 12地区以上 | 実績 | 15地区 (27年度 14地区) |
| 説明 | 地区まちづくり構想の策定に向けて、河原田・小山田・下野・塩浜地区に加え、新たに常磐地区でまちづくり構想策定委員会が発足し、計5地区で策定活動を支援しました。 平成29年3月に河原田地区が地区まちづくり構想を策定し、策定地区累計は15地区となりました。 また、地域・地区別構想策定済みの地区においては、三重地区で西坂部66号線の拡幅工事を行うなど、同構想に基づくまちづくりの進捗を図りました。 | | | | |

〔まちづくり活動支援事業費〕 6,235,841円

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 里山を市民の手で保全する活動を支援する | | | | |
| 指標 | 市民緑地制度による支援団体数(累計) | 目標 | 9箇所以上 | 実績 | 9箇所 (27年度 8箇所) |
| 説明 | 市民緑地については、既設の8箇所（県地区「岡山市民緑地」、桜地区「初瀬ビオトープの谷市民緑地」、河原田地区「市民緑地『かわらだ竹林公園』」、内部地区「市民緑地貝家町のビオトープ」、四郷地区「八王子町秋の小径（こみち）市民緑地」、下野地区「下野憩いとふ | | | | |

れあい市民緑地」、内部地区「采女城跡市民緑地」、三重地区「市民緑地『みえ北めぐみの森』」)に加え、新たに平成28年5月に神前地区で「市民緑地すがわら『とおりゃんせ』」が開設されました。

また、市民緑地の適正な管理を行うとともに、柵や散策路の整備、看板設置など必要な整備を行いました。

庁舎の掲示板や市のホームページにおいて、引き続き市民緑地制度の周知を行うとともに、市民緑地連絡協議会を開催し、管理団体の相互交流、情報交換を図りました。

平成28年度には、市内の企業に対し、「市民緑地制度を通した里山保全活動に関するアンケート」を実施し、アンケート結果に基づき企業ヒアリングも行いました。

〔里山保全事業費〕 3,208,010円(県支出金 339,120円)

(開発審査課)

〔委員報酬〕 115,200円(その他特財 115,200円)

・開発審査会委員 7人

〔負担金〕 87,000円(その他特財 87,000円)

・全国建設研修センター研修等

開発許可申請の推移

| 区 分 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 審査件数 | 170件 | 204件 | 219件 |
| 審査面積 | 28.6ha | 53.6ha | 29.3ha |

〔開発審査事務費〕 2,045,479円(その他特財 2,045,479円)

(道路管理課)

〔ふれあいモール維持管理費〕 5,774,105円(その他特財 2,367,600円)

・清掃・維持管理業務委託

〔近鉄高架下土地管理費〕 28,148,034円(その他特財 6,947,527円)

〔屋外広告物簡易除却事務費〕 2,766,428円(県支出金 394,230円)

・除却数 401枚

・ボランティア団体(10団体 92人)への道具の支給等

〔駐車場維持管理費〕 907,200円

・四日市市営中央駐車場消防施設不良箇所修繕 ほか

目2 土地区画整理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 330,066,000円 | 299,315,300円 | 90.7% | 0円 | 30,750,700円 |

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 97,653,000円)

目3 街路事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|-------------|------------|
| 348,648,470円 | 316,853,930円 | 90.9% | 26,025,896円 | 5,768,644円 |

〔一般職給〕 2人 13,881,767円

(都市計画課)

〔近鉄四日市駅等耐震化促進事業費〕 16,477,000円

・近鉄名古屋線高架橋耐震対策工事(柱7本)にかかる補助金

(道路整備課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------------|----|--------------------------------|
| 目的 | 自転車や公共交通機関と連携した誰もが移動しやすい道路空間整備 (※再掲) | | | | |
| 指標 | 誰もが移動しやすい走行空間の延長 (平成 21 年度からの累計) | 目標 | 15, 129 m以上 | 実績 | 14, 668 m (27 年度 13, 168 m) |
| 説明 | 中心市街地における街の賑わいの創出に向け、四日市中央線及び西浦安島 1 号線外 1 線で景観に配慮した歩道舗装の改修を進めました。 | | | | |

[街路整備事業費]

76, 000, 000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------------------------|---|--------------|-----------|--------------|
| ・ 四日市中央線 (浜田町及び諏訪栄町 地内) | 工事費 L=203. 6 m W=7. 7 m~14. 0 m 歩道ブロック舗装工 A=1, 490 m ² | 49, 103, 680 | 市 債 | 68, 400, 000 |
| | | | 都 市 計 画 税 | 7, 164, 000 |
| ・ 西浦安島 1 号線 外 1 線 (安島一丁目地内) | 工事費 L=406. 7 m W=2. 2 m 歩道ブロック舗装工 A=889 m ² | 26, 896, 320 | | |

[街路単独事業費]

3, 970, 880 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-------------------------------|---|-------------|-----------|-------------|
| ・ 四日市中央線 (浜田町及び諏訪栄町 地内) | 工事費 L=203. 6 m W=7. 7 m~14. 0 m 歩道ブロック舗装工 A=1, 490 m ² | 3, 970, 880 | 都 市 計 画 税 | 3, 673, 000 |
| | | | そ の 他 特 財 | 73, 980 |
| ・ 外 7 線 (市内一円) | 委託料 環境整備業務 1 式 | | | |

(市街地整備・公園課)

● 【明許繰越】

104, 359, 470 円

[連続立体交差事業負担金]

104, 359, 470 円 (市債 93, 900, 000 円)

- ・ 近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う三重県への負担金

(市街地整備・公園課)

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|--------------------------|
| 目的 | 円滑な交通とまちづくりの推進 | | | | |
| 指標 | 近鉄連立進捗率 (事業費ベース) | 目標 | 87. 7%以上 | 実績 | 86. 7% (27 年度 79. 9%) |
| 説明 | 近鉄川原町駅付近連続立体交差事業に係る地元調整などの事業支援に努め、平成 28 年度は全線を高架切替することができました。 | | | | |

[連続立体交差事業負担金]

92, 687, 429 円

(市債 86, 700, 000 円
都市計画税 5, 644, 000 円)

- ・ 近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う三重県への負担金 (一部平成 28 年度明許繰越)

[連続立体交差関連事業費]

8, 979, 471 円

(都市計画税 5, 357, 000 円
その他特財 3, 296, 000 円)

目4 公園管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|-------------|------------|
| 566,993,200円 | 542,659,822円 | 95.7% | 22,000,000円 | 2,333,378円 |

| | | |
|---------|----|-------------|
| [一般職給] | 4人 | 24,691,996円 |
| [再任用職給] | 1人 | 3,829,945円 |

(市街地整備・公園課)

| | |
|-------------|------------|
| ●【明許繰越】 | 9,367,480円 |
| 〔公園施設維持補修費〕 | 9,367,480円 |

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 |
|--------------------------|-----------------|-----------|--------|
| ・三重城山緑地災害復旧工事 (三重二丁目) | 工事費 ふとん籠工 1式 | 9,367,480 | |

(都市計画課)

| 目的 | 緑化基金を活用して市民の手で緑を保全する活動を支援する | | | | |
|----|--|----|--------|----|---------------------|
| 指標 | 花と緑いっぱい事業 活動団体数 | 目標 | 85団体以上 | 実績 | 87団体 (27年度 84団体) |
| 説明 | 緑化基金を原資として、公園・街路等の公共的施設に花壇の設置など緑化活動を行うボランティア団体等に補助金を交付し、市民との協働による都市緑化の推進を図りました。平成28年度は新規7団体を含む87団体の活動に対して支援を行いました。 (平成28年度末基金残高 112,581,560円) | | | | |

| | | |
|--------------|------------|--------------------|
| [花と緑いっぱい事業費] | 8,761,515円 | (その他特財 8,547,555円) |
| [緑化基金積立金] | 3,462,485円 | (その他特財 3,462,485円) |

(市街地整備・公園課)

| 目的 | 市民協働による公園・緑地の管理、運営 | | | | |
|----|---|----|---------|----|-----------------------|
| 指標 | 公園愛護団体数 | 目標 | 247団体以上 | 実績 | 250団体 (27年度 247団体) |
| 説明 | 市民ボランティア団体の活動にあわせて、南部丘陵公園でのバラ園の整備や夏の広場の花壇整備、秋の小径の高木伐採など活動フィールドの整備を行いました。 また、公園愛護団体の活動を支援するとともに愛護会活動の啓発に努め、平成28年度の愛護会結成数は3団体増加し250団体となりました。 | | | | |

| | | |
|------------------------|------------|--------------------|
| [公園愛護会育成費] | 2,172,855円 | (その他特財 1,600,000円) |
| ・公園愛護団体への清掃用具等の貸与 | | |
| [市民に親しまれる公園ボランティア支援事業] | 3,951,064円 | |
| ・活動フィールド基盤整備(3箇所)等 | | |

| 目的 | 公園・緑地及び街路樹の適正な維持、管理 | | | | |
|----|---|----|-------------------------------|----|---------------------|
| 指標 | ①公園・緑地で除草清掃を行った公園数 ②街路樹の樹木(高木)剪定本数 | 目標 | ①150公園・回以上 ②5,000本/10,000本 | 実績 | ①182公園・回 ②5,100本 |
| 説明 | 公園樹木や街路樹の適正な維持管理や遊具の安全確保に努め、除草や清掃を実施した公園数は延べ182公園・回、剪定を行った街路樹は5,100本となりました。また、中心市街地の街路2 | | | | |

路線（四日市中央線、金場新正線）の街路樹及び1公園（鶴の森公園）について劣化診断を実施し、危険木について、樹種転換及び枯枝処理を実施しました。

- 〔公園施設管理費〕 389,682,634円（その他特財 12,572,010円）
 - ・公園の除草・清掃、公園樹木及び街路樹の剪定をはじめ公園施設全般の管理
- 〔公園施設安全対策費〕 6,571,800円
 - ・遊具の安全点検等
- 〔公園施設維持補修費〕 88,873,988円

公園緑地の状況 ()内は27年度実績

| 種別 | 開設箇所 | 開設面積 (㎡) | 備考 |
|--------|------|--------------|-----------------------------|
| 住区基幹公園 | 街区公園 | 415 (410) | 549,240.34 (543,743.88) |
| | 近隣公園 | 10 | 179,231.00 |
| 都市基幹公園 | 運動公園 | 2 | 45,317.00 |
| | 総合公園 | 4 (4) | 855,713.00 (844,613.00) |
| 大規模公園 | 広域公園 | 1 | 318,494.36 県営公園（四日市市にかかる面積） |
| 緑地 | 緩衝緑地 | 7 | 692,523.00 |
| | 都市緑地 | 47 (45) | 512,836.69 (511,236.69) |
| 合計 | | 486 | 3,153,355.39 |
| | | (479) | (3,135,158.93) |

その他経費

- 〔負担金〕 100,000円
 - ・日本公園緑地協会

目5 公園建設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 248,231,000円 | 246,744,692円 | 99.4% | 0円 | 1,486,308円 |

〔一般職給〕 2人 18,219,612円

(市街地整備・公園課)

- 〔明許繰越〕 9,100,000円
 - 〔公園緑地整備補助事業費〕 9,100,000円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-------------------------|--------------------|-----------|-------------|------------------------|
| ・垂坂公園・羽津山緑地整備事業 (垂坂町地内) | 工事費 園路・広場整備工 1式 | 9,100,000 | 国庫支出金 市債 | 4,550,000 4,100,000 |

| 目的 | 公園及び緑地の整備 | | | | |
|----|--|----|------------|----|-----------------------------|
| 指標 | 公園、緑地の供用面積 | 目標 | 314.00ha以上 | 実績 | 315.34ha (27年度 313.52ha) |
| 説明 | 国庫交付金事業として、垂坂公園・羽津山緑地において未供用部分の園路・広場を整備し、供用を開始しました。 市単独事業として、(仮称)松寺公園の広場整備を行いました。また、地元と調整し照明灯や遊具などの公園施設改修を進めました。 公園・緑地の供用面積は、垂坂公園・羽津山緑地の整備や開発による街区公園の帰属により1.82ha増加し315.34haとなりました。 | | | | |

〔公園緑地整備補助事業費〕

20,000,000円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|--------------------------------|-----------------|------------|--------|------------|
| ・垂坂公園・羽津山緑地 整備事業 (垂坂町地内) | 工事費 広場整備工 1式 | 20,000,000 | 国庫支出金 | 10,000,000 |
| | | | 市債 | 9,000,000 |
| | | | 都市計画税 | 943,000 |

〔公園緑地整備単独事業費〕

197,615,218円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------|---------------------|-------------|--------|-------------|
| ・市内一円の公園緑地 | 工事費 (仮称)松寺公園広場整備 | 6,718,680 | 市債 | 900,000 |
| | | | 都市計画税 | 185,555,000 |
| ・大気汚染対策緑地 償還金 | 羽津山緑地(公園緑地譲受 費) | 189,798,538 | | |
| ・北勢中央公園建設 負担金 | 県公共事業費負担金 | 1,098,000 | | |

項7 下水道費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|----------------|--------|-----|
| 7,111,900,000円 | 7,111,900,000円 | 100% | 0円 | 0円 |

目1 下水道整備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|----------------|--------|-----|
| 7,111,900,000円 | 7,111,900,000円 | 100% | 0円 | 0円 |

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,851,490,000円)

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 4,929,811,000円

〔補助金〕

・下水道汚水処理費(基準内) 2,182,089,000円

項8 住宅費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|-------------|------------|
| 527,665,000円 | 492,860,017円 | 93.4% | 25,000,000円 | 9,804,983円 |

目1 住宅管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|-------------|------------|
| 500,265,000円 | 476,703,857円 | 95.3% | 14,000,000円 | 9,561,143円 |

〔一般職給〕 10人

75,673,756円(その他特財 75,673,756円)

〔嘱託職給〕 3人

11,368,144円(その他特財 11,368,144円)

(都市計画課)

| | | | |
|-------------------------|-------------|-------|--------------|
| 〔住宅施策推進事業費〕 | 2,713,240 円 | | |
| ・四日市子育て世帯の住み替え支援補助金 | 2,143,000 円 | | |
| ・四日市子育て世帯の住み替え支援事業広告掲載等 | 570,240 円 | | |
| 〔移住促進空き家リノベーション事業費〕 | 2,000,000 円 | | |
| ・移住促進のための空き家リノベーション補助金 | 2,000,000 円 | (県支出金 | 2,000,000 円) |

住み替え支援事業実績

| 区 分 | | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 |
|-----------------------------------|---------|-------|-------|-------|
| 子育て世帯の住み替え支援 郊外住宅団地 (モデル団地) ※1 | 家賃補助 | 3 件 | 5 件 | 4 件 |
| | リフォーム補助 | 3 件 | 0 件 | 2 件 |
| 子育て世帯住み替え等促進空き家リノベーション事業 | リフォーム補助 | — | 2 件 | 0 件 |
| 移住促進空き家リノベーション事業費 | リフォーム補助 | — | 0 件 | 2 件 |

※1 高花平、あさけが丘、笹川、坂部が丘、平津新町、桜台**周辺**(桜台・**桜ヶ丘**)、八千代台、三重**周辺**(三重・**生桑美里が丘**・**尾平美里が丘**)、あかつき台、**大谷台周辺**(大谷台・**みゆきが丘2丁目**)、三滝台、かわしま園、あがたが丘(リフォームのみ)【太字を平成28年度より追加】

(市営住宅課)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 市営住宅使用料の滞納整理 | | | | |
| 指標 | 現年度収納率 | 目標 | 98.8%以上 | 実績 | 99.7% (27年度 98.8%) |
| 説明 | 収入などの個々の生活状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、現年度滞納者をなくすために初期段階での滞納整理に重点的に取り組みました。具体的には、夜間電話や休日訪問の強化、少額であっても分納誓約を交わすほか、2ヶ月以上の滞納となった場合には、連帯保証人へ納付指導の依頼を行いました。それでも支払意思を示さなかったものには、法的措置を行いました。 | | | | |

〔市営住宅整備事業費〕

172,634,112 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-------------------------|---------------------------------------|-------------|----------------|---------------------------|
| ・外壁改修ほか工事 (坂部が丘他4団地) | 外壁改修、屋上防水工事 36棟 | 124,502,400 | 国庫支出金 その他特財 | 46,441,000 126,193,112 |
| ・除却工事 (石塚町他2団地) | 老朽化に伴う木造平屋建6棟の除却、老朽化に伴うCB造平屋建1棟の除却 一式 | 12,582,000 | | |
| ・公共下水道接続工事 (西伊倉町) | 浄化槽から下水道への切替工事 | 4,114,800 | | |
| ・住戸改修工事 (高花平・三重) | 空家改修工事 | 24,880,392 | | |
| ・その他 | 設計業務委託 9件 (一部平成28年度明許繰越) | 6,554,520 | | |

〔高齢者・障害者向け住宅改良事業費〕

12,992,616 円 (国庫支出金 264,000 円
その他特財 12,728,616 円)

〔市営住宅維持補修費〕

185,577,232 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|----------------|-------------------------------|-------------|-----------|-------------|
| ・一般修繕 | 雨漏り、水漏れ修理 建具修繕等 1,291 件 | 101,179,838 | そ の 他 特 財 | 185,577,232 |
| ・空家修繕 | 入居募集用修繕 96 戸 | 61,348,947 | | |
| ・その他 | 保守点検業務委託 除草処理、貫通清掃業務 158 件 | 23,048,447 | | |

その他経費

〔委員報酬〕 158,000 円 (その他特財 158,000 円)

・市営住宅入居者選考委員会委員 7 人

〔負担金〕 27,150 円 (その他特財 27,150 円)

・日本住宅協会

〔管理人報償金〕 42 人 3,456,600 円 (その他特財 3,456,600 円)

目 2 住宅建設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------------|-----------|
| 27,400,000 円 | 16,156,160 円 | 59.0% | 11,000,000 円 | 243,840 円 |

(市営住宅課)

〔曙町市営住宅建設事業費〕

11,080,160 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-----------------|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|
| ・曙町市営住宅 建替工事 | 駐車場整備工事 (一部平成 28 年度明許繰越) | 9,890,000 | 国 庫 支 出 金 | 4,945,000 |
| | その他 | 1,190,160 | 市 債 | 3,700,000 |
| | | | そ の 他 特 財 | 2,360,819 |

〔石塚町市営住宅建設事業費〕

5,076,000 円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| ・石塚町市営住宅 建替工事 | 基本計画策定業務委託 | 5,076,000 | 国 庫 支 出 金 | 2,538,000 |

款 9 消防費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|------------|-------------|
| 4,313,876,203円 | 4,235,795,887円 | 98.2% | 2,400,000円 | 75,680,316円 |

項 1 消防費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|------------|-------------|
| 4,313,876,203円 | 4,235,795,887円 | 98.2% | 2,400,000円 | 75,680,316円 |

目 1 常備消防費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|------------|-------------|
| 3,471,853,000円 | 3,416,974,737円 | 98.4% | 2,400,000円 | 52,478,263円 |

| | | | | |
|-------------------|---------------|----------------|--------|---------------|
| 〔一般職給〕 | 307人 | 2,542,242,938円 | （その他特財 | 56,826,130円） |
| 〔朝日・川越二町事務受託一般職給〕 | 25人 | 226,726,538円 | （その他特財 | 226,726,538円） |
| 〔再任用職給〕 | 11人 | 41,686,864円 | | |
| 〔嘱託職給〕 | 3人 | 9,091,445円 | （その他特財 | 2,930,473円） |
| 〔退職手当〕 | 12人（定年11、普通1） | 260,399,881円 | （その他特財 | 17,136,542円） |

| 目 的 | 市民の生命、身体及び財産を火災等から保護し、これらの災害による被害を軽減する | | | | |
|-----|---|-----|------|-----|-------|
| 指 標 | 出動指令から消防車が放水開始するまでの時間 (8分を超えると隣接建物への延焼危険が増加する) | 目 標 | 8分以内 | 実 績 | 9分03秒 |
| 説 明 | <p>平成28年の出動指令から放水開始までの平均時間は、前年に比べ46秒長い9分03秒となりました。この時間を分析すると、出動指令から現場到着までの時間は、平成28年は7分35秒で前年と比較して32秒の遅れとなり、消防車が現場に到着してから放水開始までの時間は、平成28年は1分28秒で前年と比較して14秒の遅れとなりました。</p> <p>平成28年については、火災発生場所の状況や交通事情の影響などにより、前年と比較して現場到着や放水開始までに時間を要しました。</p> <p>現在、消防車や救急車の現場到着時間の短縮に向けて新消防分署整備事業に取り組んでおり、平成28年度は大字泊村地内に南消防署南部分署を設置するとともに、北部地域の中村町地内において新消防分署を設置するための整備を進めました。</p> <p>また、ソフト面では、消防隊のレベルアップを図るため、消防大学校などの教育専門機関に職員を派遣するとともに、様々な災害を想定した災害対応訓練を実施し、消防隊員の能力向上に努めました。</p> | | | | |

○消防車の出動指令から放水開始までの時間

| 暦 年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実 績 | 8分22秒 | 8分21秒 | 8分20秒 | 8分17秒 | 9分03秒 |

| | | | | | |
|-----|--|-----|------|-----|-------|
| 目 的 | 一人でも多くの市民の命を守る救急体制とする | | | | |
| 指 標 | 出動指令から救急車が現場到着するまでの時間 (5分を超えると救命率が低下する) | 目 標 | 5分以内 | 実 績 | 6分07秒 |
| 説 明 | <p>平成28年の救急出動件数は14,307件で、前年に比べ106件の減少となり、1日の平均出動件数は39.1件で37分に1回、救急車が出動したこととなりました。</p> <p>出動指令から救急車が現場到着するまでの平均時間は、救急出動の輻輳や交通事情の影響などにより、前年に比べ9秒遅れの6分07秒となりましたが、今後も更なる救急需用の増大が見込まれることから、新消防分署の整備などによる現場到着時間の短縮や医療機関へ収容するまでの時間の短縮に向けた取り組みを推進します。</p> <p>また、救急救命士をはじめとする救急隊員の処置技術の向上を目的として市立四日市病院に設置した救急ワークステーションでは、引き続き市立四日市病院との連携を強化するとともに、指導救命士の養成や派遣を行うことにより、研修内容の充実を図り、高度な救急サービスの提供による救命率の向上を目指します。</p> | | | | |

○救急車の出動指令から現場到着までの時間

| 暦 年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実 績 | 5分49秒 | 5分52秒 | 5分54秒 | 5分58秒 | 6分07秒 |

| | | | |
|-------------------|-------------|--------|--------------|
| 〔職員資格研修費〕 | 23,267,354円 | (その他特財 | 879,977円) |
| 〔消防庁舎等施設管理費〕 | 77,429,305円 | (その他特財 | 15,543,795円) |
| 〔消防車両管理費〕 | 77,849,853円 | | |
| 〔防火水槽等管理費〕 | 532,904円 | | |
| 〔消防関係事業活動費〕 | 3,737,012円 | | |
| 〔救急関係事業活動費〕 | 10,755,273円 | | |
| 〔上水道消火栓新設補修費〕 | 18,445,547円 | | |
| 〔朝日・川越二町事務受託管理費〕 | 10,513,152円 | (その他特財 | 10,513,152円) |
| 〔貸与被服費〕 | 20,127,277円 | (県支出金 | 6,400,000円) |
| 〔消防指令センター共同運用事業費〕 | 10,977,480円 | (その他特財 | 2,330,847円) |

| | | | | | |
|-----|---|-----|-----------------|-----|-----|
| 目 的 | 火災を予防する | | | | |
| 指 標 | 出火率 (人口1万人あたりの出火件数) | 目 標 | 過去5年平均(3.3)を下回る | 実 績 | 3.1 |
| 説 明 | <p>平成28年の火災は105件で、過去10年間で最も件数が少なかった前年と比較して20件の増加となりましたが、出火率は目標を達成することができました。火災予防業務としては、市民・事業所に対する防火思想の普及啓発のため、火災予防運動等を実施したほか、立入検査や訓練指導を実施しました。</p> <p>特に、立入検査については、ホテル、社会福祉施設、病院、百貨店などの不特定多数の人が利用する防火対象物やコンビナート事業所などの危険物施設を中心に実施するとともに、火災予防条例の一部を改正して、消防法令の重大な違反対象物を公表する制度を創設しました。(平成29年10月1日施行)</p> <p>また、住宅用火災警報器の適正な維持管理や放火防止対策等の住宅防火についても、出前講座やイベントなどで広報を実施し、防火意識の啓発に努めました。</p> | | | | |

○人口1万人当たりの出火件数

| 暦 年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出火率 | 4.0 | 2.8 | 3.3 | 2.5 | 3.1 |

| | | | |
|----------------|-------------|--------|--------------|
| 〔火災予防運動活動費〕 | 1,007,677円 | | |
| 〔防火協会補助金〕 | 90,000円 | | |
| 〔危険物保安技術審査委託費〕 | 34,386,000円 | (その他特財 | 34,386,000円) |

その他経費

| | | | |
|-------------------|-------------|--------|--------------|
| 〔福利厚生費〕 | 4,340,873円 | | |
| 〔出初式関係経費〕 | 1,008,420円 | (その他特財 | 1,008,420円) |
| 〔消防音楽隊活動費〕 | 2,505,474円 | | |
| 〔負担金〕 | 22,220,355円 | (その他特財 | 8,795,607円) |
| ・消防救急無線管理運用に係る負担金 | 12,027,255円 | | |
| ・三重県防災航空隊負担金 | 8,656,000円 | | |
| ・防災行政無線運営協議会負担金 | 774,000円 | | |
| ・全国消防長会負担金等 | 763,100円 | | |
| 〔一般経費〕 | 13,213,969円 | (その他特財 | 13,177,969円) |
| | | (県支出金 | 36,000円) |
| 〔サミット消防特別警戒対策費〕 | 4,419,146円 | (県支出金 | 4,419,146円) |

目2 非常備消防費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 136,802,000円 | 120,582,083円 | 88.1% | 0円 | 16,219,917円 |

○消防団訓練・研修実施状況

(単位：名)

| 種別 | 実施機関 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|---------------------------|-----------|--------|--------|--------|
| 初任科 | 消防本部・各消防署 | 21 | 19 | 35 |
| リーダー研修 (平成26、27年度は幹部科) | | 51 | 57 | 38 |
| 機関員科 | | 55 | 61 | 52 |
| 応急手当指導員(新規) | | 20 | 17 | 37 |
| 普通科、指導員科、幹部科 | 三重県消防学校 | 3 | 3 | 3 |

| | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| 〔一般管理費〕 | 58,120,402円 | (その他特財 | 2,592円) |
| 〔非常勤職員報酬〕 | 16,439,097円 | | |
| 〔団員等研修費〕 | 1,076,040円 | (その他特財 | 3,370円) |
| 〔分団消防施設管理費〕 | 1,736,422円 | (その他特財 | 35,889円) |
| 〔分団消防車両管理費〕 | 1,816,526円 | | |
| 〔団消防操法大会関係経費〕 | 313,369円 | | |
| 〔消防団運営交付金〕 | 5,850,000円 | | |
| 〔団員等公務災害補償費〕 | 2,168,069円 | (その他特財 | 2,163,893円) |
| 〔団員退職報償金〕 | 10,615,410円 | (その他特財 | 9,087,000円) |
| 〔団員等福利厚生費〕 | 969,840円 | | |
| 〔貸与被服費〕 | 6,144,325円 | | |
| 〔四日市市老朽化施設整備事業補助金〕 | 524,772円 | | |
| 〔負担金〕 | | 14,807,811円 | |
| ・消防団員等公務災害補償等共済基金負担金 | | 14,170,811円 | |
| ・三重県消防協会北勢支会負担金 | | 637,000円 | |

目3 消防施設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 704,044,203円 | 697,306,001円 | 99.0% | 0円 | 6,738,202円 |

●【明計繰越】

- 〔新消防分署整備事業費〕 39,339,040円
 - ・(仮称)南部消防分署造成工事
- 〔耐震性貯水槽整備事業費〕 15,918,800円
 - ・耐震性貯水槽設置工事(生桑町)

| 目的 | 消防力の強化、消防救急体制の充実を図る | | | | |
|----|--|----|---------------|----|----------------|
| 指標 | 消防ポンプ自動車の充足率(常備) | 目標 | 100% (14台) | 実績 | 92.9% (13台) |
| 説明 | <p>国が定める消防力の整備指針では、人口、面積、建築物の構造、道路事情等の地域の実情に応じて消防署所、消防ポンプ自動車、はしご車、救急車等の整備数が定められており、平成28年度は消防車両更新計画に基づき、車両4台を最新型の高機能車両に更新するとともに、南消防署南部分署に消防ポンプ自動車と高規格救急車を配備して消防力の強化を図りました。</p> <p>また、消防活動の拠点となる消防署所についても、平成28年度は南消防署南部分署の造成及び建築工事や配備車両の購入を行うとともに、平成30年度に開署を予定している(仮称)北部消防分署の造成工事を行いました。</p> <p>更に、消防救急無線のデジタル化に併せ、四日市市、桑名市、菰野町の3消防本部共同による三重北消防指令センターの運用を開始するとともに、老朽化した消防分団車庫の改築等を行いました。</p> <p>また、震災時の消防水利を確保するため、整備計画に基づき、耐震性貯水槽を設置しました。</p> | | | | |

- 〔新消防分署整備事業費〕 475,809,735円 (市債 245,800,000円)
(県支出金 30,000,000円)
 - ・(仮称)南部消防分署整備事業(建築工事、車両(2台)購入等) 301,965,641円
 - ・(仮称)北部消防分署整備事業(造成工事等) 173,844,094円
- 〔消防救急無線デジタル化及び新消防指令センター整備事業費〕 1,589,520円 (その他特財 147,046円)
- 〔消防車両購入費〕 89,182,750円 (県支出金 48,500,000円)
 - ・水槽付消防ポンプ自動車(南消防署) 44,718,820円
 - ・高規格救急自動車2台(南消防署西南出張所、朝日川越分署) 41,847,200円 (その他特財 19,056,349円)
 - ・公用車(総務課) 2,616,730円
- 〔消防活動用機器整備費〕 4,232,844円 (県支出金 2,800,000円)
 - ・消防用ホース(76本) 3,183,948円
 - ・水難救助用資機材 1,048,896円
- 〔庁舎整備事業費(アセットマネジメント)〕 6,789,960円
 - ・吊天井崩落対策工事(中央分署)
- 〔分団等整備事業費〕 31,183,232円
 - ・橋北分団車庫改築工事設計業務委託等 2,222,200円
 - ・日永分団車庫改築工事等 27,049,432円
 - ・神前分団車庫解体工事 1,911,600円
- 〔耐震性貯水槽整備事業費〕 33,260,120円 (市債 8,700,000円)
(県支出金 8,287,000円)
 - ・耐震性貯水槽設置工事(生桑町) 5,987,920円
 - ・耐震性貯水槽設置工事(別名四丁目) 17,321,080円
 - ・耐震性貯水槽設置工事(六名町) 9,255,600円
 - ・地質調査 695,520円

目 4 水防費

| | | | | |
|------------|----------|----------------|--------|----------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 1,177,000円 | 933,066円 | 79.3% | 0円 | 243,934円 |

(危機管理室)

| | | | | | |
|-----|--|-----|------|-----|-----------------|
| 目 的 | 水防活動における初動体制の向上を図る | | | | |
| 指 標 | 水防訓練の実施回数 | 目 標 | 2回以上 | 実 績 | 3回 (27年度 3回) |
| 説 明 | <p>本市においては、地震や津波に加え風水害による被害も懸念されることから、四日市市防災大学や市民総ぐるみ総合防災訓練において水防訓練を行い、参加者に土のうの作り方等について指導を行いました。また、市職員についても風水害時に出勤する機会があることから、水防訓練を実施し、水防活動における基本事項等の指導を行いました。</p> <p>水防倉庫については、市民が水防倉庫内の資機材内容を把握した上で災害時に迅速な水防活動を行えるよう、地区の自主防災組織等に点検を委託し、適正な管理に努めました。</p> <p>そのほか、各地区内の防災訓練の際に土のうの作成方法を学んでもらうため、要望があった地域(16箇所)に対して川砂を搬入しました。</p> | | | | |

| | |
|------------|----------|
| [水防事業費] | 933,066円 |
| ・水防設備整備事業費 | 334,368円 |
| 水防倉庫資機材整備 | |
| ・水防活動事業費 | 598,698円 |
| 土のう用砂 | |

款10 教育費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------------|--------------|
| 11,084,709,200円 | 10,149,384,504円 | 91.6% | 786,551,330円 | 148,773,366円 |

項1 教育総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 2,386,770,000円 | 2,346,127,008円 | 98.3% | 0円 | 40,642,992円 |

目1 教育委員会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 3,547,000円 | 2,838,853円 | 80.0% | 0円 | 708,147円 |

(教育総務課)

| 目的 | 教育委員会会議・教育懇談会の円滑な運営 | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 指標 | 教育懇談会開催回数 | 目標 | 9回以上 | 実績 | 7回 (27年度 7回) |
| | そのうち、保護者や地域住民からの意見聴取回数 | | 3回/9回以上 | | 4回/7回 (27年度 4回/7回) |
| 説明 | <p>教育委員会会議を16回開催し、条例・規則の改正や重要施策に関する審議等を行いました。また、三重県市町教育委員会連絡協議会等が主催する研修に教育委員が参加し、教育委員としての資質の向上に努めました。</p> <p>教育懇談会を7回開催し、本市教育の重要課題や懸案事項等に対する認識を深めました。学校教育分野においては、三滝中学校のYEFを活用した英語教育、笹川東小学校・笹川西小学校の新しい学校づくりを視察し、それぞれの教育課題等について校長や関係者等と意見交換を行いました。</p> <p>また、新図書館整備に向けて、図書館協議会委員と議論を行ったほか、市外の先進地視察として小牧市立北里中学校と一宮市立図書館を訪問しました。</p> | | | | |

〔委員報酬〕 1,872,000円

・教育委員 委員 4人

その他経費

| | |
|------------------|----------|
| 〔負担金〕 | 497,660円 |
| ・三重県市町教育委員会連絡協議会 | 384,660円 |
| ・三重県都市教育長会 | 55,000円 |
| ・全国都市教育長会等 | 58,000円 |
| 〔一般経費〕 | 469,193円 |

目2 事務局費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 1,239,984,000円 | 1,224,628,832円 | 98.8% | 0円 | 15,355,168円 |

〔特別職給〕 1人 14,770,721円

〔一般職給〕 81人 819,843,149円

〔嘱託職給〕 15人 51,145,311円

(教育総務課)

〔退職手当〕 162,253,669円

・定年退職 6人 142,542,944円

・勸奨退職・普通退職 2人 19,710,725円

| | | |
|-------------|----|------------|
| [退職一時金] | 2人 | 84,688円 |
| [事務局管理運営費] | | 2,614,977円 |
| ・職員健康管理費 | | 2,014,977円 |
| ・教育問題法律相談事業 | | 600,000円 |

その他経費

| | | |
|----------------------------|-------------|--------------------|
| [事務局管理運営費] | 73,068,195円 | (その他特財 1,731,431円) |
| ・一般経費(産休・育休・病気休職代替臨時職員賃金等) | | |

(保育幼稚園課)

| | |
|----------------|-------------|
| [事務局管理運営費] | 11,328,347円 |
| ・職員健康管理費 | 25,272円 |
| ・一般経費(臨時職員賃金等) | 11,303,075円 |

(教育施設課)

| | | |
|--------------------------|--------------|------------------|
| [学校施設整備基金積立金] | 100,848,122円 | (その他特財 848,122円) |
| (H28年度末残高1,587,992,272円) | | |

目3 教育振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 906,495,000円 | 894,018,716円 | 98.6% | 0円 | 12,476,284円 |

(教育総務課)

| | | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| [教育環境課題解決方策策定事業費] | 3,672,530円 | |
| [スクールバス運行事業費] | 2,488,320円 | |
| [学校規模等適正化事業費] | 799,200円 | |
| [学校評価等推進事業費] | 226,220円 | |
| [学校プール運営委託費] | 2,556,580円 | |
| [奨学資金] | 2,570,400円 | |
| [私立学校等振興助成費] | 10,275,500円 | |
| ・私立学校等運営費補助金 | | |
| [科学教育奨学資金] | 1,200,000円 | (その他特財 1,200,000円) |
| [小菅科学教育振興基金積立金] | 15,632円 | (その他特財 15,632円) |
| (H28年度末残高 28,637,748円) | | |

(指導課)

| | | | | | |
|----|---|----|--------------------------|----|--|
| 目的 | 小中学校教育の充実 | | | | |
| 指標 | 「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに、肯定的回答をした児童生徒の割合 | 目標 | 小学校平均95%以上 中学校平均85%以上 | 実績 | 小学校平均91.4% (27年度小学校平均89.5%) 中学校平均81.3% (27年度中学校平均79.3%) |
| 説明 | <p>学びの一体化推進事業では、2中学校区を教育実践研究推進校区に指定し、調査研究を行いました。また、各中学校区におけるキャリア教育の推進、小学校高学年における一部教科担任制、乗り入れ授業を実施したほか、地域と連携した行事や授業を通じた園児児童生徒間及び教師間の交流等、実践的協働的な取り組みを進めました。</p> <p>学力の定着状況を把握するため、小学校5年及び中学校1・2年に学力到達度検査(CRT)を実施し、その結果について、小学校6年及び中学校3年実施の全国学力・学習状況調査の結果とともに各校において分析の上、各中学校区で各校の「強み」と「弱み」を共有し、小中学校が連携した指導改善・授業改善等につなげています。</p> <p>中学生スピーチコンテスト事業では、言語活動の充実を図る場としてTHE BENRONを開催しました。学校づくりビジョン推進事業では、各小中学校が策定した「学校づくりビジョン」に基づく各学校における特色ある教育活動を支援しました。</p> | | | | |

学校英語教育充実事業では、小学校外国語活動協力校を4校指定し、1年生～4年生における年間10時間の外国語活動を実施しました。また、英語を母語とする英語指導員を全小中学校に派遣したり、1中学校区を英語教育推進校区とし小学校2校に専科教員を配置して、学級担任や英語教員との効果的な指導体制・指導方法の工夫による小学校外国語活動・英語教育を推進しています。

学校図書館いきいき推進事業では、業務委託による図書館司書を市内全小中学校に週1回以上派遣し、多様な読書活動の推進、授業支援や家庭読書支援を進めています。また、読書活動推進校では、1分間コメントや学校図書館の授業での活用等の取り組みも推進しています。

外国人幼児児童生徒教育事業では、日本語指導が必要な外国人児童生徒が多く在籍する学校へ適応指導員を配置し、初期適応指導とともに学習言語の指導に注力し、日本語習得及び教科の理解力の育成を図っています。また、外国人児童生徒の進学支援を目的とした高校への進学ガイダンスにも適応指導員を派遣しています。

| | |
|--|--------------------------------|
| [児童生徒指導事業費] | 979,900円 |
| ・文化庁活動奨励費補助金 | 379,900円 |
| 第71回東海吹奏楽コンクール南中 他1件 | |
| ・道徳教育総合支援事業費 | 600,000円 (県支出金 600,000円) |
| [保・幼・小・中一貫教育推進事業費] | 32,327,360円 |
| ・学びの一体化推進事業費 (学びの一体化推進協力校区経費、基礎学力到達度検査診断料等) | |
| [学校づくりビジョン推進事業費] | 33,645,092円 |
| 全市立小中学校60校 1校当たり189,934円～650,000円 | |
| [学校英語教育充実事業費] | 79,500,369円 (その他特財 6,908,572円) |
| 米国ロングビーチ市などからの英語指導員11人、業者派遣による英語指導員 8人 | |
| [多文化共生教育推進事業費] | 59,598,338円 (県支出金 3,814,000円) |
| ・外国人幼児児童生徒教育事業費 (適応指導員報償費、初期適応指導教室「いずみ」指導員賃金等) | |
| [学校図書館いきいき推進事業費] | 38,710,653円 |
| 全市立小中学校60校に司書を派遣 1校当たり週1回以上 1回6時間 年平均48.33回 | |
| [自然教室事業費] | 21,020,255円 |
| 小学校5年生 (1泊2日) 2,580人 中学校1年生 (2泊3日) 2,726人 | |
| [中学生スピーチコンテスト開催事業費] | 259,632円 |
| 中学生スピーチコンテスト「THE BENRON」開催 | |

| | | | | | |
|----|---|----|----------|----|----------------------|
| 目的 | 生徒指導の充実 | | | | |
| 指標 | 週1日スクールカウンセラーを配置した小学校数 | 目標 | 小学校30校以上 | 実績 | 小学校30校 (27年度 小学校28校) |
| 説明 | <p>全小中学校へスクールカウンセラー (臨床心理士等) を継続配置し、不登校やいじめ問題をはじめとする生徒指導上の課題に対応することができました。また、生徒指導委員会や特別支援委員会等にスクールカウンセラーが参加できる体制づくりを進め、専門的な立場から助言をいただくことで、教員が児童生徒や保護者等からの相談に対して適切な対応をとることができました。緊急支援として、ハートサポーター (臨床心理士) を学校や家庭に派遣し、相談体制のより一層の充実に努めました。</p> <p>また、Q-U調査 (※) やいじめ調査等を実施することで、いじめや不登校の未然防止、早期発見及び早期対応に努めました。</p> <p>さらに、スクールソーシャルワーカー (社会福祉士等) を学校や家庭に派遣し、学校・家庭・地域や関係機関 (警察・福祉・医療) との連携を強化し、学校内だけでは解決の難しい課題への早期対応を図りました。</p> <p>※「Q-U調査」・・・児童生徒の学級生活の満足度や学校生活への意欲等を診断する調査</p> | | | | |

| | |
|-------------------|----------------------------------|
| [途切れない指導・支援事業費] | 31,537,286円 |
| ・生徒指導・教育相談事業費 | |
| スクールカウンセラー | 小学校28校に配置 1校年間192時間 |
| ハートサポーター | ※上記の実績30校のうち、28校は市単、2校は国・県費による配置 |
| スクールソーシャルワーカー | 要請により小中学校へ派遣 延べ117回 |
| Q-U調査 | 小中学校に210時間派遣 |
| [委員報酬] | 小学校4年～中学校3年を対象に年2回実施 |
| ・四日市市いじめ問題対策調査委員会 | 4人 128,000円 |
| [いじめ等対策事業費] | 294,520円 |

| | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|-----------------------|
| 目的 | 地域とともにつくる学校の推進 | | | | |
| 指標 | コミュニティスクール指定校 | 目標 | 小中学校27校以上 | 実績 | 小中学校27校 (27年度 20校) |
| 説明 | <p>四日市版コミュニティスクールの指定校では、学校と保護者・地域の委員等で構成される運営協議会において、各校の学校づくりビジョンの実現に向けて、主体的な活動を進めています。また、学校は運営協議会の意見を積極的に取り入れ、教育活動の改善に努めています。</p> <p>運営協議会を核とした地域の豊富な知識・技術・経験等を有する人材や教育資源を活用した学校支援の取組を通して、学校運営や教育活動の充実を図るため、「地域とともにつくる学校づくり」を進めています。</p> <p>また、学校・保護者・地域が協働する取組の充実を図ることで、児童生徒の地域活動への参加や地域の方との交流が進み、地域コミュニティづくりの一端を担うことにつながっています。</p> | | | | |

[開かれた学校づくり推進事業費] 3,373,823円
 ・四日市版コミュニティスクール推進事業費

その他経費

[教育振興一般経費] 3,865,256円

(保育幼稚園課)

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 幼稚園教育の充実 | | | | |
| 指標 | 保護者の教育に対する満足度が「概ね十分」以上の回答率 | 目標 | 平均96.5%以上 | 実績 | 平均97.8% (27年度 平均97.9%) |
| 説明 | <p>幼稚園教諭としての資質向上を図り、教育内容の充実に努めました。また、公立幼稚園において子育て支援の場（あそび会）を設け、保護者からの子育て相談を行うなど、就学前の子どもと保護者に対する支援に努めました。</p> | | | | |

[子育て支援推進事業費] 3,566,821円
 ・園づくり支援事業費
 [人権教育指導者・リーダー育成充実事業費] 86,184円
 ・学校人権教育推進事業費

(学校教育課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 基礎学力の充実（市単独事業による講師採用の充実） | | | | |
| 指標 | 少人数授業の充実度の評価（3以上の学校） | 目標 | 95%以上 | 実績 | 97% (27年度 95%) |
| 説明 | <p>きめ細かい指導による基礎学力の定着及び教育課題等の解決を目指して、少人数で授業を行うことができるように非常勤講師を配置しています。また、小中学校1年生で30人以下学級編制が実施できるよう、市費での常勤講師を配置しました。個々の児童生徒に目が行き届き、落ち着いた学習環境のもとで学習を進めた結果、学力向上にもつながりました。今後も常勤講師の配置をはじめ、教育アドバイザーの派遣により講師の授業力を向上させて、基礎学力の充実を図っていきます。</p> | | | | |

[少人数学級拡充事業費] 91,088,318円
 [学校教育アシスト事業費] 145,874,789円

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|-----------------------------------|
| 目的 | 特別支援教育の充実（介助員・支援員の適正な配置） | | | | |
| 指標 | 介助員・支援員の人数 | 目標 | 122人以上 | 実績 | 144人（介助員122、支援員22） (27年度 137人) |
| 説明 | <p>特別支援学級に在籍し、移動・身辺処理・安全配慮及び校外活動時に関して介助を要する児童生徒に対し、特別支援学級介助員を配置しました。また、通常の学級に在籍し、学習障害(LD)、注意欠如／多動性障害(ADHD)、高機能自閉症などにより、生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、学習等の支援を行うため、特別支援教育支援員の配置を行いました。今後も教育的ニーズに応じた支援体制の構築をめざします。</p> | | | | |

[特別支援教育介助員費] 126,359,301円
 [特別支援教育支援員費] 13,976,113円

| | |
|----------------|------------|
| [特別支援教育推進事業費] | 4,145,908円 |
| [校外活動代替養護介助員費] | 1,830,741円 |

その他経費

| | |
|----------------|-------------|
| [学校教育IT推進事業費] | 41,382,972円 |
| [学校図書館システム事業費] | 234,360円 |
| [保健給食費] | 2,519,581円 |
| ・保健給食研修費 | 85,230円 |
| ・保健給食一般経費 | 1,446,750円 |
| ・環境衛生検査室管理費 | 599,601円 |
| ・四日市学校保健会補助金 | 388,000円 |
| [学校給食管理運営費] | 2,853,967円 |
| [負担金] | 628,090円 |
| 三重県特別支援教育研究会等 | |

(人権・同和教育課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 学校人権教育の推進・充実 | | | | |
| 指標 | 子ども人権フォーラムや研修会等で活用された人権教育リーダーの数 | 目標 | 40人以上 | 実績 | 79人 (27年度 63人) |
| 説明 | <p>小中学校の教職員を対象とした人権教育リーダー育成研修会（3回連続講座）のほか、人権教育実践研修会及び前年度の人権教育リーダー育成研修受講生を中心に人権教育リーダーフォローアップ研修を実施し、人材育成を図りました。人権教育リーダーフォローアップ研修受講者は、「学校人権教育推進人材バンク」へ登録し、校内の職員研修における講師のほか、中学校ブロック「子ども人権フォーラム」における指導などの実践を行いました。</p> <p>人権教育推進校指定事業を10校で実施し、人権教育カリキュラムの整備を進めました。</p> <p>また、中学校ブロック人権文化創造事業においては、各ブロックで小中学校が連携して「子ども人権フォーラム」を実施し、児童・生徒が主体的に企画・運営する取り組みを進めました。</p> | | | | |

| | |
|--|------------|
| [人権教育指導者・リーダー育成充実事業費] | 2,381,794円 |
| ・学校人権教育リーダー育成事業費 | 425,280円 |
| 学校人権教育リーダー育成研修会 | 338,320円 |
| 31小中学校の人権教育担当教員各1人及び希望者3人に3回連続講座、平成27年度受講生を中心に28人に対してフォローアップ研修を実施 | |
| 学校教職員人権研修会 | 86,960円 |
| 人権教育推進委員研修会、小中学校人権教育実践研修会、人権教育初任者・転入者研修会等を実施 | |
| ・学校人権教育推進事業費 | 1,596,514円 |
| 人権教育推進校指定事業 | 498,273円 |
| 8小学校・2中学校が人権教育カリキュラム・学習プログラムの研究を実施 | |
| 中学校ブロック人権文化創造事業 | 1,098,241円 |
| 「人権教育推進校区連絡協議会」を22中学校ブロックそれぞれに組織し、関係校園等による情報交換会や合同研修会、小中学校代表児童生徒による「子ども人権フォーラム」を実施 | |

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|------------------|
| 目的 | 地域の児童・生徒の自主自立支援 | | | | |
| 指標 | 子どもによる活動の地域発表回数 | 目標 | 25回以上 | 実績 | 28回 (27年度28回) |
| 説明 | <p>家庭、地域、学校・園が連携して子どもたちを取り巻く状況や課題を共有し、人権問題に対する正しい理解や差別をなくそうとする実践力の育成と、学力・学習習慣の定着を図り自己実現を支援するため、子ども人権文化創造事業及び自己実現支援事業を4地域（保々・神前・常磐・日永）に委託して実施しました。人権劇や太鼓演奏など各地域での多様な取り組みや発表の機会を通して、子どもたちの学習意欲と自尊感情が高まるとともに、人権尊重を基本にした子どもを育てるための環境づくりを推進することができました。</p> <p>また、地域住民、学校等が連携して教育上の配慮を必要とする児童・生徒への学習支援に取り組む西笹川中学校区、三重平中学校区、中部中学校区の子どもの教室への県事業を活用した支援や、6中学校区において、学校・家庭・地域の連携体制である「子ども支援ネットワーク」を活用して学習環境が整わない子どもの自尊感情や学習意欲の向上等に取り組みました。</p> | | | | |

| | |
|--|---------------------------------------|
| 〔子ども人権文化創造事業費〕 | 4,260,688円 |
| ・子ども人権文化創造事業委託費 | 3,787,000円 |
| 地域人権教育推進活動 | 2,407,766円 |
| 人権学習会・なかまづくり活動等実施（4地域平均） | 126回、指導者延べ人数 2,035人 |
| キッズ・スクール活動 | 788,547円 |
| 文化・スポーツ・レクリエーション活動実施（4地域平均） | 12回、指導者延べ人数 206人 |
| 子どもの居場所づくり活動 | 590,687円 |
| 児童集会所開放実施（3地域平均） | 258回、支援者（ボランティア）延べ人数 811人（年度途中で1地域開始） |
| ・学習機材・資料充実費等 | 473,688円 |
| パソコン、インターネット等学習環境整備（各人権プラザ） | |
| 〔自己実現支援事業費〕 | 2,164,000円 |
| 自主学习支援活動 | 1,686,300円 |
| 学習会実施（4地域平均） | 71回、指導者延べ人数 879人 |
| 進路・就労につながる出会い・体験活動 | 477,700円 |
| 社会見学、働く人々の講演会実施（4地域平均） | 6回、指導者延べ人数 53人 |
| 〔学校支援地域本部推進事業〕 | 1,500,000円（県支出金 1,000,000円） |
| 「笹川子ども教室」支援実施 | 222回、指導者延べ人数 1,089人 |
| 「地域子ども教室」支援実施 | 60回、指導者延べ人数 338人 |
| 「中部子ども教室」支援実施 | 50回、指導者延べ人数 165人 |
| 〔子ども支援ネットワーク・グローイングアップ事業〕 | 360,000円（県支出金 360,000円） |
| 港中学校区、塩浜中学校区、西陵中学校区、三滝中学校区、大池中学校区、羽津中学校区の「子ども支援ネットワーク」を活用し、学習支援活動や人権講演会を実施 | |
| 〔人権教育研究指定校事業費〕 | 180,000円（県支出金 180,000円） |
| 楠小学校区において、人権教育カリキュラムのあり方や内容を検証し、授業の公開などを通して市内・県内の学校・園に発信 | |

その他経費

| | |
|----------------------|------------|
| 〔人権学習機会提供・充実事業費〕 | 1,391,470円 |
| ・研修派遣、ポスター・カレンダー、作文集 | |
| 〔人権教育・学習環境整備事業費〕 | 441,610円 |
| ・人権学習教材他 | |
| 〔自主人権活動支援・充実事業費〕 | 1,200,000円 |
| ・四日市人権・同和教育研究会事業費補助金 | |
| 〔一般経費〕 | 420,002円 |

（教育支援課）

| | |
|--------------------------|---------------------|
| 〔四日市こども科学セミナー事業費〕 | 2,814,731円 |
| セミナー開催講師報償費、会場使用料等 | |
| 〔大学及び企業等との連携による教師力向上事業費〕 | 1,641,210円 |
| 大学連携による校内研修 | 幼稚園18回、小学校56回、中学校6回 |
| 企業等連携による授業 | 小学校13回、中学校9回 |

その他経費

| | |
|------------|------------|
| 〔負担金〕 | 2,316,000円 |
| ・三泗教育発表振興会 | |

（健康福祉課）

| | |
|-----------------|--------------|
| 〔四日市看護医療大学奨学資金〕 | 109,715,200円 |
|-----------------|--------------|

目4 教育・視聴覚センター費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 236,744,000円 | 224,640,607円 | 94.9% | 0円 | 12,103,393円 |

(教育支援課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|----------------------|
| 目的 | 乳幼児期から学校卒業後を見通した「途切れのない支援」の充実 | | | | |
| 指標 | 特別支援教育に関する校内・外の研修を年3回以上受講した教員の割合 (%) | 目標 | 40%以上 | 実績 | 34.6% (27年度39.7%) |
| 説明 | <p>特別支援教育推進の中心的役割を担う人材の育成を目指して、計画的に特別支援教育指導者養成講座を行っています。本講座は2年間の連続講座で、1年目は講義・演習を6回、2年目はフォローアップの実践研修(巡回相談への同行等)を6回程度行いました。</p> <p>特別支援学級担任を対象として「担任研修会」を1回、及び「進路指導研修会」を2回、校内コーディネーターを対象として「担当者研修会」を3回実施しました。また、特別支援教育講座を3講座開設し、教室で困っていたり配慮が必要になったりする子どもの発達上の課題やその背景、及び具体的な支援について理解を深めることができました。加えて、特別支援教育・相談グループの指導主事が、その学校のニーズに応じた内容で講師を務める校内研修会や、少人数で特別支援教育の基礎的な知識を学ぶことができる出前研修も行いました。</p> <p>適応指導教室では、個別指導から集団指導への移行が円滑に進まず、個別の指導が長期化するケースが増えてきています。個々の不登校児童生徒のアセスメントや支援計画等、学校との連携を深め、早期対応に努めました。</p> | | | | |

| | |
|---------------------|------------------------------|
| 〔途切れのない指導・支援事業費〕 | 14,666,071円 |
| ・委員報酬(就学支援委員会) | 183,600円 |
| ・特別支援教育・相談事業費 | 7,513,825円 |
| ・適応指導教室事業費 | 6,517,870円(その他特財 1,140,000円) |
| ・不登校児童生徒支援ボランティア事業費 | 450,776円 |

○相談件数等

| | | |
|--------|--------|--------|
| 来所相談回数 | 来所相談者数 | 訪問相談回数 |
| 1,320回 | 2,170人 | 1,107回 |

○適応指導教室通級生の状況

| | | | | | |
|------|---------|-------|-----|-----|----|
| 開級日数 | 通級生 71人 | | | 31人 | 4人 |
| | 復 帰 | | 継 続 | | |
| 194日 | 進級 | 進学・就職 | | | |
| | 13人 | 23人 | | | |

○ふれあいフレンド活動支援状況

| | | |
|--------|------|------|
| 活動内容 | 参加人数 | 活動回数 |
| 学習支援 | 141人 | 116回 |
| 体験活動支援 | 31人 | 24回 |

| | | | | | |
|----|---|----|------|----|-----------------|
| 目的 | 教職員の資質・能力の向上のための研修の充実 | | | | |
| 指標 | 教頭及びミドルリーダーのための研修会の年間実施回数(回) | 目標 | 7回以上 | 実績 | 7回 (27年度 6回) |
| 説明 | <p>教職員のそれぞれの専門性(教科・領域)や、経験年数(ライフステージ)に応じた講座を設定するとともに、講座内容を工夫して、教職員の資質能力向上を図りました。</p> <p>研修体系としては、基本研修(担当者研修)、専門研修(ライフステージ別研修・教科等に関する研修・領域等に関する研修・重点教育課題研修)、特別研修(アカデミック研修・夏季教育セミナー)等に分類した計195講座223日の研修(参加者数7,264人)を実施し、市内教職員全体の指導力向上を図りました。</p> <p>また、初任者の増加に伴った若手教員の育成に重点を置くとともに、学校経営の核となる、ミド</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | ルリーダーやベテラン教員を対象とした講座も企画しました。更に、平成27年度に開設した「若手塾」を継続させ、より具体的なテーマに沿った実践的な研修を実施しました。 今後も、ライフステージに応じた研修や教育課題の解決に向けた研修事業の推進に努めます。 |
|--|--|

| | |
|---------------|----------------------------|
| 〔教育支援事業費〕 | 2,434,620円 |
| ・教職員研修費 | 2,170,170円（その他特財 344,000円） |
| ・三泗乳幼児教育研修事業費 | 264,450円（その他特財 61,000円） |

| | | | | | |
|----|---|----|------|----|-----------------|
| 目的 | ICTを活用した授業の充実 | | | | |
| 指標 | ICTの効果的な活用事例の紹介を行う、市教委主催研修会の実施回数（回） | 目標 | 4回以上 | 実績 | 3回 (27年度 3回) |
| 説明 | 本市のICT環境を活用した授業を推進するため、初任者や市外からの転任者等を対象とした研修会を3回、学校への出前研修等を5回実施しました。また、普通教室でのICT活用を進めるため、中学校の教科書改訂に合わせ、英語科と数学科の新しいデジタル教科書を導入しました。更に、ネットモラルに関する研修講座も継続実施するとともに、教材を更新して必要に応じて活用するよう働きかけました。 | | | | |

| | |
|-----------------|--------------|
| 〔教育情報通信システム運営費〕 | 191,152,515円 |
| ・教育情報通信システム運営費 | 174,558,423円 |
| ・学校図書館ネットワーク事業費 | 16,594,092円 |

その他経費

| | |
|---------------------|------------------------------|
| 〔教育支援事業費〕 | 1,352,554円 |
| ・教育課題研究・調査費 | |
| 〔視聴覚センター事業費〕 | 3,806,000円（その他特財 1,209,360円） |
| ・四日市市立視聴覚センター貸館業務委託 | |
| 〔負担金〕 | 961,000円 |
| ・三泗教育研修運営委員会等 | |
| 〔一般経費〕 | 10,267,847円 |
| ・教育センター関係 | 2,417,972円（その他特財 99,360円） |
| ・視聴覚センター関係 | 7,849,875円 |

項2 小学校費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------------|-------------|
| 2,678,137,200円 | 2,499,180,191円 | 93.3% | 144,100,000円 | 34,857,009円 |

目1 学校管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 1,833,917,000円 | 1,811,225,417円 | 98.8% | 0円 | 22,691,583円 |

| | | |
|---------|-----|--------------|
| 〔一般職給〕 | 39人 | 284,811,993円 |
| 〔再任用職給〕 | 1人 | 4,519,226円 |
| 〔嘱託職給〕 | 37人 | 134,743,513円 |

(教育総務課)

| | |
|--------------------------|-------------|
| 〔学校管理運営費〕 | 91,991,191円 |
| ・一般管理運営費（事務補助及び給食調理員賃金等） | |

(学校教育課)

| | | | | | |
|----|---------------------------------|----|------|----|-------------------|
| 目的 | 学校保健の充実 | | | | |
| 指標 | 学校三師の知見を活用した学校保健委員会や研修会を開催した学校数 | 目標 | 全38校 | 実績 | 33校 (27年度 33校) |

| | |
|----|--|
| 説明 | <p>各学校では、健康教育の推進を図り、児童が健康で安全な生活を送ることができるよう、学校、家庭及び地域の保健関係機関等の連携により学校保健委員会を開催しています。</p> <p>平成28年度も、医師会、歯科医師会、薬剤師会との協議を重ね、三師の専門的な知見を活用し、学校保健委員会の充実を図るよう、各学校へ周知しましたが、議題やテーマによっては三師の知見が活用できなかった学校もありました。</p> <p>今後、学校と学校三師において学校保健にかかる情報共有や、連携をより緊密にするとともに、学校三師の専門的な立場からの指導・助言を活用した健康教育を行うとともに、学校保健委員会や研修会での三師の知見の確実な活用を図ります。</p> <p>また、各学校において、日常的に効果的な保健活動を展開できるように、三師と連携した保健だよりの作成等、三師の知見を活用した保健指導も進めていきます。</p> |
|----|--|

| | |
|---------------------------|------------------------------|
| [非常勤職員報酬] | 43,277,550円 |
| ・校医 45人 | 21,989,950円 |
| ・歯科医 45人 | 17,029,400円 |
| ・薬剤師 38人 | 4,258,200円 |
| [学校保健衛生管理費] | 60,081,048円 |
| ・児童健康診断費 | 35,380,635円 |
| ・教職員健康診断費 | 4,860,885円 |
| ・一般管理運営費（保健用消耗品、災害共済給付金等） | 9,839,528円（その他特財 9,971,904円） |
| [学校管理備品整備費] | 1,062,390円 |
| ・一般保健室備品 | |

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|----------------------|
| 目的 | 食育の教材となる安全安心な給食の提供 | | | | |
| 指標 | 学校給食での地場産物の使用割合（品目） | 目標 | 48.9%以上 | 実績 | 51.1% (27年度42.2%) |
| 説明 | <p>安全・安心な給食を提供するために、みえ地物一番給食の日及び四日市ふるさと給食の日として地場産物を優先的に使用する事業を商工農水部と連携して進めました。</p> <p>平成28年度は、これまで学校給食への食材供給の難しかった一部の青果物の出荷を進め、学校給食での地場産物の使用割合の目標を達成しました。</p> <p>今後も引き続き、地場産物を積極的に利用するとともに、各教科や特別活動と関連させ、学校教育活動全体で食育に関する指導の充実を図り、学校給食が生きた教材になるよう努めていきます。</p> | | | | |

| | |
|---|---------------------------------|
| [学校給食管理運営費] | 416,777,447円 |
| ・学校給食業務運営費 | 19,960,068円 |
| ・なかよし給食事業費 （三重北小・八郷西小、高花平小・小山田小） | 7,013,106円 |
| ・給食調理業務委託費 （中部西小、大谷台小、富田小、八郷小、羽津北小、内部小、常磐小、川島小、内部東小、海蔵小、日永小、桜小、常磐西小） | 335,691,756円（その他特財 48,228,493円） |
| ・給食従事者健康診断費 | 1,115,286円 |
| ・給食一般管理運営費（消耗品、ガス等） | 52,997,231円 |
| [学校管理備品整備費] | 11,050,560円 |
| ・一般給食備品（給食室備品） | |

その他経費

| | |
|--------------------------|-------------------------------|
| [学校管理運営費] | 357,515,254円 |
| ・一般管理運営費（光熱水費等） | 356,001,012円（その他特財 899,685円） |
| ・学校災害賠償補償保険料 | 1,514,242円 |
| [学校管理備品整備費] | 14,737,036円 |
| ・一般備品整備費（印刷機、コピー機等管理備品費） | |
| [負担金] | 17,084,695円 |
| ・日本スポーツ振興センター共済掛金 | 15,158,230円（その他特財 8,031,100円） |
| ・三重県学校保健会 | 276,845円 |
| ・全国連合小学校長会等 | 1,649,620円 |

(教育施設課)

| | |
|----|--------------|
| 目的 | 施設の適切な維持管理整備 |
|----|--------------|

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 指標 | 学校施設についての児童アンケートにおける満足度評価 | 目標 | 70%以上 | 実績 | 74% (27年度 60%) |
| 説明 | 施設の適切な維持管理を行うため、保守点検及び定期的な清掃管理を行いました。施設の補修については、学校からの要望を踏まえた計画的な補修工事を行い、緊急な案件にも適切に対応しました。また、地震等に対する児童の安全性の向上を図るため、窓ガラス飛散防止対策について特別教室への整備を完了しました。今後も施設の適切な維持管理の充実を図るよう努めます。 | | | | |

| | | | | |
|--|--------------|-------|-------------|--|
| [学校管理運営費] | 282,892,218円 | | | |
| ・施設維持管理費 | 99,824,476円 | | | |
| ・施設補修費 | 164,945,308円 | | | |
| 補修工事数 計456件 | | | | |
| ・PFI学校施設管理費 富田小学校 | 18,122,434円 | | | |
| [学習林整備事業費] | 5,655,906円 | (県支出金 | 3,117,000円) | |
| ・塩浜小学校学習林整備業務 | 3,117,906円 | | | |
| ・内部東小学校学習林整備測量・設計業務 | 2,538,000円 | | | |
| [学校防災機能強化事業費] | 43,054,200円 | | | |
| ・窓ガラス飛散防止事業 小学校特別教室(18校) | | | | |
| [通学路交通安全施設整備事業費] | 23,759,530円 | | | |
| (カーブミラー6箇所、転落防止柵2箇所、ガードパイプ2箇所、路面標示187箇所等の整備) | | | | |

その他経費

| | | | |
|-----------------|-------------|--------|-------------|
| [学校管理運営費] | 18,211,660円 | (その他特財 | 1,134,724円) |
| ・一般管理運営費(土地使用料) | | | |

目2 教育振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 137,910,000円 | 134,887,748円 | 97.8% | 0円 | 3,022,252円 |

(学校教育課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|-------------------------|
| 目的 | 学校図書館活動の充実 | | | | |
| 指標 | 1人あたりの年間貸出冊数 | 目標 | 40冊以上 | 実績 | 41.32冊 (27年度 39.45冊) |
| 説明 | 読書活動や調べ学習によって子どもたちが心豊かにたくましく成長できるよう蔵書の整備を図りました。平成28年度末現在の学校図書館の蔵書数は408,181冊となっています。(学校図書館標準の蔵書整備率(※)は117.4%) 今後も子供を取り巻く読書環境を充実させるとともに、読書活動推進校を中心に、学校図書館の有効活用のための協議、情報発信を行い、子どもの読書習慣の形成を図ります。 ※「学校図書館図書標準」…学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの | | | | |
| | [学校図書館図書整備事業費] | | | | 8,996,826円 |

その他経費

| | | | |
|------------------|--------------|--------|-------------|
| [教材・教具整備費] | 1,745,387円 | (国庫支出金 | 872,000円) |
| [要保護準要保護児童就学援助費] | 114,532,400円 | (国庫支出金 | 515,123円) |
| [特別支援教育就学奨励費] | 9,613,135円 | (国庫支出金 | 4,579,000円) |

目3 学校建設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------------|------------|
| 706,310,200円 | 553,067,026円 | 78.3% | 144,100,000円 | 9,143,174円 |

●【明許繰越】

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 〔その他施設整備費〕 | 10,173,200円 |
| ・内部東小学校裏山法面復旧工事 | |
| 〔災害用汚水槽整備事業費〕 | 5,429,138円（国庫支出金 1,645,000円） |
| ・桜小学校災害用便槽整備工事 | |

（教育施設課）

| | | | | | |
|----|---|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 学校施設環境の向上 | | | | |
| 指標 | 学校施設環境整備進捗率 | 目標 | 91.9%以上 | 実績 | 91.9% (27年度 65.0%) |
| 説明 | <p>【校舎改築】環境改善を図るため、ベランダ型校舎である海蔵小学校の改築の設計業務に着手しました。</p> <p>【大規模改修】施設の長寿命化と教育環境の改善を図るため、富洲原小学校において校舎の改修工事を完了し、災害時に避難所ともなる体育館について、三重小学校体育館の改修工事を完了しました。また、平成29年度に改修予定である四郷小学校について設計業務を行いました。</p> <p>【空調設備設置】近年の猛暑に対応し学習環境を向上させるため、平成26年度から開始した特別教室への空調設備整備について、音楽室へ空調設備を設置し、特別教室への設置を完了しました。</p> | | | | |

| | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 〔大規模改修事業費〕 | 197,997,440円（市 債 153,100,000円） |
| ・富洲原小学校大規模改修工事 | 129,391,520円 |
| ・四郷小学校大規模改修工事設計業務委託 | 5,969,160円 |
| ・三重小学校屋内運動場改修工事 | 27,559,440円 |
| ・富洲原小学校小荷物昇降棟増築工事 | 35,077,320円 |
| 〔海蔵小学校改築整備事業費〕 | 33,932,360円 |
| ・海蔵小学校改築工事設計業務委託 | 25,490,000円 |
| ・海蔵小学校仮設校舎設置に伴う設備設計業務委託 | 2,916,000円 |
| ・海蔵小学校地質調査業務委託 | 5,526,360円 |
| 〔空調施設整備事業費〕 | 96,777,720円（国庫支出金 23,868,000円） |
| ・空調設備整備工事(32校) | 93,778,128円 |
| ・小中学校普通教室空調設備整備調査検討業務委託 | 2,999,592円 |

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|-----------------------|
| 目的 | 安全安心の施設整備 | | | | |
| 指標 | 給食室改修・避難施設整備・ 吊天井対策整備率 | 目標 | 87.5%以上 | 実績 | 87.5% (27年度 81.3%) |
| 説明 | <p>【給食室改修】安全安心な学校給食を目標とし、衛生管理強化を図るため、笹川東小学校給食室改修工事を完了し、平成29年度に工事を行う三重北小学校の設計を行いました。</p> <p>【災害用汚水槽整備】災害用仮設トイレを設置するため、内部小学校の浄化槽について災害用便槽整備設計を行いました。</p> | | | | |

| | |
|----------------------|------------------------------|
| 〔給食室改修事業費〕 | 40,145,868円（市 債 24,800,000円） |
| ・笹川東小学校給食室改修ほか工事 | 37,881,108円 |
| ・三重北小学校給食室改修 | 2,264,760円 |
| 〔災害用汚水槽整備事業費〕 | 486,000円 |
| ・内部小学校公共下水接続工事設計業務委託 | |

●【その他経費】

| | |
|----------------------------|--------------|
| 〔その他施設整備費〕 | 119,555,763円 |
| ・中央小学校ほか10校便所洋式化工事 | 9,353,880円 |
| ・日永小学校ほか12校体育館洋式化工事 | 7,494,120円 |
| ・保々小学校ほか1校キュービクル更新工事 | 28,569,600円 |
| ・羽津小学校ほか1校キュービクル更新工事設計業務委託 | 1,026,000円 |
| ・川島小学校進入路補強工事 | 33,874,403円 |
| ・保々小学校ほか1校プール改修工事 | 19,634,400円 |
| ・四郷小学校ほか4校プール改修工事設計業務委託 | 1,009,800円 |
| ・内部東小学校裏山法面復旧工事 | 16,022,120円 |

| | |
|---------------------------------|-------------|
| ・旧三浜小学校通学路フェンス撤去ほか工事 | 988,200円 |
| ・川島小学校小荷物昇降機棟増築工事に伴う計画通知ほか申請手数料 | 176,000円 |
| ・川島小学校小荷物昇降機棟増築工事設計業務委託 | 1,407,240円 |
| [PFI 学校施設整備費] | 39,416,492円 |
| 富田小学校 | |
| [事業事務費] | 9,153,045円 |
| ・一般職給 1人 | 6,342,460円 |
| ・その他事務費 | 2,810,585円 |

項3 中学校費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------------|-------------|
| 2,968,945,000円 | 2,350,991,258円 | 79.2% | 599,424,000円 | 18,529,742円 |

目1 学校管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|-------------|-------------|
| 816,216,000円 | 770,128,109円 | 94.4% | 33,600,000円 | 12,487,891円 |

[嘱託職給] 19人 73,039,524円

(教育総務課)

| | |
|------------------------|------------|
| [学校管理運営費] | 9,354,091円 |
| ・一般管理運営費（事務補助及び用務員賃金等） | 6,065,307円 |
| ・その他一般管理運営費 | 3,288,784円 |

(学校教育課)

| | | | | | |
|----|--|----|------|----|-------------------|
| 目的 | 学校保健の充実 | | | | |
| 指標 | 学校三師の知見を活用した学校保健委員会や研修会を開催した学校数 | 目標 | 全22校 | 実績 | 17校 (27年度 13校) |
| 説明 | <p>各学校では、健康教育の推進を図り、生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、学校、家庭及び地域の保健関係機関等の連携により学校保健委員会を開催しています。</p> <p>平成28年度も、医師会、歯科医師会、薬剤師会との協議を重ね、三師の専門的な知見を活用して、学校保健委員会の充実を図るよう、各学校へ周知し、知見の活用の向上を図りました。</p> <p>今後、学校と学校三師において学校保健にかかる情報共有や、連携をより緊密にするとともに、学校三師の専門的な立場からの指導・助言を活用した健康教育を行うとともに、学校保健委員会や研修会での三師の知見の確実な活用を図ります。</p> <p>また、各学校において、日常的に効果的な保健活動を展開できるように、三師と連携した保健だよりの作成等、三師の知見を活用した保健指導も進めていきます。</p> | | | | |

| | |
|---------------------------|--------------------------------|
| [非常勤職員報酬] | 23,611,568円 |
| ・校医 25人 | 11,961,890円 |
| ・歯科医 25人 | 9,293,478円 |
| ・薬剤師 22人 | 2,356,200円 |
| [学校保健衛生管理費] | 38,165,441円 |
| ・生徒健康診断費 | 14,989,743円 |
| ・教職員健康診断費 | 3,456,331円 |
| ・一般管理運営費（保健用消耗品、災害共済給付金等） | 19,719,367円（その他特財 16,053,089円） |
| [学校管理備品整備費] | 681,156円 |
| ・一般保健室備品 | |

その他経費

| | |
|-----------------|------------------------------|
| [学校管理運営費] | 214,477,567円 |
| ・一般管理運営費（光熱水費等） | 213,668,040円（その他特財 508,654円） |
| ・学校災害賠償補償保険料 | 809,527円 |

| | |
|-----------------------|------------------------------|
| [学校管理備品整備費] | 14,292,988円 |
| ・一般備品（印刷機、コピー機等管理備品費） | |
| [中学校給食事業費] | 195,491,621円 |
| [負担金] | 9,785,609円 |
| ・日本スポーツ振興センター共済掛金 | 8,019,840円（その他特財 4,164,600円） |
| ・三重県学校保健会 | 147,339円 |
| ・全日本中学校長会等 | 1,618,430円 |

(教育施設課)

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 教育施設の適切な維持管理整備 | | | | |
| 指標 | 学校施設についての生徒アンケートにおける満足度評価 | 目標 | 70%以上 | 実績 | 47% (27年度 51%) |
| 説明 | 施設の適切な維持管理を行うため、保守点検及び定期的な清掃管理を行いました。施設の補修については、学校からの要望を踏まえた計画的な補修工事を行い、緊急な案件にも適切に対応しました。今後も施設の適切な維持管理の充実を図るよう努めます。 | | | | |

| | |
|-----------------|--------------|
| [学校管理運営費] | 184,134,961円 |
| ・施設維持管理費 | 54,690,064円 |
| ・施設補修費 | 81,158,193円 |
| 補修工事数 計194件 | |
| ・PFI学校施設管理費 | 48,286,704円 |
| 南中学校、橋北中学校、港中学校 | |

その他経費

| | |
|----------------|----------------------------|
| [学校管理運営費] | 7,093,583円（その他特財 240,430円） |
| 一般管理運営費（土地使用料） | |

目2 教育振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 138,170,000円 | 134,504,248円 | 97.4% | 0円 | 3,665,752円 |

(学校教育課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-----------------------|
| 目的 | 学校図書館活動の充実 | | | | |
| 指標 | 1人あたりの年間貸出冊数 | 目標 | 10冊以上 | 実績 | 9.23冊 (27年度 9.70冊) |
| 説明 | 読書活動や調べ学習によって子どもたちが心豊かにたくましく成長できるよう蔵書の整備を図りました。平成28年度末現在の学校図書館の蔵書数は242,481冊となっています。（学校図書館標準の蔵書整備率（※）は97.3%） 今後も子供を取り巻く読書環境を充実させるとともに、読書活動推進校を中心に、学校図書館の有効活用のための協議、情報発信を行い、子どもの読書習慣の形成を図ります。 ※「学校図書館図書標準」…学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの | | | | |

| | |
|----------------|------------|
| [学校図書館図書整備事業費] | 7,994,178円 |
|----------------|------------|

その他経費

| | |
|------------------|-------------------------------|
| [教材・教具整備費] | 38,331,437円（国庫支出金 821,000円） |
| [要保護準要保護生徒就学援助費] | 84,200,077円（国庫支出金 1,024,451円） |
| [特別支援教育就学奨励費] | 3,978,556円（国庫支出金 1,782,000円） |

目3 学校建設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2,014,559,000円 | 1,446,358,901円 | 71.8% | 565,824,000円 | 2,376,099円 |

(教育施設課)

| 目的 | 学校施設環境の向上 | | | | |
|----|---|----|---------|----|-----------------------|
| 指標 | 学校施設環境整備進捗率 | 目標 | 92.3%以上 | 実績 | 92.3% (27年度 66.2%) |
| 説明 | <p>【校舎改築】環境改善を図るため、ベランダ型校舎である笹川中学校の改築工事を平成27～29年度の3ヶ年で進め、校舎棟について完了しました。</p> <p>【大規模改修】施設の長寿命化と教育環境の改善を図るため、大池中学校の校舎、保々中学校の校舎及び体育館の大規模改修工事を完了しました。</p> <p>【空調設備設置】近年の猛暑に対応し学習環境を向上させるため、平成26年度から開始した特別教室への空調設備整備について、音楽室へ空調設備を設置し、特別教室への設置を完了しました。</p> | | | | |

[笹川中学校改築事業費] 969,098,112円 (国庫支出金 86,201,000円)
(市 債 607,900,000円)

- ・監理業務委託 19,000,000円
- ・改築工事(建築工事) 742,540,000円
- ・改築工事(建築電気設備) 101,612,400円
- ・改築工事(建築機械設備) 87,480,000円
- ・改築工事(ガス設備) 7,290,216円
- ・その他関連工事等 11,175,496円

(一部平成28年度明許繰越)

[大規模改修事業費] 278,619,004円 (市 債 206,300,000円)

- ・大池中学校大規模改修工事 122,035,312円
- ・保々中学校大規模改修工事 124,767,972円
- ・大池中学校大規模改修工事設計書作成業務委託 460,080円
- ・保々中学校屋内運動場改修工事 31,355,640円

(一部平成28年度明許繰越)

[空調施設整備事業費] 42,016,968円 (国庫支出金 9,344,000円)

- ・空調設備整備工事(計14校) 37,910,160円
- ・小中学校普通教室空調設備整備調査検討業務委託 1,999,728円
- ・その他空調室外機フェンス設置工事 2,107,080円

その他経費

[その他施設整備費] 39,083,580円

- ・常磐中学校プール改修工事 8,942,400円
- ・常磐中学校プール改修工事設計業務委託 156,600円
- ・富洲原中学校テニスコート防球ネット設置工事 6,341,760円
- ・西陵中学校キュービクル更新ほか工事 15,047,100円
- ・保々中学校キュービクル更新工事設計業務委託 513,000円
- ・西笹川中学校ほか4校便所洋式化工事 4,595,400円
- ・西朝明中学校特別支援教室EHP設置及び電源設備工事 1,890,000円
- ・山手中学校手洗い設置工事設計業務委託 496,800円
- ・西笹川中学校第2理科室及び準備室火災復旧工事設計業務委託 432,000円

- ・羽津中学校職員室改修工事設計業務委託 668,520円

[PFI学校施設整備費] 82,992,954円

南中学校、橋北中学校、港中学校

[事業事務費] 10,843,803円

- ・一般職給 1人 10,141,295円
- ・その他事務費 702,508円

[用地取得事業費] 3,027,100円

- ・笹川中学校用地取得 2,982,900円
- ・不動産鑑定手数料等 44,200円

| | | | | | |
|----|---|----|------|----|----------------------|
| 目的 | 安全安心の施設整備 | | | | |
| 指標 | 避難施設整備・吊天井対策整備率 | 目標 | 100% | 実績 | 100% (27年度 96.2%) |
| 説明 | 【災害用汚水槽整備】災害用仮設トイレを設置するため、羽津中学校の浄化槽について災害用便槽整備工事を行いました。 | | | | |

| | |
|---------------------|-------------|
| 〔災害用汚水槽整備事業費〕 | 20,677,380円 |
| ・羽津中学校災害用便槽整備工事 | 17,059,380円 |
| ・羽津中学校合併浄化槽最終清掃業務委託 | 3,618,000円 |

項4 幼稚園費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 965,279,000円 | 942,422,575円 | 97.6% | 0円 | 22,856,425円 |

目1 幼稚園費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 965,279,000円 | 942,422,575円 | 97.6% | 0円 | 22,856,425円 |

| | | |
|------------|--------------|---------------------|
| 〔一般職給〕 72人 | 541,749,057円 | (その他特財 40,795,020円) |
| 〔嘱託職給〕 13人 | 51,702,893円 | |

(保育幼稚園課)

| | | |
|------------------------------|--------------|---------------------|
| 〔非常勤職員報酬〕 | 12,080,410円 | |
| ・園医 22人 | 5,459,570円 | |
| ・歯科医 22人 | 5,240,840円 | |
| ・薬剤師 23人 | 1,380,000円 | |
| 〔園管理運営費〕 | 170,902,076円 | |
| ・一般管理運営費 (臨時職員賃金等) | 120,733,531円 | |
| ・一般管理運営費 (消耗品費等) | 43,912,122円 | (その他特財 13,598,340円) |
| ・施設補修費 | 6,256,423円 | |
| 〔四日市まちじゅうこども図書館事業費 (公立幼稚園) 〕 | 876,050円 | |
| 〔園保健衛生管理費〕 | 1,674,043円 | |
| ・一般管理運営費 (保健用消耗品費等) | 1,221,654円 | (その他特財 352,937円) |
| ・園児健康診断費 | 452,389円 | |
| 〔人権教育充実事業費〕 | 201,753円 | |
| ・研修旅費等 | | |
| 〔園管理備品整備費〕 | 2,347,634円 | |
| ・一般備品整備費 | | |
| 〔施設整備事業費〕 | 156,432,924円 | |
| ・幼稚園整備事業費 (アセットマネジメント) | 144,182,052円 | |
| ・その他施設整備費 | 12,250,872円 | |
| 〔負担金〕 | 633,012円 | (その他特財 218,460円) |
| ・日本スポーツ振興センター共済掛金等 | | |

項5 社会教育費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 952,298,000円 | 935,688,163円 | 98.3% | 0円 | 16,609,837円 |

目1 社会教育総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 495,063,000円 | 490,426,415円 | 99.1% | 0円 | 4,636,585円 |

| | | | |
|---------|-----|-------------------|-----------|
| 〔一般職給〕 | 29人 | 293,194,334円（県支出金 | 834,000円） |
| 〔再任用職給〕 | 3人 | 14,897,728円 | |
| 〔嘱託職給〕 | 13人 | 48,356,738円（その他特財 | 477,117円） |

（社会教育課）

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|--------------------|
| 目的 | 社会教育環境の確保・充実を図る | | | | |
| 指標 | 社会教育委員の各種研修参加数 | 目標 | 15人以上 | 実績 | 8人 (27年度 14人) |
| | 「四日市まちじゅうこども図書館」開館数 | | 100館以上 | | 101館 (27年度 93館) |
| 説明 | <p>社会教育委員に対して、三重県等で行う研修会への参加の支援を行いました。各委員へ案内し、参加を促しましたが、参加希望者が少なく、目標を下回る8人となりました。</p> <p>社会教育行政の推進のため、社会教育委員会議を開催し、「学校と地域の連携・協働」等を議題として担当課からの報告をもとに助言と指導を受けました。</p> <p>日常生活の中で子どもたちが自然に本に触れられる環境を目指し、市内の店舗等を「四日市まちじゅうこども図書館」として開館しました。平成28年度は「四日市まちじゅうこども図書館」の追加募集を行い、新たに8館を開館することで開館数は101館となり、目標の100館以上を達成しました。広報活動としては、四日市まちじゅうこども図書館マップを作成し、各まちじゅうこども図書館等への配布を行いました。また、読み聞かせ会を2回行いました。</p> | | | | |

〔委員報酬〕 94,800円

・社会教育委員 11人（年2回開催）

〔社会教育指導者研修費〕 17,380円

・社会教育委員等の研修

〔四日市まちじゅうこども図書館事業費〕

・四日市まちじゅうこども図書館事業費 546,824円

絵本・児童書の購入、四日市まちじゅうこども図書館マップの作成、絵本の読み聞かせ会等

その他経費

〔各種団体活動費〕 200,000円

・四日市市PTA連絡協議会事業費補助金

〔負担金〕三重県社会教育委員連絡協議会 60,000円

〔一般経費〕 93,552円

| | | | | | |
|----|---|----|--------|----|---------------------|
| 目的 | 国・県・市指定文化財を保存・活用する | | | | |
| 指標 | 指定文化財の指定件数（累計） | 目標 | 147件以上 | 実績 | 149件 (27年度 146件) |
| 説明 | <p>木造阿弥陀如来坐像・木造薬師如来坐像（ともに遠生寺）の2件を新たに市指定有形文化財（彫刻）に指定しました。また、三重郷土資料館（旧三重村役場書庫）が国登録有形文化財（建造物）に登録されました。国指定重要文化財「末広橋梁」の調査工事、県指定史跡「日永の追分」の鳥居修理事業及び市指定無形民俗文化財2件に対して補助を行い文化財の保存を図るとともに、文化財説明板3箇所の新設と4箇所の修理を行い、文化財のPRに努めました。</p> <p>国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」については、環境改善のための雑木伐採伐根や見学環境整備のための観察路修理等を行いました。</p> <p>かねてより文化庁からユネスコ無形文化遺産に推薦されていた「鳥出神社の鯨船行事」について、12月のユネスコの会議において登録が決定しました。本市としても、鯨船行事の普及啓発を目的として、見学と体験ツアーやシンポジウムを実施しました。</p> <p>築後95年となる木造の旧四郷出張所については、今後の活用に向けて現況調査及び耐震診断を行いました。また、旧四郷出張所を中心として、文化財が点在する歴史的な街並みを残す、ふるさとの道を啓発するために、ウォーキングを開催しました。</p> | | | | |

〔委員報酬〕 142,200円

文化財保護審議会委員 14人（年2回開催）

〔文化財維持管理事業費〕 11,492,660円

・文化財維持管理事業費 1,644,756円

指定文化財の管理

| | |
|---|-----------------------------|
| ・旧四郷出張所維持管理事業費 維持管理、現況調査・耐震診断委託等 | 8,012,933円（県支出金 426,000円） |
| ・天然記念物維持管理事業費 御池沼沢、アイナシ自生地、イヌナシ自生地の草刈り清掃等 | 1,349,491円 |
| ・文化財調査事業費 専門委員による調査等 | 485,480円 |
| [天然記念物保存事業費] 御池沼沢の環境改善 | 2,948,161円（県支出金 1,194,000円） |
| [文化財活用事業費] | 5,304,640円 |
| ・ユネスコ無形文化遺産普及啓発事業費 「鳥出神社の鯨船行事」見学と体験ツアー、ユネスコ登録記念事業シンポジウム等 | 3,870,668円 |
| ・旧四郷出張所を中心とした街並み啓発事業費 四郷ふるさとの道ウォーキング、文化財説明板・道標設置等 | 1,433,972円 |
| [文化財保存対策事業費] | 3,634,240円 |
| ・指定文化財保存事業費補助金 「末広橋梁」調査工事、「日永の追分」鳥居修理事業、「椿岸神社獅子舞」衣装復元新調等 | 2,608,000円 |
| ・ふるさとの道維持管理事業費 「四郷ふるさとの道」トイレ等の管理 | 1,026,240円 |
| [負担金] | 40,000円 |
| ・全国史跡整備市町村協議会 | |

| | | | | | |
|----|---|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 埋蔵文化財を保存・活用する | | | | |
| 指標 | 埋蔵文化財の利活用回数 (出前講座・出土遺物貸出など) | 目標 | 60回以上 | 実績 | 70回 (27年度 60回) |
| 説明 | <p>市役所1階ロビーにて、発掘出土品の展示を4回開催し、市内の埋蔵文化財の普及啓発を行ったほか、夏休みを利用して市立図書館で子ども向けの発掘展や、体験イベントを2回実施しました。また、久留倍官衙遺跡や郷土の遺跡を題材とした出前講座や出土品、写真等の貸し出しを行い、目標を上回る利活用ができました。</p> <p>久留倍遺跡保存活用事業では、久留倍官衙遺跡整備検討委員会を開催し、遺構の立体表示として正殿建設や、雨水排水施設などの整備工事を行いました。また、整備ニュースを2回作成し、市内小中学校をはじめ全国の関係機関等へ配付したほか、あさけプラザでの学習講座や出土品の展示、独自のホームページの公開など、広報に努めました。さらに、市民団体と協力して文化会館で久留倍遺跡まつりを開催し、広く市民へのPRを行いました。また、小中学校での授業に活用できる学習プログラムを作成しました。</p> <p>埋蔵文化財の調査については、北勢バイパス建設に伴う川向山添遺跡や宅地造成に伴う上野遺跡の発掘調査を実施し記録保存するとともに、現地説明会を行いました。</p> | | | | |

| | | |
|--|--------------------------------|--|
| [久留倍遺跡保存活用事業費] | 66,078,789円 | 県支出金 27,396,000円 その他特財 500,000円 市債 16,300,000円 |
| ・久留倍官衙遺跡整備事業費 史跡地区正殿建設等整備工事、エントランス地区外構整備工事、ガイダンス施設展示造作等 | 64,037,411円 | |
| ・久留倍官衙遺跡活用事業費 ガイダンス施設維持管理、ホームページ作成、久留倍遺跡まつり実行委員会負担金 | 2,041,378円 | |
| [埋蔵文化財発掘調査受託事業費] 北勢バイパス発掘調査費 | 38,722,883円（その他特財 38,722,883円） | |
| [埋蔵文化財保護事業費] 出土遺物の復元・整理作業、文化財整理作業所維持管理、試掘調査費等 | 4,601,486円 | |

目2 青少年教育費

| | | | | |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
| 149,262,000円 | 146,775,022円 | 98.3% | 0円 | 2,486,978円 |

(こども未来課)

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-----------------------|
| 目的 | 青少年の健全育成を図るため、子どもの生活リズムの向上をめざすとともに、「家庭の日」の啓発等を行う。 | | | | |
| 指標 | 毎日朝食を摂る幼児の割合 | 目標 | 95%以上 | 実績 | 94.5% (27年度 94.0%) |
| 説明 | 各学校園や家庭が中心となる生活リズム向上推進委員会（9校園：中学校1、小学校2、保育園2、幼稚園4）において、地域とともに各学校園の特色を活かした実践活動を行いました。さらに市内の3歳児から5歳児の子どもに対し家庭生活状況調査を実施し、その調査結果を活用し3歳児検診等において幼児期の生活リズム向上（早ね・早おき・朝ごはん）の啓発に取り組みました。実績割合は目標を下回ったものの、前年度からは0.5%の増加となりました。 また、ジュニアリーダーの育成や各種青少年健全育成団体への支援、子ども広場整備事業、「家庭の日」の啓発活動を通じて、青少年の健全育成を図りました。 | | | | |

- [家庭教育振興事業費] 2,688,485円（その他特財 364,584円）
 - ・親と子どもの豊かな育ち事業費
 - 生活リズム・非行防止教室等の実施（58回）
 - 有害情報対策研修会及び生活リズム向上研修会の開催
 - 市立保育園幼稚園・小中学校（28校園）及び私立保育園幼稚園・小中学校（6校園）のPTA等へ家庭教育講座を委託
 - 小学1年生家庭に（早ね・早おき・朝ごはん）啓発リーフレット配付
 - 「家庭の日」講演会の開催、市広報等を活用した啓発活動の実施
- [青少年健全育成事業費] 4,272,260円
 - ・子ども広場整備事業費補助金
 - 遊具等の増設3ヶ所、補修14ヶ所（子ども広場設置箇所：28年度末188ヶ所）
- [青少年育成研修費] 460,056円（その他特財 157,900円）
 - ・青年リーダー研修費
 - ジュニアリーダー等養成講習会の開催（開催回数7回：参加者数32人）
- [補助金] 2,000,000円
 - ・四日市市子ども会育成者連絡協議会 1,200,000円
 - ・四日市市青少年育成市民会議 700,000円
 - ・ボーイスカウト四日市第15団 50,000円
 - ・四日市海洋少年団 50,000円

| | | | | | |
|----|--|----|-------|----|-------------------|
| 目的 | 青少年の非行防止及び安全安心対策 | | | | |
| 指標 | 非行防止教室等の実施回数 | 目標 | 56回以上 | 実績 | 58回 (27年度 56回) |
| 説明 | 青少年の非行防止・安全安心のためには地域や学校園と一体となった取り組みが必要なことから、中央補導員、三四地区広域補導員を中心に、警察等と協働して、市街地や商業施設、祭りや花火大会など青少年が多く集まる場所での街頭補導活動を行うとともに、非行の現状、適切なインターネットの利用、補導活動、キャリア教育等についての出前講座を開催するなど、青少年の非行防止に向けた活動に取り組みました。 | | | | |

- [青少年相談事業費] 281,670円
 - ・青少年相談員研修費
- [青少年健全育成事業費] 3,825,225円（その他特財 256,800円）
 - ・子どもと若者の居場所づくり事業費
 - 勤労者・市民交流センター北館 毎週土・日曜日、総合会館 第1～3日曜日に開所
(利用者数 延べ4,940人)
- [補導活動事業費] 715,908円
- [補助金] 60,000円
 - ・四日市市補導団体事業費補助金
 - 四日市市地区補導代表者会

○青少年の補導状況

| 区分 | 補導少年延人数 | | | | | 相談回数 | | |
|-----|-----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|------|-----|-----|
| | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他 | 計 | 面接 | 電話 | 計 |
| H27 | 96人 (62.3%) | 40人 (26.0%) | 4人 (2.6%) | 14人 (9.1%) | 154人 (100%) | 12回 | 41回 | 53回 |
| H28 | 102人 (76.1%) | 16人 (12.0%) | 2人 (1.5%) | 14人 (10.4%) | 134人 (100%) | 9回 | 33回 | 42回 |

| | | | | | |
|----|---|----|--------------------|----|-------------------------------------|
| 目的 | 自然体験活動による青少年の健全育成 | | | | |
| 指標 | 少年自然の家利用者数 利用者アンケートの満足度 | 目標 | 53,000人以上 98%以上 | 実績 | 55,698人 99% (27年度 59,500人 98.6%) |
| 説明 | <p>市内外の小中学校が実施する自然教室を支援したり、豊かな自然環境を活かした主催事業を実施したりしました。また、利用者が快適に施設を利用できるよう、安全面を最優先に運営を行うとともに、利用者の満足度向上にむけて、アンケートを実施し改善に努めました。</p> <p>事業の取り組みは、毎月第3日曜日の家庭の日応援プロジェクトや新たに小学校低学年を対象とした日帰り体験活動などを実施し、家族や幅広い年代の市民の方が参加・活動できる自主事業を67回開催しました。</p> | | | | |

[少年自然の家費] 126,535,354円
 ・管理運営費 79,559,454円 (その他特財 398,861円)
 ・アセットマネジメント事業費 46,920,600円
 ・委員報酬 55,300円
 運営協議会委員 7名 (年2回開催)

○少年自然の家及び水沢市民広場利用状況

| 事業開催日数 (A) | 開館日数 (B) | 施設稼働率 (A/B×100) | 少年自然の家利用団体数 及び総利用者数 | 施設使用料及び 主催事業等収入 |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 278日 | 357日 | 77.9% | 421団体 55,698人 (H27 466団体 59,500人) | 26,616,425円 (H27 25,689,965円) |
| 主催事業実施回数及び参加者数 | | | 水沢市民広場利用状況 | |
| 幼児・小中学生対象 | ファミリー・一般対象 | 教職員対象 | 専用使用回数 | 専用使用利用者数 |
| 35回 1,197人 (H27 36回 879人) | 30回 19,802人 (H27 33回 20,597人) | 2回 94人 (H27 2回 61人) | 161回 (H27 149回) | 20,640人 (H27 40,980人) |

その他経費

[成人の日行事開催費] 2,859,712円 (その他特財 2,859,712円)
 参加者数 約2,000人
 [青少年一般経費] 2,916,352円
 [負担金] 160,000円
 ・三四地区広域補導協議会

目3 公民館費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|---------|
| 3,263,000円 | 3,246,132円 | 99.5% | 0円 | 16,868円 |

(社会教育課)

| | | | | | |
|----|-----------------|----|------------|----|-----------------------------|
| 目的 | 地域の社会教育活動への支援 | | | | |
| 指標 | 学校開放(教室)の年間利用回数 | 目標 | 4,500回以上 | 実績 | 4,470回 (27年度 4,404回) |
| | 学校開放(教室)の年間利用者数 | | 100,000人以上 | | 107,451人 (27年度 104,710人) |

| | |
|----|---|
| 説明 | 住民の学習活動や地域活動の支援のため、社会教育施設（公民館）を補完する施設として、学校施設における教室開放を行いました。 年間利用回数は目標を下回りましたが、平成27年度実績より年間利用回数・利用者数ともに増加し、年間10万人以上の市民の方にご利用いただきました。 |
|----|---|

[学校開放事業費] 1,230,000円（その他特財 311,400円）

(市民生活課)

その他経費

[地区市民センター（公民館）一般経費] 1,759,932円

[負担金] 256,200円

・三重県公民館連絡協議会

目4 図書館費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 125,513,000円 | 122,770,723円 | 97.8% | 0円 | 2,742,277円 |

(図書館)

| | | | | | |
|----|--|----|------------|----|-----------------------------|
| 目的 | 幅広く豊富な蔵書を揃え、市民みんなの生涯学習の場を提供する | | | | |
| 指標 | 図書館利用者数 (本館入館者数) | 目標 | 300,000人以上 | 実績 | 318,100人 (27年度 342,517人) |
| | 貸出冊数 | 目標 | 950,000冊以上 | 実績 | 912,075冊 (27年度 927,178冊) |
| 説明 | <p>新たに18,689冊の図書・資料を整備し、幅広く計443,249冊の蔵書としました。司書がレファレンスを行い、市民それぞれのニーズに対して図書・資料の貸出に努めました。貸出冊数については実績が目標を下回ったものの、過去5年間の平均901,456冊を上回りました。</p> <p>本館、移動図書館、あさけプラザ図書館及び楠交流会館図書室による図書館ネットワークの活用、近鉄四日市駅高架下の市民窓口サービスセンター内「駅前返却ポスト」の設置など、利便性の向上に努めました。</p> <p>また、ボランティアや職員による読み聞かせ会や手作り絵本講座のほか、四日市市出身の絵本作家U-sukeさんを招いた絵本の読み聞かせ、ミュージシャンでありマジシャンでもある絵本訳者の大友剛さんを招いた絵本とマジックと音楽ライブを開催するなど、子どもたちが本を手にとって親しみ、その魅力に触れる機会を拡大して、子どもの読書活動の推進を図りました。</p> <p>そのほか、大人のためのストーリーテリングを実施したほか、三重県立四日市高等学校が読書週間に合わせて開催したPOPコンテストの作品を借り受け、紹介された本とともに展示したり、社会教育課・保健予防課等と連携した本の展示紹介を行ったりして、魅力あるテーマで来館を促し、本を手にとる機会を拡大して、読書環境づくりに努めました。</p> | | | | |

[図書館維持管理費] 41,898,945円（その他特財 395,598円）

図書館施設総合管理業務委託等

[図書資料整備費] 28,098,265円（その他特財 10,228円）

図書館資料の購入費

[人権啓発拠点推進事業費] 827,963円

人権関係資料の購入費

[図書館運営費(窓口サービス)] 15,897,013円

図書物流業務委託等

[図書館運営費(文化事業)] 755,463円（その他特財 136,000円）

点字・録音資料作成業務委託、各種講座の実施等

[図書管理システム運営費] 26,549,194円

図書館情報システム構成機器等借り上げ及び保守委託

[移動図書館運営費] 8,482,550円（その他特財 317,584円）

移動図書館運転等業務の委託等

[子どもの読書活動推進事業費] 40,440円

子どもの読書活動推進計画推進会議委員 10人（1回開催）

その他経費

[委員報酬] 152,890円

・図書館協議会 9人（3回開催）

〔負担金〕

68,000円

・日本図書館協会、三重県図書館協会

○図書館資料状況

| 図書区分 | 受入冊数 | 払出冊数 | 増減冊数 | 28年度末蔵書冊数 |
|--------------|--------|-------|-------|-----------|
| 本館成人図書 | 10,437 | 5,429 | 5,008 | 287,889 |
| 本館児童図書 | 3,026 | 1,626 | 1,400 | 88,127 |
| 外国語図書(成人・児童) | 37 | 4 | 33 | 3,746 |
| 本館雑誌(成人・児童) | 2,465 | 1,957 | 508 | 22,994 |
| 計 | 15,965 | 9,016 | 6,949 | 402,756 |
| 自動車文庫図書 | 2,530 | 2,105 | 425 | 35,803 |
| 自動車文庫雑誌 | 101 | 93 | 8 | 449 |
| 計 | 2,631 | 2,198 | 433 | 36,252 |
| 点字資料(タイトル数) | 21 | 0 | 21 | 1,595 |
| 録音資料(タイトル数) | 72 | 0 | 72 | 2,646 |
| 計 | 93 | 0 | 93 | 4,241 |
| 28年度末蔵書冊数総合計 | | | | 443,249 |

○利用状況(本館・移動図書館)

| 区分 | 開館日数 | 入館者数 | 登録者数 | 貸出者数 | 貸出冊数 | 相談件数 |
|--------|------|---------|--------|---------|---------|-------|
| 平成26年度 | 274 | 285,866 | 58,326 | 207,076 | 887,793 | 5,882 |
| 平成27年度 | 277 | 342,517 | 57,871 | 226,724 | 927,178 | 7,682 |
| 平成28年度 | 277 | 318,100 | 57,217 | 228,104 | 912,075 | 8,127 |

※登録者は、共通貸出券の市内図書館を合わせた人数とし、5年間以上未利用者を除く。

目5 博物館費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 179,197,000円 | 172,469,871円 | 96.2% | 0円 | 6,727,129円 |

(博物館)

| 目的 | 市民の創造性を高め、郷土を大切に作る心や科学する心を育み、よりよいまちづくりや未来を考える場を提供する | | | | |
|----|---|----|------------|----|-----------------------------|
| 指標 | 観覧者数 〔特別展+常設展〕 +プラネタリウム | 目標 | 120,000人以上 | 実績 | 138,564人 (27年度 145,519人) |
| | 観覧者満足度 (アンケート) | | 80%以上 | | 79.3% (27年度 80.4%) |
| 説明 | <p>リニューアル2年目の博物館では、平成27年度に引き続き、併設の「四日市公害と環境未来館」と連携を図りながら、市内外、県外、海外から多くの来館者を迎えました。常設展の観覧者は5万6千人余り、映し出す星の数で世界一に認定されたプラネタリウムでは過去最高の6万3千人余りに達し、目標を大きく上回ることができました。観覧者満足度は、ほぼ目標値どおりの実績になりました。</p> <p>展覧会は4本実施し、観覧者数は合計1万8千人余りと平成27年度を3千人以上上回る観覧者を得て、市民が豊かな心を育むとともに、本市をより深く知っていただく機会となりました。</p> <p>プラネタリウムでは、新しい取り組みとして、就学前の幼児を対象とした「はじめてのプラネタリウム」を実施し、好評を得ることができました。また、6月以降の毎週土曜日には、午後7時30分までの夜間開館として、プラネタリウム夜間特別番組の投映やライブコンサートなどを実施しました。これらの投映では、通常の投映番組には来館しがたい方々に利用していただくことができました。</p> | | | | |

今後も、博物館・プラネタリウム、四日市公害と環境未来館を総称した「そらんぼ四日市」が、本市ならではの施設として、多くの人に学び、考え、楽しんでもらえるように、本市の魅力を発信していきます。

- [自主事業費] 64,376,082円
 ・調査研究事業費 498,942円
 ・特別展等開催費 33,802,351円 (その他特財 5,703,460円)
 ○展覧会
 特別展

| 展覧会名 | 実績額 | 期間 | 観覧者数 |
|-----------------------|-------------|------------|---------|
| バケモノあつめ | 9,406,841円 | 7/23～9/4 | 8,415人 |
| 2016イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 | 9,632,960円 | 10/1～10/30 | 2,606人 |
| 古今やきもの饗宴 | 4,834,579円 | 11/8～12/11 | 981人 |
| 昭和のくらし 昭和のこども | 8,917,718円 | 1/2～2/26 | 6,798人 |
| 合計 | 32,792,098円 | 144日 | 18,800人 |

常設展・・・開館日数 288日 観覧者数 56,454人

- ・資料収集保存事業費 5,019,458円
 ○購入資料 78,410円
 歴史資料 3件
 ○資料整理等 4,941,048円
 ・教育普及活動事業費 1,964,451円 (その他特財 199,800円)

○講座等実施状況

| 講座名等 | 回数 | 参加者数 |
|----------|-----|--------|
| 子ども博物館教室 | 14回 | 364人 |
| 一般向け講座 | 26回 | 958人 |
| 出前講座等 | 30回 | 914人 |
| 時空街道ツアー | 11回 | 67人 |
| 合計 | 81回 | 2,303人 |

○ボランティア登録者数

博物館ボランティア 71人
 (うち平成28年度登録者8人)
 丹羽文雄記念室語り部 8人
 古文書ボランティア 7人

- ・プラネタリウム投映事業費 21,494,152円 (その他特財 14,575,020円)
 ○プラネタリウム 総観覧者数 63,310人

季節番組

| 番組名 | 実績額 | 期間 | 観覧者数 |
|---|----------------------------|--------------------|--------------------|
| <一般番組> 赤い惑星 火星が接近! | 9,400円 (585,778円) | 4/1～6/5 (3/19～) | 1,758人 (2,285人) |
| <ファミリー番組> プラネタリウムちびまる子ちゃん 星にねがいを | 2,012,459円 (2,488,198円) | | 3,480人 (4,620人) |
| <星空番組> スペース・ミュージアムー春ー | 400円 (81,598円) | | 1,154人 (1,496人) |
| <一般番組> コズミックフロント 時間旅行 | 2,177,640円 | 6/14～9/4 | 4,089人 |
| <ファミリー番組> 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい! | 2,450,140円 | | 13,582人 |
| <星空番組> スペース・ミュージアムー夏ー | 62,640円 | | 890人 |

| | | | |
|--|--------------------------|---------------------|--------------------|
| <学習番組> 感動体感！これが宇宙ロケットの打ち上げだ！ | 2,006,640円 | 7/21～8/31 | 2,135人 |
| <一般番組> 月とこよみ | 92,520円 | 9/13～12/11 | 2,322人 |
| <ファミリー番組> それいけ！アンパンマン～ちびおおかみと月のふしぎ～ | 2,360,520円 | | 5,501人 |
| <星空番組> スペース・ミュージアム～秋～ | 83,520円 | | 1,824人 |
| <一般番組> オーロラの調べ 神秘の光を探る | 3,008,520円 | 12/20～3/12 | 4,069人 |
| <ファミリー番組> 星の王子さま | 2,198,520円 | | 2,541人 |
| <星空番組> スペース・ミュージアム～冬～ | 527,670円 | | 1,215人 |
| <一般番組> 太陽系最大の惑星 木星 | 148,720円 (164,920円) | 3/18～3/31 (～6/4) | 609人 (2,354人) |
| <ファミリー番組> かいけつゾロリ 宇宙の勇者たち | 521,935円 (2,270,920円) | | 1,363人 (4,051人) |
| <星空番組> そらんぽ 星空への招待～春の句～ | 194,512円 (172,048円) | | 210人 (992人) |
| 合 計 | 17,855,756円 | 288日 | 46,742人 |

※ () 内は前年度分又は後年度分を含む。

特別番組

| 番組名 | 実績額 | 回数 | 観覧者数 |
|----------|----------|-----|--------|
| 宇宙塾 | 168,942円 | 3回 | 290人 |
| ライブコンサート | 255,471円 | 4回 | 432人 |
| CDコンサート | 300,450円 | 1回 | 138人 |
| 幼児向け特別番組 | 99,900円 | 13回 | 956人 |
| 夜間特別投映 | 2,057円 | 32回 | 753人 |
| 合 計 | 826,820円 | 53回 | 2,569人 |

学習投映

| 番組名 | 回数 | 観覧者数 |
|-----------|------|---------|
| 天体学習プログラム | 159回 | 11,786人 |
| 環境学習プログラム | 32回 | 1,989人 |
| 合 計 | 191回 | 13,775人 |

その他の投映 投映回数 7回 観覧者数 224人

・天文教育普及活動事業費

1,596,728円 (その他特財 53,900円)

○天文教育普及活動事業実施状況

| 事業名 | 回数 (実施/予定) | 参加者数 |
|-------------------------------|---------------|--------|
| 学校連携授業 (対象：中学校) | 6/6回 | 656人 |
| 公開観望会 (「きらら号」出動なし) | 1/1回 | 163人 |
| コズミックスクール (7種類) | 19回 | 850人 |
| 教員研修 | 2回 | 90人 |
| 四日市こども科学セミナー | 1回 | 83人 |
| ガリレオ教室 (ボランティアとの協働) | 8回 | 274人 |
| 天文ボランティア養成講座 (申込み制/5回連続講座) | 5回 | 100人 |
| 出前講座 | 2回 | 170人 |
| 合 計 | 44/44回 | 2,386人 |

| 移動天文車「きらら号」観望会事業 | 回数 (実施/予定) | 天文ボランティア 協力者数 | 参加者数 |
|------------------|---------------|------------------|--------|
| 派遣事業 | 25/30 回 | 73人 | 2,308人 |
| 主催事業 | 9/15 回 | 32人 | 985人 |
| 合計 | 34/45 回 | 105人 | 3,293人 |

※派遣事業には、天候不順による天文教室を含む(3回 参加者 120人)

※天文ボランティア 登録者数 37人

| | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--|
| 〔施設管理運営費〕 | 107,913,389円 | |
| ・施設設備維持管理費 | 52,967,846円 (その他特財 2,193,838円) | |
| 清掃警備業務委託、設備管理業務委託、冷水系落水防止弁オーバーホール等 | | |
| ・運營業務費 | 37,466,243円 (その他特財 2,062,428円) | |
| 案内等業務委託等 | | |
| ・展示設備維持管理費 | 2,636,056円 | |
| 常設展示設備保守点検業務委託等 | | |
| ・プラネタリウム維持管理費 | 4,789,335円 | |
| プラネタリウム設備保守点検業務委託等 | | |
| ・移動天文車維持管理費 | 763,563円 | |
| 移動天文車観測設備保守点検業務委託等 | | |
| ・楠歴史民俗資料館管理運営費 | 9,290,346円 (その他特財 12,700円) | |
| 観覧者数 8,102人 | | |

その他経費

| | |
|--------------------|----------|
| 〔委員報酬〕 | 126,400円 |
| ・博物館協議会 14人 (2回開催) | |
| 〔負担金〕 | 54,000円 |
| ・日本博物館協会等 | |

項6 保健体育費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|----------------|-------------|-------------|
| 1,133,280,000円 | 1,074,975,309円 | 94.9% | 43,027,330円 | 15,277,361円 |

目1 保健体育総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|------------|
| 131,389,000円 | 129,156,810円 | 98.3% | 0円 | 2,232,190円 |

| | |
|------------|--------------|
| 〔一般職給〕 13人 | 123,089,143円 |
| 〔再任用職給〕 1人 | 3,805,027円 |

(スポーツ課)

その他経費

| | |
|--------------------|------------|
| 〔委員報酬〕 | 126,400円 |
| ・スポーツ推進審議会 14人 | |
| 〔スポーツ推進事業〕 | |
| ・四日市市スポーツ推進基本計画事業費 | 2,136,240円 |

目2 体育振興費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|----------------|--------|------------|
| 62,088,000円 | 60,443,722円 | 97.4% | 0円 | 1,644,278円 |

(国体推進課)

| | | | | | |
|----|-------------------------------|----|--------|----|------------------|
| 目的 | 高校総体・国体のソフト面の準備 | | | | |
| 指標 | 第76回国民体育大会四日市市準備委員会に関する会議開催回数 | 目標 | 2回/年以上 | 実績 | 4回/年 (27年度 -) |

| | |
|----|---|
| 説明 | 第76回国民体育大会に向けた四日市市の準備委員会を平成28年度に立ち上げ、発起人会、設立総会、第1回総会、第1回常任委員会を開催しました。総会には約160名の方にご参画いただき、予算、事業計画、基本方針等を審議いただき、今後準備を進めるための基礎的な部分を決定することができました。平成29年度には専門委員会の立ち上げも予定しており、より具体的な議論をしていきます。 |
|----|---|

〔国体準備等一般経費〕

・第76回国民体育大会四日市市準備委員会負担金 2,453,000円

(国体推進課)

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|------------------|
| 目的 | 東京オリンピック事前キャンプ地の誘致 | | | | |
| 指標 | 東京オリンピック事前キャンプ地誘致活動実施回数 | 目標 | 4回/年 以上 | 実績 | 4回/年 (27年度 -) |
| 説明 | 平成32年に開催される東京オリンピックの事前キャンプ地として、四日市市が選定されるよう誘致活動を行いました。市の体操協会と協力し活動を行った結果、カナダ体操協会との間で受け入れに係る協定を締結することができました。今後は、カナダ体操チームの受け入れに向けて万全の準備を行っていきます。 | | | | |

〔東京オリンピックキャンプ地等誘致事業費〕 4,104,923円

その他経費

〔国体準備等一般経費〕

2,157,128円

(スポーツ課)

| | | | | | |
|----|--|----|-----------|----|---------------------------|
| 目的 | 生涯スポーツの普及・振興 | | | | |
| 指標 | スポーツイベントへの参加者数 | 目標 | 24,000人以上 | 実績 | 22,413人 (27年度 23,530人) |
| 説明 | <p>各種スポーツ大会・教室・講習会の実施、地域スポーツ活動の場としての学校体育施設の開放、スポーツ団体等の活動を支援するための事業費補助等を行い、生涯スポーツの普及・振興に努めました。家族でのスポーツ普及を図るため、ロゲイニング大会を開催したほか、トップアスリートを迎えたテニス教室、サッカー教室及びボールゲームフェスタ等、ジュニアスポーツの普及やジュニア選手育成のための事業の実施にも努めました。また、既存の総合型地域スポーツクラブに事業を委託し、スポーツ大会や教室を開催するなど地域スポーツを活性化させる取り組みを実施しました。しかし、中央緑地公園内の整備により前年度に1,349人の参加のあった駅伝競走大会が中止になったことから、スポーツイベントへの参加者数は前年度から減少しました。</p> <p>今後も、高校総体や三重とこわか国体開催に向け、市民の機運醸成を図るため、各種教室や大会を開催するとともに、総合型地域スポーツクラブを中心とした地域スポーツの活性化を図り、スポーツ人口の拡大に努めます。</p> | | | | |

〔スポーツ活動振興事業費〕

14,422,790円

・地域スポーツ活動振興事業費

4,066,178円

(その他特財 335,700円)

・市民スポーツフェスタ開催事業費

1,414,845円

(その他特財 1,414,845円)

・少年スポーツ活動振興事業費

2,807,209円

・スポーツ功労者表彰経費

781,381円

・スポーツイベント実施事業費

5,353,177円

(その他特財 5,353,177円)

〔学校開放事業費〕

9,270,833円

(その他特財 4,827,200円)

〔補助金〕

19,504,605円

・四日市市体育協会

4,845,000円

・三重県中学校体育連盟三河支部

3,346,000円

・四日市市レクリエーション協会

493,000円

・四日市市スポーツ推進委員協議会

270,000円

・全国大会等出場選手激励金 (1,108人)

6,135,000円

・中学校体育大会出場選手奨励金 (1,191人)

4,249,400円

・スポーツ指導者資格取得助成金

86,205円

・全国大会等開催費

80,000円

その他経費

〔スポーツ推進委員経費〕

3,489,930円

| | |
|------------|------------|
| 〔負担金〕 | 3,460,495円 |
| ・三重県体育協会等 | |
| 〔体育振興一般経費〕 | 1,580,018円 |

目3 体育施設費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|-------------|-------------|
| 939,803,000円 | 885,374,777円 | 94.2% | 43,027,330円 | 11,400,893円 |

(国体推進課)

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|------------------|
| 目的 | 高校総体・国体の施設基準を満たした新施設の整備 | | | | |
| 指標 | 新施設整備進捗状況 | 目標 | 1.9%以上 | 実績 | 2.9% (27年度 -) |
| 説明 | 平成28年度は野球場を除く設計を終え、霞ヶ浦緑地テニス場と中央緑地サッカー場の整備に着手しました。平成29年度は新体育館の建設工事と新野球場の設計にも着手します。 平成30年の高校総体と平成33年の三重とこわか国体開催に支障をきたすことのないよう、新施設の整備を進めていきます。 | | | | |

| | | |
|------------------------------|--------------|--|
| 〔運動施設整備事業費〕 | 458,017,980円 | |
| ・霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費（国体関係） | 88,141,064円 | （国庫支出金 10,000,000円） （市 債 28,500,000円） |
| ・四日市市霞ヶ浦緑地新テニス場設計業務委託 | 37,447,200円 | |
| ・霞ヶ浦緑地テニス場整備工事（建築工事） | 47,070,000円 | |
| ・霞ヶ浦緑地テニス場整備工事監理業務委託 | 1,673,000円 | |
| ・霞ヶ浦緑地内仮歩道設置等工事 | 671,004円 | |
| ・霞ヶ浦緑地インフラ整備工事等 | 463,860円 | |
| ・中央緑地運動施設整備事業費（国体関係） | 369,876,916円 | （国庫支出金 40,000,000円） （市 債 69,100,000円） |
| ・四日市市中央緑地スポーツ施設設計業務委託 | 140,130,000円 | |
| ・中央緑地新体育館建設事業発注者支援業務委託 | 23,112,000円 | |
| ・四日市市中央緑地公共下水管盛替え工事設計業務委託 | 12,522,600円 | |
| ・四日市市中央緑地水泳競技場解体工事 | 38,721,240円 | |
| ・中央緑地野球場ほか解体工事 | 49,999,680円 | |
| ・中央緑地サッカー場整備に伴う付帯工事 | 49,986,720円 | |
| ・中央緑地新体育館建設工事実施設計技術協力業務委託 | 10,054,800円 | |
| ・中央緑地サッカー場クラブハウス整備工事（建築工事） | 18,730,000円 | |
| ・中央緑地サッカー場クラブハウス整備工事（建築電気設備） | 11,340,000円 | |
| ・中央緑地サッカー場クラブハウス整備工事（建築機械設備） | 4,360,000円 | |
| ・中央緑地サッカー場クラブハウス整備工事監理業務委託 | 1,646,000円 | |
| ・中央緑地インフラ整備工事等 | 6,628,880円 | |

その他経費

| | |
|------------------------------|------------|
| ・霞ヶ浦緑地運動施設整備事業に係るその他経費（国体関係） | 816,000円 |
| ・中央緑地運動施設整備事業に係るその他経費（国体関係） | 2,644,996円 |

(スポーツ課)

| | | | | | |
|----|--|----|--------------|----|---------------------------------|
| 目的 | スポーツ施設及びスポーツ環境の整備 | | | | |
| 指標 | スポーツ施設利用者数 | 目標 | 1,000,000人以上 | 実績 | 1,016,706人 (27年度 1,010,584人) |
| 説明 | 平成28年度から新たに桜運動施設を加えた計30の市内運動施設の運営管理を指定管理者四日市市体育協会グループ、四日市ドームの運営管理を指定管理者JN体協グループに委任し、市民サービスの向上と管理コストの削減を図りました。また、施設の長寿命化や安全性の向上を図るため、霞ヶ浦プールでプールサイドの改修工事を、楠緑地テニスコートでは休憩所屋根改修工事をそれぞれ実施しました。指標であるスポーツ施設利用者数は、平成27年度より増加しましたが、今後も利用者の目線に立った施設改修等を行うことにより、利用者数の向上を図っていきます。 | | | | |

| | | | |
|--------------------------|--------------|--------|-------------|
| 〔運動施設整備事業費〕 | 113,135,669円 | | |
| ・霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費 | 5,725,080円 | | |
| 霞ヶ浦プールサイド改修工事 | 1,621,080円 | | |
| ・中央緑地運動施設整備事業費 | 46,894,680円 | | |
| 中央緑地陸上競技場コンセント増設工事 | 1,576,800円 | | |
| 中央緑地陸上競技場第2種公認検定に基づく補修工事 | 45,317,880円 | | |
| ・その他運動施設整備事業費 | 11,375,218円 | | |
| 楠緑地テニスコート屋根改修工事 | 5,367,600円 | | |
| ・四日市ドーム整備事業費 | 2,848,003円 | | |
| ・橋北交流会館整備事業費（運動施設） | 46,292,688円 | | |
| 橋北交流会館整備工事 | 43,896,600円 | （その他特財 | 6,950,000円） |
| 〔一般経費〕 | 313,898,768円 | | |
| ・運動施設一般経費（施設総合管理委託料等） | 246,506,768円 | | |
| 中央緑地陸上競技場光波距離計購入 | 5,405,400円 | （その他特財 | 3,856,000円） |
| ・四日市ドーム一般経費（施設総合管理委託料等） | 67,392,000円 | （その他特財 | 147,251円） |
| 〔補助金〕地区運動広場整備事業費 | 307,360円 | | |
| 〔負担金〕三重県体育施設協会 | 15,000円 | | |

○スポーツ施設利用状況

| 施設使用区分数 (A) | 使用可能区分数 (B) | 施設稼働率 (A/B×100) | 総利用者数 個人利用者及び団体利用者 | | |
|----------------|----------------|----------------------|-----------------------|---------------|----------|
| 68,246 | 160,974 | 42.4% (H27 45.4%) | 1,016,706人 | | |
| | | | 個人 | 156,578人 | |
| | | | 団体 | 860,128人 | |
| 主な施設の利用者数 | | | | | |
| 四日市ドーム | 霞ヶ浦運動施設 | 中央緑地運動施設 | 三滝公園運動施設 | 楠中央公園 運動施設 | その他施設 |
| 197,569人 | 223,050人 | 259,600人 | 102,187人 | 107,476人 | 126,824人 |

| 体育館関係 | 野球場関係 | サッカー・陸上 競技場 | 水泳場関係 | テニスコート関係 | 四日市ドーム他 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| 302,647人 | 178,801人 | 126,764人 | 81,073人 | 109,514人 | 217,907人 |
| 中央緑地体育館 89,263人 97.5% | 霞ヶ浦第1野球場 59,555人 40.5% | 霞ヶ浦サッカー場 15,320人 28.0% | 霞ヶ浦プール 50,527人 100% | 三滝テニスコート 72,636人 50.8% | 四日市ドーム 197,569人 86.4% |
| 霞ヶ浦体育館 43,985人 67.2% | 霞ヶ浦第2野球場 33,425人 24.6% | 垂坂サッカー場 29,972人 29.4% | 温水プール 30,546人 36.4% | 桜運動施設 テニスコート 12,077人 31.4% | 弓道場 12,333人 34.6% |
| 中央緑地第2体育館 60,760人 96.3% | 中央緑地野球場 11,691人 32.5% | 陸上競技場 80,021人 100% | | その他 24,801人 | 舟艇場 7,905人 100% |
| 楠緑地 他 108,639人 | 北条、松原 他 74,130人 | 鈴鹿川 他 1,451人 | | | その他 100人 |

款11 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|----------|
| 9,380,171,000円 | 9,379,675,156円 | 100.0% | 0円 | 495,844円 |

項1 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|----------|
| 9,380,171,000円 | 9,379,675,156円 | 100.0% | 0円 | 495,844円 |

目1 元金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------|
| 8,695,851,000円 | 8,695,850,511円 | 100.0% | 0円 | 489円 |

[地方債償還金] 8,695,850,511円 (都市計画税充当額 346,283,000円)
 (県支出金 21,750,000円)
 (その他特財 106,375,900円)

一般会計の市債残高

| 年 度 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年度末市債残高 (億円) | 988 | 966 | 926 | 875 | 806 | 756 | 728 | 727 | 678 |

目2 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|----------|
| 684,320,000円 | 683,824,645円 | 99.9% | 0円 | 495,355円 |

[地方債利子] 671,816,054円 (都市計画税充当額 26,753,000円)
 (県支出金 1,452,000円)
 (その他特財 22,916,024円)

[一時借入金利子] 12,008,591円

(参考)

○実質公債費比率

一般会計等の公債費だけでなく、下水道など公営企業債の償還に充当した繰出金や一部事務組合の地方債の償還に充当した補助金・負担金なども債務として算定し、標準財政規模（標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債の合計）で割った比率です。

(単位：%)

| 算出年度 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|---------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 過去3年間平均 | 17.6 | 16.4 | 14.7 | 13.7 | 12.2 | 11.3 | 9.8 | 8.7 |

款12 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|------|------------|--------|-------------|
| 98,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 98,000,000円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|------|------------|--------|-------------|
| 98,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 98,000,000円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|------|------------|--------|-------------|
| 98,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 98,000,000円 |

○充用状況

| 充用科目 | 充用内容 | 充用額 |
|-------------------|----------|------------|
| (款) 総務費 (項) 総務管理費 | 熊本地震関係経費 | 2,000,000円 |

平成28年4月14日以降に発生した一連の地震活動により被害を受けた熊本県の復興支援のため、200万円を見舞金として支出しました。

款 13 災害復旧費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|-------------|------------|
| 264,506,001円 | 174,994,037円 | 66.2% | 86,682,880円 | 2,829,084円 |

項 1 農林水産施設災害復旧費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 85,042,001円 | 82,662,157円 | 97.2% | 0円 | 2,379,844円 |

目 1 農地農業用施設災害復旧費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 85,042,001円 | 82,662,157円 | 97.2% | 0円 | 2,379,844円 |

(農水振興課)

●【繰越明許】

82,662,157円

[平成26年発生一般農業土木災害復旧補助事業費 頭首工復旧] 82,662,157円

県支出金 82,180,013円
 その他特財 82,144円
 市 債 400,000円

台風の豪雨により被災した、大井手二丁目地内の三滝川の永井井堰（頭首工）の復旧工事を行いました。

項 2 土木施設災害復旧費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|-------------|------------|-------------|----------|
| 179,464,000円 | 92,331,880円 | 51.4% | 86,682,880円 | 449,240円 |

目 1 道路橋梁災害復旧費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|------------|------------|-----|
| 5,000,000円 | 0円 | 0% | 5,000,000円 | 0円 |

目 2 河川災害復旧費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|-------------|------------|-------------|----------|
| 174,464,000円 | 92,331,880円 | 52.9% | 81,682,880円 | 449,240円 |

(河川排水課)

●【明許繰越】

9,032,040円

[平成27年発生土木災害復旧補助事業費 河川復旧]

9,032,040円

| 事業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|------------------------|-------------|-----------|--------------|------------------------|
| ・準用河川米洗川 (大字羽津ほか1町) | 工事費 護岸復旧 1式 | 9,032,040 | 国庫支出金 市 債 | 6,024,370 2,700,000 |

●【現年度】

83,299,840円

[平成28年発生土木災害復旧補助事業費 河川復旧]

36,010,000円

| 業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|---------------------------|-------------------------------|------------|--------------|--------------------------|
| ・準用河川米洗川 (大字羽津ほか、1町地内) | 工事費 護岸復旧 1式 (一部平成28年度明許繰越) | 36,010,000 | 国庫支出金 市 債 | 24,018,670 11,900,000 |

[平成28年発生土木災害復旧単独事業費 河川復旧]

47,289,840円

| 業区分 (施工箇所) | 事業内容 | 実施額 | うち特定財源 | |
|-------------------|---|------------|--------|------------|
| ・災害復旧事業 (市内一円) | 工事費 八王子町排水路修繕工事 ほか2件 (一部平成28年度明許繰越) 委託料 測量・設計業務 1式 | 47,289,840 | 市 債 | 14,600,000 |

競輪事業特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|-------------|-----------------|--------|-----------------|
| 1. 事業収入 | 15,535,305,550円 | 1. 総務費 | 464,941,424円 |
| 2. 使用料及び手数料 | 95,954,548円 | 2. 開催費 | 15,199,460,056円 |
| 3. 県支出金 | 6,769,000円 | 3. 繰出金 | 180,000,000円 |
| 4. 財産収入 | 1,264,937円 | 4. 公債費 | 211円 |
| 5. 繰入金 | 243,919,760円 | 5. 予備費 | 0円 |
| 6. 繰越金 | 952,439,189円 | 合計 | 15,844,401,691円 |
| 7. 諸収入 | 70,631,452円 | | |
| 合計 | 16,906,284,436円 | 収支 | 1,061,882,745円 |

| | | | | | |
|----|--|----|-------------|----|-----------|
| 目的 | 事業の収益性を高め、事業収支が安定的に黒字となるように経営改善に努める。 | | | | |
| 指標 | 年間繰出金額 | | 180,000千円 | | 180,000千円 |
| | 競輪事業収支額（繰越金、基金繰入金、社会資本整備総合交付金、基金積立金、耐震推進事業費、基金繰入金充当事業、繰出金を除く） | 目標 | 521,979千円以上 | 実績 | 490,708千円 |
| 説明 | <p>全国の車券売上額が前年度比0.6%増となるなか、本市の平成28年度の車券売上額は、年1回開催の記念競輪（GⅢ）では59億6千6百万円余、前年度比9.7%増となりましたが、普通競輪（FI・FⅡ）では前年度開催の西日本カップ競輪がなかったことなどから、95億6千万円余、前年度比10.9%減となりました。この結果、年間総車券売上高は155億2千7百万円余、前年度比4.0%減となりました。</p> <p>任務目的の成果・活動指標である競輪事業収支額については、4億9千万円余の黒字となり、521,979千円以上黒字の目標を達成できませんでしたが、年間繰出金額については、目標どおり一般会計へ180,000千円を繰り出しました。</p> | | | | |

歳入

款1 事業収入 項1 事業収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-------|-------|
| 17,007,001,000円 | 15,535,305,550円 | 15,535,305,550円 | 91.3% | 0円 | 0円 |

目1 入場料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 7,000,000円 | 4,363,150円 | 4,363,150円 | 62.3% | 0円 | 0円 |

目2 車券発売金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-------|-------|
| 17,000,001,000円 | 15,530,942,400円 | 15,530,942,400円 | 91.4% | 0円 | 0円 |

○事業収入の内訳

| 項目 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額との比較 |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 入場料 | 7,000,000円 | 4,363,150円 | 4,363,150円 | △2,636,850円 |
| 車券売上金 | 17,000,000,000円 | 15,527,102,800円 | 15,527,102,800円 | △1,472,897,200円 |
| 車券返還金 | 1,000円 | 3,839,600円 | 3,839,600円 | 3,838,600円 |

款2 使用料及び手数料

項1 使用料

目1 競輪使用料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 94,048,000円 | 95,954,548円 | 95,954,548円 | 102.0% | 0円 | 0円 |

競輪使用料は、特別競輪等の臨時場外設置における施設使用料及び競輪場内の売店使用料等です。

款3 県支出金

項1 県補助金

目1 総務費補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 5,900,000円 | 6,769,000円 | 6,769,000円 | 114.7% | 0円 | 0円 |

総務費補助金は、競輪場メインスタンドの耐震補強工事に係る社会資本整備総合交付金です。

款4 財産収入

項1 財産運用収入

目1 利子及び配当金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 1,979,000円 | 1,264,937円 | 1,264,937円 | 63.9% | 0円 | 0円 |

財産運用収入は、競輪事業財政調整基金運用益、競輪事業施設等整備基金運用益です。

款5 繰入金

項1 基金繰入金

目1 基金繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 265,600,000円 | 243,919,760円 | 243,919,760円 | 91.8% | 0円 | 0円 |

基金繰入金は、平成28年度施設等整備の充当財源とするための、競輪事業施設等整備基金からの繰入金です。

款6 繰越金
 項1 繰越金
 目1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 952,439,000円 | 952,439,189円 | 952,439,189円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

款7 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 74,972,000円 | 70,631,452円 | 70,631,452円 | 94.2% | 0円 | 0円 |

項1 預金利子
 目1 預金利子

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 228,000円 | 327,491円 | 327,491円 | 143.6% | 0円 | 0円 |

項2 雑入
 目1 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 74,744,000円 | 70,303,961円 | 70,303,961円 | 94.1% | 0円 | 0円 |

○諸収入の内訳

| 項目 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額との比較 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 預金利子 | 228,000円 | 327,491円 | 327,491円 | 99,491円 |
| 払戻金端数切捨収入 | 30,000,000円 | 27,791,475円 | 27,791,475円 | △2,208,525円 |
| 車券事故収入 | 12,000円 | 19,080円 | 19,080円 | 7,080円 |
| 払戻金時効収入 | 14,000,000円 | 9,470,480円 | 9,470,480円 | △4,529,520円 |
| 実費弁償金 | 6,479,000円 | 4,979,447円 | 4,979,447円 | △1,499,553円 |
| 雑入 | 24,253,000円 | 28,043,479円 | 28,043,479円 | 3,790,479円 |

実費弁償金は、主に売店における光熱水費使用料です。
 雑入は、特別競輪等の臨時場外設置における業務代行協力費等です。

歳出

款1 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|----------|--------------|
| 583,290,000円 | 464,941,424円 | 79.7% | 858,600円 | 117,489,976円 |

項1 総務管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|----------|--------------|
| 583,290,000円 | 464,941,424円 | 79.7% | 858,600円 | 117,489,976円 |

目1 管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|----------|--------------|
| 583,290,000円 | 464,941,424円 | 79.7% | 858,600円 | 117,489,976円 |

| | |
|----------------------------|--------------|
| 〔一般職給〕 5人 | 52,377,000円 |
| 〔施設整備事業費〕 | 204,043,560円 |
| ・競輪場施設整備事業費 | 88,308,640円 |
| （主な整備事業） | |
| ・メインスタンド耐震補強工事、2階特別観覧席改修工事 | 83,340,640円 |
| ・電話交換機更新に係る設計業務委託及び工事 | 3,736,800円 |
| ・競輪場施設整備事業費（アセットマネジメント） | 115,734,920円 |
| （主な整備事業） | |
| ・メインスタンド吊天井崩落対策工事 | 40,939,520円 |
| ・メインスタンド空調設備更新工事 | 74,304,000円 |

その他経費

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 〔負担金〕 | 5,000円 |
| ・東海ブロック競輪場所在地議会議長会 | |
| 〔一般経費〕 | 4,721,967円 |
| 〔営業活動費〕 | 2,460,640円 |
| 〔検証委員会関係経費〕 | 68,320円 |
| 〔競輪事業財政調整基金積立金〕 | 790,544円 |
| （平成13年4月設置 平成28年度末現在高 | 1,508,966,056円） |
| 〔競輪事業施設等整備基金積立金〕 | 200,474,393円 |
| （平成27年3月設置 平成28年度末現在高 | 842,979,733円） |

款2 開催費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|----------------|
| 16,685,610,000円 | 15,199,460,056円 | 91.1% | 0円 | 1,486,149,944円 |

項1 開催費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------------|
| 3,895,509,000円 | 3,550,267,131円 | 91.1% | 0円 | 345,241,869円 |

目1 開催費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------------|
| 3,895,509,000円 | 3,550,267,131円 | 91.1% | 0円 | 345,241,869円 |

| | |
|-------------------|----------------|
| [選手賞金及び賞品等賞賜金] | 567,753,400円 |
| [競輪開催業務等総合委託費] | 443,599,302円 |
| [場内安全管理委託費] | 47,298,689円 |
| [全国競輪施行者協議会委託関係費] | 44,692,591円 |
| [ファン対策経費] | |
| ・ 広告、宣伝経費 | 92,258,364円 |
| [投票関係経費] | 69,582,870円 |
| ・ 投票関係機器経費 | 69,552,000円 |
| ・ その他投票関係経費 | 30,870円 |
| [臨時場外開設関係経費] | 1,516,471,937円 |
| [その他開催経費] | 106,782,078円 |
| [競輪実施事務委託関係経費] | 225,665,701円 |

その他経費

| | |
|-------------------------|--------------|
| [負担金] | 136,021,798円 |
| ・ 全国競輪施行者協議会負担金 | 133,921,798円 |
| ・ 東海北陸地方競輪運営協議会負担金 | 10,000円 |
| ・ 四日市競輪開催連絡協議会負担金 | 1,700,000円 |
| ・ 三重県公営競技場暴力等排除連絡協議会負担金 | 100,000円 |
| ・ 自転車競技大会負担金 | 50,000円 |
| ・ ガールズケイリン負担金 | 240,000円 |
| [交付金] | |
| ・ 公益財団法人JKA交付金 | 300,140,401円 |

項2 払戻金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|----------------|
| 12,790,101,000円 | 11,649,192,925円 | 91.1% | 0円 | 1,140,908,075円 |

目1 払戻金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|----------------|
| 12,790,101,000円 | 11,649,192,925円 | 91.1% | 0円 | 1,140,908,075円 |

| | |
|---------|-----------------|
| [払戻金] | 11,649,192,925円 |
| ・ 車券払戻金 | 11,645,327,100円 |
| ・ 車券返還金 | 3,839,600円 |
| ・ 払戻補足金 | 26,225円 |

款3 繰出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 180,000,000円 | 180,000,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

項1 繰出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 180,000,000円 | 180,000,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目1 繰出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 180,000,000円 | 180,000,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

〔繰出金〕

・一般会計繰出金

180,000,000円

款4 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 600,000円 | 211円 | 0.0% | 0円 | 599,789円 |

項1 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 600,000円 | 211円 | 0.0% | 0円 | 599,789円 |

目1 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 600,000円 | 211円 | 0.0% | 0円 | 599,789円 |

〔公債費〕

・一時借入金利子

211円

款5 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|------|------------|--------|--------------|
| 952,439,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 952,439,000円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|------|------------|--------|--------------|
| 952,439,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 952,439,000円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|------|------------|--------|--------------|
| 952,439,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 952,439,000円 |

○平成28年度開催状況

| 回次 | 開催月日 | 入場人員 (人) (本場) | 車券売上額 (円) | | |
|---------------|------------------------|---------------------|--|----------------|----------------|
| | | | 本場 (内、電話投票) (内、重勝式) | 臨時場外 | 合計 |
| 第1回 | 7月25日～27日 | 2,209 | 361,884,600 (312,912,300) (1,064,800) | 443,377,000 | 805,261,600 |
| 第2回 | 8月1日～3日 8月21日～23日 | 3,117 | 495,679,700 (427,779,800) (1,894,500) | 661,642,900 | 1,157,322,600 |
| 第3回 | 9月13日～15日 9月21日～23日 | 2,627 | 478,576,400 (410,635,400) (1,693,600) | 560,751,900 | 1,039,328,300 |
| 第4回 | 10月2日～4日 | 1,543 | 378,893,200 (334,177,100) (2,459,000) | 491,955,900 | 870,849,100 |
| 第5回 | 11月9日～11日 12月7日～9日 | 2,369 | 347,257,300 (299,299,200) (1,760,400) | 394,526,600 | 741,783,900 |
| 第6回 | 11月28日～30日 | 1,439 | 290,766,300 (252,108,900) (1,009,200) | 334,924,700 | 625,691,000 |
| 第7回 | 12月22日～24日 | 1,487 | 394,595,500 (355,395,400) (1,799,700) | 505,185,000 | 899,780,500 |
| 第8回 | 1月6日～8日 | 1,567 | 447,784,700 (408,556,400) (1,798,400) | 614,999,800 | 1,062,784,500 |
| 第9回 | 1月18日～20日 | 945 | 312,290,400 (281,656,000) (4,611,600) | 376,892,200 | 689,182,600 |
| 第10回 | 1月26日～28日 2月7日～9日 | 2,396 | 342,639,700 (288,134,600) (2,043,500) | 324,897,700 | 667,537,400 |
| 第11回 | 2月25日～28日 | 9,484 | 1,164,082,600 (988,217,200) (3,978,200) | 4,802,300,600 | 5,966,383,200 |
| 第12回 | 3月4日～6日 | 1,610 | 413,028,000 (370,503,000) (3,536,100) | 588,170,100 | 1,001,198,100 |
| 合計 | | 30,793 | 5,427,478,400 (4,729,375,300) (27,649,000) | 10,099,624,400 | 15,527,102,800 |
| 普通開催計 | 第11回(記念)を除く | 21,309 | 4,263,395,800 (3,741,158,100) (23,670,800) | 5,297,323,800 | 9,560,719,600 |
| 普通開催 1開催平均 | 第11回(記念)を除く | 1,937 | 387,581,400 (340,105,300) (2,151,900) | 481,574,900 | 869,156,300 |

国民健康保険特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|--------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 1. 国民健康保険料 | 6,545,551,687円 | 1. 総務費 | 248,330,270円 |
| 2. 一部負担金 | 0円 | 2. 保険給付費 | 19,496,130,492円 |
| 3. 国庫支出金 | 5,996,404,484円 | 3. 後期高齢者支援金等 | 3,609,871,228円 |
| 4. 療養給付費等交付金 | 556,435,485円 | 4. 前期高齢者納付金等 | 2,621,982円 |
| 5. 前期高齢者交付金 | 9,089,218,168円 | 5. 老人保健拠出金 | 111,477円 |
| 6. 県支出金 | 1,742,093,934円 | 6. 介護納付金 | 1,229,426,365円 |
| 7. 共同事業交付金 | 6,545,616,774円 | 7. 共同事業拠出金 | 7,132,678,065円 |
| 8. 財産収入 | 1,561,130円 | 8. 保健事業費 | 343,967,945円 |
| 9. 繰入金 | 2,702,465,827円 | 9. 基金積立金 | 719,623,498円 |
| 10. 繰越金 | 1,490,588,341円 | 10. 公債費 | 69円 |
| 11. 諸収入 | 94,728,713円 | 11. 諸支出金 | 69,458,305円 |
| | | 12. 予備費 | 0円 |
| 合計 | 34,764,664,543円 | 合計 | 32,852,219,696円 |
| | | 収支 | 1,912,444,847円 |

歳入

款1 国民健康保険料

項1 国民健康保険料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|--------------|----------------|
| 6,433,988,000円 | 8,960,272,821円 | 6,545,551,687円 | 101.7% | 162,303,912円 | 2,252,417,222円 |

国民健康保険事業に要する費用に充てる主要な財源であり、保険給付費の支払い、後期高齢者支援金及び介護納付金に見合う収入を確保するため、文書や電話による催告、納付相談の実施及び口座振替の推進等により収納率の向上に努めました。

[現年度分収納率91.1%（前年度90.5%）、過年度分収納率25.9%（前年度24.2%）]

※収納率（一般被保険者分・退職被保険者分）＝収入済額/調定額×100

目1 一般被保険者国民健康保険料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|--------------|----------------|
| 6,245,405,000円 | 8,727,588,452円 | 6,355,433,985円 | 101.8% | 158,304,624円 | 2,213,849,843円 |

| 項目 | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 不納欠損額(円) | 収入未済額(円) |
|--------|---------------|---------------|---------------|-------------|---------------|
| 一般現年度分 | 5,689,169,000 | 6,301,969,517 | 5,734,091,189 | 18,939 | 567,859,389 |
| 一般滞納分 | 556,236,000 | 2,425,618,935 | 621,342,796 | 158,285,685 | 1,645,990,454 |

目2 退職被保険者等国民健康保険料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|------------|-------------|
| 188,583,000円 | 232,684,369円 | 190,117,702円 | 100.8% | 3,999,288円 | 38,567,379円 |

| 項目 | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 不納欠損額(円) | 収入未済額(円) |
|--------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| 退職現年度分 | 171,778,000 | 174,209,683 | 168,520,471 | 0 | 5,689,212 |
| 退職滞納分 | 16,805,000 | 58,474,686 | 21,597,231 | 3,999,288 | 32,878,167 |

款2 一部負担金**項1 一部負担金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 4,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目1 一般被保険者一部負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 2,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目2 退職被保険者等一部負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 2,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

款3 国庫支出金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 5,828,526,000円 | 5,996,404,484円 | 5,996,404,484円 | 102.9% | 0円 | 0円 |

国民健康保険料とともに重要な財源であり、国の義務である国庫負担金の交付を受けました。また、国庫補助金につきましては、算定根拠に基づいて交付を受けました。

項1 国庫負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 4,955,553,000円 | 4,717,305,484円 | 4,717,305,484円 | 95.2% | 0円 | 0円 |

目1 療養給付費等負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 4,693,870,000円 | 4,458,738,550円 | 4,458,738,550円 | 95.0% | 0円 | 0円 |

| 項目 | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 不納欠損額(円) | 収入未済額(円) |
|-------------|---------------|---------------|---------------|----------|----------|
| 療養給付費負担金 | 3,167,187,000 | 2,931,070,845 | 2,931,070,845 | 0 | 0 |
| 後期高齢者支援金負担金 | 1,133,267,000 | 1,133,267,674 | 1,133,267,674 | 0 | 0 |
| 介護納付金負担金 | 393,416,000 | 394,400,031 | 394,400,031 | 0 | 0 |

一般被保険者等の自己負担分を除いた医療費等の32%を国から負担金として交付を受けました。

目2 高額医療費共同事業負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 201,575,000円 | 198,458,934円 | 198,458,934円 | 98.5% | 0円 | 0円 |

高額医療費共同事業拠出金の1/4に相当する額を国から負担金として交付を受けました。

目3 特定健康診査等負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 60,108,000円 | 60,108,000円 | 60,108,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

特定健康診査及び特定保健指導に要する費用の1/3に相当する額を国から負担金として交付を受けました。

項2 国庫補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 872,973,000円 | 1,279,099,000円 | 1,279,099,000円 | 146.5% | 0円 | 0円 |

目1 財政調整交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 871,029,000円 | 1,277,155,000円 | 1,277,155,000円 | 146.6% | 0円 | 0円 |

| 項目 | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 不納欠損額(円) | 収入未済額(円) |
|---------|-------------|-------------|-------------|----------|----------|
| 普通調整交付金 | 571,029,000 | 884,089,000 | 884,089,000 | 0 | 0 |
| 特別調整交付金 | 300,000,000 | 393,066,000 | 393,066,000 | 0 | 0 |

目2 国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 1,944,000円 | 1,944,000円 | 1,944,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

平成30年度から始まる国民健康保険の都道府県広域化への準備として、試算用データ抽出のために行ったシステム改修の経費に対し、国から補助金の交付を受けました（補助率10/10）。

款4 療養給付費等交付金

項1 療養給付費等交付金

目1 療養給付費等交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 543,047,000円 | 556,435,485円 | 556,435,485円 | 102.5% | 0円 | 0円 |

退職被保険者の医療費に充てるための交付金です。現年度分の交付決定額は597,572,000円でしたが、過年度返還額41,136,515円を充当したため、556,435,485円の交付となりました。

款5 前期高齢者交付金**項1 前期高齢者交付金****目1 前期高齢者交付金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 9,089,218,000円 | 9,089,218,168円 | 9,089,218,168円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

65歳～74歳の前期高齢者の医療費に充てるための交付を受けました。

款6 県支出金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 1,758,464,000円 | 1,742,093,934円 | 1,742,093,934円 | 99.1% | 0円 | 0円 |

項1 県負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 261,683,000円 | 258,566,934円 | 258,566,934円 | 98.8% | 0円 | 0円 |

目1 高額医療費共同事業負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 201,575,000円 | 198,458,934円 | 198,458,934円 | 98.5% | 0円 | 0円 |

高額医療費共同事業拠出金の1/4に相当する額を県から負担金として交付を受けました。

目2 特定健康診査等負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 60,108,000円 | 60,108,000円 | 60,108,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

特定健康診査及び特定保健指導に要する費用の1/3に相当する額を県から負担金として交付を受けました。

項2 県補助金**目1 都道府県財政調整交付金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 1,496,781,000円 | 1,483,527,000円 | 1,483,527,000円 | 99.1% | 0円 | 0円 |

| 項目 | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 不納欠損額(円) | 収入未済額(円) |
|-----------|-------------|-------------|-------------|----------|----------|
| 地域普通調整交付金 | 896,781,000 | 830,712,000 | 830,712,000 | 0 | 0 |
| 地域特別調整交付金 | 600,000,000 | 652,815,000 | 652,815,000 | 0 | 0 |

款7 共同事業交付金**項1 共同事業交付金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 6,567,268,000円 | 6,545,616,774円 | 6,545,616,774円 | 99.7% | 0円 | 0円 |

目1 高額医療費共同事業交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 659,926,000円 | 679,046,298円 | 679,046,298円 | 102.9% | 0円 | 0円 |

高額医療費共同事業は、月80万円を超える療養の給付費等に対して、県内の市町が国、県の補助を受けて行っている事業であり、交付基準を超えた額について交付を受けました。

目2 保険財政共同安定化事業交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 5,907,342,000円 | 5,866,570,476円 | 5,866,570,476円 | 99.3% | 0円 | 0円 |

保険財政共同安定化事業は、県内の市町国保の平準化、財政の安定化を図るため、すべての医療費について、各市町国保からの拠出金を財源として行う事業であり、実際に発生した医療費に応じて交付を受けました。

款8 財産収入

項1 財産運用収入

目1 利子及び配当金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 1,561,000円 | 1,561,130円 | 1,561,130円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

国民健康保険支払準備基金の運用益を収納しました。

款9 繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 2,702,468,000円 | 2,702,465,827円 | 2,702,465,827円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

繰入金は、一般会計繰入金と基金繰入金があり、一般会計繰入金は法定と法定外に分かれ、国民健康保険事業の運営上重要な財源です。

項1 一般会計繰入金

目1 一般会計繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 1,856,969,000円 | 1,856,966,827円 | 1,856,966,827円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

○繰入金の内訳

| 区分 | 項目 | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 予算現額との比較(円) |
|-----|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 法定 | 保険基盤安定繰入金 (保険料軽減分) | 902,050,000 | 902,049,356 | 902,049,356 | △644 |
| | 保険基盤安定繰入金 (保険者支援分) | 492,406,000 | 492,405,303 | 492,405,303 | △697 |
| | 職員給与等繰入金 | 266,353,000 | 246,255,340 | 246,255,340 | △20,097,660 |
| | 出産育児一時金等繰入金 | 75,600,000 | 68,982,571 | 68,982,571 | △6,617,429 |
| | 財政安定化支援事業繰入金 | 71,354,000 | 71,354,000 | 71,354,000 | 0 |
| 法定外 | その他一般会計繰入金 | 49,206,000 | 75,920,257 | 75,920,257 | 26,714,257 |

- ・保険基盤安定繰入金（保険料軽減分）は、低所得者の保険料軽減分を補填する制度で、県（3/4）・市（1/4）が負担します。

| 医療分 | | 後期分 | | 介護分 | |
|------|------------------|---------|----------|--------|---------|
| 7割軽減 | 14,271人 10,568世帯 | 14,271人 | 10,568世帯 | 4,713人 | 4,319世帯 |
| 5割軽減 | 9,286人 5,011世帯 | 9,286人 | 5,011世帯 | 2,446人 | 2,001世帯 |
| 2割軽減 | 8,739人 4,680世帯 | 8,739人 | 4,680世帯 | 2,248人 | 1,804世帯 |

- ・保険基盤安定繰入金（保険者支援分）は、中間所得階層の保険料負担を軽減する制度で、国（1/2）、県（1/4）、市（1/4）が負担します。
- ・職員給与費等繰入金は、国保事業に従事する職員等の人件費及び一般経費が対象です。
- ・出産育児一時金等繰入金は 出産育児一時金の2/3が対象です。
- ・財政安定化支援事業繰入金は、低所得者の割合、高齢者の割合、病院の病床数等を根拠に国が算定し、普通交付税で措置されます。繰入額は市の実情に即して決定されます。
- ・その他一般会計繰入金は、減免した保険料等に充てるため一般会計から繰り入れました。

項2 基金繰入金

目1 基金繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 845,499,000円 | 845,499,000円 | 845,499,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

保険給付費の支払いに充てるため、国民健康保険支払準備基金から繰り入れを行いました。

款10 繰越金

項1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 1,190,589,000円 | 1,490,588,341円 | 1,490,588,341円 | 125.2% | 0円 | 0円 |

目1 療養給付費等交付金繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目2 その他繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 1,190,588,000円 | 1,490,588,341円 | 1,490,588,341円 | 125.2% | 0円 | 0円 |

款11 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|----------|
| 60,139,000円 | 94,953,414円 | 94,728,713円 | 157.5% | 0円 | 224,701円 |

自動車事故等のような第三者行為に関する求償額等を収納しました。

項1 延滞金加算金及び過料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 18,788,000円 | 54,554,463円 | 54,554,463円 | 290.4% | 0円 | 0円 |

目1 一般被保険者延滞金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 17,387,000円 | 51,721,329円 | 51,721,329円 | 297.5% | 0円 | 0円 |

目2 退職被保険者等延滞金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 1,401,000円 | 2,833,134円 | 2,833,134円 | 202.2% | 0円 | 0円 |

項2 預金利子**目1 預金利子**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 500,000円 | 503,792円 | 503,792円 | 100.8% | 0円 | 0円 |

項3 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|----------|
| 40,851,000円 | 39,895,159円 | 39,670,458円 | 97.1% | 0円 | 224,701円 |

目1 小切手未払資金組入れ

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 343,000円 | 588,478円 | 588,478円 | 171.6% | 0円 | 0円 |

目2 一般被保険者第三者納付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 33,062,000円 | 28,862,822円 | 28,862,822円 | 87.3% | 0円 | 0円 |

目3 退職被保険者等第三者納付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|--------|--------|------------|-------|-------|
| 1,638,000円 | 9,030円 | 9,030円 | 0.6% | 0円 | 0円 |

目4 一般被保険者返納金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|----------|
| 5,646,000円 | 8,548,284円 | 8,323,583円 | 147.4% | 0円 | 224,701円 |

目5 退職被保険者等返納金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|--------|--------|------------|-------|-------|
| 7,000円 | 4,557円 | 4,557円 | 65.1% | 0円 | 0円 |

目6 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 155,000円 | 1,881,988円 | 1,881,988円 | 1,214.2% | 0円 | 0円 |

歳出

款1 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 268,451,000円 | 248,330,270円 | 92.5% | 0円 | 20,120,730円 |

項1 総務管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 226,781,000円 | 212,435,693円 | 93.7% | 0円 | 14,345,307円 |

目1 一般管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 213,646,000円 | 199,843,364円 | 93.5% | 0円 | 13,802,636円 |

国民健康保険事業運営に必要な人件費及び被保険者証や納付書の発行等の事務費として支出しました。

[一般職給] 13人 82,217,862円
 [一般経費] 117,625,502円

目2 連合会負担金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 13,135,000円 | 12,592,329円 | 95.9% | 0円 | 542,671円 |

県内の保険者が保険者の事務の共同処理、診療報酬の審査及び支払い等、保険者の共同目的達成のために組織する国保連合会への運営費で、主に事務費・保健事業の推進に対して負担しました。

[負担金]

・三重県国民健康保険団体連合会
 一般事業 7,127,925円
 保健事業 5,436,720円
 三重県保険者協議会 27,684円

項2 徴収費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 40,709,000円 | 35,195,291円 | 86.5% | 0円 | 5,513,709円 |

目1 賦課徴収費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 40,500,000円 | 35,069,684円 | 86.6% | 0円 | 5,430,316円 |

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|----------------------|
| 目的 | 保険料収納率の向上 | | | | |
| 指標 | 現年度分収納率 | 目標 | 91.0%以上 | 実績 | 91.1% (27年度90.5%) |
| 説明 | 平成28年度は、電話催告・訪問催告を重点とした初期末納者対策を実施するとともに、文書催告等により長期滞納の抑止に努めました。また、現年度収納率向上のため、コンビニ収納の周知と、口座振替の訪問勧奨による納期内納付を推進しました。困難事案については、収納推進課へ移管（875件、うち平成28年度新規移管621件）を行い、早期解決を図りました。 今後も、収納対策の強化を行い、収納推進課との連携を深めながら、収納率の向上に取り組めます。 | | | | |

〔保険料納付指導員経費〕 12人 34,790,606円 (その他特財 130,930円)
 〔賦課徴収経費〕 279,078円

目2 滞納処分費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|---------|
| 209,000円 | 125,607円 | 60.1% | 0円 | 83,393円 |

| | | | | | |
|----|--|----|--------|----|-----------------------|
| 目的 | 滞納処分の実施 | | | | |
| 指標 | 滞納処分件数 | 目標 | 500件以上 | 実績 | 1,092件 (27年度 845件) |
| 説明 | 再三の電話催告・訪問催告・文書催告にもかかわらず、資力や財産がありながら納付のない滞納者に対し、預金等の差押を実施しました。その結果、保険年金課667件 97,851,396円 収納推進課移管分 425件 65,111,852円となりました。 今後も保険料負担の公平性を保つため、支払能力があるにもかかわらず自主納付の見込みのない滞納者については、実効性のある滞納整理・滞納処分に取り組みます。 | | | | |

項3 運営協議会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|----------|
| 434,000円 | 219,100円 | 50.5% | 0円 | 214,900円 |

目1 運営協議会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|----------|
| 434,000円 | 219,100円 | 50.5% | 0円 | 214,900円 |

国民健康保険事業の諮問機関である国民健康保険運営協議会の開催等に係る経費で、28年度は2回開催しました。

〔委員報酬〕 189,600円

・国民健康保険運営協議会委員 15人

〔運営協議会事務費〕 29,500円

項4 趣旨普及費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|---------|
| 527,000円 | 480,186円 | 91.1% | 0円 | 46,814円 |

目1 趣旨普及費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|---------|
| 527,000円 | 480,186円 | 91.1% | 0円 | 46,814円 |

款2 保険給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|----------------|
| 20,712,254,000円 | 19,496,130,492円 | 94.1% | 0円 | 1,216,123,508円 |

項1 療養諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 18,006,704,000円 | 17,032,530,710円 | 94.6% | 0円 | 974,173,290円 |

目1 一般被保険者療養給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|--------------|
| 17,316,351,000円 | 16,382,849,168円 | 94.6% | 0円 | 933,501,832円 |

療養費用額のうち本人負担を除いた残りの費用を保険者として負担しました。

目2 退職被保険者等療養給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 445,995,000円 | 417,970,907円 | 93.7% | 0円 | 28,024,093円 |

療養費用額のうち本人負担を除いた残りの費用を保険者として負担しました。

目3 一般被保険者療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 177,477,000円 | 168,244,410円 | 94.8% | 0円 | 9,232,590円 |

一般被保険者が療養給付で医療を受けられない場合（コルセットの装着・柔道整復）や、緊急で保険証を持ち合わせていない場合などに、本人が費用額全額を医療機関等で支払い、後で申請により本人負担額を除く額を払い戻しました。

目4 退職被保険者等療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 5,213,000円 | 4,695,411円 | 90.1% | 0円 | 517,589円 |

退職被保険者が療養給付で医療を受けられない場合（コルセットの装着・柔道整復）や、緊急で保険証を持ち合わせていない場合などに、本人が費用額全額を医療機関等で支払い、後で申請により本人負担額を除く額を払い戻しました。

目5 審査支払手数料

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 61,668,000円 | 58,770,814円 | 95.3% | 0円 | 2,897,186円 |

療養取扱機関が診療費を請求する額について、国民健康保険団体連合会に委託審査してもらうための経費を支出しました。

項2 高額療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------------|
| 2,564,353,000円 | 2,341,991,385円 | 91.3% | 0円 | 222,361,615円 |

目1 一般被保険者高額療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------------|
| 2,449,983,000円 | 2,262,968,165円 | 92.4% | 0円 | 187,014,835円 |

同一月に医療機関で保険診療した時の一部負担金支払額が一定額を超えた時に、本人申請によりその超えた額を支出しました。

目2 退職被保険者等高額療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 112,507,000円 | 77,590,032円 | 69.0% | 0円 | 34,916,968円 |

同一月に医療機関で保険診療した時の一部負担金支払額が一定額を超えた時に、本人申請によりその超えた額を支出しました。

目3 一般被保険者高額介護合算療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 1,700,000円 | 1,270,403円 | 74.7% | 0円 | 429,597円 |

医療機関で保険診療した時の一部負担金支払額と介護保険利用者負担額を合算した額が、年間の一定額を超えた時に、本人申請によりその超えた額を支出しました。

目4 退職被保険者等高額介護合算療養費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 163,000円 | 162,785円 | 99.9% | 0円 | 215円 |

医療機関で保険診療した時の一部負担金支払額と介護保険利用者負担額を合算した額が、年間の一定額を超えた時に、本人申請によりその超えた額を支出しました。

項3 移送費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|---------|------------|--------|----------|
| 240,000円 | 34,560円 | 14.4% | 0円 | 205,440円 |

目1 一般被保険者移送費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|---------|------------|--------|----------|
| 160,000円 | 34,560円 | 21.6% | 0円 | 125,440円 |

目2 退職被保険者等移送費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 80,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 80,000円 |

項4 出産育児諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 113,457,000円 | 103,523,837円 | 91.2% | 0円 | 9,933,163円 |

目1 出産育児一時金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 113,400,000円 | 103,473,857円 | 91.2% | 0円 | 9,926,143円 |

出産による諸費用の負担軽減を図るため、被保険者が出産した時に支出しました。

目2 支払手数料

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|---------|------------|--------|--------|
| 57,000円 | 49,980円 | 87.7% | 0円 | 7,020円 |

項5 葬祭諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 27,500,000円 | 18,050,000円 | 65.6% | 0円 | 9,450,000円 |

目1 葬祭費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 27,500,000円 | 18,050,000円 | 65.6% | 0円 | 9,450,000円 |

被保険者が死亡した時に、葬儀を行った人に葬祭費として5万円を支出しました。

○保険給付の状況

| 区 分 | 決算額 | 一人当たり | うち特定財源 | |
|-----------------|-----------------|----------|---------------------------|--|
| | | | 国県支出金 保険料 その他特財 | |
| 一般療養給付費 | 16,382,849,168円 | 252,986円 | 国県支出金 保険料 その他特財 | 3,858,240,573円 2,518,166,282円 8,992,023,326円 |
| 退職療養給付費 | 417,970,907円 | 273,720円 | 療養給付費等交付金 保険料 その他特財 | 302,956,090円 112,915,250円 2,099,567円 |
| 一般療養費 | 168,244,410円 | 2,598円 | 国県支出金 保険料 その他特財 | 53,838,211円 112,773,121円 1,633,078円 |
| 退職療養費 | 4,695,411円 | 3,075円 | 療養給付費等交付金 | 4,695,411円 |
| 一般高額療養費 | 2,262,968,165円 | 34,945円 | 国県支出金 保険料 その他特財 | 724,149,812円 1,253,908,526円 284,909,827円 |
| 退職高額療養費 | 77,590,032円 | 50,812円 | 療養給付費等交付金 | 77,590,032円 |
| 一般高額介護 合算療養費 | 1,270,403円 | — | 国県支出金 保険料 | 406,528円 863,875円 |
| 退職高額介護 合算療養費 | 162,785円 | — | 療養給付費等交付金 | 162,785円 |
| 一般移送費 | 34,560円 | — | 国県支出金 保険料 | 11,059円 23,501円 |
| 退職移送費 | 0円 | — | — | — |
| 出産育児一時金 | 103,473,857円 | — | 保険料 | 34,491,286円 |
| 葬祭費 | 18,050,000円 | — | 保険料 | 18,050,000円 |

款3 後期高齢者支援金等

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------|
| 3,609,873,000円 | 3,609,871,228円 | 100.0% | 0円 | 1,772円 |

項1 後期高齢者支援金等

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------|
| 3,609,873,000円 | 3,609,871,228円 | 100.0% | 0円 | 1,772円 |

目1 後期高齢者支援金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------|
| 3,609,614,000円 | 3,609,613,075円 | 100.0% | 0円 | 925円 |

後期高齢者医療制度に基づく75歳以上の者（65歳以上の一定の障がいがあり認定をうけた者を含む。）を対象とした医療費を、社会保険診療報酬支払基金に拠出金として支出しました。

目2 後期高齢者関係事務費拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 259,000円 | 258,153円 | 99.7% | 0円 | 847円 |

社会保険診療報酬支払基金の審査支払関係事務に要する経費を支出しました。

○後期高齢者支援金の状況

| 区 分 | 決算額 | 一人当たり | うち特定財源 | |
|----------|----------------|---------|--------|----------------|
| | | | | |
| 後期高齢者支援金 | 3,609,613,075円 | 54,456円 | 国県支出金 | 1,483,831,052円 |
| | | | 保険料 | 1,739,470,282円 |
| | | | その他特財 | 7,396,375円 |
| 事務費拠出金 | 258,153円 | 4円 | 保険料 | 258,153円 |

款4 前期高齢者納付金等

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|--------|
| 2,623,000円 | 2,621,982円 | 100.0% | 0円 | 1,018円 |

項1 前期高齢者納付金等

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|--------|
| 2,623,000円 | 2,621,982円 | 100.0% | 0円 | 1,018円 |

目1 前期高齢者納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------|
| 2,372,000円 | 2,371,482円 | 100.0% | 0円 | 518円 |

65歳～74歳の前期高齢者の医療費を、社会保険診療報酬支払基金に拠出金として支出しました。

目2 前期高齢者関係事務費拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 251,000円 | 250,500円 | 99.8% | 0円 | 500円 |

社会保険診療報酬支払基金の審査支払関係事務に要する経費を支出しました。

○前期高齢者納付金の状況

| 区 分 | 決算額 | 一人当たり | うち特定財源 | |
|----------|------------|-------|--------|------------|
| 前期高齢者納付金 | 2,371,482円 | 36円 | その他特財 | 2,371,482円 |
| 事務費拠出金 | 250,500円 | 4円 | その他特財 | 250,500円 |

款5 老人保健拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 112,000円 | 111,477円 | 99.5% | 0円 | 523円 |

項1 老人保健拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 112,000円 | 111,477円 | 99.5% | 0円 | 523円 |

目1 老人保健事務費拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 112,000円 | 111,477円 | 99.5% | 0円 | 523円 |

社会保険診療報酬支払基金の審査支払関係事務に要する経費を支出しました。

款6 介護納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------|
| 1,229,427,000円 | 1,229,426,365円 | 100.0% | 0円 | 635円 |

項1 介護納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------|
| 1,229,427,000円 | 1,229,426,365円 | 100.0% | 0円 | 635円 |

目1 介護納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------|
| 1,229,427,000円 | 1,229,426,365円 | 100.0% | 0円 | 635円 |

介護第2号被保険者（40～64歳）で賄う費用であり、社会保険診療報酬支払基金へ納付する経費を支出しました。

〔 介護第1号被保険者：市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者
介護第2号被保険者：市町村の区域内に住所を有する40～65歳未満の医療保険加入者 〕

○介護納付金の状況

| 区 分 | 決算額 | 一人当たり | うち特定財源 | |
|-------|----------------|---------|--|--|
| | | | 国県支出金 保険料 その他特財 | |
| 介護納付金 | 1,229,426,365円 | 59,269円 | 560,122,031円 471,713,044円 109,304,727円 | |

款7 共同事業拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|----------------|--------|-------------|
| 7,158,267,000円 | 7,132,678,065円 | 99.6% | 0円 | 25,588,935円 |

項1 共同事業拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|----------------|--------|-------------|
| 7,158,267,000円 | 7,132,678,065円 | 99.6% | 0円 | 25,588,935円 |

目1 高額医療費共同事業医療費拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|-------------|
| 806,304,000円 | 791,054,339円 | 98.1% | 0円 | 15,249,661円 |

月80万円を超える高額な医療給付の発生による国民健康保険の財政運営の不安定化を緩和することを目的として行われている再保険事業の費用を支出しました。

目2 保険財政共同安定化事業拠出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|----------------|--------|-------------|
| 6,351,963,000円 | 6,341,623,726円 | 99.8% | 0円 | 10,339,274円 |

県内の市町国保の平準化、財政の安定化を図ることを目的として、すべての医療給付を対象に行われている再保険事業の費用を支出しました。

款8 保健事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|-------------|
| 393,894,000円 | 343,967,945円 | 87.3% | 0円 | 49,926,055円 |

項1 保健事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|-------------|
| 393,894,000円 | 343,967,945円 | 87.3% | 0円 | 49,926,055円 |

目1 保健衛生普及費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|-------------|
| 393,894,000円 | 343,967,945円 | 87.3% | 0円 | 49,926,055円 |

| | | | | | |
|----|--|----|---------|----|--------------------------------|
| 目的 | 保健事業を実施し被保険者の健康保持により医療費の増加を抑える | | | | |
| 指標 | 特定健康診査受診率 | 目標 | 57.0%以上 | 実績 | 48.0%【速報値】 (27年度48.2%【確定値】) |
| 説明 | <p>特定健康診査の受診率は、電話や文書による受診勧奨に取り組んだものの、48.0%【速報値】(27年度48.2%【確定値】)と、わずかに前年度実績を0.2ポイント下回りました。引き続き、未受診者に対する電話勧奨方法として外部コールセンターを活用するなど、受診率の向上に努めます。</p> <p>脳ドック受診者への助成、健康づくり課が実施する各種検診受診者への助成を行いました。脳ドック受診者助成については、111件(27年度126件)で前年度より減少しましたが、がん検診については、受診者数31,031人(27年度30,892人)と増加しました。</p> <p>また、27年度から取り組んでいるヘルスアップ事業において、糖尿病性腎症重症化予防として糖尿病期Ⅲ、Ⅳの対象者26人に保健指導を実施するとともに、重複・頻回受診者訪問指導として対象者20人に訪問指導を実施しました。</p> | | | | |

〔胃がん・子宮がん検診等受診料助成費補助金〕 58,133,900円

・各種がん検診助成

〔保健衛生普及事業費〕 1,391,064円

・うち脳ドック受診者助成 1,110,000円

・うち歯科検診受診者助成 247,000円

〔医療費通知事業費〕 6,556,469円

(国県支出金 1,188,000円)

〔ヘルスアップ事業費〕 14,352,176円

(国県支出金 12,000,000円)

〔保険者特定健康診査等事業費〕 263,534,336円

(国県支出金 120,216,000円)

○保健事業の状況

ア 特定健康診査受診者数

| 年度 | 対象者(人) | 受診者(人) | 受診率(%) |
|------|--------|--------|------------|
| 27年度 | 47,581 | 22,921 | 48.2%【確定値】 |
| 28年度 | 45,617 | 21,912 | 48.0%【速報値】 |

イ 脳ドック受診助成者数

| 対象年齢 | 受診者数(人) | 前年度(人) |
|--------|---------|--------|
| 年齢制限なし | 111 | 126 |

ウ 歯科(歯周病)検診受診助成者数

| 対象年齢 | 受診者数(人) | 前年度(人) |
|--------------|---------|--------|
| 40、50、60、70歳 | 494 | 489 |

エ 各種がん検診受診助成者数

| 区分 | 対象年齢 | 対象者数(人) | 受診者数(人) | 受診率(%) | 前年度(%) |
|---------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 胃がん検診 | 20～74歳 | 61,209 | 8,455 | 13.8 | 14.2 |
| 子宮頸がん検診 | 20～74歳 | 32,602 | 3,843 | 11.8 | 11.8 |
| 肺がん検診 | 20～74歳 | 61,209 | 6,246 | 10.2 | 9.0 |

| | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|------|------|
| 乳がん検診 | 20～74歳 | 32,602 | 3,031 | 9.3 | 8.9 |
| 大腸がん検診 | 40～74歳 | 51,622 | 9,456 | 18.3 | 17.4 |

○保健事業費の状況

| 区 分 | 決算額 | 一人当たり | うち特定財源 | |
|---------|--------------|--------|--------------|------------------------------|
| 保健衛生普及費 | 343,967,945円 | 5,189円 | 国県支出金 保険料 | 133,404,000円 150,455,945円 |

款9 基金積立金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|------|
| 719,624,000円 | 719,623,498円 | 100.0% | 0円 | 502円 |

項1 基金積立金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|------|
| 719,624,000円 | 719,623,498円 | 100.0% | 0円 | 502円 |

目1 準備金積立金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|----------------|--------|------|
| 719,624,000円 | 719,623,498円 | 100.0% | 0円 | 502円 |

国民健康保険財政の安定化を図り、事業の健全な運営に資するために設置している支払準備基金へ積み立てる経費を支出しました。

国民健康保険支払準備基金（昭和39年3月設置 平成28年度末現在高 3,439,769,879円）

款10 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|----------------|--------|---------|
| 100,000円 | 69円 | 0.1% | 0円 | 99,931円 |

項1 一般公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|----------------|--------|---------|
| 100,000円 | 69円 | 0.1% | 0円 | 99,931円 |

目1 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|----------------|--------|---------|
| 100,000円 | 69円 | 0.1% | 0円 | 99,931円 |

診療報酬の支払に充てる資金を一時借入した際の利息分として支出しました。

款11 諸支出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 77,647,000円 | 69,458,305円 | 89.5% | 0円 | 8,188,695円 |

項1 償還金及び還付加算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 77,647,000円 | 69,458,305円 | 89.5% | 0円 | 8,188,695円 |

目1 一般被保険者保険料還付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 21,500,000円 | 14,863,386円 | 69.1% | 0円 | 6,636,614円 |

国民健康保険料の過誤納金の返還に充てる経費を支出しました。

目2 退職被保険者等保険料還付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 600,000円 | 515円 | 0.1% | 0円 | 599,485円 |

国民健康保険料の過誤納金の返還に充てる経費を支出しました。

目3 償還金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------|
| 54,464,000円 | 54,463,604円 | 100.0% | 0円 | 396円 |

過年度の国庫支出金等の返還に充てる経費を支出しました。

目4 小切手支払未済償還金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 343,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 343,000円 |

目5 一般被保険者還付加算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|----------|
| 700,000円 | 130,795円 | 18.7% | 0円 | 569,205円 |

目6 退職被保険者等還付加算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 40,000円 | 5円 | 0.0% | 0円 | 39,995円 |

款12 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|------------|--------|------------|
| 3,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 3,000,000円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|----------------|--------|------------|
| 3,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 3,000,000円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に 対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|----------------|--------|------------|
| 3,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 3,000,000円 |

食肉センター—食肉市場特別会計

○平成 28 年度決算状況

| 歳 入 | 決 算 額 | 歳 出 | 決 算 額 |
|---------|---------------|--------|---------------|
| 1. 事業収入 | 92,587,109 円 | 1. 業務費 | 502,903,629 円 |
| 2. 県支出金 | 61,847,000 円 | 2. 公債費 | 149,198,330 円 |
| 3. 繰入金 | 395,679,000 円 | 3. 予備費 | 0 円 |
| 4. 繰越金 | 15,055,079 円 | | |
| 5. 諸収入 | 33,609,764 円 | | |
| 6. 市債 | 77,500,000 円 | | |
| 合 計 | 676,277,952 円 | 合 計 | 652,101,959 円 |
| | | 収 支 | 24,175,993 円 |

歳入

款 1 事業収入

項 1 事業収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 92,405,000 円 | 92,587,109 円 | 92,587,109 円 | 100.2% | 0 円 | 0 円 |

目 1 食肉センター—使用料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 60,696,000 円 | 63,489,150 円 | 63,489,150 円 | 104.6% | 0 円 | 0 円 |

目 2 食肉市場使用料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 31,709,000 円 | 29,097,959 円 | 29,097,959 円 | 91.8% | 0 円 | 0 円 |

○事業収入の内訳

| 項 目 | 金 額 (円) (前 年 度) | 備 考 |
|------------|----------------------------|-----------|
| 食肉センター—使用料 | 63,489,150 (61,914,186) | |
| 牛 | 9,853,920 (10,314,000) | 2,160 円/頭 |
| 豚 (子牛含む) | 53,635,230 (51,600,186) | 594 円/頭 |

| | | |
|--------------|----------------------------|-------------|
| 食肉市場使用料 | 29,097,959 (29,310,287) | |
| 卸売業者市場使用料(牛) | 1,721,029 (2,166,083) | 取扱高×2/1,000 |
| 卸売業者市場使用料(豚) | 7,096,378 (6,998,436) | 取扱高×2/1,000 |
| 卸売業者売場使用料 | 196,992 | 216円/㎡/月 |
| 事務所使用料 | 4,078,512 | 324円/㎡/月 |
| 部分肉加工施設使用料 | 3,723,144 | 907円/㎡/月 |
| 敷地占用料 | 3,600 | 電柱2本 |
| 簡易冷蔵庫使用料 | 264,384 (129,600) | 216円/㎡/月 |
| 枝肉冷蔵施設等使用料 | 12,013,920 | 1,080円/㎡/月 |

国内の家畜飼養頭数の減少の影響で、前年度と比較して、牛は取扱頭数が減少しましたが、豚は卸売会社の積極的な集荷努力により増加しました。と畜頭数を基にした食肉センター使用料、市場取扱高を基にした卸売業者市場使用料とも、この結果を受けて増減しています。

款2 県支出金

項1 県補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 61,847,000円 | 61,847,000円 | 61,847,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目1 食肉センター補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 22,896,000円 | 22,896,000円 | 22,896,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目2 食肉市場補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 38,951,000円 | 38,951,000円 | 38,951,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

施設整備に伴い借入した市債償還(元金・利子)及び集出荷対策事業に対する県補助金です。

食肉処理施設再整備事業費補助金

22,896,000円

市場機能強化対策事業費補助金

38,951,000円

款3 繰入金

項1 繰入金

目1 一般会計繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 395,679,000円 | 395,679,000円 | 395,679,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

款4 繰越金
 項1 繰越金
 目1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 15,055,000円 | 15,055,079円 | 15,055,079円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

款5 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 38,714,000円 | 33,609,764円 | 33,609,764円 | 86.8% | 0円 | 0円 |

項1 預金利子
 目1 預金利子

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 21,135円 | 21,135円 | 2,113.5% | 0円 | 0円 |

項2 雑入
 目1 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 38,713,000円 | 33,588,629円 | 33,588,629円 | 86.8% | 0円 | 0円 |

施設利用者からの実費弁償金等です。

・光熱水費及び雑入の内訳

| 歳出（光熱水費） | | | 雑入 | | |
|----------|------------------------|-------------|-----------|------------|-------------|
| 項目 | 使用量 | 料金（円） | 項目 | 金額（円） | 摘要 |
| 電力 | 2,038,956kW | 35,518,727 | 私用電気使用料 | 20,629,271 | 料金の58.08%徴収 |
| 都市ガス | 157,044 m ³ | 11,781,448 | 私用ガス使用料 | 589,064 | 料金の5%徴収 |
| プロパンガス | 27.6 m ³ | 27,148 | — | | |
| 上水道 | 118,808 m ³ | 42,390,545 | 私用水道使用料 | 4,267,557 | 料金の10%徴収 |
| 下水道 | 156,042 m ³ | 56,889,080 | 私用下水道使用料 | 5,688,905 | 料金の10%徴収 |
| 工業用水 | 37,179 m ³ | 2,187,810 | — | | |
| 計 | | 148,794,758 | 実費弁償金計 | 31,174,797 | |
| | | | 食肉市場整備事業費 | 1,975,432 | |
| | | | 消費税還付金 | 438,400 | |
| | | | 雑入計 | 33,588,629 | |

款6 市債
 項1 市債
 目1 農林水産業債

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 77,500,000円 | 77,500,000円 | 77,500,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

歳出

款 1 業務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 530,143,000 円 | 502,903,629 円 | 94.9% | 0 円 | 27,239,371 円 |

項 1 業務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 530,143,000 円 | 502,903,629 円 | 94.9% | 0 円 | 27,239,371 円 |

目 1 業務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|--------------|
| 530,143,000 円 | 502,903,629 円 | 94.9% | 0 円 | 27,239,371 円 |

〔一般職給〕 2 人 17,092,848 円
 〔再任用職給〕 1 人 3,840,985 円

| 目的 | 適正かつ効率的な食肉処理のための施設の整備運営を実施する | | | | |
|----|--|----|-------------|----|--------------------------|
| 指標 | 機器等のトラブル回数 | 目標 | 重故障 3 回/年以下 | 実績 | 重故障 3 回/年 (前年度 2 回/年) |
| 説明 | <p>食肉処理については、衛生性の確保や肉の仕上がりの点から迅速な加工処理が求められています。また、当施設の食肉処理施設については、各食肉処理工程を順に進んでいくライン化がされており、処理機器・設備の 1 つでも不具合を起こすとライン全体を停止しなければならなくなる場合もあります。また、冷蔵設備、汚水処理施設等の不具合も施設稼働に重大な支障を来すこととなります。</p> <p>こういった状況の中、消費者に安全・安心な食肉を供給するために、施設管理の徹底や施設不具合が発生した場合の迅速な対応に努めてきました。施設設備の老朽更新、保守点検、修繕を実施するとともに、施設を利用している(株)三重県四日市畜産公社に日常の点検や修繕等業務を委託することにより、施設の安定稼働に努めました。</p> <p>本年度は、目標を達成することができましたが、設備の老朽化や部品等の経年劣化による故障が多くなっているため、今後も、老朽設備の更新を実施しながら、施設・設備の的確な維持管理に努めていきます。</p> | | | | |

〔施設維持管理費〕 36,219,280 円 (その他特財 36,219,280 円)
 主要設備の専門業者による保守点検に 11,571,120 円、老朽化等に伴う施設修繕に 20,312,640 円を支出しました。

〔食肉センター食肉市場業務委託費〕 113,067,360 円 (その他特財 58,781,661 円)
 (株)三重県四日市畜産公社に、日常の施設の維持管理、保守点検、衛生対策を委託しました。

〔施設整備事業費〕

101,998,440円（市債 77,500,000円）

| 主要な施設整備事業内容 | 実施額（円） |
|--|------------|
| 6号冷蔵庫保留庫設備更新工事 平成9年の設置から老朽化が進んでいた6号冷蔵庫を更新しました。 | 44,928,000 |
| 豚自動背割機更新工事 平成13年の設置から老朽化が進んでいた豚自動背割機を更新しました。 | 38,400,480 |
| と畜場棟屋根外壁改修工事 昭和56年の施設整備から老朽化が進んでいたと畜場棟の屋根及び外壁の改修を行いました。 | 16,902,000 |

| 目的 | 市場取扱量を安定させる | | | | |
|----|---|----|-------------|----|----------------------------|
| 指標 | 市場取引頭数 | 目標 | 牛 1,300頭以上 | 実績 | 牛 984頭 (前年度 1,300頭) |
| | | | 豚 84,000頭以上 | | 豚 90,131頭 (前年度 86,762頭) |
| 説明 | <p>食肉市場において、食肉の円滑な流通と適正な価格形成を確保するため、御売会社である株三重県四日市畜産公社を通じて、集荷及び販売対策事業を実施し、市場運営の健全化に努めました。取引頭数は、全国的な飼養頭数の減少により、牛は減少しましたが、豚は積極的な集荷努力の結果、増加しました。</p> <p>枝肉の総取引金額は、44億円で対前年比3.8%減となりました。</p> <p>取引頭数を確保するため、引き続き効果的な集出荷対策の実施を目指します。</p> | | | | |

〔市場機能強化対策事業費補助金〕

79,302,000円（県支出金 38,951,000円）

○食肉センター業務について

本年度の開場日数は241日で、と畜頭数は、牛は減少し、豚は増加しました。

・食肉センター使用状況

| 区分 | 成牛 | 子牛 | 豚 | 計 |
|------------------------|---------------------------|------------------|----------------------------|----------------------------|
| 本年度計画頭数(頭) | 5,000 | 0 | 84,000 | 89,000 |
| 本年度と畜頭数(頭) (前年度 〃) | 4,562 (4,775) | 9 (5) | 90,286 (86,864) | 94,857 (91,644) |
| 本年度使用料(円) (前年度 〃) | 9,853,920 (10,314,000) | 5,346 (2,970) | 53,629,884 (51,597,216) | 63,489,150 (61,914,186) |
| 前年度対比頭数(%) | 95.5 | 180.0 | 103.9 | 103.5 |

○食肉市場業務について

本年度の食肉取引状況は下表のとおりで、取引頭数は、全国的な飼養頭数減少の影響を受け、牛は減少しましたが、豚は卸売会社の積極的な集荷努力により増加しました。

また、取引平均単価については、牛は飼養頭数や流通量の減少に伴い、前年度を上回りました。豚は前年度を下回ったものの高値を継続しました。

枝肉の総取引金額では、対前年比 3.8%減という結果になりました。

なお、上場率（取引頭数／と畜頭数）については、牛 21.6%、豚 99.8%となっています。

・食肉取引状況

| 区 分 | | 取引頭数 | 取引重量 | 取引金額 | 平均単価 |
|-----|------------------|--------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------|
| 牛 | 本年度計画 | 1,300 頭 | 520,000.0kg | 728,000,000 円 | 1,400 円/kg |
| | 本年度実績 (前年度実績) | 984 (1,300) | 443,524.8 (583,399.8) | 860,517,135 (1,083,044,178) | 1,940 (1,856) |
| | 前年度対比(%) | 75.7 | 76.0 | 79.5 | 104.5 |
| 豚 | 本年度計画 | 84,000 | 6,300,000.0 | 3,150,000,000 | 500 |
| | 本年度実績 (前年度実績) | 90,131 (86,762) | 6,970,120.6 (6,712,127.6) | 3,548,191,929 (3,499,221,462) | 509 (521) |
| | 前年度対比(%) | 103.9 | 103.8 | 101.4 | 97.7 |
| 計 | 本年度実績 (前年度実績) | 91,115 (88,062) | 7,413,645.4 (7,295,527.4) | 4,408,709,064 (4,582,265,640) | 595 (628) |
| | 前年度対比(%) | 103.5 | 101.6 | 96.2 | 94.7 |

〔一般経費〕 151,382,716 円（その他特財 31,195,932 円）
施設で使用する光熱水費として 148,794,758 円を支出しました。

款 2 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 150,557,000 円 | 149,198,330 円 | 99.1% | 0 円 | 1,358,670 円 |

項 1 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------------|
| 150,557,000 円 | 149,198,330 円 | 99.1% | 0 円 | 1,358,670 円 |

目 1 元金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|---------------|------------|--------|-------|
| 133,086,000 円 | 133,085,665 円 | 100.0% | 0 円 | 335 円 |

〔農林水産業債償還金〕 133,085,665 円（県支出金 21,193,000 円）

目 2 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 17,471,000 円 | 16,112,665 円 | 92.2% | 0 円 | 1,358,335 円 |

〔農林水産業債利子〕 16,112,635 円（県支出金 1,703,000 円）
〔一時借入金利子〕 30 円

款3 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|------|------------|--------|-----------|
| 500,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 500,000 円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|------|------------|--------|-----------|
| 500,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 500,000 円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|------|------------|--------|-----------|
| 500,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 500,000 円 |

土地区画整理事業特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|-------------|--------------|----------|--------------|
| 1. 換地清算金 | 42,185,760円 | 1. 業務費 | 19,388,889円 |
| 2. 財産収入 | 8,768,075円 | 2. 事業費 | 23,755,731円 |
| 3. 繰入金 | 301,345,822円 | 3. 清算事業費 | 47,009,112円 |
| 4. 繰越金 | 7,041,595円 | 4. 公債費 | 254,425,983円 |
| 5. 諸収入 | 25,628円 | 5. 予備費 | 0円 |
| 6. 使用料及び手数料 | 507,456円 | | |
| | | | |
| 合計 | 359,874,336円 | 合計 | 344,579,715円 |
| | | 収支 | 15,294,621円 |

歳入

款1 換地清算金

項1 末永・本郷土地区画整理換地清算金

目1 清算徴収金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 15,886,000円 | 42,185,760円 | 42,185,760円 | 265.6% | 0円 | 0円 |

末永・本郷土地区画整理事業における換地清算金で、換地間の不均衡を調整するために権利者から徴収し、清算交付金に充当しています。

款2 財産収入

項1 財産運用収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 8,602,000円 | 8,768,075円 | 8,768,075円 | 101.9% | 0円 | 0円 |

目1 財産貸付収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 8,599,000円 | 8,767,920円 | 8,767,920円 | 102.0% | 0円 | 0円 |

区画整理事業のため先行取得した国道23号沿線及び浜一色町地内の土地を資産の有効活用のため、駐車場として貸し付けたことによる収入です。

目2 東橋北住環境整備基金収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|------|------|------------|-------|-------|
| 3,000円 | 155円 | 155円 | 5.2% | 0円 | 0円 |

東橋北住環境整備基金の運用益で、同基金積立金に充当しています。

款3 繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 332,866,000円 | 301,345,822円 | 301,345,822円 | 90.5% | 0円 | 0円 |

項1 一般会計繰入金

目1 一般会計繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 330,066,000円 | 299,315,300円 | 299,315,300円 | 90.7% | 0円 | 0円 |

一般会計繰入金は、土地区画整理事業の運営上重要な財源となっています。起債償還をはじめ市単独事業費等の一般財源として充当しています。

項2 基金繰入金

目1 基金繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 2,800,000円 | 2,030,522円 | 2,030,522円 | 72.5% | 0円 | 0円 |

東橋北住環境整備基金からの繰入金で、全額を午起土地区画整理事業に対する助成に充当しています。

款4 繰越金

項1 繰越金

目1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 500,000円 | 7,041,595円 | 7,041,595円 | 1,408.3% | 0円 | 0円 |

款5 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 46,000円 | 25,628円 | 25,628円 | 55.7% | 0円 | 0円 |

項1 預金利子
目1 預金利子

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 45,000円 | 25,628円 | 25,628円 | 57.0% | 0円 | 0円 |

項2 雑入
目1 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

款6 使用料及び手数料

項1 使用料
目2 土地使用料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 0円 | 507,456円 | 507,456円 | — | 0円 | 0円 |

歳出

款1 業務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 21,291,000円 | 19,388,889円 | 91.1% | 0円 | 1,902,111円 |

項1 業務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 21,291,000円 | 19,388,889円 | 91.1% | 0円 | 1,902,111円 |

目1 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 21,291,000円 | 19,388,889円 | 91.1% | 0円 | 1,902,111円 |

[一般職給]

1人

11,609,000円 (その他特財 3,598,792円)

| | | | | | |
|----|---|----|---------------------------|----|---|
| 目的 | 市街地における宅地の利用増進を図るとともに安全で快適な住環境の向上を図る | | | | |
| 指標 | 区画整理整備率 (%) (整備済区画整理面積/ 区画整理認可面積) | 目標 | 100% (1,078ha/1,078ha) | 実績 | 99.9% (1,077ha/1,078ha) (27年度末 99.9%) |
| 説明 | 午起土地区画整理組合の事業に係る経費を助成しました。境界が定まらない地区外隣接地権者に対し、組合と市が境界確定訴訟を提起し、事業の終結に向けて取り組みました。 | | | | |

〔午起土地区画整理事業費〕 2,030,522円 (その他特財 2,030,522円)
 ・午起地区：委託費、除草費、事務費の助成
 〔東橋北住環境整備基金積立金〕 155円 (その他特財 155円)
 (昭和61年9月設置 平成28年度末現在高 13,982,416円)

その他経費

〔負担金〕 47,000円
 ・街づくり区画整理協会会費
 〔一般経費〕 5,702,212円 (その他特財 5,702,212円)

款2 事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 28,787,000円 | 23,755,731円 | 82.5% | 0円 | 5,031,269円 |

項1 事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 28,787,000円 | 23,755,731円 | 82.5% | 0円 | 5,031,269円 |

目1 末永・本郷土地区画整理事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 28,787,000円 | 23,755,731円 | 82.5% | 0円 | 5,031,269円 |

〔一般職給〕 2人 12,282,625円

| | | | | | |
|----|---|----|------------------|----|-----------------------------------|
| 目的 | 末永・本郷地区の公共施設の整備、改善及び宅地の利用増進 | | | | |
| 指標 | 事業進捗状況 | 目標 | 換地処分公告 清算事務開始 | 実績 | 換地処分公告 清算事務開始 (27年度 換地処分通知) |
| 説明 | 10月18日に換地処分公告がなされ、確定した換地清算金の徴収及び交付を行い、分割納付の権利者については徴収を進めています。 | | | | |

〔末永・本郷土地区画整理事業費〕 11,473,106円

款3 清算事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 52,895,000円 | 47,009,112円 | 88.9% | 0円 | 5,885,888円 |

項1 末永・本郷土地区画整理清算事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 52,895,000円 | 47,009,112円 | 88.9% | 0円 | 5,885,888円 |

目1 清算交付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 52,895,000円 | 47,009,112円 | 88.9% | 0円 | 5,885,888円 |

〔清算事業費〕

47,009,112円（その他特財42,185,760円）

款4 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|--------|
| 254,427,000円 | 254,425,983円 | 100.0% | 0円 | 1,017円 |

項1 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|--------|
| 254,427,000円 | 254,425,983円 | 100.0% | 0円 | 1,017円 |

目1 元金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------|
| 241,280,000円 | 241,279,111円 | 100.0% | 0円 | 889円 |

〔土木債償還金〕

241,279,111円

目2 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------|
| 13,147,000円 | 13,146,872円 | 100.0% | 0円 | 128円 |

〔土木債利子〕

13,146,872円

款5 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 500,000円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 500,000円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 500,000円 |

住宅新築資金等貸付事業特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳 入 | 決算額 | 歳 出 | 決算額 |
|---------|-------------|--------|-------------|
| 1. 事業収入 | 8,223,956円 | 1. 事業費 | 5,561,988円 |
| 2. 繰越金 | 33,731,871円 | 2. 公債費 | 3,493,976円 |
| 3. 諸収入 | 12,771円 | 3. 予備費 | 0円 |
| 合 計 | 41,968,598円 | 合 計 | 9,055,964円 |
| | | 収 支 | 32,912,634円 |

歳入

款1 事業収入

項1 事業収入

目1 住宅新築資金等貸付金収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に 対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|--------------|------------|----------------|------------|--------------|
| 10,499,000円 | 267,919,684円 | 8,223,956円 | 78.3% | 6,484,752円 | 253,210,976円 |

事業収入は、貸付済の資金にかかる貸付者からの償還金収入であり、市の貸付財源である起債の償還に充てる主要財源です。

○〔事業収入の内訳〕

| | 予算現額 | 調 定 額 | 収 納 額 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|------------|--------------|------------|------------|--------------|
| 元 金 | 9,023,000円 | 224,440,609円 | 7,229,085円 | 5,255,187円 | 211,956,337円 |
| うち現年度分 | 2,410,000円 | 5,357,194円 | 3,229,027円 | 0円 | 2,128,167円 |
| うち過年度分 | 6,613,000円 | 219,083,415円 | 4,000,058円 | 5,255,187円 | 209,828,170円 |
| 利 子 | 1,476,000円 | 43,479,075円 | 994,871円 | 1,229,565円 | 41,254,639円 |
| うち現年度分 | 194,000円 | 431,949円 | 277,931円 | 0円 | 154,018円 |
| うち過年度分 | 1,282,000円 | 43,047,126円 | 716,940円 | 1,229,565円 | 41,100,621円 |

款2 繰越金

項1 繰越金

目1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に 対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|-------------|-------------|----------------|-------|-------|
| 1,000,000円 | 33,731,871円 | 33,731,871円 | 3373.2% | 0円 | 0円 |

款3 諸収入
 項1 預金利子
 目1 預金利子

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 12,771円 | 12,771円 | 1277.1% | 0円 | 0円 |

預金利子収入であり、公債費に充当しています。

歳出

款1 事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 7,005,000円 | 5,561,988円 | 79.4% | 0円 | 1,443,012円 |

項1 事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 7,005,000円 | 5,561,988円 | 79.4% | 0円 | 1,443,012円 |

目1 運営費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 7,005,000円 | 5,561,988円 | 79.4% | 0円 | 1,443,012円 |

〔一般職給〕 1人 5,467,009円

| 目的 | 住宅新築資金の滞納整理 | | | | |
|----|---|----|---------|----|-----------------------|
| 指標 | 累計償還率 | 目標 | 88.3%以上 | 実績 | 88.5% (27年度 88.0%) |
| 説明 | <p>貸付者に対する償還金の徴収は、訪問、電話等による日常的な償還指導を行うとともに、「償還状況のお知らせ」を配布するなど、適正に償還されるよう努めました。</p> <p>一方、滞納者に対しては、滞納整理マニュアルに基づき、口座振替の促進および訪問による納付指導など、個々の状況を勘案しながら納付指導を行い、収納率向上にむけて交渉を実施しました。</p> | | | | |

〔運営事務費〕 71,979円

〔負担金〕 23,000円

- ・三重県住環境整備事業推進協議会
- ・住宅新築資金等償還事務担当者研修会

款2 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|--------|
| 3,495,000円 | 3,493,976円 | 100.0% | 0円 | 1,024円 |

項1 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|--------|
| 3,495,000円 | 3,493,976円 | 100.0% | 0円 | 1,024円 |

目1 元金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------|
| 3,014,000円 | 3,013,144円 | 100.0% | 0円 | 856円 |

過去に貸付財源として借り入れた土木債（元金）についての定期償還金及び補償金免除繰上償還金です。

目2 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|------|
| 481,000円 | 480,832円 | 100.0% | 0円 | 168円 |

過去に貸付財源として借り入れた土木債（利子）についての定期償還金です。

款3 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|------------|--------|------------|
| 1,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 1,000,000円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|------------|--------|------------|
| 1,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 1,000,000円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------|------------|--------|------------|
| 1,000,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 1,000,000円 |

農業集落排水事業特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|-------------|--------------|--------|--------------|
| 1. 使用料及び手数料 | 95,666,600円 | 1. 事業費 | 192,988,852円 |
| 2. 県支出金 | 18,000,000円 | 2. 公債費 | 128,683,030円 |
| 3. 繰入金 | 212,188,000円 | 3. 予備費 | 0円 |
| 4. 繰越金 | 15,644,756円 | | |
| 5. 諸収入 | 140,191円 | | |
| 合計 | 341,639,547円 | 合計 | 321,671,882円 |
| | | 収支 | 19,967,665円 |

歳入

款1 使用料及び手数料

項1 使用料

目1 農業集落排水施設使用料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|----------|
| 94,302,000円 | 95,769,200円 | 95,666,600円 | 101.4% | 0円 | 102,600円 |

農業集落排水施設使用料 95,663,700円
 施設敷地占有料 2,900円 (和無田地区)

農業集落排水施設使用料については、一戸当たり2,000円の基本料金と一人当たり500円の人数割の合計額に100分の108を乗じた額を徴収し、浄化センターの維持管理費に充てました。

○農業集落排水施設使用料の内訳

| 県 | 小牧南 | 狭間 | 水沢東 | 水沢野田 | 堂ヶ山 |
|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 6,023,700円 | 6,549,660円 | 2,971,620円 | 5,493,960円 | 3,436,020円 | 5,959,980円 |
| 北小松 | 鹿間 | 水沢中部 | 小西 | 水沢東部 | 和無田 |
| 5,917,860円 | 11,553,840円 | 26,611,740円 | 11,246,040円 | 7,221,960円 | 2,677,320円 |

款2 県支出金**項1 県補助金****目1 農業集落排水事業費補助金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 20,000,000円 | 18,000,000円 | 18,000,000円 | 90.0% | 0円 | 0円 |

款3 繰入金**項1 繰入金****目1 一般会計繰入金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 212,188,000円 | 212,188,000円 | 212,188,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

款4 繰越金**項1 繰越金****目1 繰越金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 500,000円 | 15,644,756円 | 15,644,756円 | 3,129.0% | 0円 | 0円 |

款5 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 10,000円 | 140,191円 | 140,191円 | 1,401.9% | 0円 | 0円 |

項1 預金利子**目1 預金利子**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 10,000円 | 26,269円 | 26,269円 | 262.7% | 0円 | 0円 |

項2 雑入**目1 雑入**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 0円 | 113,922円 | 113,922円 | — | 0円 | 0円 |

歳出

款 1 事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 197,466,000円 | 192,988,852円 | 97.7% | 0円 | 4,477,148円 |

項 1 業務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 175,288,000円 | 173,194,097円 | 98.8% | 0円 | 2,093,903円 |

目 1 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|---------|------------|--------|-----|
| 70,000円 | 70,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

[地域環境資源センター負担金] 20,000円

[三重県農業集落排水事業連絡協議会負担金] 50,000円

目 2 施設管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 175,218,000円 | 173,124,097円 | 98.8% | 0円 | 2,093,903円 |

農業集落排水処理施設 12 地区（水洗化人口：6,049 人）の適切な維持管理に努めました。

[施設維持管理一般経費] 156,088,165円 (その他特財 95,780,522円)

[生活排水対策事業負担金] 17,035,932円 (その他特財 26,269円)

項 2 建設改良費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 22,178,000円 | 19,794,755円 | 89.3% | 0円 | 2,383,245円 |

目 1 建設改良費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 22,178,000円 | 19,794,755円 | 89.3% | 0円 | 2,383,245円 |

農業集落排水施設へのストックマネジメントの導入にあたり、施設の劣化状況を把握するための機能診断調査を実施しました。

[農業集落排水施設整備補助事業費] 18,000,000円 (県支出金 18,000,000円)

[農業集落排水施設整備単独事業費] 972,360円

[その他事務費] 822,395円

款2 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|----------|
| 129,034,000円 | 128,683,030円 | 99.7% | 0円 | 350,970円 |

項1 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|----------|
| 129,034,000円 | 128,683,030円 | 99.7% | 0円 | 350,970円 |

目1 元金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------|
| 89,533,000円 | 89,532,428円 | 100.0% | 0円 | 572円 |

〔農林水産業債元金〕

89,532,428円

目2 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 39,501,000円 | 39,150,602円 | 99.1% | 0円 | 350,398円 |

〔農林水産業債利子〕

39,150,602円

款3 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0% | 0円 | 500,000円 |

項1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0% | 0円 | 500,000円 |

目1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0% | 0円 | 500,000円 |

介護保険特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|-------------|------------------|------------|------------------|
| 1. 保険料 | 5,195,396,393 円 | 1. 総務費 | 490,021,695 円 |
| 2. 分担金及び負担金 | 22,013,000 円 | 2. 保険給付費 | 18,474,138,741 円 |
| 3. 国庫支出金 | 4,311,345,535 円 | 3. 基金積立金 | 1,521,145,277 円 |
| 4. 支払基金交付金 | 5,200,903,000 円 | 4. 地域支援事業費 | 410,726,750 円 |
| 5. 県支出金 | 2,772,216,546 円 | 5. 公債費 | 0 円 |
| 6. 財産収入 | 309,859 円 | 6. 諸支出金 | 199,171,187 円 |
| 7. 寄附金 | 0 円 | 7. 予備費 | 0 円 |
| 8. 繰入金 | 3,885,041,000 円 | | |
| 9. 繰越金 | 1,931,698,316 円 | | |
| 10. 諸収入 | 8,035,658 円 | | |
| 合計 | 23,326,959,307 円 | 合計 | 21,095,203,650 円 |
| | | 収支 | 2,231,755,657 円 |

歳入

款1 保険料

項1 介護保険料

目1 第1号被保険者保険料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|--------------|---------------|
| 4,886,653,000 円 | 5,371,744,129 円 | 5,195,396,393 円 | 106.3% | 34,704,254 円 | 141,643,482 円 |

○保険料の内訳

| 項目 | 予算現額 (円) | 調定額 (円) | 収納額 (円) | 不納欠損額 (円) | 収入未済額 (円) |
|---------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|
| 特別徴収現年分 | 4,507,616,000 | 4,800,449,825 | 4,800,449,825 | 0 | 0 |
| 普通徴収現年分 | 358,037,000 | 431,771,863 | 367,659,590 | 0 | 64,112,273 |
| 滞納繰越分 | 21,000,000 | 139,522,441 | 27,286,978 | 34,704,254 | 77,531,209 |

滞納防止のため、口座振替勧奨や制度の周知を行い、滞納対策として毎月の督促状送付や電話催告、文書催告を行うとともに、期間を決めて職員全員による訪宅、差押等を実施しました。

また、滞納整理を行ったものの、生活困窮や死亡等により保険料の徴収ができず、年度末までに時効を迎えた分等について不納欠損処分を行いました。

款2 分担金及び負担金

項1 負担金

目1 認定審査会負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 20,242,000円 | 22,013,000円 | 22,013,000円 | 108.7% | 0円 | 0円 |

三重郡三町からの負担金です。(三泗介護認定審査会共同設置費負担金)

款3 国庫支出金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 4,122,776,000円 | 4,311,345,535円 | 4,311,345,535円 | 104.6% | 0円 | 0円 |

項1 国庫負担金

目1 介護給付費負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 3,401,000,000円 | 3,490,584,025円 | 3,490,584,025円 | 102.6% | 0円 | 0円 |

介護給付費負担金は、給付費に対する国の負担分で、負担割合は給付費の20.0%（施設等に係る分については15.0%）です。

項2 国庫補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 721,776,000円 | 820,761,510円 | 820,761,510円 | 113.7% | 0円 | 0円 |

目1 財政調整交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 595,949,000円 | 662,608,000円 | 662,608,000円 | 111.2% | 0円 | 0円 |

財政調整交付金は、市町村ごとの介護保険財政の調整を行うために、国から交付されるもので、本市の交付率は給付費の3.65%です。

目2 地域支援事業交付金（介護予防事業）

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 13,831,000円 | 16,940,750円 | 16,940,750円 | 122.5% | 0円 | 0円 |

地域支援事業交付金は、地域支援事業に対する国の交付金で、交付率は介護予防事業費の25.0%です。

目3 地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 111,996,000円 | 141,212,760円 | 141,212,760円 | 126.1% | 0円 | 0円 |

地域支援事業交付金は、地域支援事業に対する国の交付金で、交付率は包括的支援事業費及び任意事業費の39.0%です。

款4 支払基金交付金

項1 支払基金交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 5,512,530,000円 | 5,200,903,000円 | 5,200,903,000円 | 94.3% | 0円 | 0円 |

目1 介護給付費交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 5,500,797,000円 | 5,183,007,000円 | 5,183,007,000円 | 94.2% | 0円 | 0円 |

第2号被保険者が負担する分で、負担割合は給付費の28.0%です。社会保険診療報酬支払基金が事務を所管します。

目2 地域支援事業支援交付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 11,733,000円 | 17,896,000円 | 17,896,000円 | 152.5% | 0円 | 0円 |

第2号被保険者が負担する分で、負担割合は介護予防事業費の28.0%です。社会保険診療報酬支払基金が事務を所管します。

款5 県支出金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 2,702,516,000円 | 2,772,216,546円 | 2,772,216,546円 | 102.6% | 0円 | 0円 |

項1 県負担金

目1 介護給付費負担金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 2,639,603,000円 | 2,693,139,791円 | 2,693,139,791円 | 102.0% | 0円 | 0円 |

介護給付費負担金は、給付費に対する県の負担分で、負担割合は給付費の12.5%（施設等に係る分については17.5%）です。

項2 県補助金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 62,913,000円 | 79,076,755円 | 79,076,755円 | 125.7% | 0円 | 0円 |

目1 地域支援事業交付金（介護予防事業）

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 6,915,000円 | 8,470,375円 | 8,470,375円 | 122.5% | 0円 | 0円 |

地域支援事業交付金は、地域支援事業に対する県の交付金で、交付率は介護予防事業費の12.5%です。

目2 地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 55,998,000円 | 70,606,380円 | 70,606,380円 | 126.1% | 0円 | 0円 |

地域支援事業交付金は、地域支援事業に対する県の交付金で、交付率は包括的支援事業費及び任意事業費の19.5%です。

款6 財産収入

項1 財産運用収入

目1 利子及び配当金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 482,000円 | 309,859円 | 309,859円 | 64.3% | 0円 | 0円 |

介護給付費支払準備基金の運用益です。

款7 寄附金**項1 寄附金****目1 一般寄附金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

款8 繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 3,885,041,000円 | 3,885,041,000円 | 3,885,041,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

項1 一般会計繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 2,921,424,000円 | 2,921,424,000円 | 2,921,424,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目1 介護保険給付費繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 2,334,699,000円 | 2,334,699,000円 | 2,334,699,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

介護保険給付費繰入金は、給付費に対する市の負担分で、負担割合は給付費の12.5%です。

目2 地域支援事業繰入金（介護予防事業）

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 9,089,000円 | 9,089,000円 | 9,089,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

地域支援事業繰入金は、地域支援事業に対する市の負担分で、負担割合は介護予防事業費の12.5%です。

目3 地域支援事業繰入金（包括的支援事業・任意事業）

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 69,841,000円 | 69,841,000円 | 69,841,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

地域支援事業繰入金は、地域支援事業に対する市の負担分で、負担割合は包括的支援事業費及び任意事業費の19.5%です。

目4 低所得者保険料軽減繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 39,617,000円 | 39,617,000円 | 39,617,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目5 その他一般会計繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 468,178,000円 | 468,178,000円 | 468,178,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

その他一般会計繰入金は、職員の給与や事務費に対する繰入分です。

項2 基金繰入金**目1 介護給付費準備基金繰入金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 963,617,000円 | 963,617,000円 | 963,617,000円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

介護給付費準備基金繰入金は、第1号被保険者保険料の剰余分を積み立てた基金の取り崩しによる繰入分です。

款9 繰越金**項1 繰越金****目1 繰越金**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 1,931,698,000円 | 1,931,698,316円 | 1,931,698,316円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

款10 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 6,380,000円 | 8,035,658円 | 8,035,658円 | 126.0% | 0円 | 0円 |

項1 延滞金加算金及び過料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 3,000円 | 604,687円 | 604,687円 | 20156.2% | 0円 | 0円 |

目1 第1号被保険者延滞金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 604,687円 | 604,687円 | 60468.7% | 0円 | 0円 |

目2 第1号被保険者加算金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目3 過料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

項2 預金利子**目1 預金利子**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 1,143,544円 | 1,143,544円 | 114,354.4% | 0円 | 0円 |

項3 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 6,376,000円 | 6,287,427円 | 6,287,427円 | 98.6% | 0円 | 0円 |

目1 滞納処分費

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目2 弁償金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目3 違約金及び延納利息

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

目4 小切手未払資金組入れ

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 1,100,000円 | 1,050,350円 | 1,050,350円 | 95.5% | 0円 | 0円 |

目5 第三者納付金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 5,100,000円 | 1,649,115円 | 1,649,115円 | 32.3% | 0円 | 0円 |

自動車事故等の第三者行為として原因者への求償が主な内容です。

目6 返納金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 4,000円 | 3,452,155円 | 3,452,155円 | 86303.9% | 0円 | 0円 |

目7 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------|----------|----------|------------|-------|-------|
| 169,000円 | 135,807円 | 135,807円 | 80.4% | 0円 | 0円 |

歳出

款1 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 504,666,000円 | 490,021,695円 | 97.1% | 0円 | 14,644,305円 |

項1 総務管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 239,763,000円 | 232,563,516円 | 97.0% | 0円 | 7,199,484円 |

目1 一般管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 239,363,000円 | 232,497,552円 | 97.1% | 0円 | 6,865,448円 |

〔一般職給〕 17人 129,887,496円
〔嘱託職給〕 9人 34,395,713円
〔一般経費・一般事務費〕 68,214,343円

目2 連合会負担金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|---------|------------|--------|----------|
| 400,000円 | 65,964円 | 16.5% | 0円 | 334,036円 |

〔負担金〕三重県国民健康保険団体連合会 65,964円

項2 徴収費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 3,323,000円 | 2,719,942円 | 81.9% | 0円 | 603,058円 |

目1 賦課徴収費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 2,714,000円 | 2,238,860円 | 82.5% | 0円 | 475,140円 |

保険料を納期までに納めないときに送付する督促状の経費や四日市市保険料納付指導員の報償費です。

目2 滞納処分費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|----------|
| 609,000円 | 481,082円 | 79.0% | 0円 | 127,918円 |

保険料を滞納している被保険者に送付する文書催告状に係る経費です。

項3 介護認定審査費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 260,359,000円 | 253,539,437円 | 97.4% | 0円 | 6,819,563円 |

目1 介護認定審査会費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 111,202,000円 | 106,394,353円 | 95.7% | 0円 | 4,807,647円 |

〔一般職給〕 5人 48,056,254円
 〔委員報酬〕 認定審査会委員 100人 43,846,000円
 〔認定審査会事務費・認定審査事業費〕 14,492,099円

目2 認定調査費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 149,157,000円 | 147,145,084円 | 98.7% | 0円 | 2,011,916円 |

公正な認定調査を実施するため、市社会福祉協議会に認定調査業務を委託しました。

〔認定調査事務費・認定調査事業費〕 147,145,084円

○被保険者数 第1号被保険者 78,404人
 第2号被保険者 478人
 合計 78,882人

○要介護認定申請者数等（平成28年度）

| 申請件数 | 認定調査件数 | 認定審査件数 | 認定審査会開催回数 |
|---------|---------|---------|-----------|
| 13,116件 | 12,523件 | 12,820件 | 464回 |

項4 趣旨普及費

目1 趣旨普及費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|---------|
| 1,221,000円 | 1,198,800円 | 98.2% | 0円 | 22,200円 |

〔趣旨普及費〕 1,198,800円

・介護保険制度パンフレット等

款2 保険給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|----------------|
| 20,405,640,000円 | 18,474,138,741円 | 90.5% | 0円 | 1,931,501,259円 |

| | | | | | |
|----|--|----|----------|----|----------------------|
| 目的 | 高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるまちになる | | | | |
| 指標 | 地域密着型サービス利用者数（月平均） | 目標 | 1,100人以上 | 実績 | 1,296人 （27年度500人） |
| 説明 | <p>高齢者が、介護の必要な状態となっても、住みなれた地域で安心して生活できるようになるためには、介護サービスの中でも、その人なりの生活に配慮し、介護者とも身近でなじみの関係を築くことを目指して創設された地域密着型のサービスを充実させることが重要となります。</p> <p>そこで、介護保険事業計画に基づき、地域密着型の各サービス事業所設置について公募を行い、選定事業所を支援することで、定期的な巡回訪問等により在宅介護を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所や認知症高齢者が入居するグループホームの整備を促進するとともに、地域密着型サービスの利用促進に努めました。</p> | | | | |

項 1 介護サービス等諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------------|-----------------|------------|--------|----------------|
| 17,710,253,363円 | 16,032,522,042円 | 90.5% | 0円 | 1,677,731,321円 |

目 1 居宅介護サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------------|
| 7,553,025,334円 | 6,827,989,705円 | 90.4% | 0円 | 725,035,629円 |

目 2 特例居宅介護サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 264,311,000円 | 227,019,700円 | 85.9% | 0円 | 37,291,300円 |

目 3 地域密着型介護サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-----|
| 2,031,584,029円 | 2,031,584,029円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目 4 特例地域密着型介護サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 100,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 100,000円 |

目 5 施設介護サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|--------------|
| 6,922,689,000円 | 6,091,357,273円 | 88.0% | 0円 | 831,331,727円 |

目 6 特例施設介護サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 100,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 100,000円 |

目 7 居宅介護住宅改修費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 59,469,000円 | 48,289,993円 | 81.2% | 0円 | 11,179,007円 |

目 8 居宅介護サービス計画給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 878,875,000円 | 806,281,342円 | 91.7% | 0円 | 72,593,658円 |

目 9 特例居宅介護サービス計画給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 100,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 100,000円 |

項2 介護予防サービス等諸費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 1,360,578,205円 | 1,326,295,069円 | 97.5% | 0円 | 34,283,136円 |

目1 介護予防サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|-------------|
| 1,096,433,216円 | 1,068,767,674円 | 97.5% | 0円 | 27,665,542円 |

目2 特例介護予防サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|-----|
| 8,308,241円 | 8,308,241円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目3 地域密着型介護予防サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-----|
| 14,863,205円 | 14,836,205円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目4 特例地域密着型介護予防サービス給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 100,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 100,000円 |

目5 介護予防住宅改修費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 62,626,000円 | 56,208,406円 | 89.8% | 0円 | 6,417,594円 |

目6 介護予防サービス計画給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 178,147,543円 | 178,147,543円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目7 特例介護予防サービス計画給付費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 100,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 100,000円 |

項3 その他諸費**目1 審査支払手数料**

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-----|
| 15,799,708円 | 15,799,708円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

項4 高額介護サービス等費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 369,022,058円 | 369,022,058円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目1 高額介護サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| 367,991,464円 | 367,991,464円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目2 高額介護予防サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|-----|
| 1,030,594円 | 1,030,594円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

項5 高額医療合算介護サービス等費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 38,411,666円 | 37,693,692円 | 98.1% | 0円 | 717,974円 |

目1 高額医療合算介護サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-----|
| 37,411,666円 | 37,411,666円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目2 高額医療合算介護予防サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|----------|------------|--------|----------|
| 1,000,000円 | 282,026円 | 28.2% | 0円 | 717,974円 |

項6 特定入所者介護サービス等費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|--------------|
| 911,575,000円 | 692,806,172円 | 76.0% | 0円 | 218,768,828円 |

目1 特定入所者介護サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|--------------|
| 881,865,000円 | 677,632,972円 | 76.8% | 0円 | 204,232,028円 |

目2 特例特定入所者介護サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 26,301,000円 | 13,712,850円 | 52.1% | 0円 | 12,588,150円 |

目3 特定入所者介護予防サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 2,409,000円 | 1,187,380円 | 49.3% | 0円 | 1,221,620円 |

目4 特例特定入所者介護予防サービス費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|----------|------------|--------|----------|
| 1,000,000円 | 272,970円 | 27.3% | 0円 | 727,030円 |

○介護サービス利用状況（保険給付費）

| 区分 | 前年度末 | 本年度末 | 前年度比 |
|----------|---------|---------|--------|
| 認定者数 | 12,878人 | 13,069人 | 101.5% |
| サービス利用者数 | 10,670人 | 11,778人 | 110.4% |

○介護サービス利用状況（上段：延べ件数、下段：支給金額） 単位・・・上段：件、下段：千円

| サービス名 | 前年度 | 本年度 | 前年度比 | サービス名 | 前年度 | 本年度 | 前年度比 |
|-------------|---------------------|---------------------|------------------|----------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 訪問介護 | 30,423 1,263,554 | 30,332 1,264,745 | 99.7% 100.1% | 居宅介護支援 | 95,761 974,666 | 98,280 984,429 | 103.2% 105.5% |
| 訪問入浴 | 1,816 104,250 | 1,536 92,845 | 84.6% 89.1% | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 4 795 | 78 10,728 | 1950% 1349.4% |
| 訪問看護 | 7,920 332,618 | 8,369 351,307 | 105.7% 105.6% | 地域密着型通所介護 | — — | 9,126 714,924 | — — |
| 訪問リハビリテーション | 3,544 118,270 | 3,843 120,954 | 108.4% 102.2% | 認知症対応型通所介護 | 1,521 185,274 | 1,476 173,294 | 97.0% 93.5% |
| 居宅療養管理指導 | 13,718 72,231 | 17,096 94,115 | 124.6% 130.3% | 小規模多機能型居宅介護 | 125 15,688 | 330 43,826 | 264.0% 279.4% |
| 通所介護 | 64,743 4,007,177 | 57,464 3,378,842 | 88.8% 84.3% | 認知症対応型共同生活介護 | 1,953 455,410 | 2,209 517,358 | 113.1% 113.6% |
| 通所リハビリテーション | 14,067 823,399 | 13,176 765,862 | 93.7% 93.0% | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 1,890 453,052 | 2,067 496,852 | 109.4% 109.7% |
| 短期入所サービス | 13,969 1,199,821 | 13,513 1,191,473 | 96.7% 99.3% | 看護小規模多機能型居宅介護 | 373 72,832 | 501 89,465 | 134.3% 122.8% |
| 福祉用具貸与 | 49,927 555,776 | 52,533 568,574 | 105.2% 102.3% | 老人福祉施設 | 13,770 3,367,568 | 13,648 3,349,255 | 99.1% 99.5% |
| 福祉用具購入 | 1,017 24,702 | 962 24,312 | 94.6% 98.4% | 老人保健施設 | 9,285 2,403,451 | 9,129 2,361,569 | 98.3% 98.3% |
| 住宅改修 | 1,180 102,566 | 1,150 104,498 | 97.5% 101.9% | 療養型医療施設 | 1,515 503,069 | 1,149 380,533 | 75.8% 75.6% |
| 特定施設入居者生活介護 | 1,697 285,452 | 1,675 279,057 | 98.8% 97.8% | 支給金額合計 | 17,321,621 | 17,358,817 | 100.2% |

款3 基金積立金

項1 基金積立金

目1 介護保険給付費支払準備基金積立金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|----------|
| 1,521,318,000円 | 1,521,145,277円 | 100.0% | 0円 | 172,723円 |

[給付準備基金積立金]

介護保険給付費支払準備基金 1,521,145,277円 (その他特財 1,521,145,277円)
(平成12年4月設置 平成28年度末残高 1,148,667,960円)

款4 地域支援事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|-------------|
| 435,022,000円 | 410,726,750円 | 94.4% | 0円 | 24,295,250円 |

| 目的 | 高齢者の地域での見守りや支援体制を充実する | | | | |
|----|---|----|-----------|----|--------------------------|
| 指標 | 認知症サポーター数 | 目標 | 18,000人以上 | 実績 | 18,810人 (27年度16,967人) |
| 指標 | 徘徊高齢者等SOSメール登録者数 | 目標 | 3,500人以上 | 実績 | 3,522人 (27年度3,402人) |
| 説明 | <p>認知症の人やその家族が、地域で安心して生活できるようになるためには、周囲の理解や見守りが不可欠であることから、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する正しい知識の普及を図っています。</p> <p>地域包括支援センター及び市に配置した認知症地域支援推進員が中心となって、これまで主な対象としてきた自治会関係者や民生委員・児童委員だけでなく、認知症の人に接する機会が多い金融機関の職員、次世代を担う中学生・高校生・大学生を対象とする講座をはじめとして、一般市民向けの講座も精力的に実施しました。</p> <p>また、「徘徊高齢者等SOSメール」についても、認知症サポーター養成講座の場などを活用して周知に努めた結果、メール登録者を増やすことができ、地域での見守り体制の強化につながりました。</p> | | | | |

項1 介護予防事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 73,763,000円 | 57,239,744円 | 77.6% | 0円 | 16,523,256円 |

目1 二次予防事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 28,259,000円 | 17,564,480円 | 62.2% | 0円 | 10,694,520円 |

目2 一次予防事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|------------|
| 41,504,000円 | 39,556,758円 | 95.3% | 0円 | 1,947,242円 |

目3 総合事業費精算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|----------|------------|--------|------------|
| 4,000,000円 | 118,506円 | 3.0% | 0円 | 3,881,494円 |

項2 包括的支援事業・任意事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 361,259,000円 | 353,487,006円 | 97.8% | 0円 | 7,771,994円 |

目1 包括的支援事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 217,781,000円 | 215,833,218円 | 99.1% | 0円 | 1,947,782円 |

目2 任意事業費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 143,478,000円 | 137,653,788円 | 95.9% | 0円 | 5,824,212円 |

款5 公債費**項1 一般公債費****目1 利子**

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 300,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 300,000円 |

款6 諸支出金**項1 償還金及び還付加算金**

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 200,873,000円 | 199,171,187円 | 99.2% | 0円 | 1,701,813円 |

目1 第1号被保険者保険料還付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|-----|
| 5,276,453円 | 5,276,453円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

目2 小切手支払未済償還金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 823,547円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 823,547円 |

目3 第1号被保険者還付加算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|---------|------------|--------|----------|
| 160,000円 | 35,800円 | 22.4% | 0円 | 124,200円 |

目4 償還金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|----------|
| 194,613,000円 | 193,858,934円 | 99.6% | 0円 | 754,066円 |

款7 予備費**項1 予備費****目1 予備費**

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|------|------------|--------|----------|
| 500,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 500,000円 |

後期高齢者医療特別会計

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|---------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 1. 後期高齢者医療保険料 | 2,763,398,162 円 | 1. 総務費 | 100,914,954 円 |
| 2. 使用料及び手数料 | 0 円 | 2. 後期高齢者医療広域連合納付金 | 5,688,557,387 円 |
| 3. 寄附金 | 0 円 | 3. 公債費 | 0 円 |
| 4. 繰入金 | 2,933,020,937 円 | 4. 諸支出金 | 3,138,205 円 |
| 5. 繰越金 | 20,023,870 円 | 5. 予備費 | 0 円 |
| 6. 諸収入 | 95,651,783 円 | | |
| 合計 | 5,812,094,752 円 | 合計 | 5,792,610,546 円 |
| | | 収支 | 19,484,206 円 |

後期高齢者医療制度の運営主体は三重県内各市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合であり、市においては保険料の徴収及び資格給付に関する申請受付業務を行いました。

歳入

款1 後期高齢者医療保険料

項1 後期高齢者医療保険料

目1 後期高齢者医療保険料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-----------|--------------|
| 2,757,068,000 円 | 2,806,766,278 円 | 2,763,398,162 円 | 100.2% | 942,160 円 | 42,425,956 円 |

後期高齢者医療制度における保険料は、市が徴収し、三重県後期高齢者医療広域連合へ納付しました。
〔現年度分収納率 99.5%（前年度 99.4%）、過年度分収納率 37.5%（前年度 37.5%）〕

※現年度分収納率（普通徴収＋特別徴収）＝収入済額/調定額×100

| 項目 | | 予算現額(円) | 調定額(円) | 収入済額(円) | 不納欠損額(円) | 収入未済額(円) |
|------|------|---------------|---------------|---------------|----------|------------|
| 普通徴収 | 現年度分 | 1,153,412,000 | 1,242,145,974 | 1,227,517,315 | 0 | 14,628,659 |
| | 滞納分 | 16,184,000 | 45,985,991 | 17,246,534 | 942,160 | 27,797,297 |
| 特別徴収 | 現年度分 | 1,587,472,000 | 1,518,634,313 | 1,518,634,313 | 0 | 0 |

款2 使用料及び手数料

項1 手数料

目1 手数料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

款3 寄附金

項1 寄附金

目1 一般寄附金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000円 | 0円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 0円 |

款4 繰入金

項1 一般会計繰入金

目1 一般会計繰入金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|----------------|----------------|----------------|------------|-------|-------|
| 2,933,022,000円 | 2,933,020,937円 | 2,933,020,937円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

繰入金は、一般会計から全額繰入れ、後期高齢者医療特別会計の財源の約50.5%を占めました。

| | | |
|----------|------------|----------------|
| [繰入金の内訳] | 保険基盤安定繰入金 | 524,498,782円 |
| | 職員給与費等繰入金 | 73,515,131円 |
| | 広域連合負担金繰入金 | 2,335,007,024円 |
| | ・療養給付費負担金 | 2,193,904,024円 |
| | ・一般会計負担金 | 25,724,000円 |
| | ・一般管理費事務費 | 73,645,000円 |
| | ・健康診査事業負担金 | 30,743,000円 |
| | ・健康診査事務費 | 10,991,000円 |

款5 繰越金

項1 繰越金

目1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 20,024,000円 | 20,023,870円 | 20,023,870円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

款6 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 97,021,000円 | 95,651,783円 | 95,651,783円 | 98.6% | 0円 | 0円 |

項1 延滞金加算金及び過料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|
| 812,000 円 | 617,421 円 | 617,421 円 | 76.0% | 0 円 | 0 円 |

目1 延滞金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|
| 810,000 円 | 617,421 円 | 617,421 円 | 76.2% | 0 円 | 0 円 |

目2 過料

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000 円 | 0 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 0 円 |

目3 加算金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000 円 | 0 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 0 円 |

項2 預金利子**目1 預金利子**

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|-----------|-----------|------------|-------|-------|
| 5,000 円 | 350,032 円 | 350,032 円 | 7,000.6% | 0 円 | 0 円 |

項3 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------------|--------------|--------------|------------|-------|-------|
| 96,204,000 円 | 94,684,330 円 | 94,684,330 円 | 98.4% | 0 円 | 0 円 |

目1 滞納処分費

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|-----|------|------------|-------|-------|
| 1,000 円 | 0 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 0 円 |

目2 小切手未払資金組み入れ

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 1,000 円 | 4,728 円 | 4,728 円 | 472.8% | 0 円 | 0 円 |

目3 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 96,202,000円 | 94,679,602円 | 94,679,602円 | 98.4% | 0円 | 0円 |

職員給与費返還金（派遣職員 3名） 23,678,694円
その他雑入 71,000,908円
・うち過年度療養給付費負担金返還金 67,804,976円

歳出

款1 総務費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|--------------|--------------|------------|--------|------------|
| 102,863,000円 | 100,914,954円 | 98.1% | 0円 | 1,948,046円 |

項1 総務管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 97,415,000円 | 96,647,037円 | 99.2% | 0円 | 767,963円 |

目1 一般管理費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|----------|
| 97,415,000円 | 96,647,037円 | 99.2% | 0円 | 767,963円 |

〔一般職給〕 10人 68,833,000円
〔一般経費〕 27,814,037円

項2 徴収費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 5,448,000円 | 4,267,917円 | 78.3% | 0円 | 1,180,083円 |

目1 徴収費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 5,253,000円 | 4,129,842円 | 78.6% | 0円 | 1,123,158円 |

・うち保険料納付指導員経費 3,648,103円

目2 滞納処分費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------|----------|------------|--------|---------|
| 195,000円 | 138,075円 | 70.8% | 0円 | 56,925円 |

款2 後期高齢者医療広域連合納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------------|
| 5,696,521,000円 | 5,688,557,387円 | 99.9% | 0円 | 7,963,613円 |

項1 後期高齢者医療広域連合納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------------|
| 5,696,521,000円 | 5,688,557,387円 | 99.9% | 0円 | 7,963,613円 |

目1 後期高齢者医療広域連合納付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|----------------|----------------|------------|--------|------------|
| 5,696,521,000円 | 5,688,557,387円 | 99.9% | 0円 | 7,963,613円 |

| | | | |
|-------------|----------------|-----------|-------------|
| 療養給付費負担金 | 2,261,709,000円 | 一般管理費事務費 | 73,644,000円 |
| 保険料等負担金 | 2,761,247,605円 | 健康診査事業負担金 | 30,743,000円 |
| 保険基盤安定制度負担金 | 524,498,782円 | 健康診査事務費 | 10,991,000円 |
| 一般会計負担金 | 25,724,000円 | | |

款3 公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 50,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 50,000円 |

項1 一般公債費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 50,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 50,000円 |

目1 利子

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 50,000円 | 0円 | 0.0% | 0円 | 50,000円 |

款4 諸支出金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 7,203,000円 | 3,138,205円 | 43.6% | 0円 | 4,064,795円 |

項1 償還金及び還付加算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------------|------------|------------|--------|------------|
| 7,203,000円 | 3,138,205円 | 43.6% | 0円 | 4,064,795円 |

目 1 保険料還付金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------------|-------------|------------|--------|-------------|
| 7,001,000 円 | 3,112,305 円 | 44.5% | 0 円 | 3,888,695 円 |

目 2 小切手支払未済償還金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 1,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 1,000 円 |

目 3 還付加算金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|----------|------------|--------|-----------|
| 200,000 円 | 25,900 円 | 13.0% | 0 円 | 174,100 円 |

目 4 償還金

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|------|------------|--------|---------|
| 1,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 1,000 円 |

款 5 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|------|------------|--------|-----------|
| 500,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 500,000 円 |

項 1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|------|------------|--------|-----------|
| 500,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 500,000 円 |

目 1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-----------|------|------------|--------|-----------|
| 500,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 500,000 円 |

三泗鈴亀農業共済事務組合清算特別会計

○平成 28 年度決算状況

| 歳 入 | 決 算 額 | 歳 出 | 決 算 額 |
|--------|---------------|--------|---------------|
| 1. 諸収入 | 444,099,368 円 | 1. 予備費 | 444,099,368 円 |
| | | | |
| 合 計 | 444,099,368 円 | 合 計 | 444,099,368 円 |
| | | 収 支 | 0 円 |

平成 29 年 3 月 31 日をもって解散した三泗鈴亀農業共済事務組合からの承継事務を行うための引継金を収入しました。

歳入

款 1 諸収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------------|---------------|---------------|------------|-------|-------|
| 444,086,000 円 | 444,099,368 円 | 444,099,368 円 | 100.0% | 0 円 | 0 円 |

項 1 雑入

目 1 雑入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------------|---------------|---------------|------------|-------|-------|
| 444,086,000 円 | 444,099,368 円 | 444,099,368 円 | 100.0% | 0 円 | 0 円 |

歳出

款 1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|------|------------|--------|---------------|
| 444,086,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 444,086,000 円 |

項 1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|------|------------|--------|---------------|
| 444,086,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 444,086,000 円 |

目 1 予備費

| 予算現額 | 支出済額 | 予算現額に対する割合 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------------|------|------------|--------|---------------|
| 444,086,000 円 | 0 円 | 0.0% | 0 円 | 444,086,000 円 |

財産区

桜財産区

○平成28年度決算状況

| 歳入 | 決算額 | 歳出 | 決算額 |
|---------|-------------|---------|-------------|
| 1. 財産収入 | 3,463,182円 | 1. 総務費 | 104,680円 |
| 2. 繰越金 | 39,184,296円 | 2. 農林業費 | 2,054,765円 |
| 3. 諸収入 | 15,418円 | 3. 予備費 | 0円 |
| 合計 | 42,662,896円 | 合計 | 2,159,445円 |
| | | 収支 | 40,503,451円 |

歳入

款1 財産収入

項1 財産運用収入

目1 財産貸付収入

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 3,463,000円 | 3,463,182円 | 3,463,182円 | 100.0% | 0円 | 0円 |

○土地貸付収入

| | |
|--|------------|
| (公財) 四日市市文化まちづくり財団への四日市スポーツランド用地(82,051.84㎡)の貸付け | 3,435,822円 |
| 中部電力(株)、西日本電信電話(株)への電柱等用地の貸付け | 27,360円 |
| 計 | 3,463,182円 |

款2 繰越金

項1 繰越金

目1 繰越金

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|
| 38,230,000円 | 39,184,296円 | 39,184,296円 | 102.5% | 0円 | 0円 |

款3 諸収入

項1 預金利子

目1 預金利子

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 予算現額に対する割合 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|---------|---------|------------|-------|-------|
| 7,000円 | 15,418円 | 15,418円 | 220.3% | 0円 | 0円 |

歳出

款1 総務費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|----------|----------|------------------------|-------------|----------|
| 283,000円 | 104,680円 | 37.0% | 0円 | 178,320円 |

項1 総務管理費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|----------|----------|------------------------|-------------|----------|
| 283,000円 | 104,680円 | 37.0% | 0円 | 178,320円 |

目1 一般管理費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|----------|----------|------------------------|-------------|----------|
| 283,000円 | 104,680円 | 37.0% | 0円 | 178,320円 |

[委員報酬] 102,700円 (その他特財 102,700円)

・桜財産区管理会委員 7人

その他経費

[管理事務費] 1,980円 (その他特財 1,980円)

款2 農林業費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|------------|------------|------------------------|-------------|----------|
| 2,817,000円 | 2,054,765円 | 72.9% | 0円 | 762,235円 |

項1 林業費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|------------|------------|------------------------|-------------|----------|
| 2,817,000円 | 2,054,765円 | 72.9% | 0円 | 762,235円 |

目1 林業費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|------------|------------|------------------------|-------------|----------|
| 2,817,000円 | 2,054,765円 | 72.9% | 0円 | 762,235円 |

桜財産区は地区全体の共有財産であることから、地元自治会への事業委託を通じて地区住民による草刈、清掃等を行い、市民参加の促進及び地域社会の活性化を図ると同時に経費の節減に努めました。

[山林保育経費] 2,054,765円 (その他特財 2,054,765円)

桜町字桜谷7489番1外

枝打、草刈、清掃等

款3 予備費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|-------------|---------|------------------------|-------------|-------------|
| 38,600,000円 | 0円 | 0% | 0円 | 38,600,000円 |

項1 予備費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|-------------|---------|------------------------|-------------|-------------|
| 38,600,000円 | 0円 | 0% | 0円 | 38,600,000円 |

目1 予備費

| 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 現 額 に 対 す る 割 合 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|-------------|---------|------------------------|-------------|-------------|
| 38,600,000円 | 0円 | 0% | 0円 | 38,600,000円 |